

可児市
市民アンケート調査
【調査結果報告書】

令和7年9月

可 児 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2

	全年代	若年層
(1) 回答者属性.....	2	111
問1 性別はどちらですか。.....	2	111
問2 年齢は、次のうちどれですか。.....	2	111
問3 子どもはいますか。.....	3	112
問4 職業は、次のうちどれですか。.....	5	114
問5 どちらにお住まいですか。.....	7	115
問6 お住まいの地区の自治会に加入していますか。.....	9	117
問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。.....	12	120
問8 可児市（合併前の兼山町を含む）にお住まいになって何年ですか。.....	12	120
(2) 可児市への居住理由について.....	13	121
問9 可児市を居住地に選んだ理由は何ですか。.....	13	121
問10 日頃、市の情報をどの方法により収集していますか。.....	17	125
問11 市の情報をどの方法により受け取りたいですか。.....	20	128
問12 市の情報のうち、どれに興味がありますか。.....	23	130
問13 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、オンラインでの個人情報 の登録について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。.....	25	132
問14 市の行政サービスのデジタル化の取り組みについて、 どのように感じていますか。.....	25	132
(3) 施策の重要度と満足度について.....	26	133
問15 市政経営計画の各施策について、今後の可児市にとってどの程度重要だと 思うか、あなたの考えに近いものを選び、○印をつけてください。.....	26	133
問16 市政経営計画の各施策の満足度について、あなたの考えに近いものを 選び、○印をつけてください。.....	45	146
○ポートフォリオによる分析.....	64	159

	全年代	若年層
(4) 可児市のイメージについて.....	74	162
問 17 可児市に今後も住み続けようと思いますか。	74	162
問 18 【ずっと可児市に住みたい・住み続けてもよい】理由は何ですか。	78	166
問 19 【できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)】理由は何ですか。 .	83	171
問 20 可児市の自慢できるものはどれだと思いますか。	87	175
(5) 余暇の過ごし方について.....	92	180
問 21 休日に外出する場合、どこに出かけることが多いですか。	92	180
問 22 よく行くところはどこですか。	93	181
問 23 よく利用する公園はどこですか。	95	183
問 24 可児市内の公園の整備状況についてどう思いますか	96	184
(6) 子育て環境について.....	97	185
問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。	97	185
問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視して 取り組むべきだと思いますか。	99	187
(7) 運動の推進・健康管理について.....	101	190
問 27 1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上行い、それを 1 年以上 続けていますか。	101	190
問 28 定期的に健康診査を受けていますか。	102	191
問 29 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」はいますか。	105	193
(8) 可児市への愛着について.....	106	194
問 30 可児市に愛着を感じていますか？	106	194

Ⅲ 調査票..... 199

1 全年代	199
2 若年層	203

I 調査の概要

1 調査の目的

令和6年3月に策定した「可児市市政経営計画」の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するものです。

2 調査対象

可児市在住の16歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和7年4月25日から令和7年5月13日

4 調査方法

- ・郵送による配布
- ・郵送及びWEBによる回収

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
①16歳以上の市民	2,000通	764通	38.2%
②①以外の16～39歳までの市民	1,000通	273通	27.3%

※本文中の若年層は、①のうちの16歳～39歳（101通）と②を合算して分析しています。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・各設問に対する説明文の中で、アンケート項目を端的に表している場合は「 」を使用し、複数の項目をまとめて表す場合は“ ”を使用しています。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果

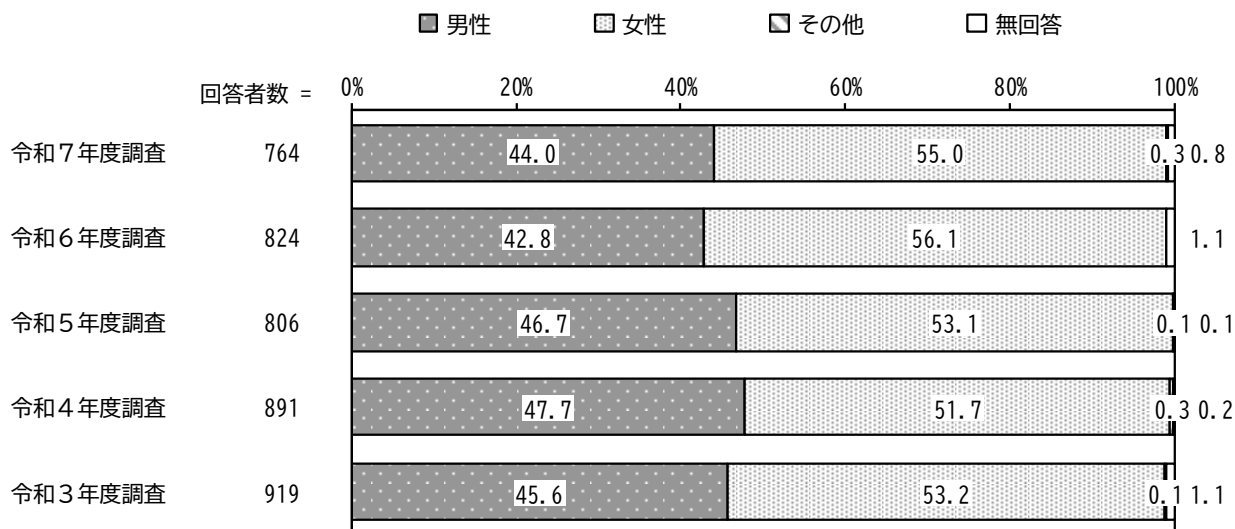
1 全年代

(1) 回答者属性

問1 性別はどちらですか。(○は1つだけ)

「男性」の割合が44.0%、「女性」の割合が55.0%となっています。

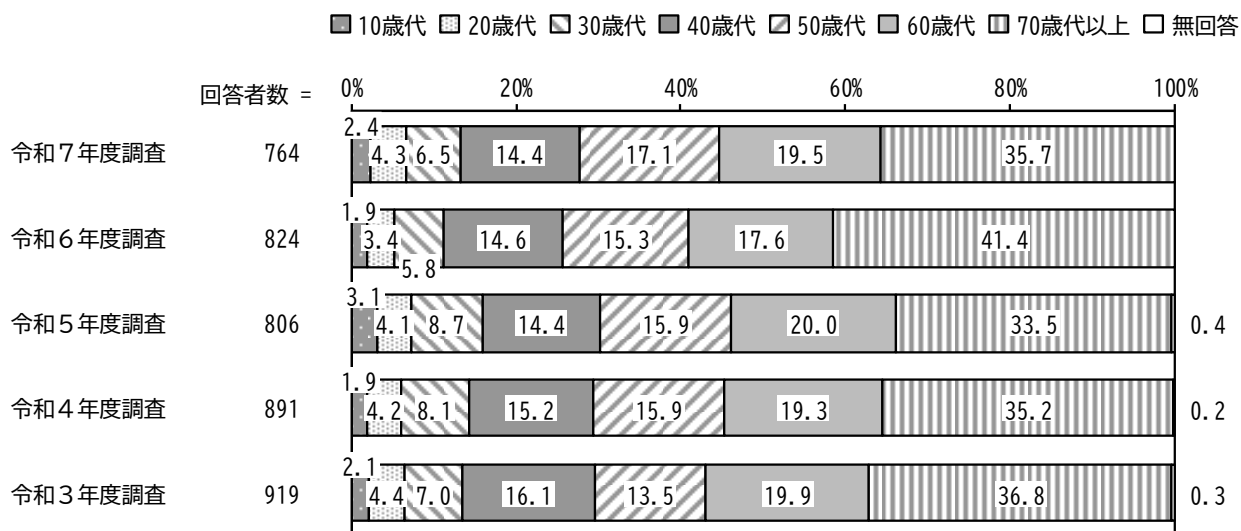
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

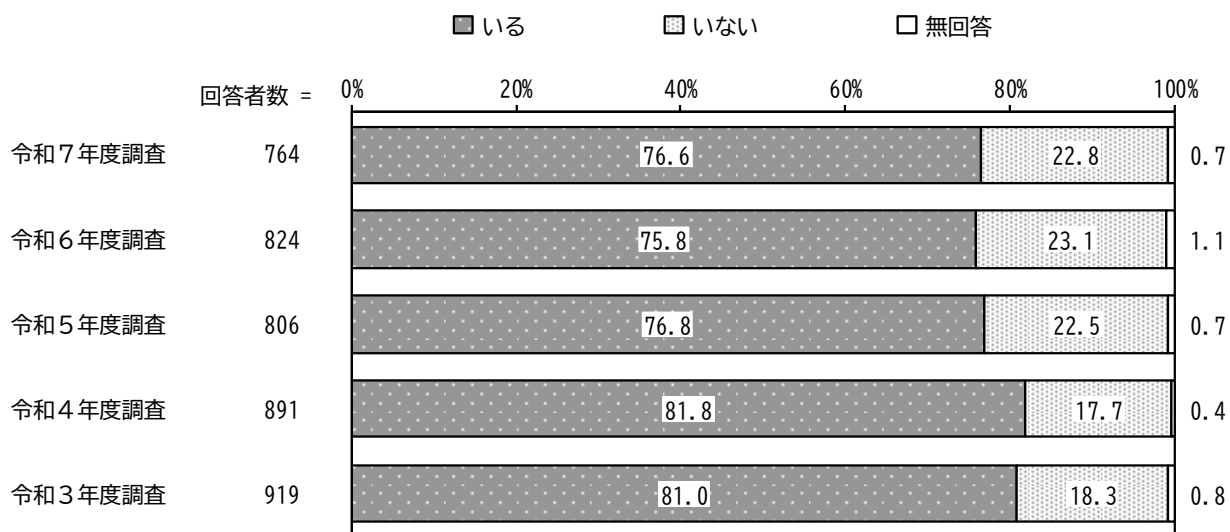
「70歳代以上」の割合が35.7%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が19.5%、「50歳代」の割合が17.1%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「70歳代以上」の割合が減少しています。



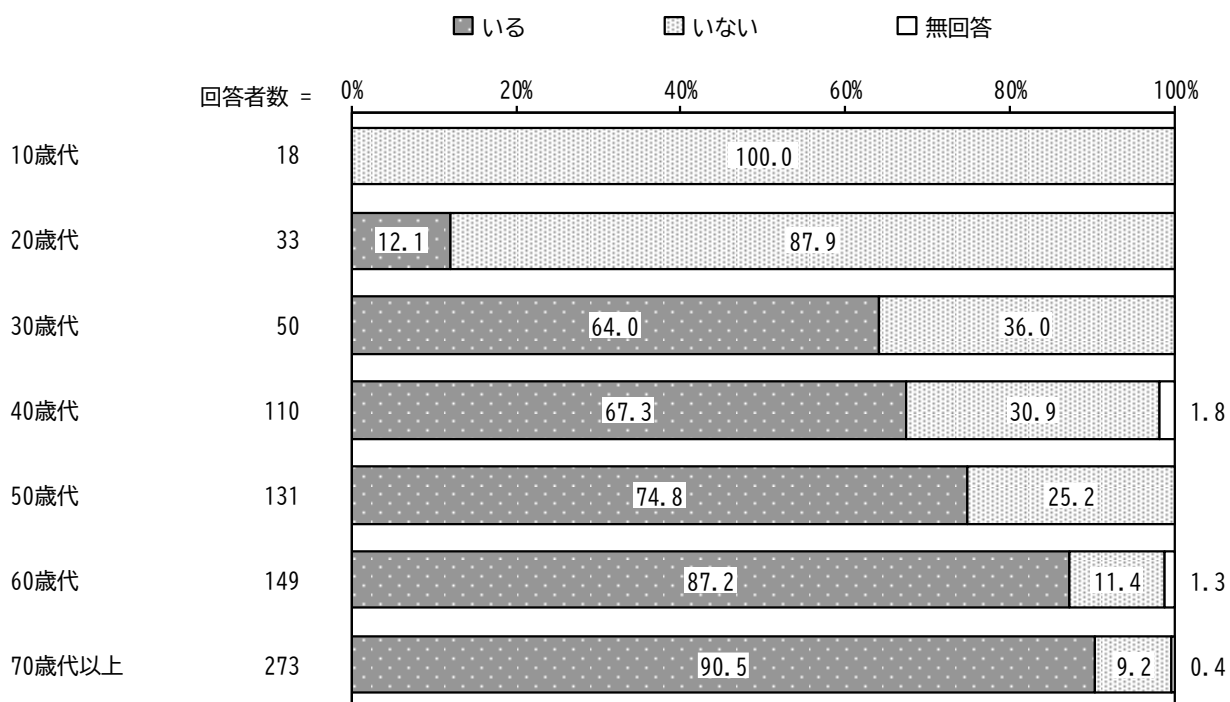
問3 子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

「いる」の割合が76.6%、「いない」の割合が22.8%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

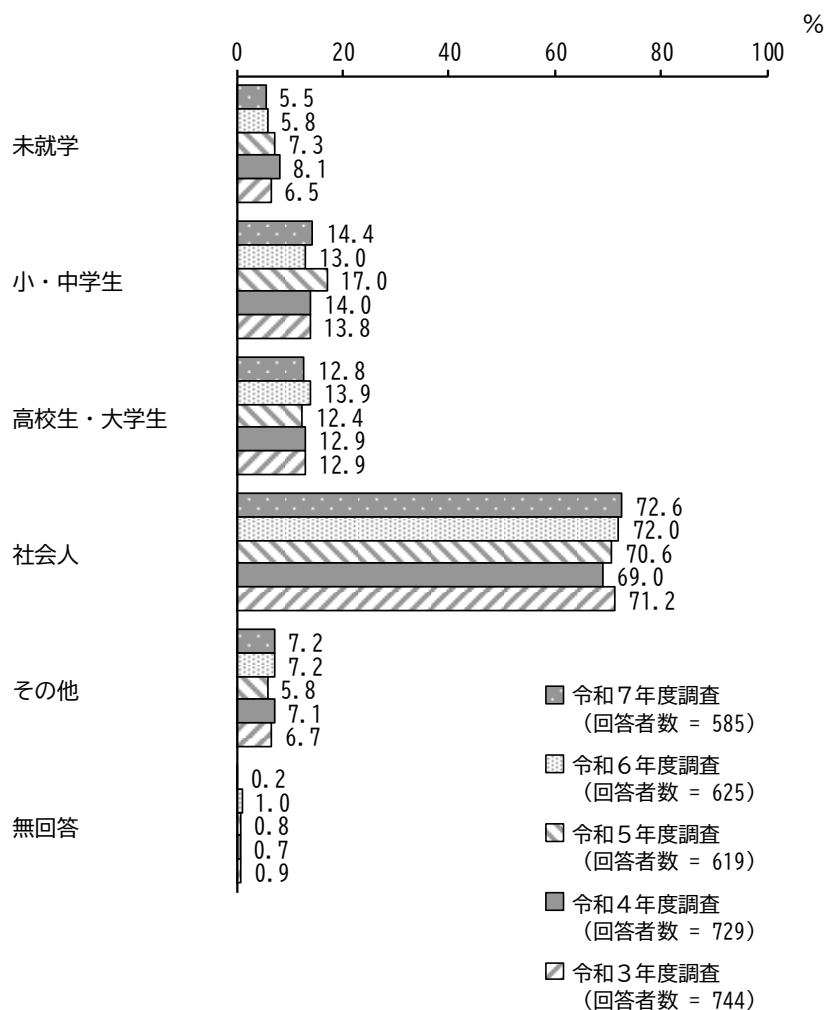
年代別にみると、「いない」の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



子どもの世代

「社会人」の割合が72.6%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が14.4%、「高校生・大学生」の割合が12.8%となっています。

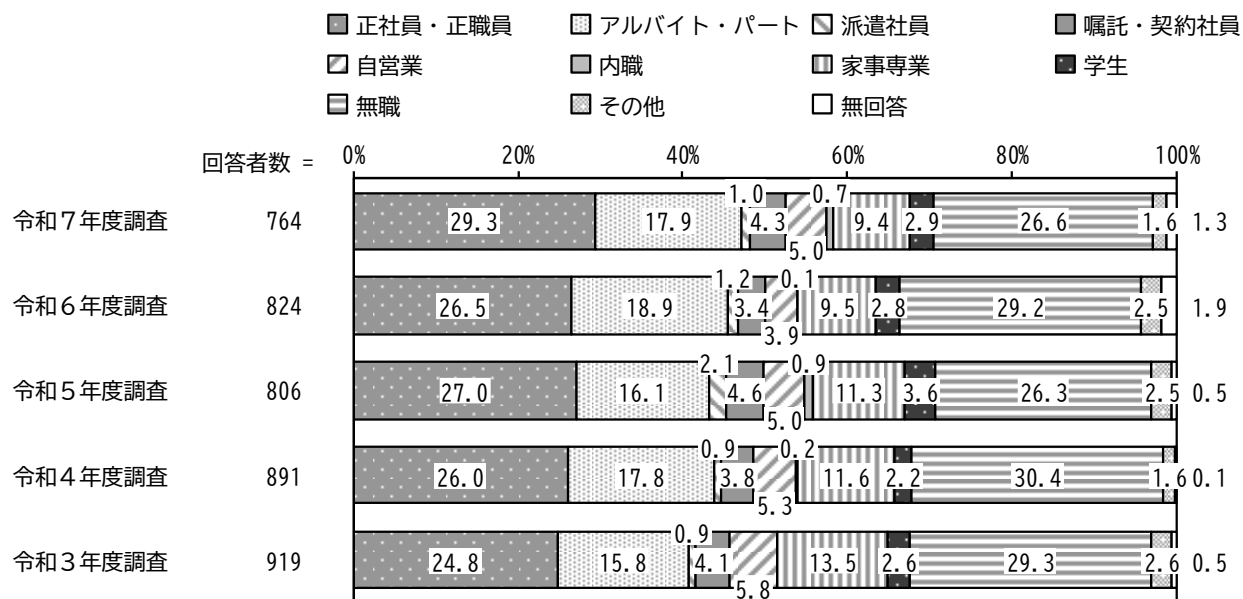
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「正社員・正職員」の割合が29.3%と最も高く、次いで「無職」の割合が26.6%、「アルバイト・パート」の割合が17.9%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

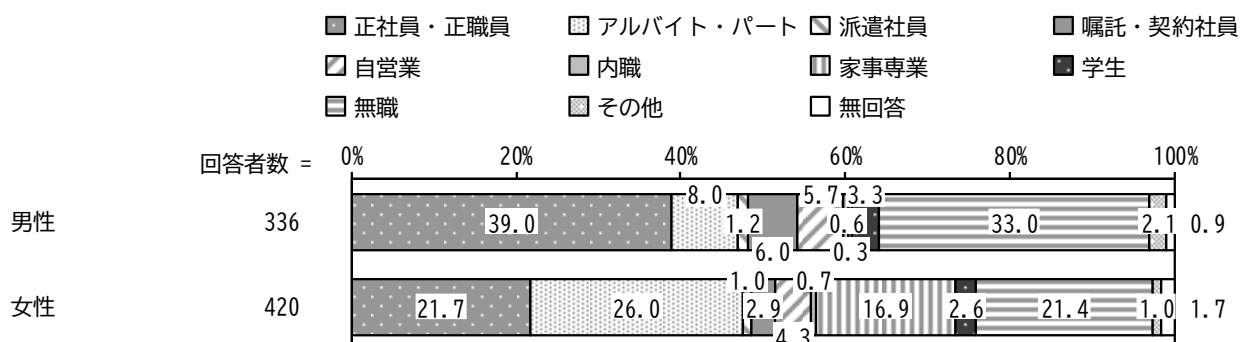


※令和3年度調査では、「内職」がありませんでした。

また「自営業」について、令和5年度調査以前では「自営業主（飲食店）」「自営業（飲食店以外）」を合わせた割合となっています。

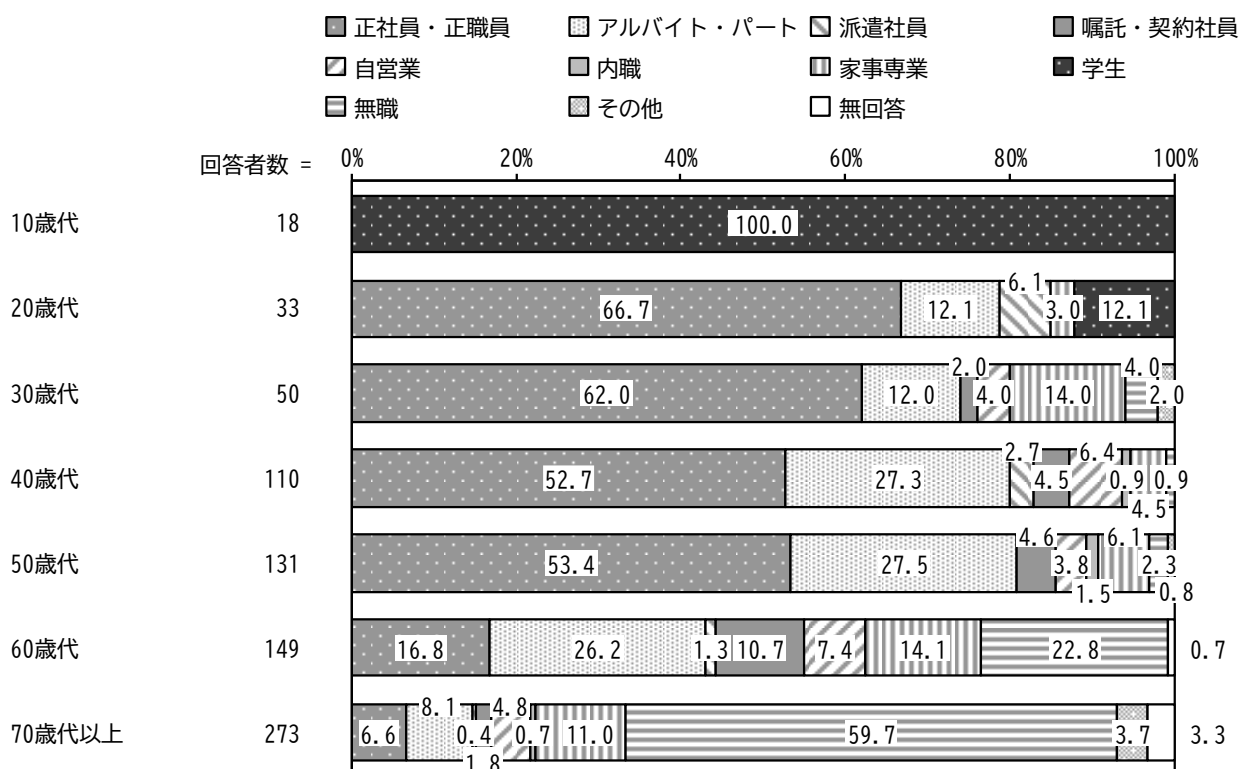
【性別】

性別にみると、「正社員・正職員」、「無職」の割合が男性で高く、「アルバイト・パート」、「家事専業」の割合が女性で高くなっています。



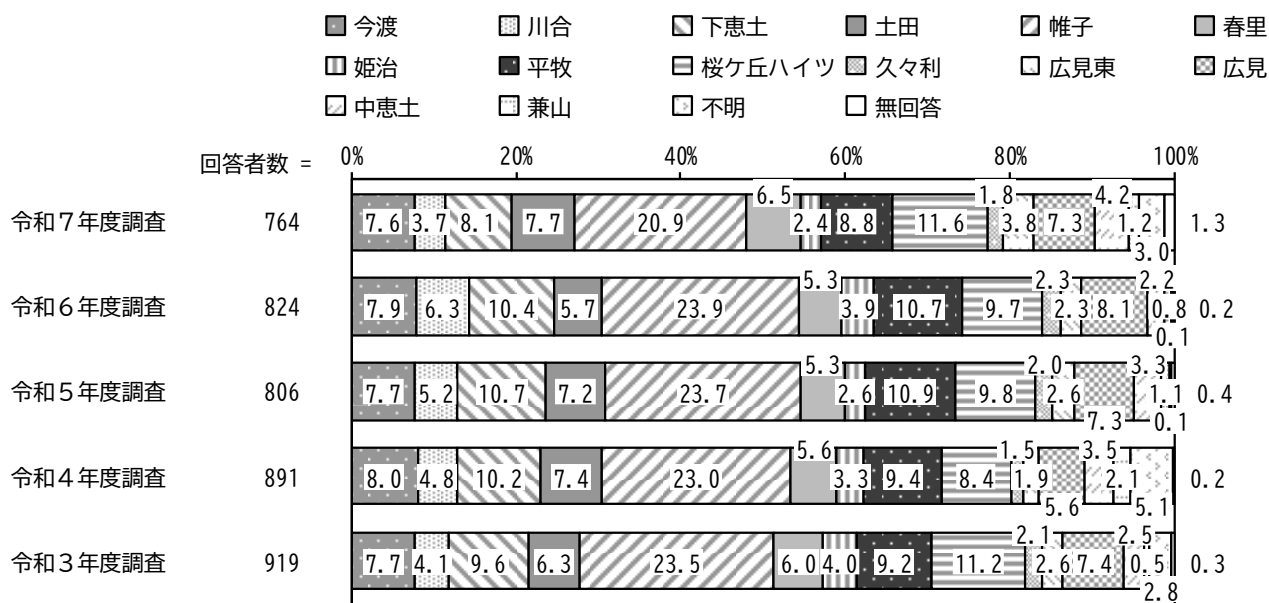
【年代別】

年代別にみると、「正社員・正職員」の割合が20歳代から70歳代以上にかけて低くなる傾向にあります。

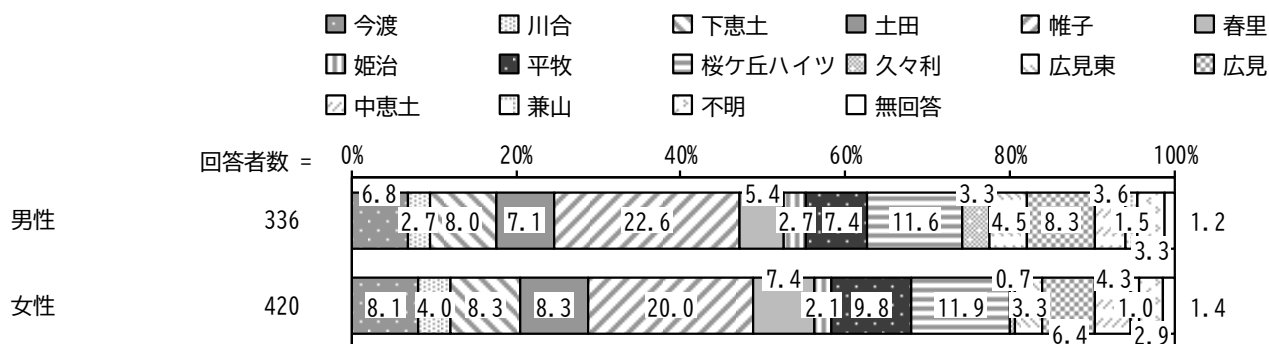


問5 どちらにお住まいですか。(自治連合会単位) (○は1つだけ)

「帷子」の割合が20.9%と最も高く、次いで「桜ヶ丘ハイツ」の割合が11.6%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

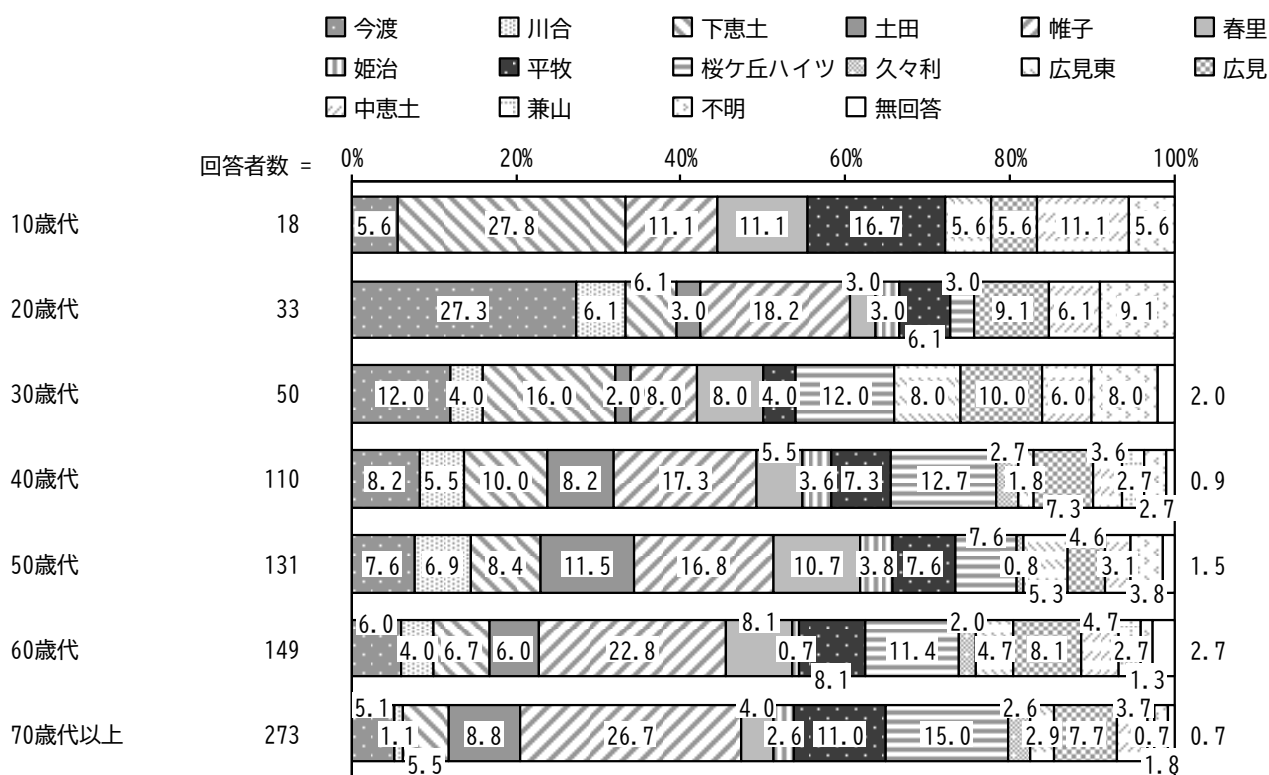


【性別】



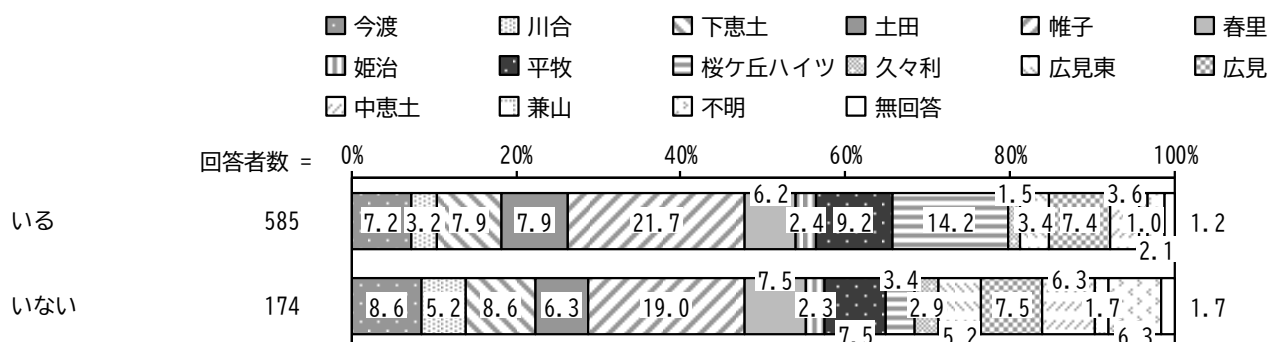
【年代別】

年代別にみると、「今渡」の割合が20歳代から70歳代以上にかけて低くなっています。



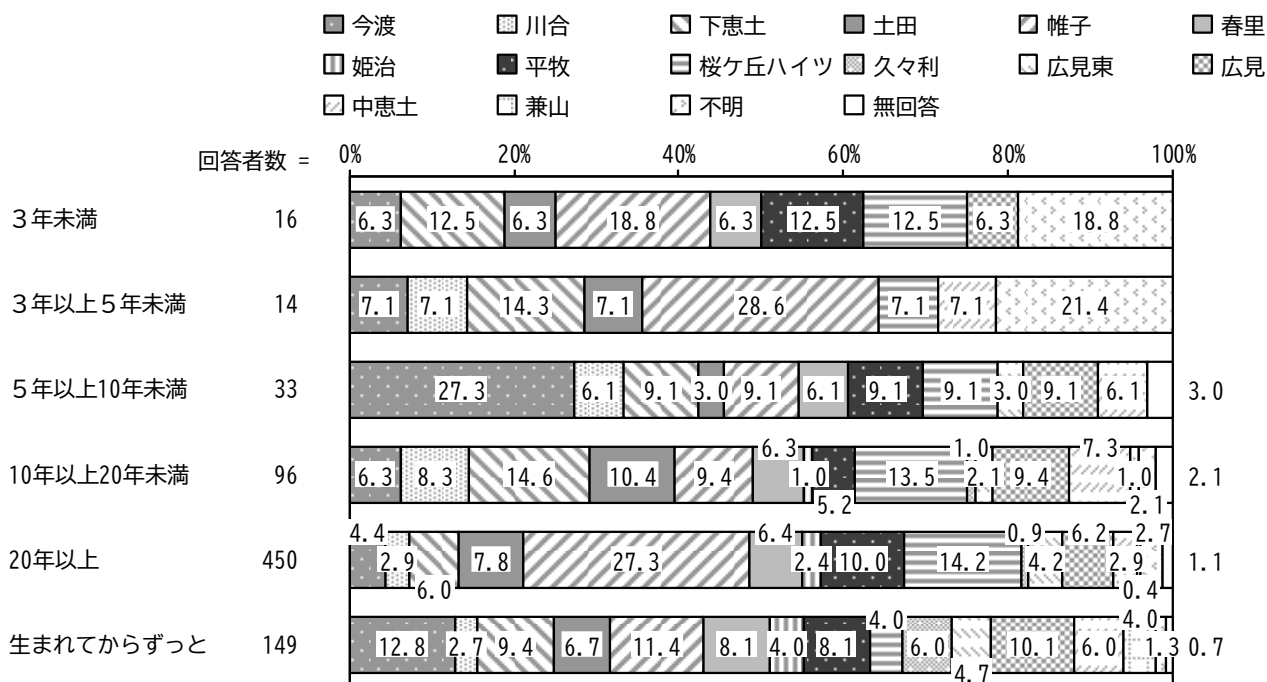
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「桜ヶ丘ハイツ」の割合が『いる』で高くなっています。



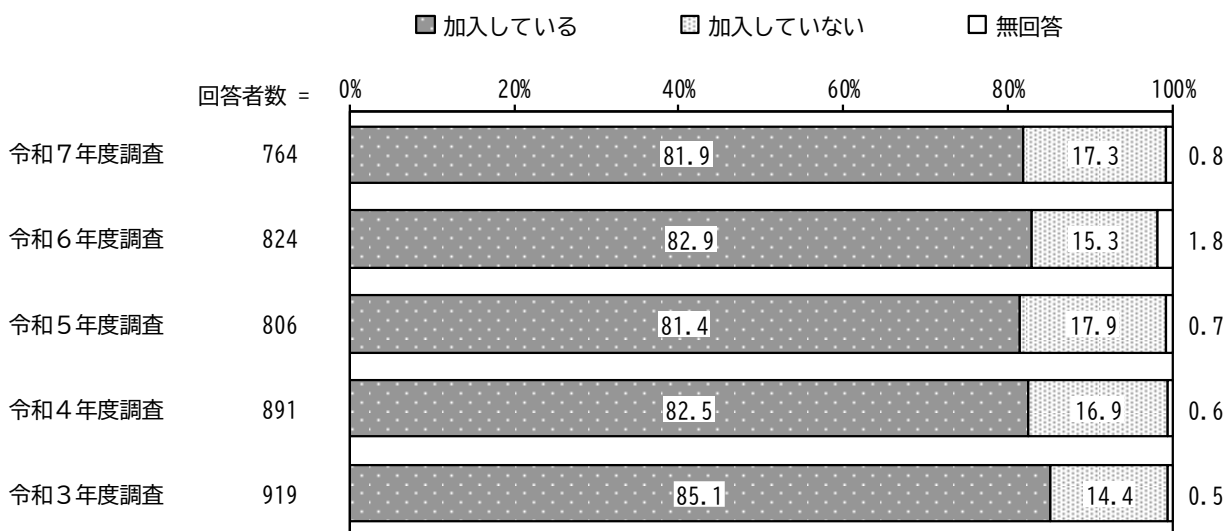
【居住年数別】

居住年数別にみると、「今渡」の割合が『5年以上10年未満』から『20年以上』にかけて低くなる傾向にあります。

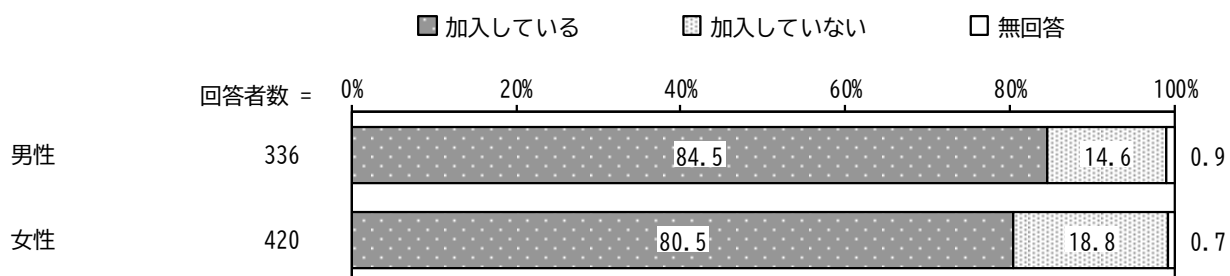


問6 お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

「加入している」の割合が81.9%、「加入していない」の割合が17.3%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

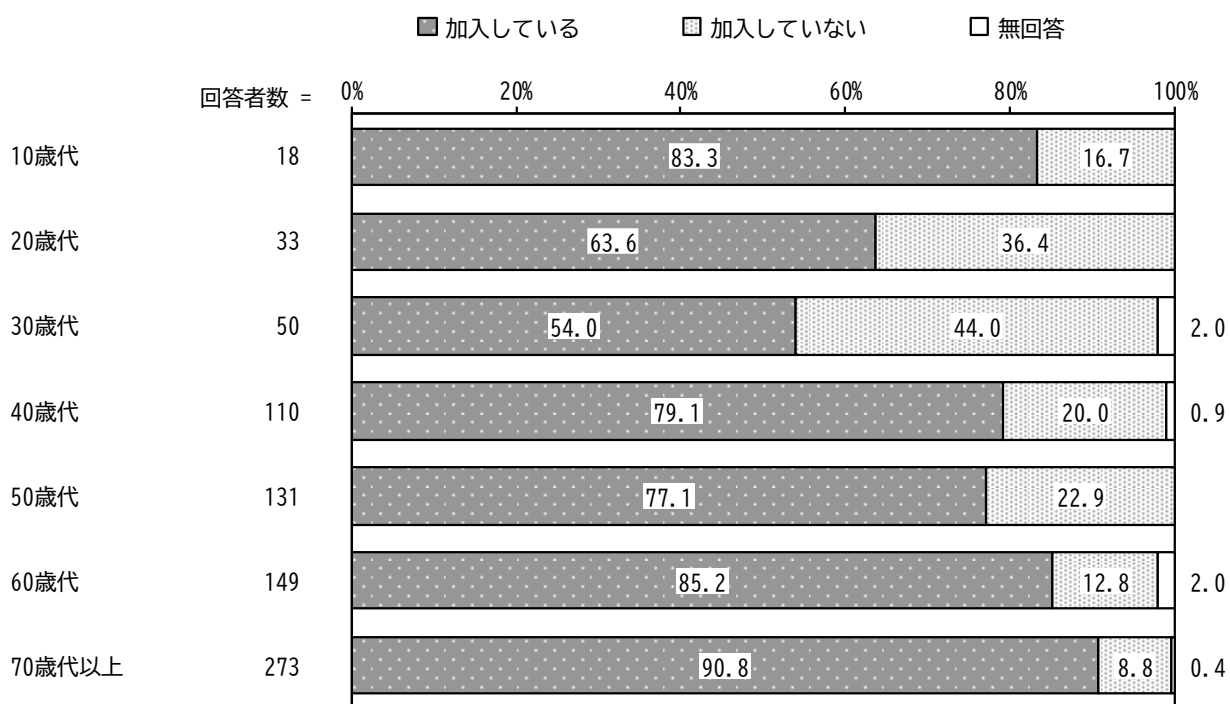


【性別】



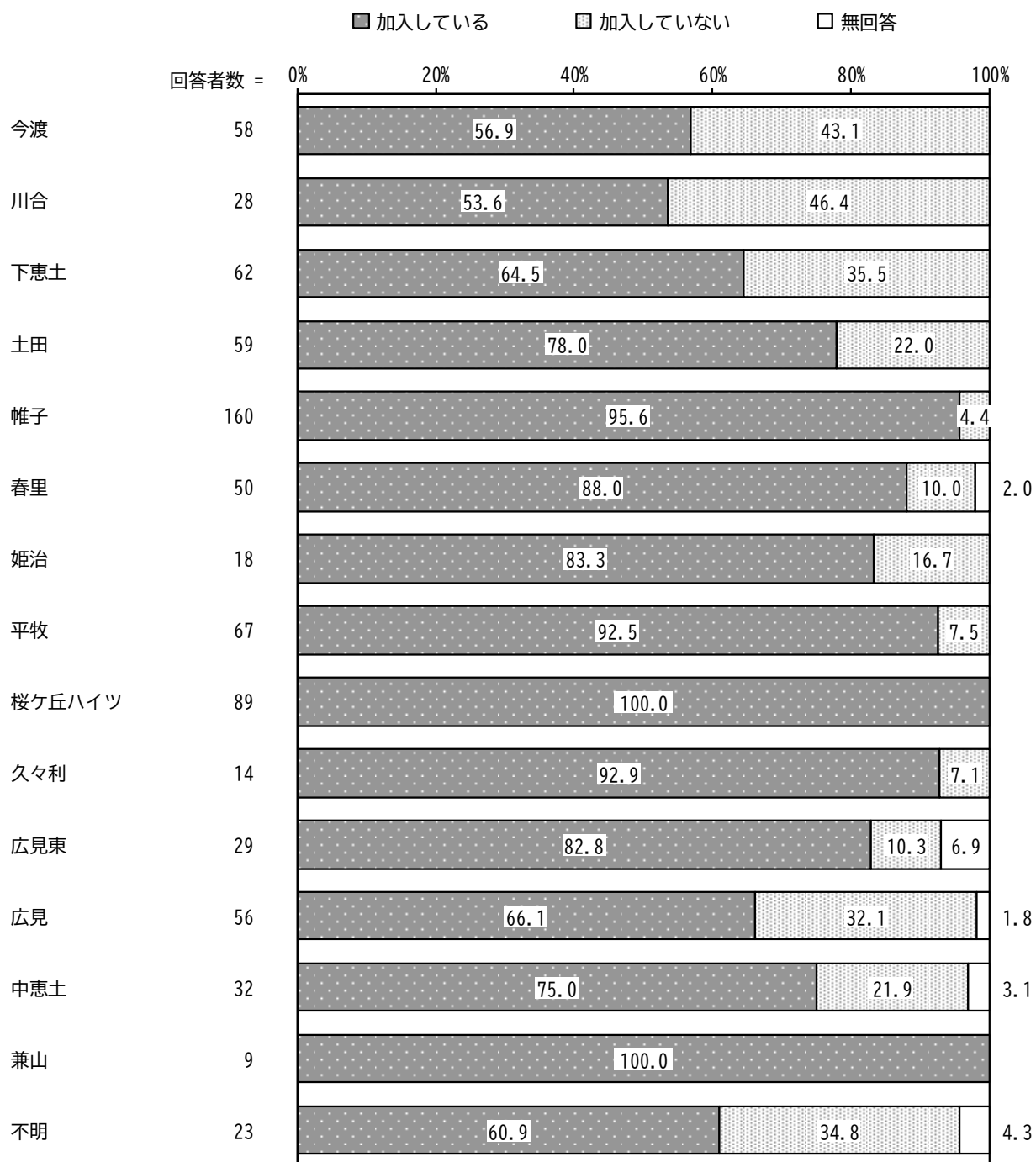
【年代別】

年代別にみると、「加入している」の割合が30歳代から70歳代以上にかけて高くなる傾向にあります。



【居住地区別】

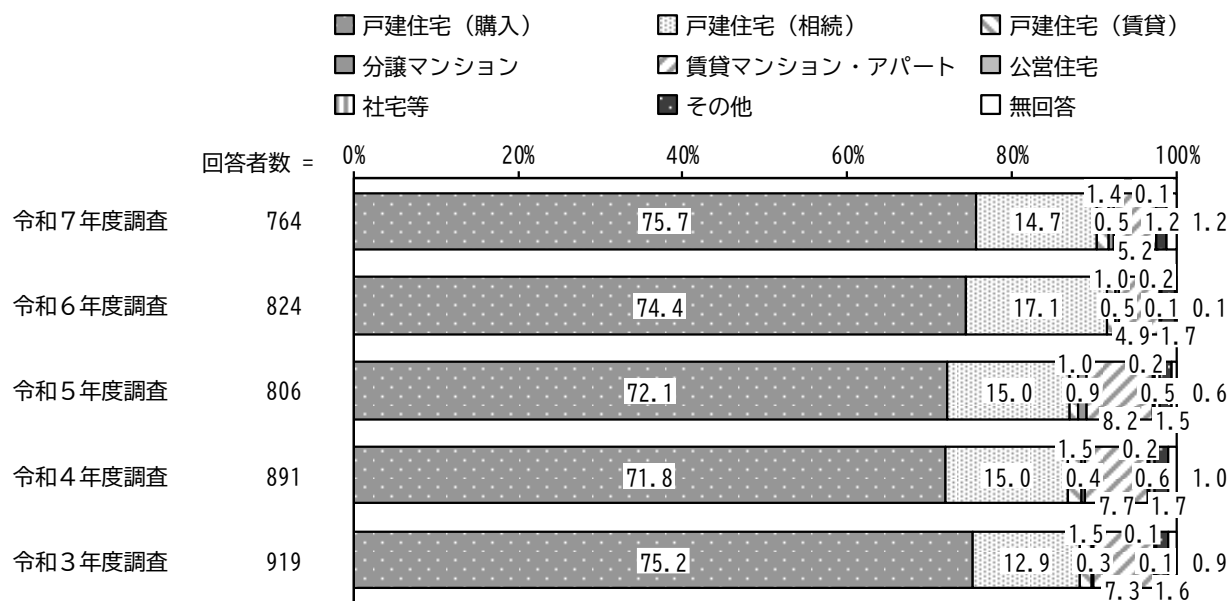
居住地区別にみると、「加入していない」の割合は「川合」が最も高く、次いで「今渡」となっています。



問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「戸建住宅（購入）」の割合が75.7%と最も高く、次いで「戸建住宅（相続）」の割合が14.7%となっています。

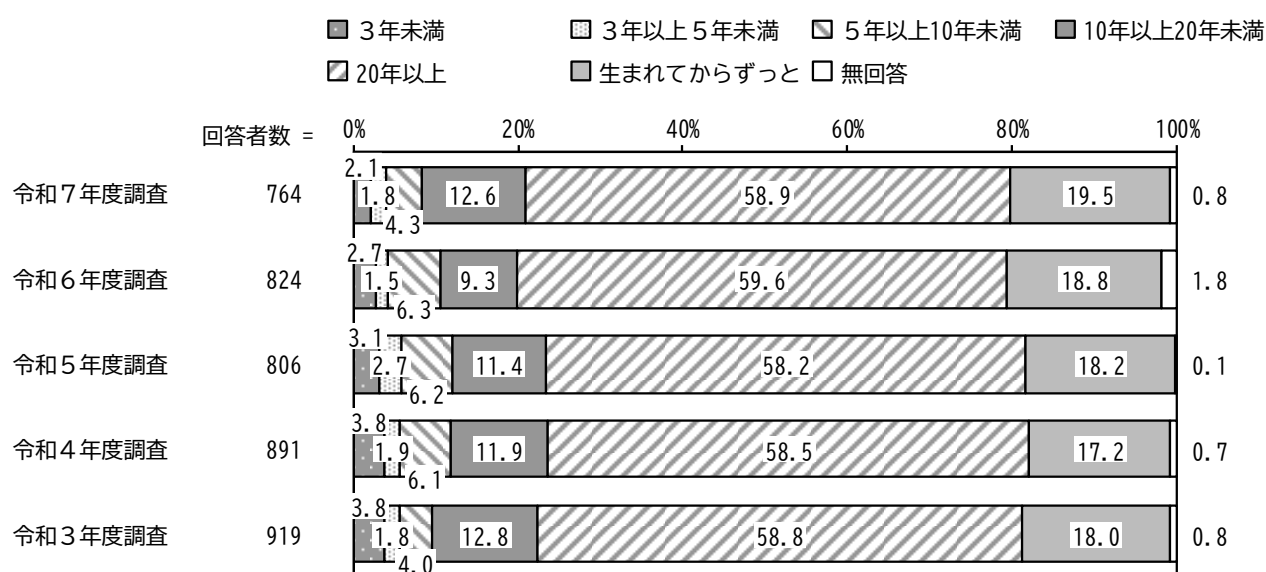
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 可児市（合併前の兼山町を含む）にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

「20年以上」の割合が58.9%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が19.5%、「10年以上20年未満」の割合が12.6%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



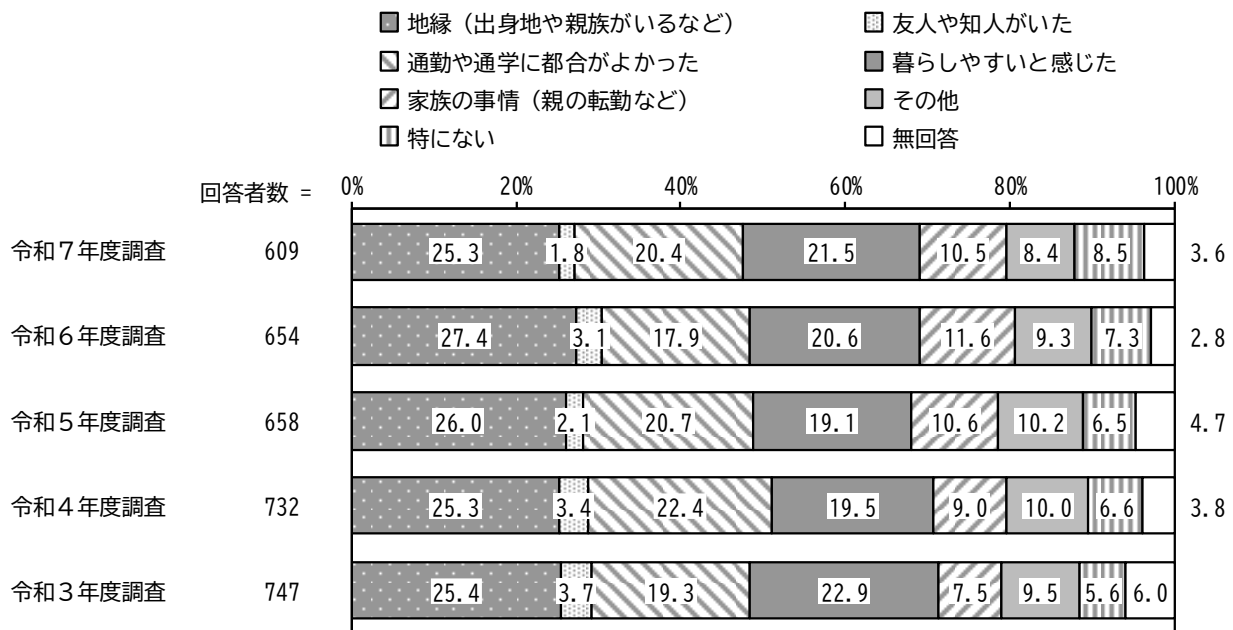
（２）可児市への居住理由について

【問８で１（３年未満）、２（３年以上５年未満）、３（５年以上１０年未満）、４（１０年以上２０年未満）、５（２０年以上）を選択された方に伺います】

問９ 可児市を居住地に選んだ理由は何ですか。（○は１つだけ）

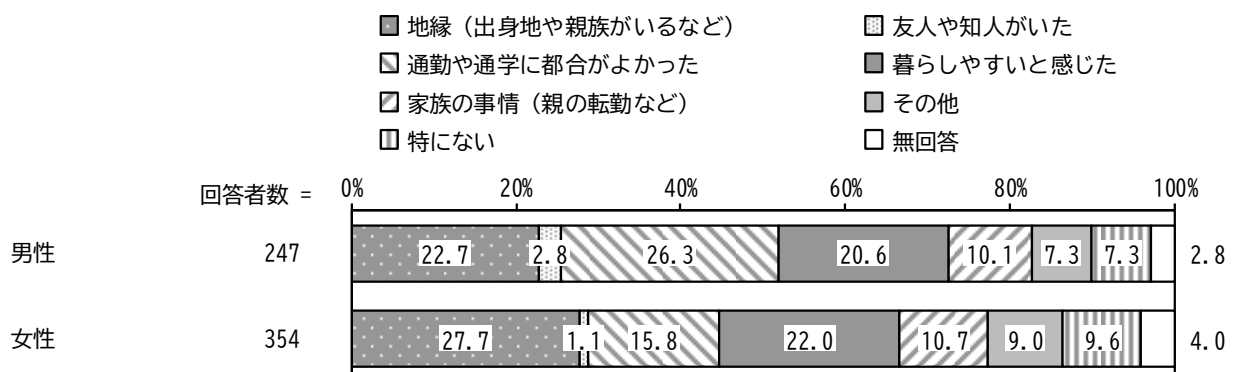
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「暮らしやすいと感じた」の割合が 21.5%、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が 20.4%となっています。

令和６年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



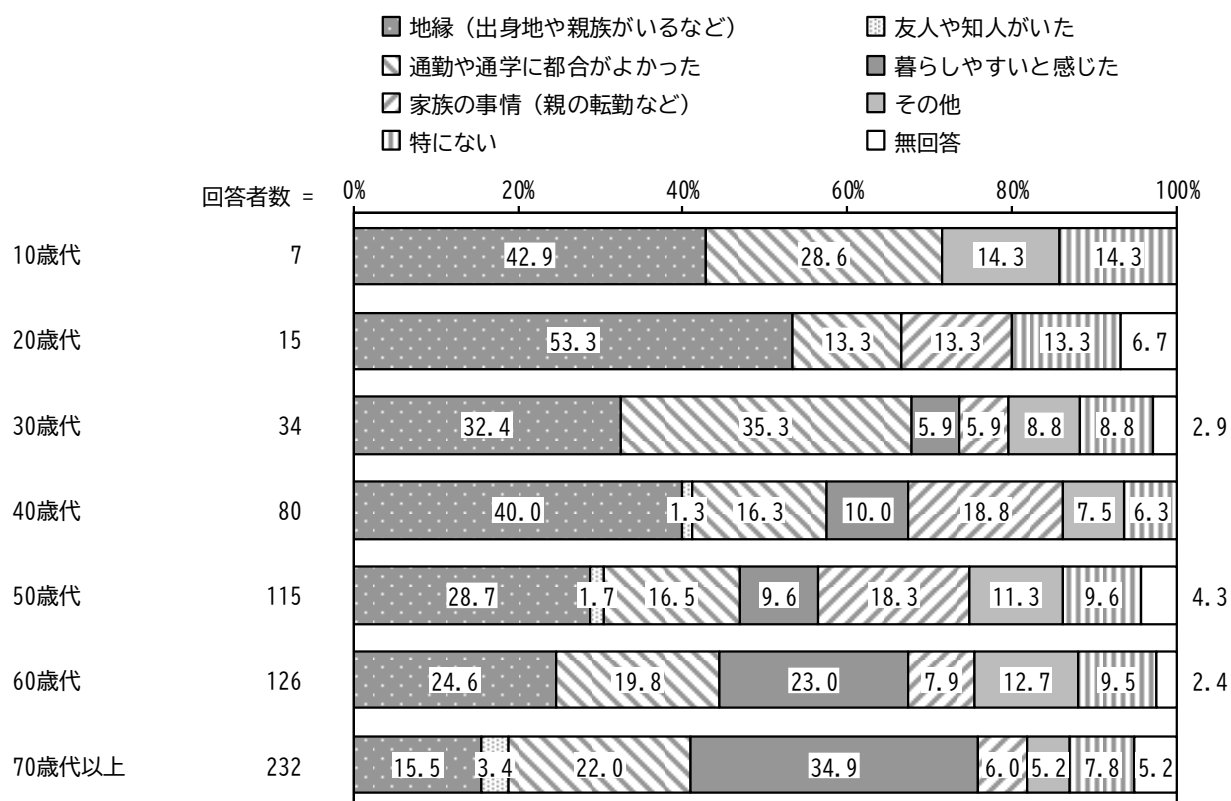
【性別】

性別にみると、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が男性で高く、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が女性で高くなっています。



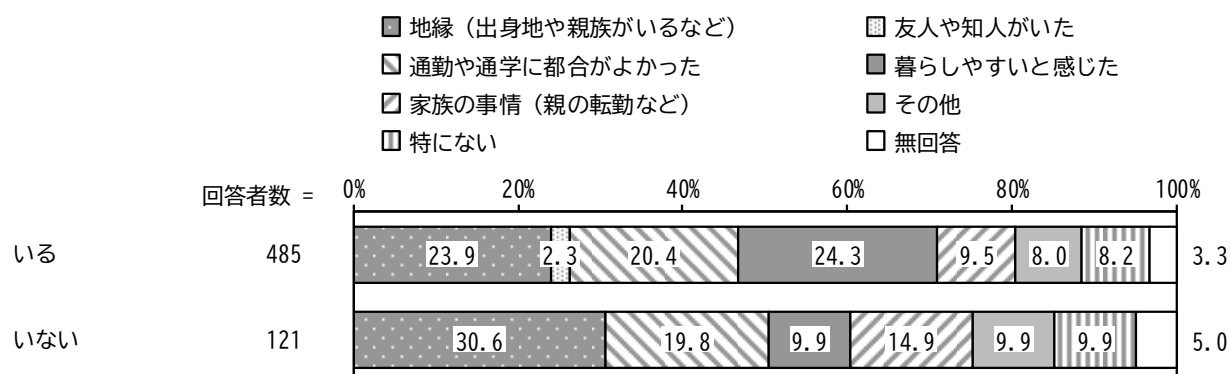
【年代別】

年代別にみると、「暮らしやすいと感じた」の割合が30歳代から70歳代以上にかけて高くなる傾向にあります。また、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が40歳代から70歳代以上にかけて低くなる傾向にあります。



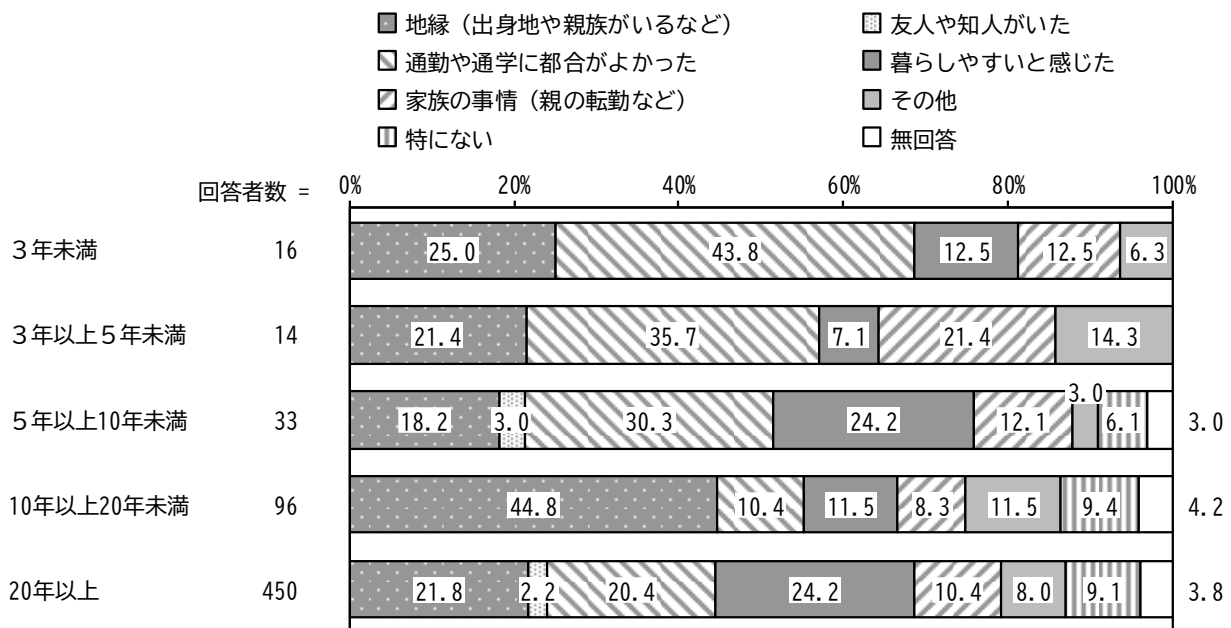
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「暮らしやすいと感じた」の割合が『いる』で高く、「地縁（出身地や親族がいるなど）」、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が『いない』で高くなっています。



【居住年数別】

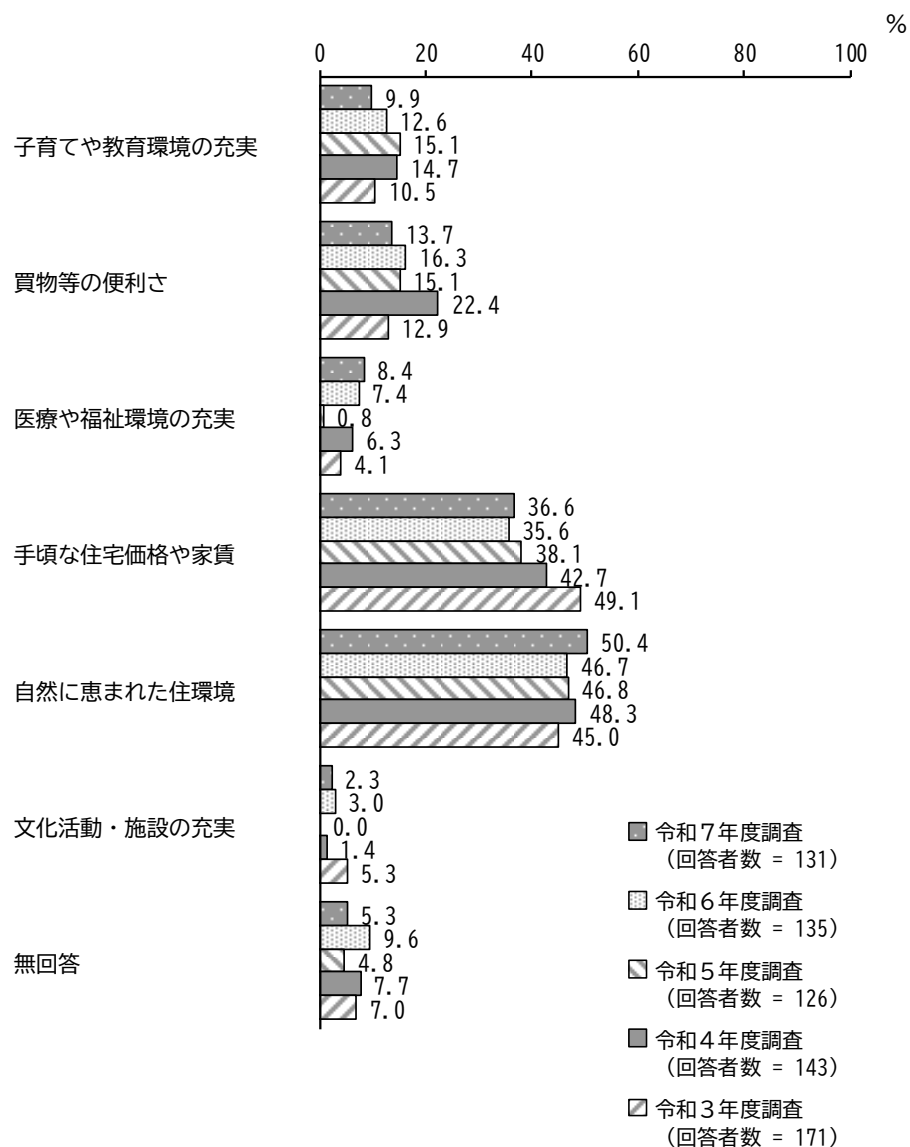
居住年数別にみると、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が『3年未満』から『10年以上20年未満』にかけて低くなっています。また、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が『10年以上20年未満』で高くなっています。



暮らしやすいと感じた理由

「自然に恵まれた住環境」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 36.6%、「買物等の便利さ」の割合が 13.7%となっています。

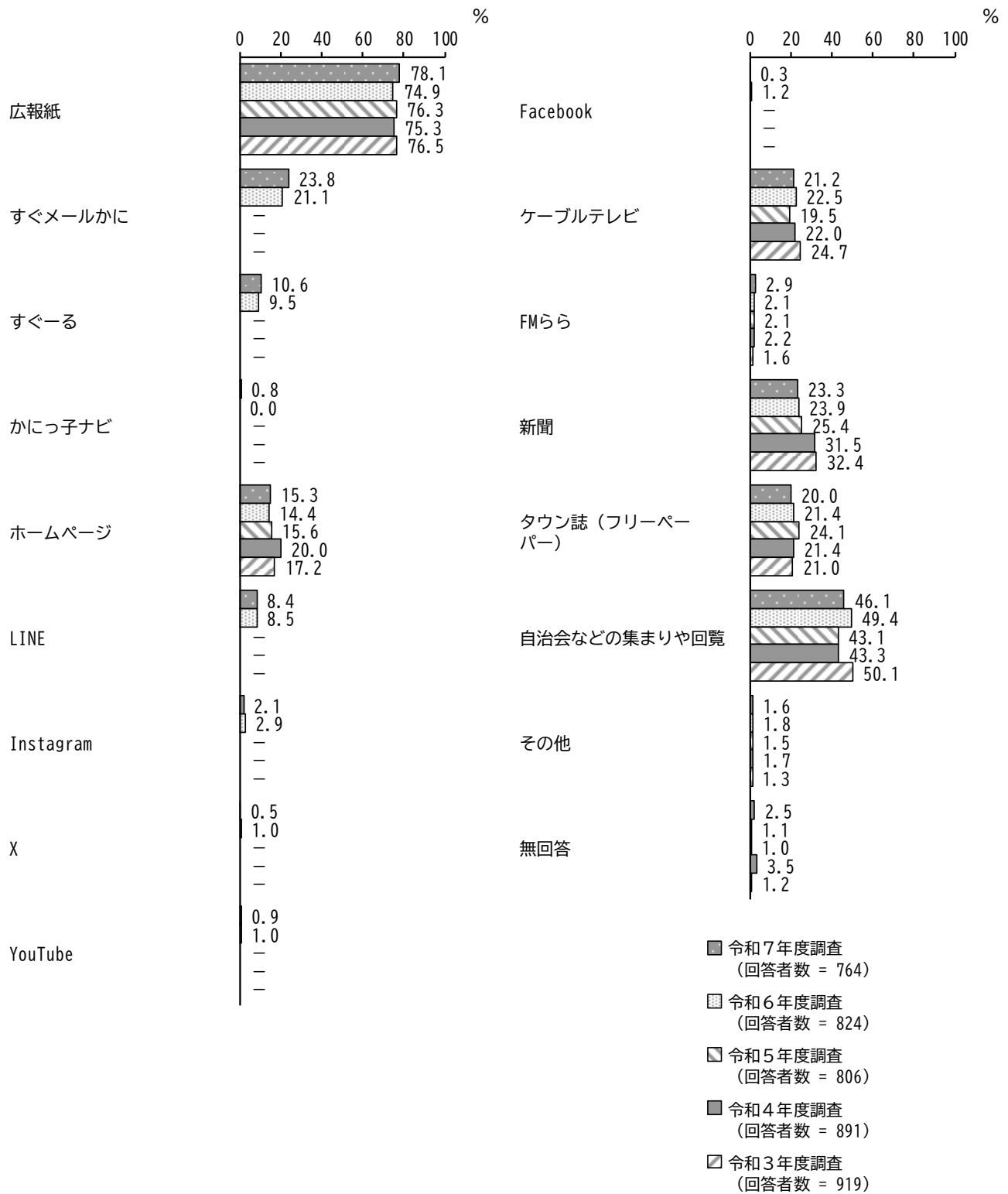
経年でみると、令和3年度調査以降「手頃な住宅価格や家賃」の割合が減少傾向にあります。



問10 日頃、市の情報をどの方法により収集していますか。(複数回答可)

「広報紙」の割合が78.1%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が46.1%、「すぐメールかに」の割合が23.8%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和5年度調査以前では、「すぐメールかに」、「すーる」、「LINE」、「かにっ子ナビ」、「Facebook」、「X(旧Twitter)」、「Instagram」、「YouTube」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「すぐメールかに」、「タウン誌(フリーペーパー)」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールかに	すぐメール	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X
全 体	764	78.1	23.8	10.6	0.8	15.3	8.4	2.1	0.5
男性	336	79.2	19.3	8.6	1.2	17.3	6.5	1.2	1.2
女性	420	77.9	27.1	12.1	0.5	13.6	10.0	2.9	0.0

区分	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら	新聞	タウン誌 (フリーペーパー)	自治会などの集まり や回覧	その他	無回答
全 体	0.9	0.3	21.2	2.9	23.3	20.0	46.1	1.6	2.5
男性	1.2	0.6	21.1	3.6	23.2	16.7	44.9	1.5	3.0
女性	0.5	0.0	21.7	2.4	23.6	22.9	47.4	1.4	2.1

【年代別】

年代別にみると、「ケーブルテレビ」の割合が 20 歳代から 70 歳代以上にかけて高くなっています。また、「広報紙」「自治会などの集まりや回覧」の割合が 30 歳代から 70 歳代以上にかけて高くなっています。

単位：％

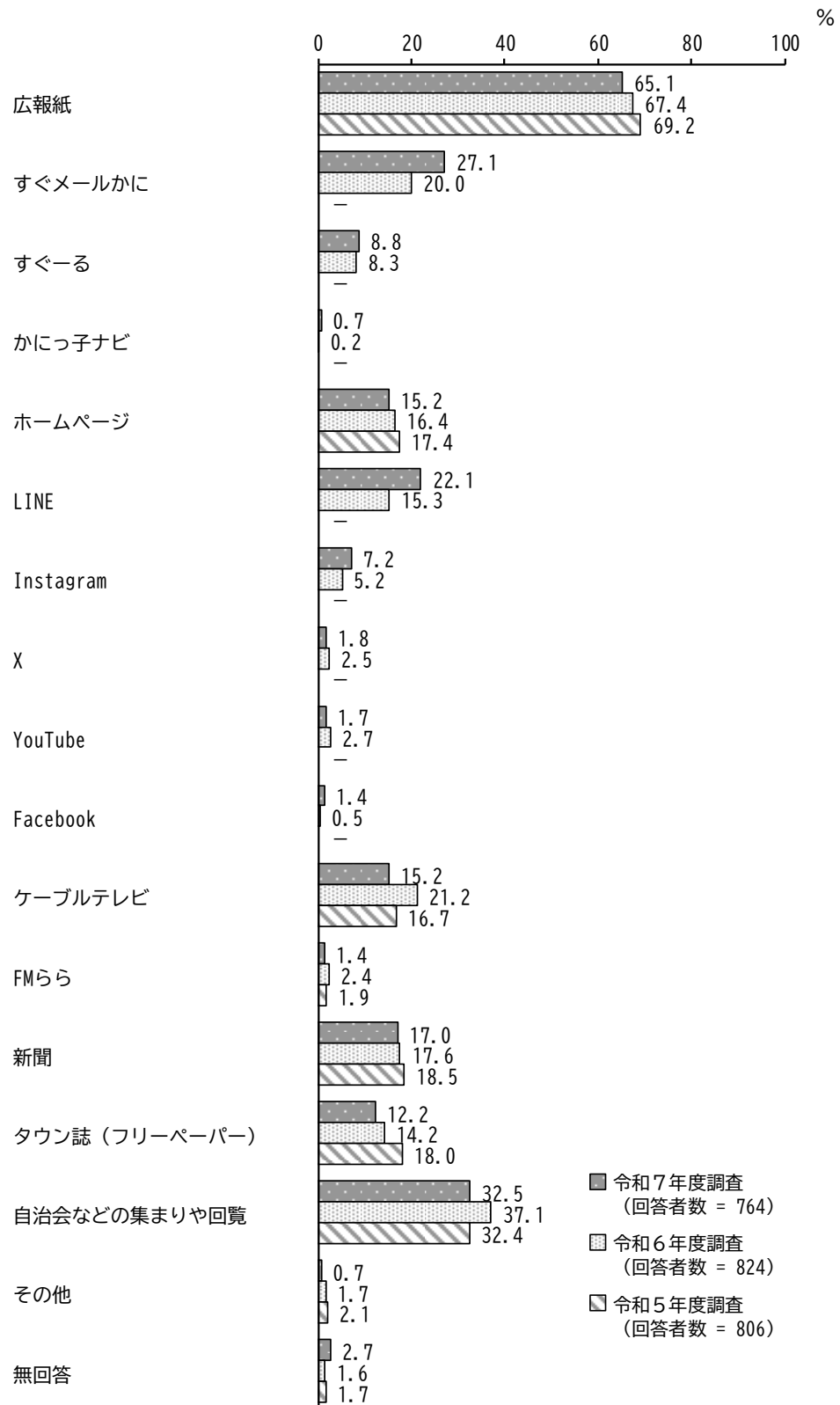
区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールに	すぐ見る	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X
全 体	764	78.1	23.8	10.6	0.8	15.3	8.4	2.1	0.5
10歳代	18	50.0	11.1	16.7	0.0	16.7	5.6	11.1	0.0
20歳代	33	72.7	12.1	0.0	3.0	18.2	12.1	3.0	0.0
30歳代	50	60.0	30.0	28.0	2.0	26.0	4.0	6.0	0.0
40歳代	110	70.0	35.5	38.2	0.9	22.7	10.9	7.3	1.8
50歳代	131	72.5	37.4	9.9	0.0	16.0	12.2	1.5	1.5
60歳代	149	82.6	22.8	3.4	1.3	14.1	11.4	0.0	0.0
70歳代以上	273	87.5	14.3	1.5	0.4	10.3	4.4	0.0	0.0

区分	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら	新聞	タウン誌 (フリーペーパー)	自治会などの集まり や回覧	その他	無回答
全 体	0.9	0.3	21.2	2.9	23.3	20.0	46.1	1.6	2.5
10歳代	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	5.6	38.9	5.6	16.7
20歳代	3.0	0.0	3.0	0.0	6.1	3.0	21.2	6.1	3.0
30歳代	0.0	0.0	8.0	2.0	2.0	24.0	12.0	6.0	2.0
40歳代	0.9	0.0	13.6	2.7	9.1	31.8	36.4	1.8	1.8
50歳代	1.5	0.0	20.6	1.5	16.0	29.0	43.5	1.5	0.0
60歳代	0.7	0.7	24.2	5.4	26.2	20.8	53.0	0.7	0.7
70歳代以上	0.7	0.4	27.5	2.9	37.7	12.8	57.1	0.4	4.0

問 11 市の情報をどの方法により受け取りたいですか。（複数回答可）

「広報紙」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が 32.5%、「すぐメールかに」の割合が 27.1%となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、「すぐメールかに」、「LINE」の割合が増加しています。



※令和 5 年度調査では、「すぐメールかに」、「すぐーる」、「LINE」、「かにっ子ナビ」、「Facebook」、「X (旧 Twitter)」、「Instagram」、「YouTube」がありませんでした。

また、「FM らら」については令和 5 年度調査では「コミュニティ FM」、令和 6 年度調査では「ラジオ」になっていました。

【性別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールに	すぐ見る	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X
全 体	764	65.1	27.1	8.8	0.7	15.2	22.1	7.2	1.8
男性	336	67.0	24.7	8.0	0.6	17.3	22.0	5.7	2.1
女性	420	63.3	28.8	9.3	0.5	13.3	22.6	8.6	1.7

区分	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FM555	新聞	タウン誌 (フリーペーパー)	自治会などの集まり や回覧	その他	無回答
全 体	1.7	1.4	15.2	1.4	17.0	12.2	32.5	0.7	2.7
男性	2.1	2.1	15.8	1.8	15.8	11.6	33.3	0.3	3.0
女性	1.4	1.0	14.8	1.2	18.1	12.9	32.1	1.0	2.6

【年代別】

年代別にみると、「広報紙」の割合が年齢が上がるほど高くなっています。

単位：％

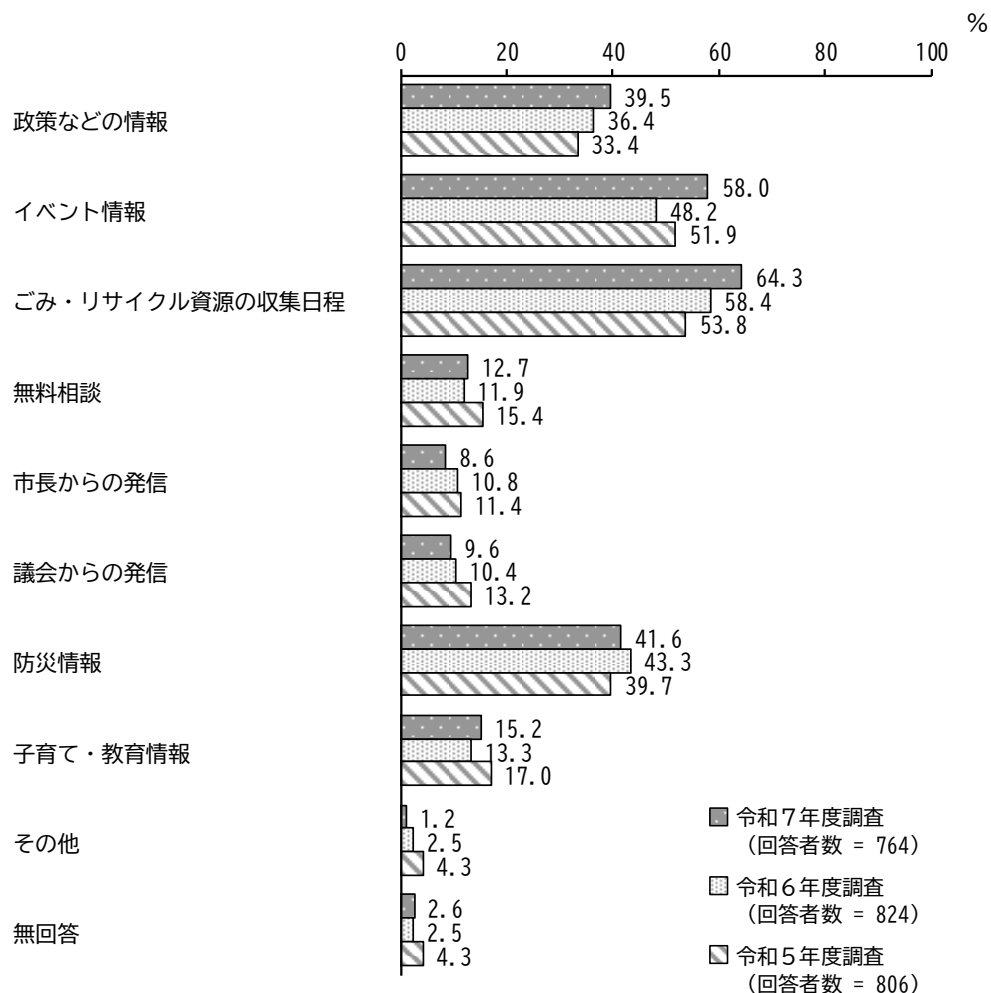
区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールかに	すぐ見る	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X
全 体	764	65.1	27.1	8.8	0.7	15.2	22.1	7.2	1.8
10歳代	18	27.8	16.7	16.7	0.0	11.1	22.2	33.3	5.6
20歳代	33	33.3	21.2	0.0	0.0	15.2	39.4	21.2	0.0
30歳代	50	44.0	26.0	24.0	2.0	28.0	32.0	26.0	6.0
40歳代	110	45.5	30.9	30.9	0.9	18.2	35.5	10.9	2.7
50歳代	131	57.3	41.2	9.2	1.5	17.6	31.3	8.4	3.8
60歳代	149	73.2	32.2	4.0	0.0	18.8	18.8	3.4	0.7
70歳代以上	273	82.4	17.6	0.0	0.4	8.8	10.3	0.4	0.4

区分	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら	新聞	タウン誌 (フリーペーパー)	自治会などの集まり や回覧	その他	無回答
全 体	1.7	1.4	15.2	1.4	17.0	12.2	32.5	0.7	2.7
10歳代	5.6	0.0	11.1	0.0	5.6	11.1	22.2	0.0	5.6
20歳代	6.1	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	3.0	9.1	0.0
30歳代	4.0	0.0	12.0	0.0	4.0	12.0	8.0	0.0	0.0
40歳代	0.9	0.9	6.4	0.9	1.8	20.9	17.3	0.9	3.6
50歳代	1.5	1.5	13.0	1.5	10.7	15.3	23.7	0.8	0.8
60歳代	2.7	2.0	16.8	2.0	18.8	13.4	37.6	0.0	2.0
70歳代以上	0.4	1.8	21.6	1.8	29.3	7.0	48.7	0.0	4.4

問12 市の情報のうち、どれに興味がありますか。(複数回答可)

「ごみ・リサイクル資源の収集日程」の割合が64.3%と最も高く、次いで「イベント情報」の割合が58.0%、「防災情報」の割合が41.6%となっています。

経年でみると、令和5年度調査以降「政策などの情報」「イベント情報」「ごみ・リサイクル資源の収集日程」の割合が増加傾向にあります。



【性別】

性別にみると、「政策などの情報」、「議会からの発信」の割合が男性で高く、「イベント情報」、「ごみ・リサイクル資源の収集日程」、「防災情報」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	政策などの情報	イベント情報	ごみ・リサイクル資源の収集日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
全 体	764	39.5	58.0	64.3	12.7	8.6	9.6	41.6	15.2	1.2	2.6
男性	336	45.8	53.6	61.0	11.6	9.8	12.2	37.8	13.4	0.6	3.0
女性	420	34.5	61.9	66.7	13.3	7.6	7.1	44.5	16.7	1.7	2.4

【年代別】

年代別にみると、「イベント情報」の割合が年齢が下がるほど高くなる傾向にあります。また、30 歳代で「子育て・教育情報」、50 歳代で「防災情報」、50 歳代以上で「ごみ・リサイクル資源の収集日程」の割合が高くなっています。

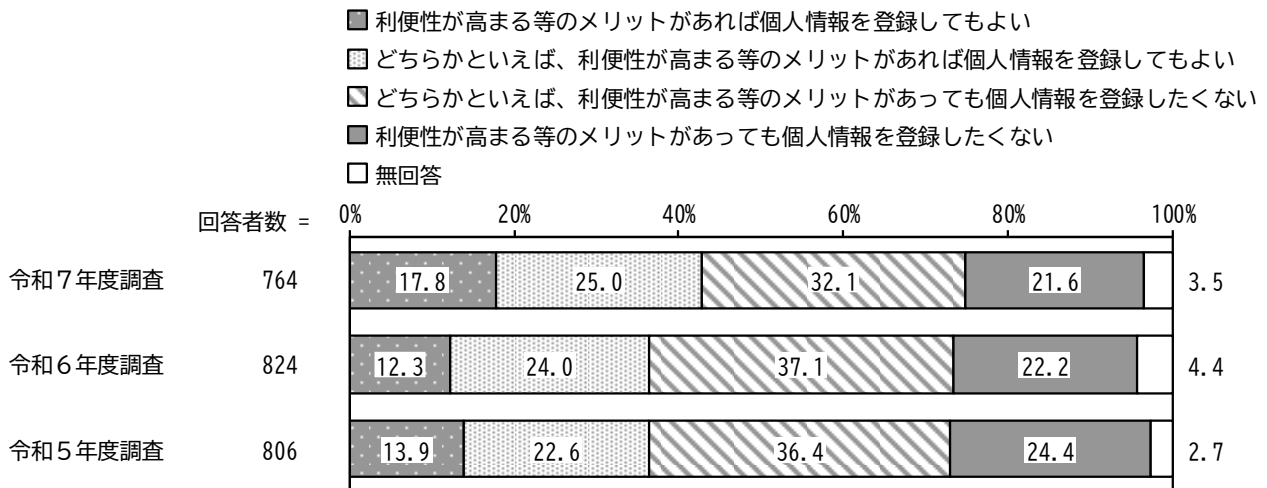
単位：％

区分	回答者数 (件)	政策などの情報	イベント情報	ごみ・リサイクル資源の収集日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
全 体	764	39.5	58.0	64.3	12.7	8.6	9.6	41.6	15.2	1.2	2.6
10歳代	18	11.1	77.8	16.7	5.6	0.0	11.1	22.2	27.8	0.0	5.6
20歳代	33	27.3	72.7	30.3	12.1	0.0	0.0	21.2	24.2	0.0	0.0
30歳代	50	46.0	66.0	62.0	4.0	4.0	10.0	38.0	56.0	0.0	0.0
40歳代	110	29.1	68.2	58.2	11.8	7.3	4.5	30.9	40.9	2.7	2.7
50歳代	131	41.2	59.5	74.0	18.3	9.9	13.7	51.1	11.5	1.5	0.0
60歳代	149	34.2	57.0	71.1	13.4	4.0	5.4	45.6	2.7	2.0	2.0
70歳代以上	273	48.0	49.1	65.9	12.1	13.6	12.8	43.6	4.0	0.4	4.8

問 13 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、オンラインでの個人情報の登録について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(○は1つだけ)

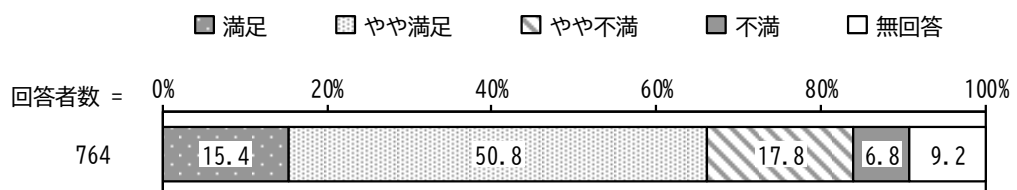
「利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」を合わせた“登録してもよい”の割合が42.8%、「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない」「利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない」を合わせた“登録したくない”の割合が53.7%となっています。

経年でみると、令和5年度調査以降“登録したくない”の割合が減少しています。



問 14 市の行政サービスのデジタル化の取り組みについて、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

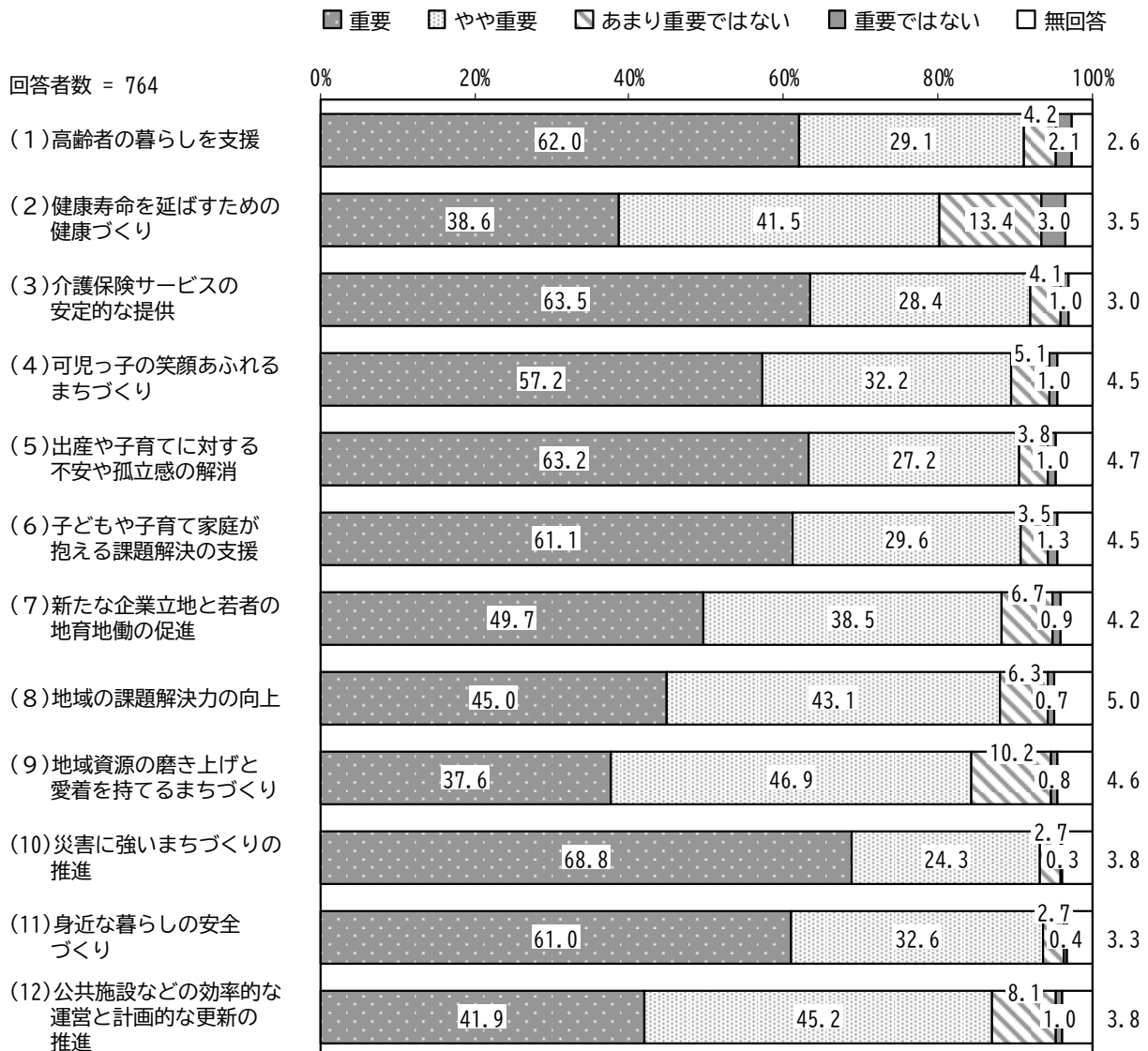
「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が66.2%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が24.6%となっています。



(3) 施策の重要度と満足度について

問 15 市政経営計画の重点施策である以下の(1)～(12)の各施策について、今後の可児市にとってどの程度重要だと思うか、あなたの考えに近いものを「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」から選び、○印をつけてください。

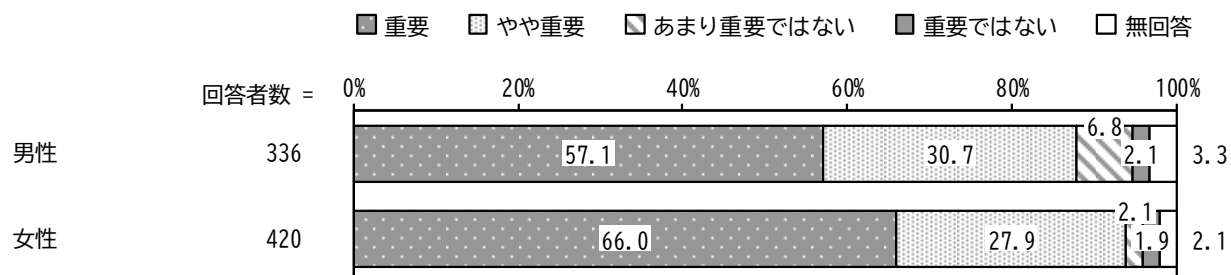
『(11)身近な暮らしの安全づくり』で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が高くなっています。一方、『(2)健康寿命を延ばすための健康づくり』で「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた“重要ではない”が高くなっています。



（１）高齢者の暮らしを支援

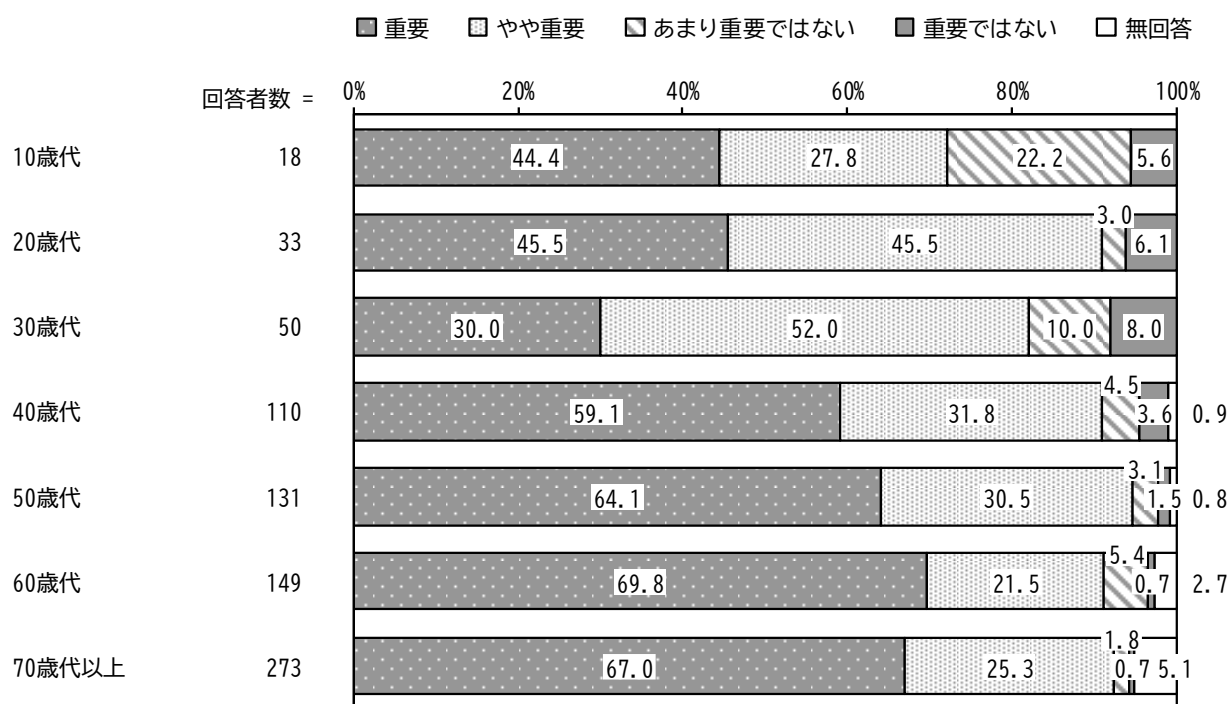
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



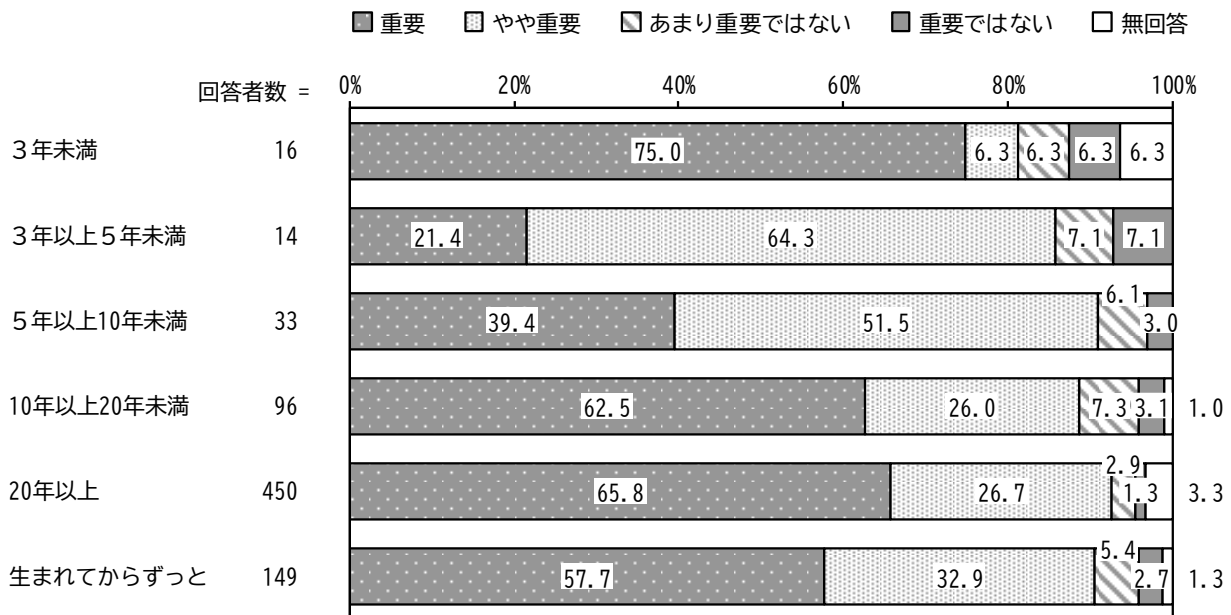
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が30歳代から60歳代にかけて高くなっています。



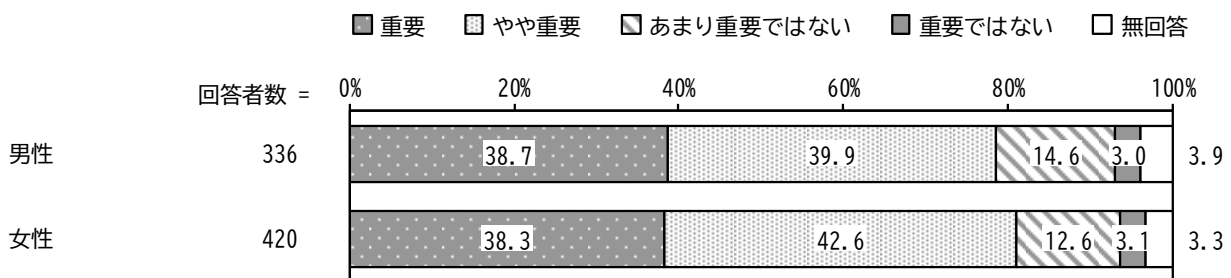
【居住年数別】

居住年数別にみると、“重要”の割合が『3年以上5年未満』から『20年以上』にかけて高くなる傾向にあります。



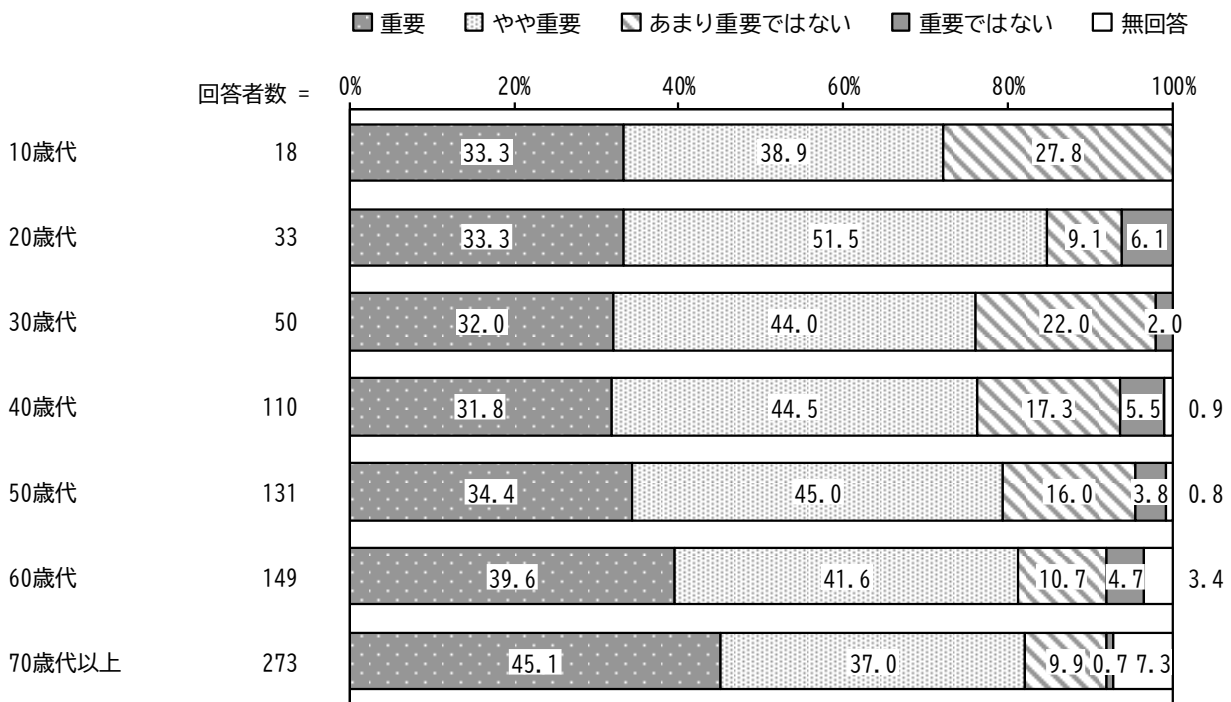
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり

【性別】



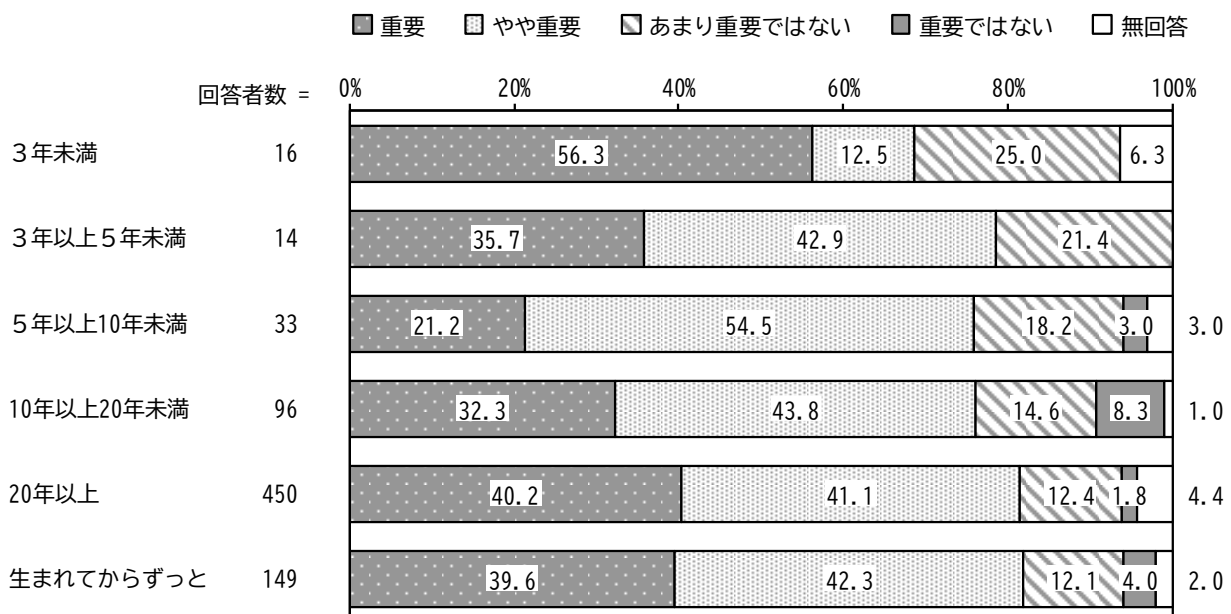
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が30歳代から70歳代以上にかけて高くなっています。



【居住年数別】

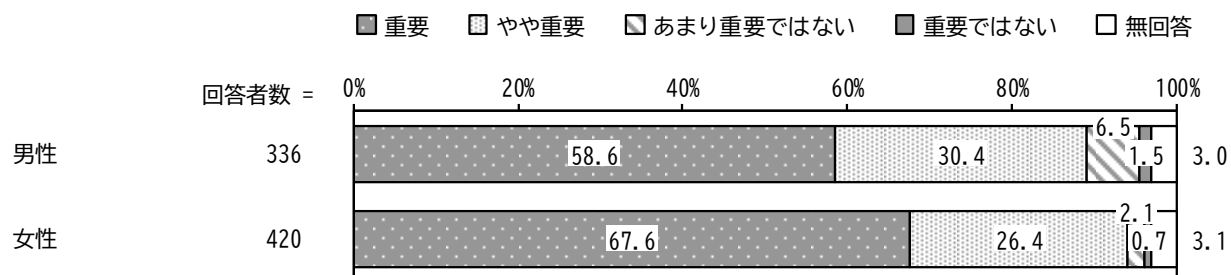
居住年数別にみると、「重要」の割合が『5年以上10年未満』で低くなっています。



（３）介護保険サービスの安定的な提供

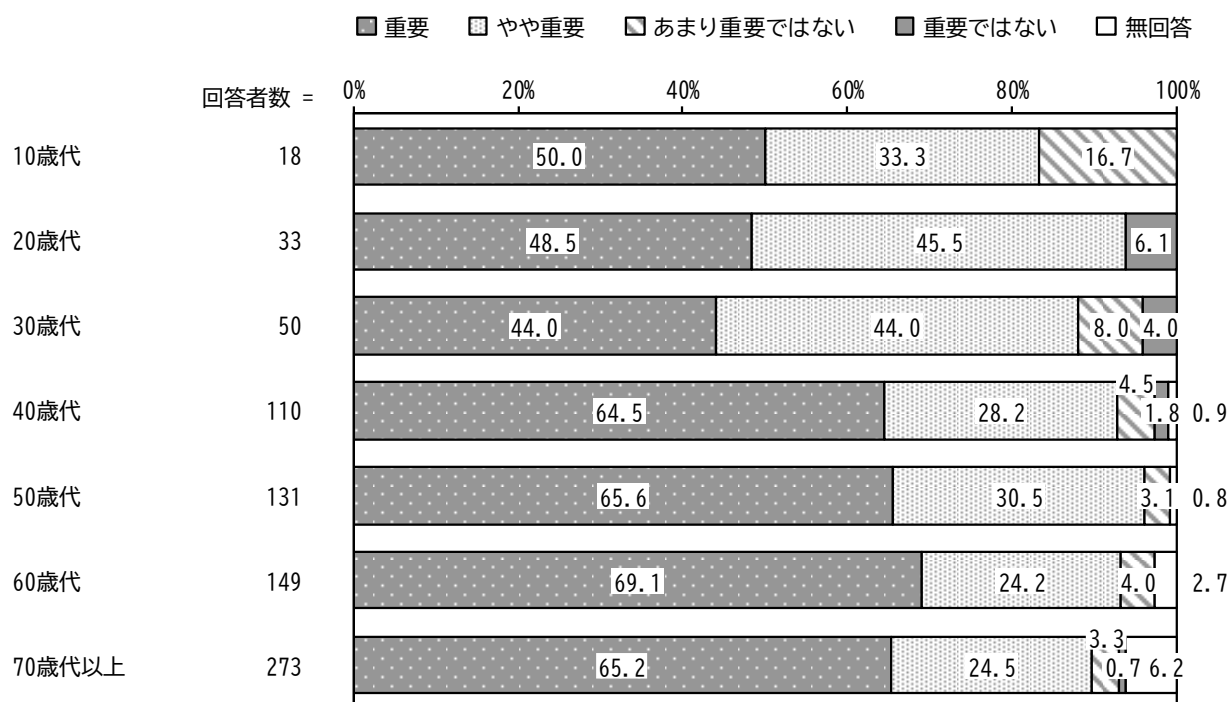
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



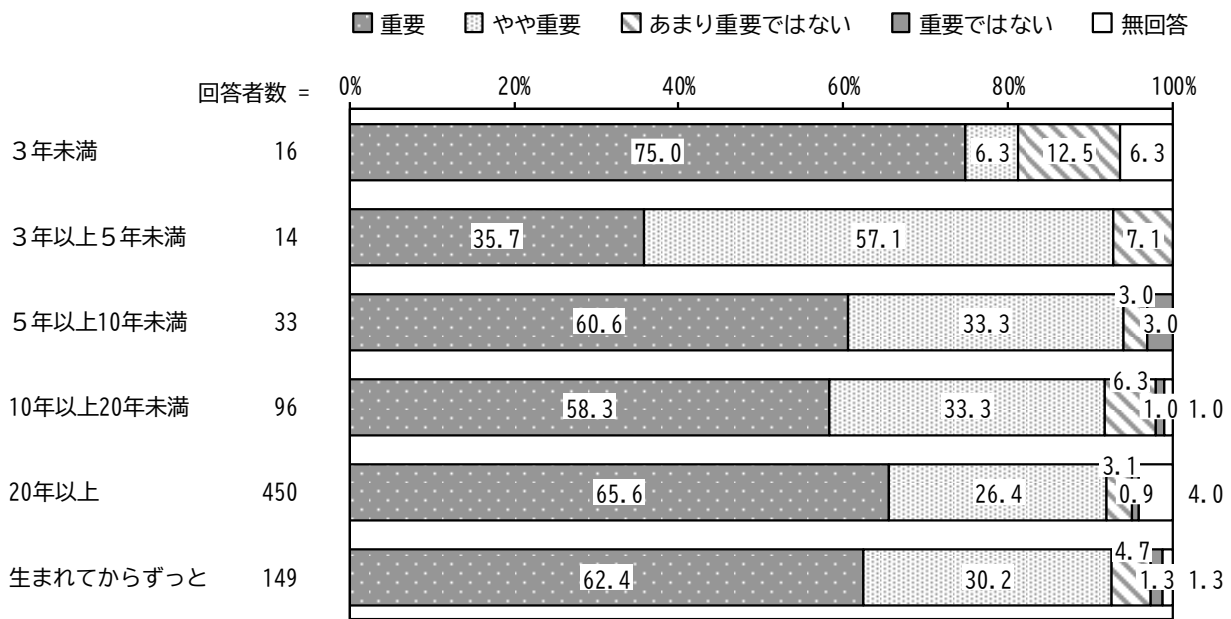
【年代別】

年代別にみると、「やや重要」の割合が20歳代から60歳代にかけて低くなる傾向にあります。



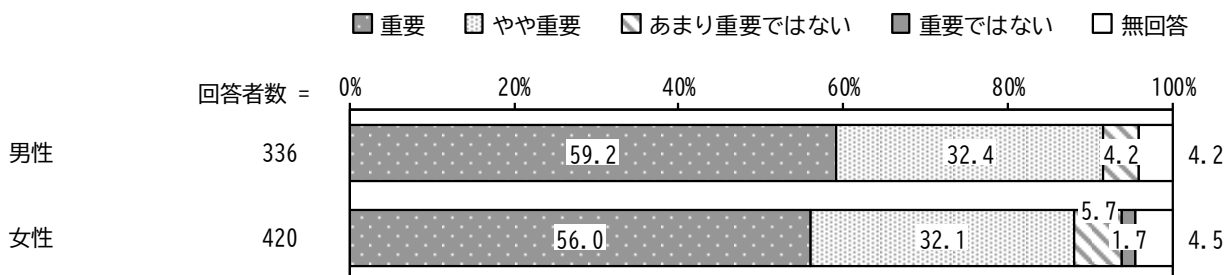
【居住年数別】

居住年数別にみると、“重要”の割合が『3年未満』で低くなっています。



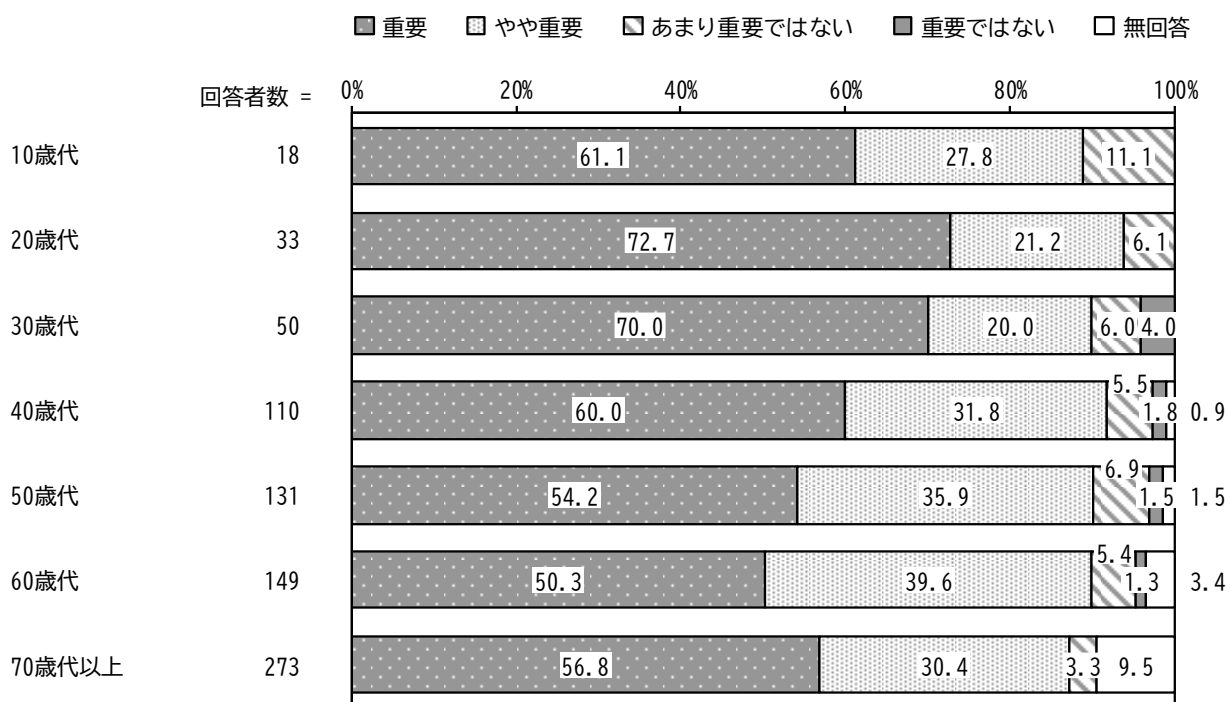
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり

【性別】



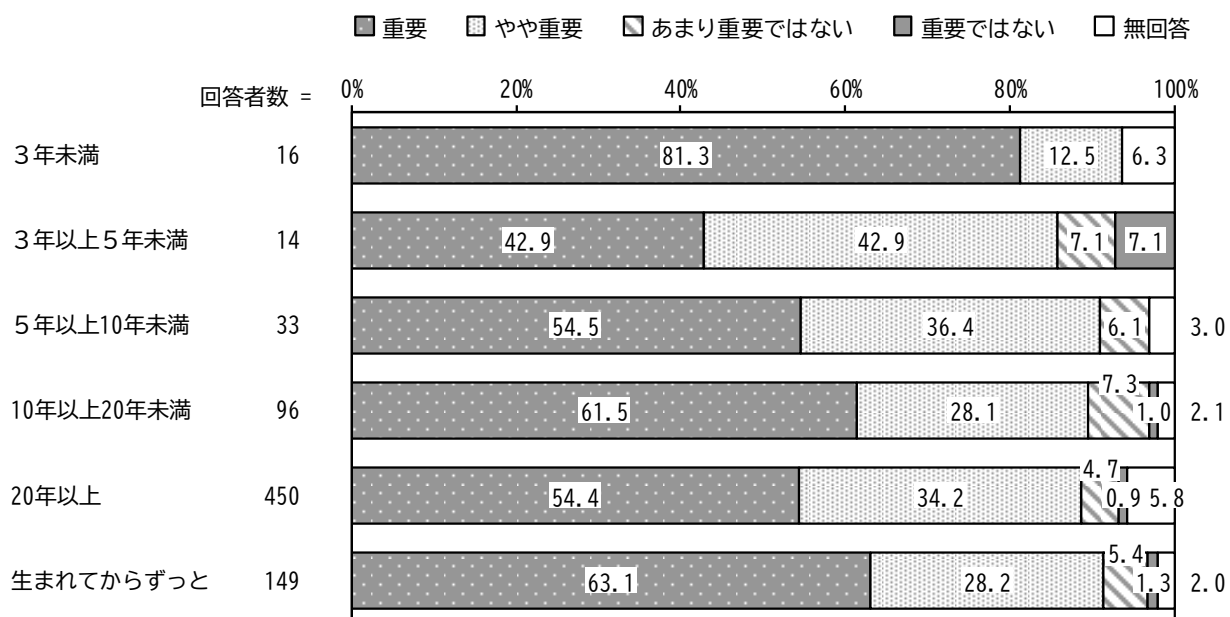
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が20歳代から60歳代にかけて低くなっています。



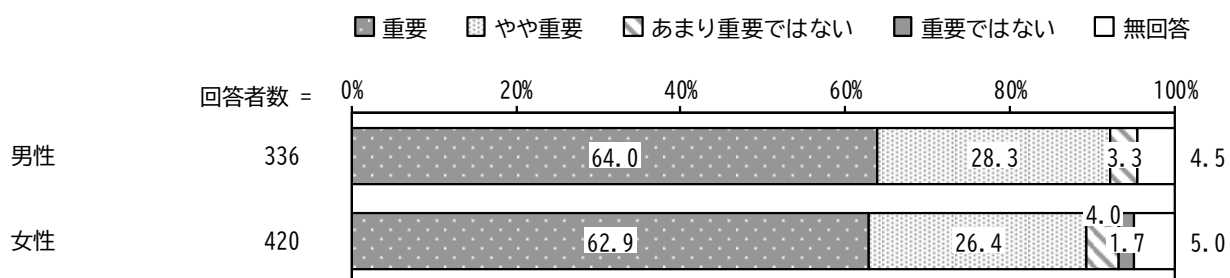
【居住年数別】

居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年未満』で高く、また『3年以上5年未満』から『10年以上20年未満』にかけて高くなる傾向にあります。



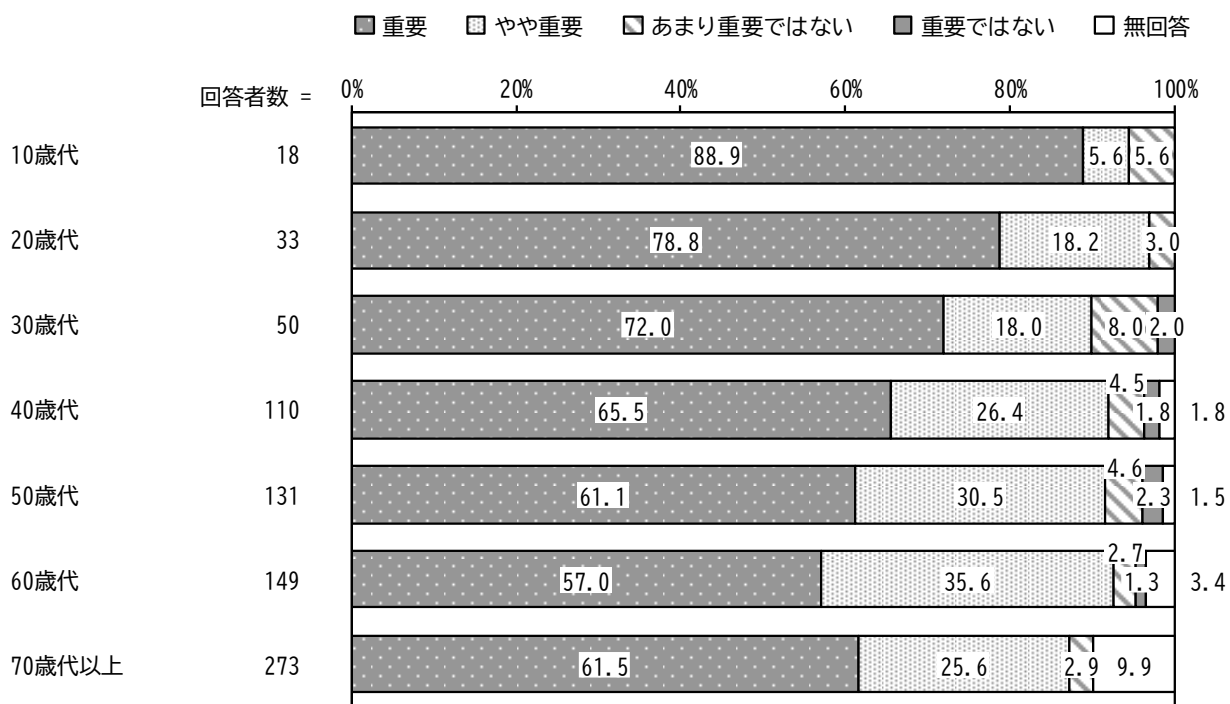
（５）出産や子育てに対する不安や孤立感の解消

【性別】



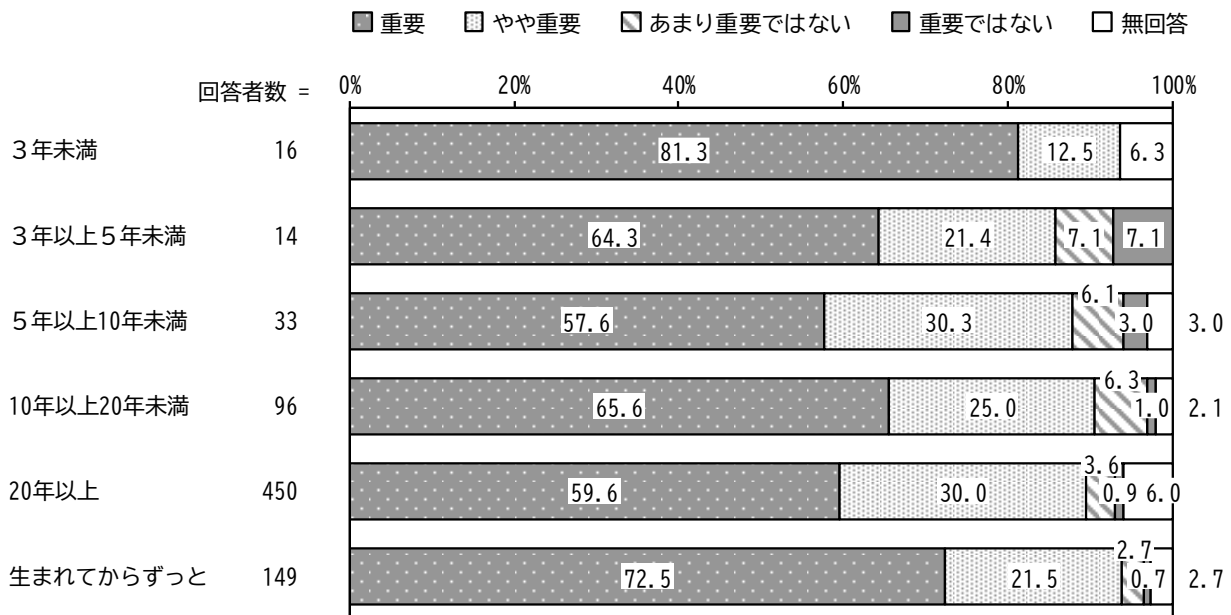
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が10歳代から60歳代にかけて低くなっています。



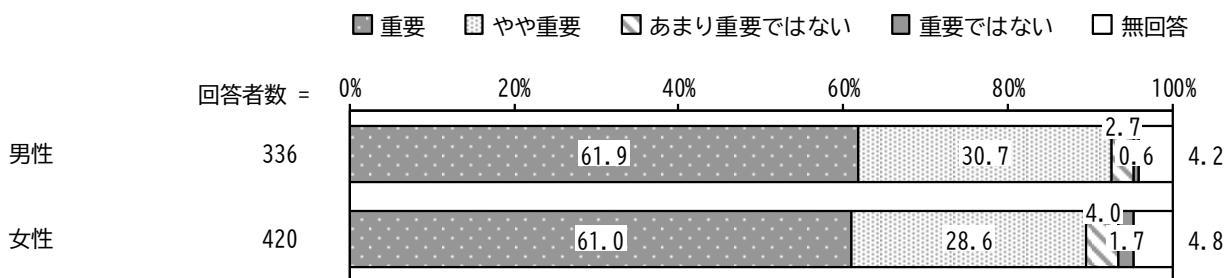
【居住年数別】

居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年未満』から『5年以上10年未満』にかけて低くなる傾向にあります。



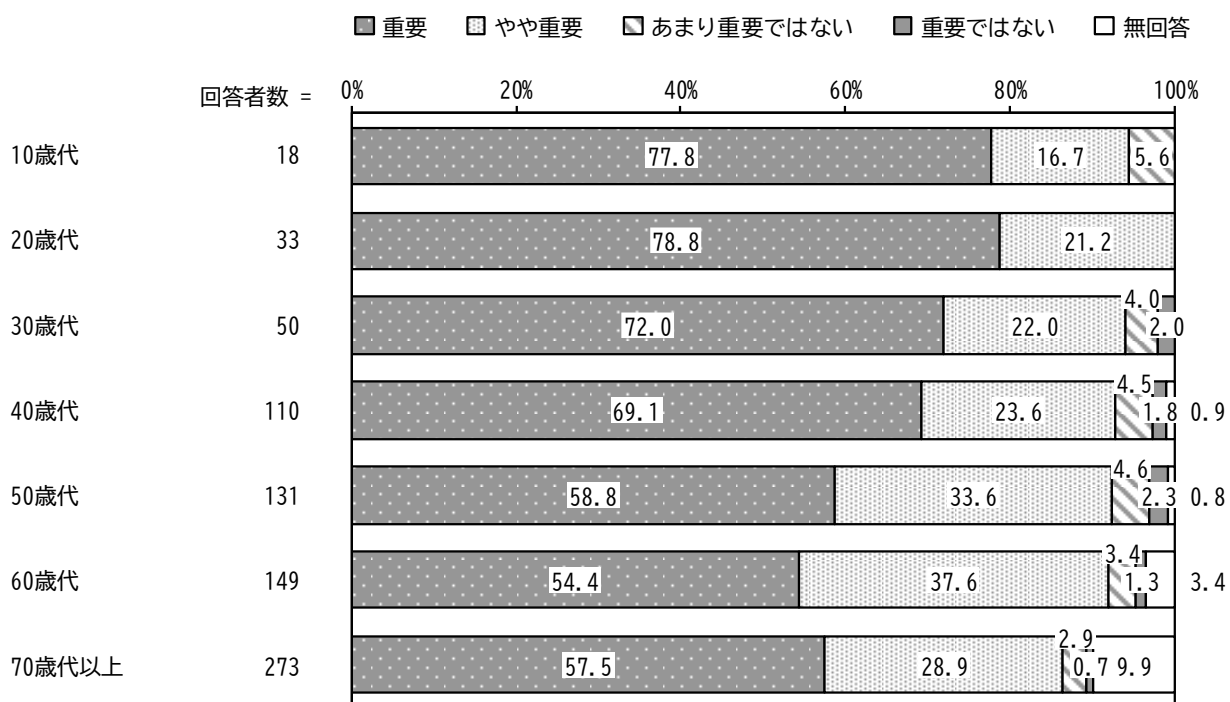
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援

【性別】



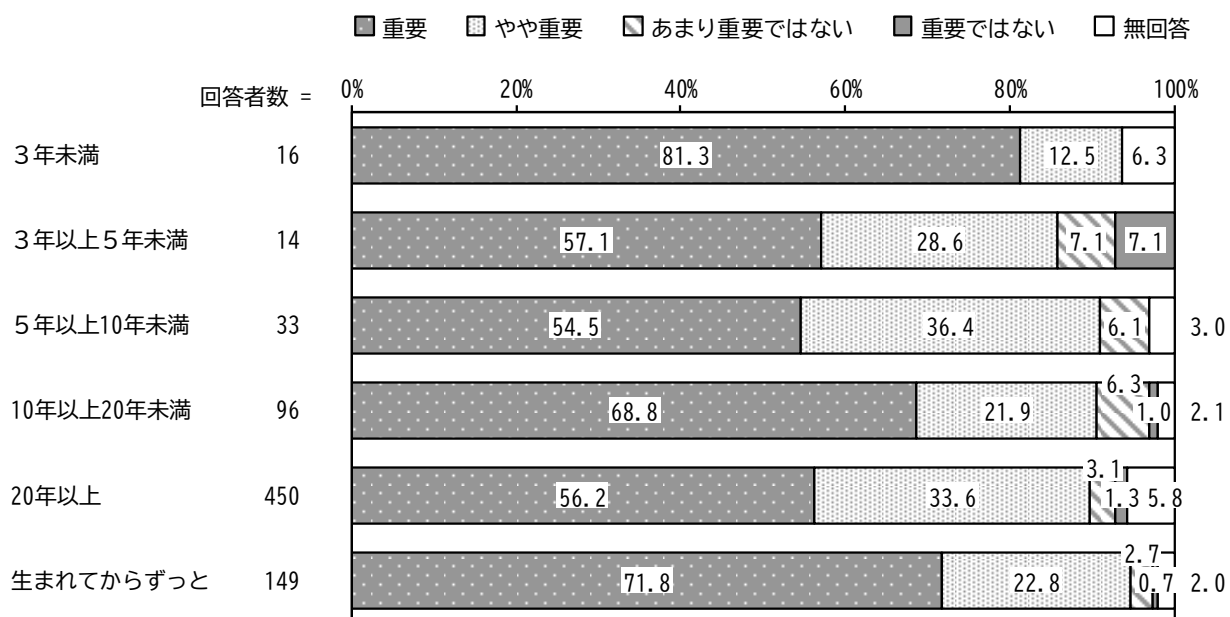
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が20歳代から60歳代にかけて低くなっています。



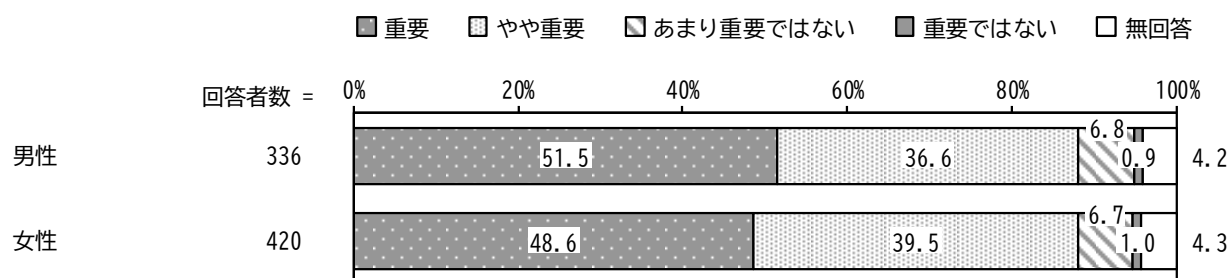
【居住年数別】

居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年未満』から『5年以上10年未満』にかけて低くなる傾向にあります。



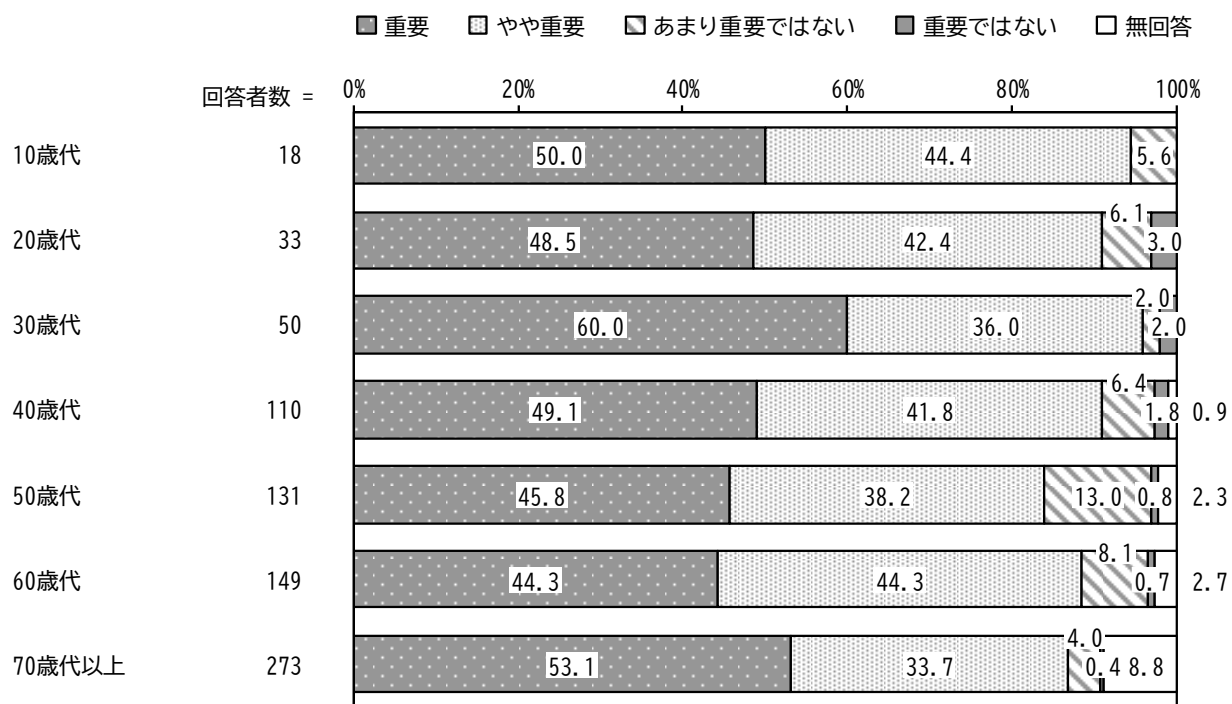
（７）新たな企業立地と若者の地育地働の促進

【性別】



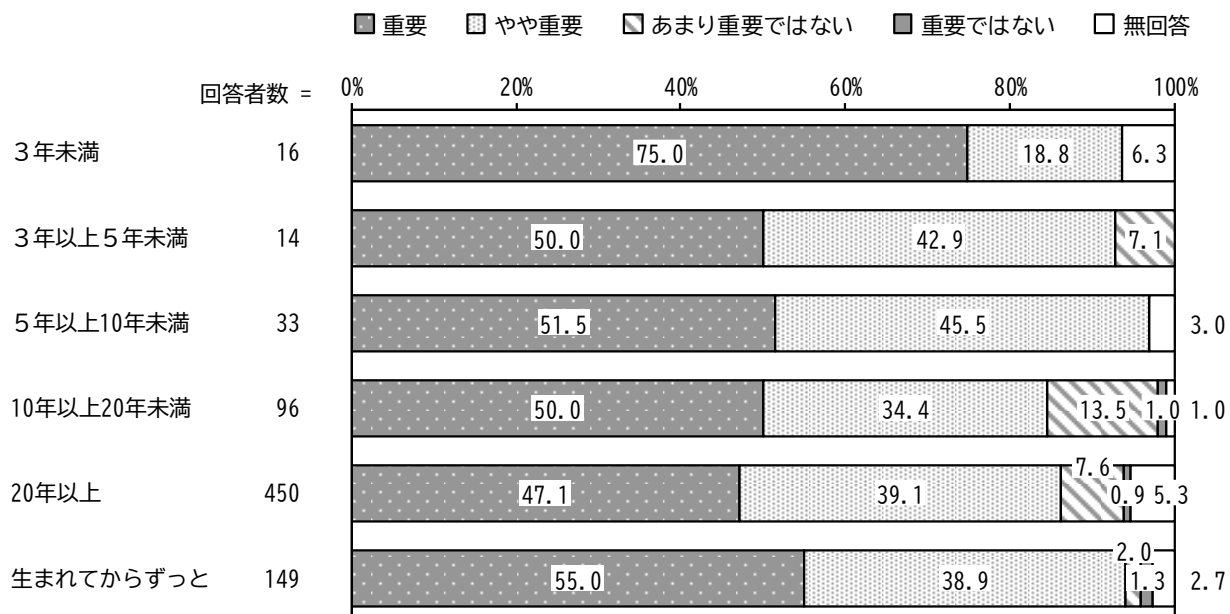
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が 30 歳代から 60 歳代にかけて低くなっています。



【居住年数別】

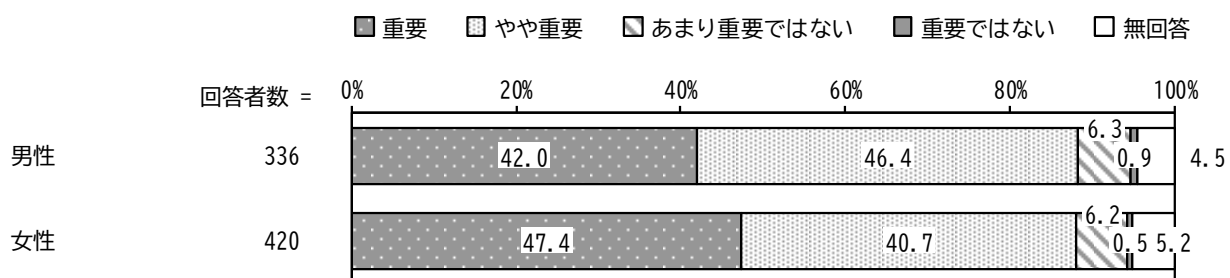
居住年数別にみると、“重要”の割合が『10年以上20年未満』から『生まれてからずっと』にかけて高くなっています。



(8) 地域の課題解決力の向上

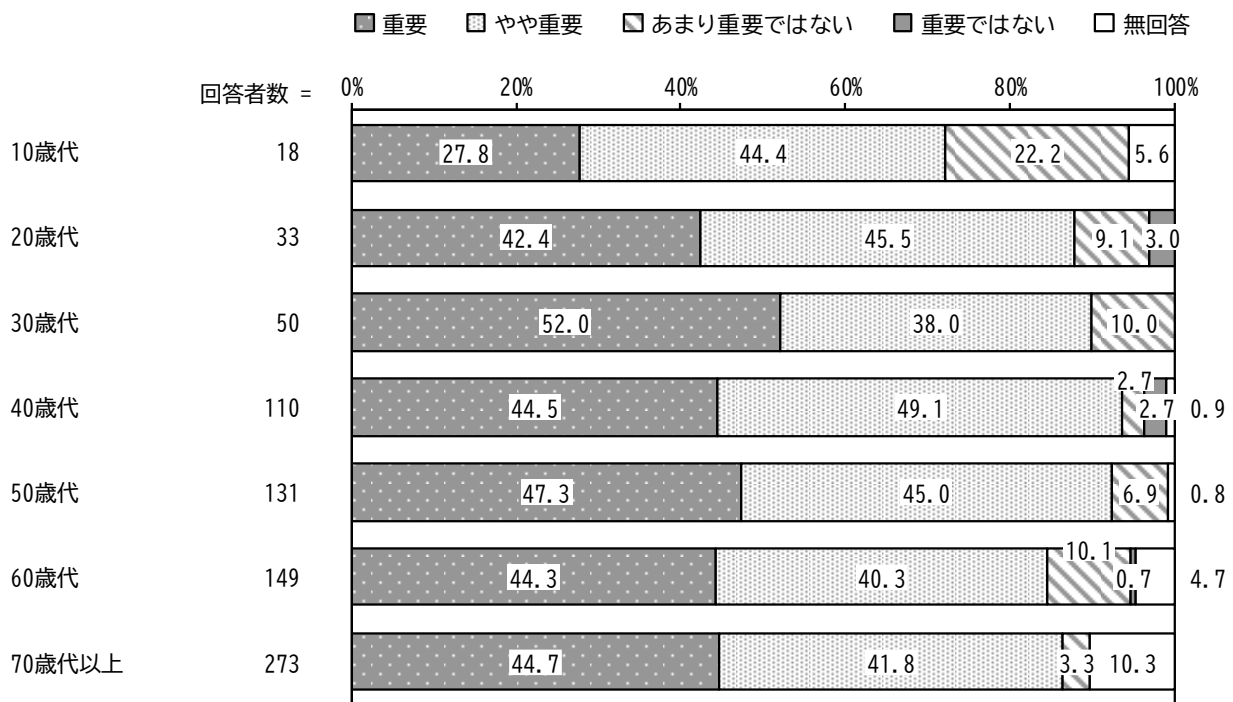
【性別】

性別にみると、“重要”の割合に大きな差はありませんが、「やや重要」の割合が男性で高く、「重要」の割合が女性で高くなっています。



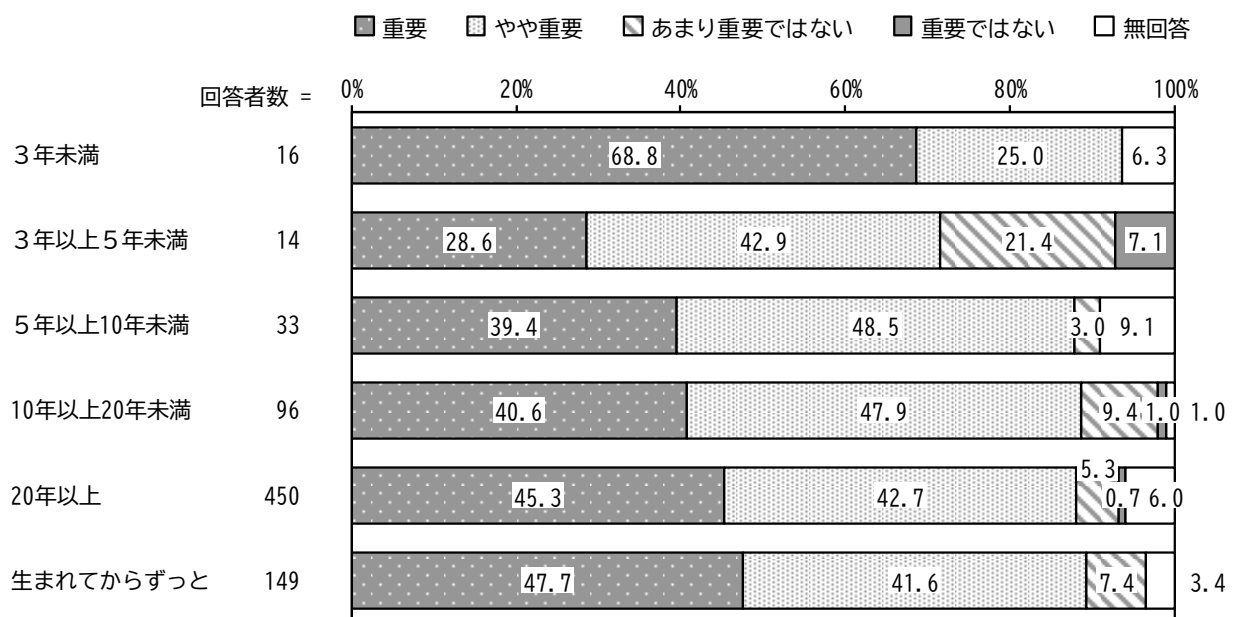
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が10歳代から40歳代にかけて高くなっています。



【居住年数別】

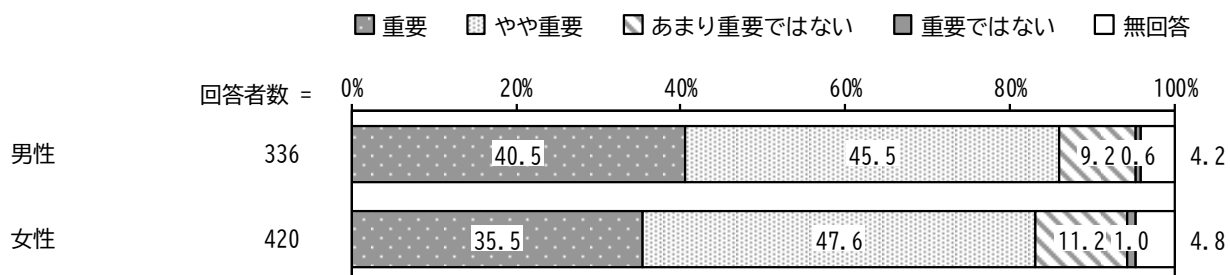
居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年未満』で高く、また『3年以上5年未満』から『生まれてからずっと』にかけて高くなっています。



（９）地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり

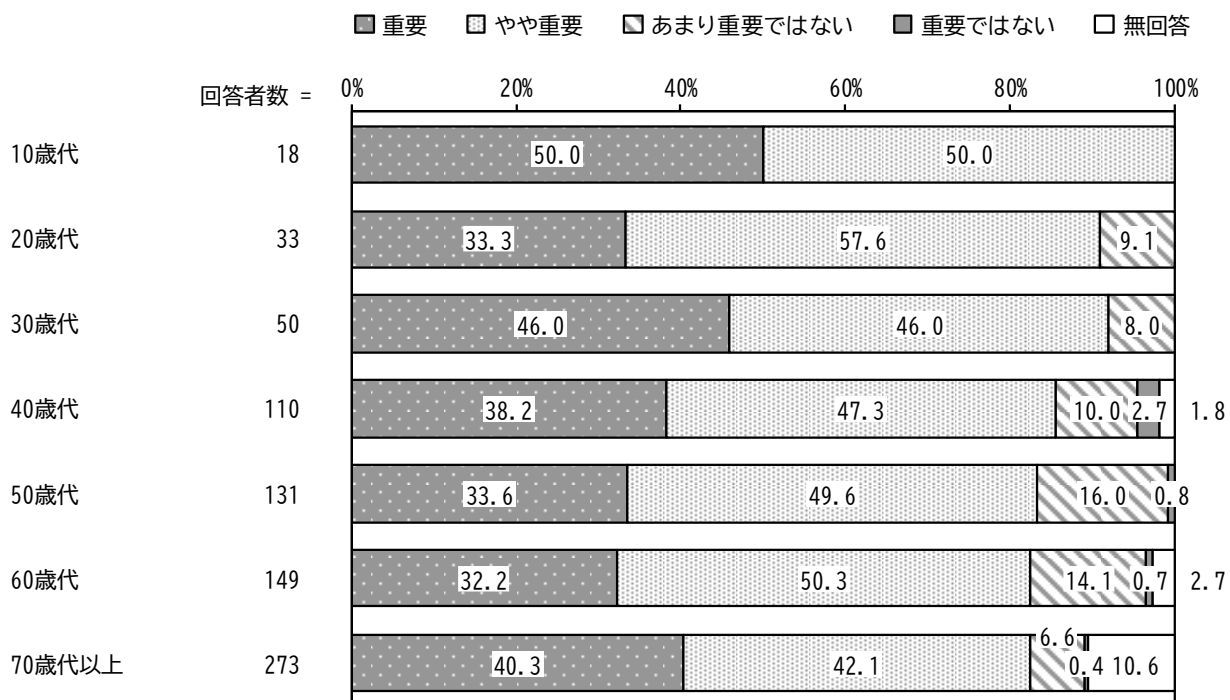
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が男性で高くなっています。



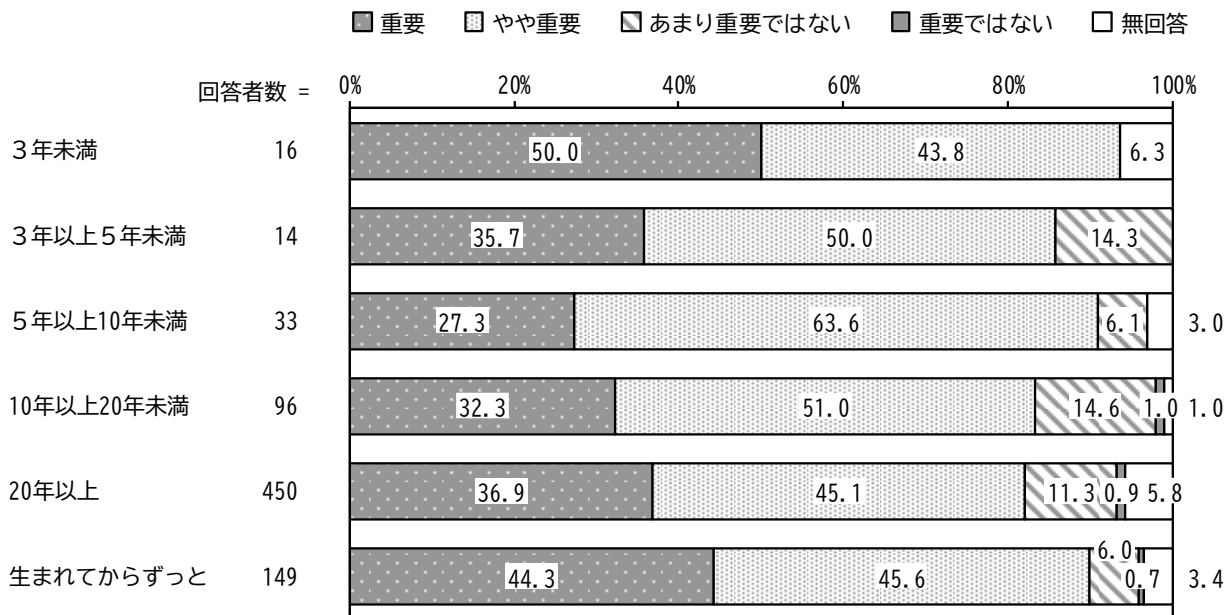
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が10歳代から60歳代にかけて低くなる傾向にあります。



【居住年数別】

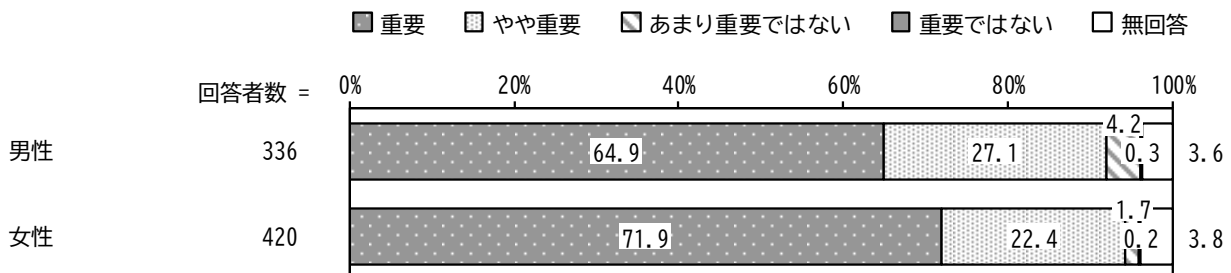
居住年数別にみると、「重要」の割合が『5年以上10年未満』から『生まれてからずっと』にかけて高くなっています。



(10) 災害に強いまちづくりの推進

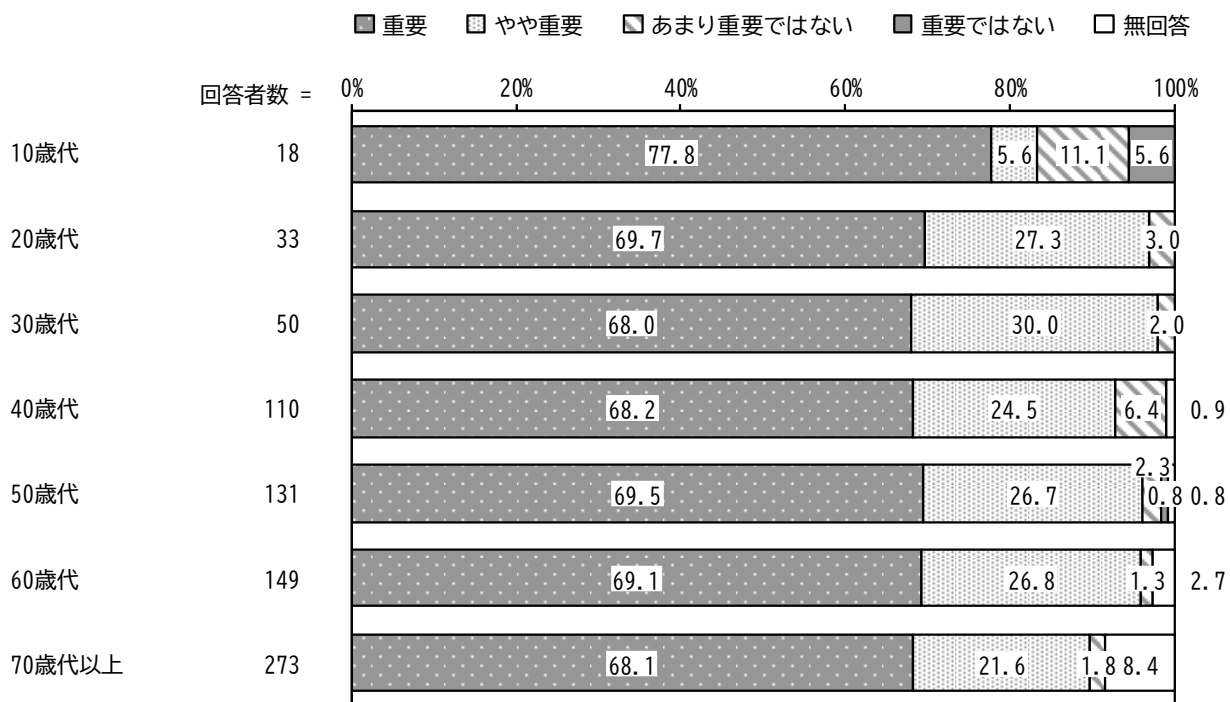
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が女性で高くなっています。



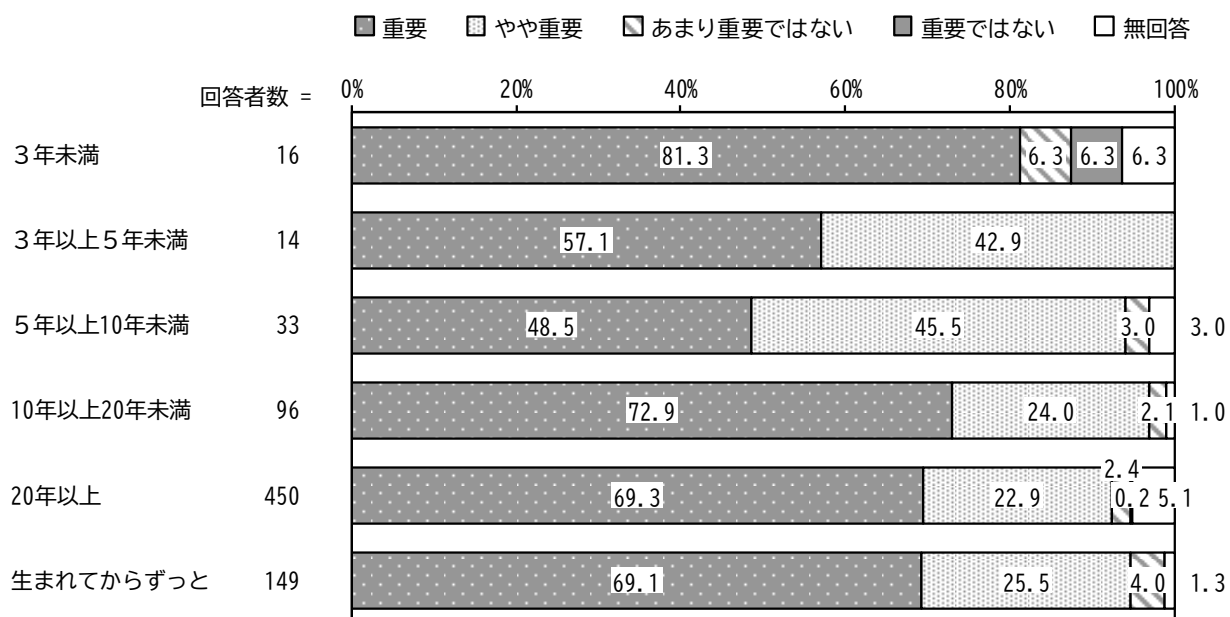
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が10歳代で低くなっています。



【居住年数別】

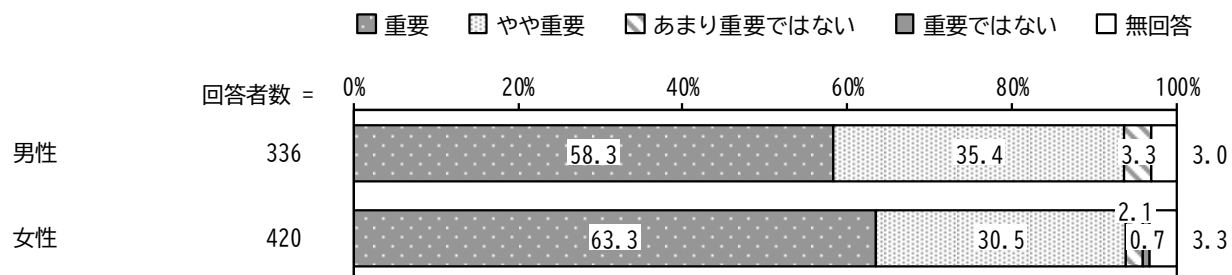
居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年未満』から『5年以上10年未満』にかけて低くなっています。



(11) 身近な暮らしの安全づくり

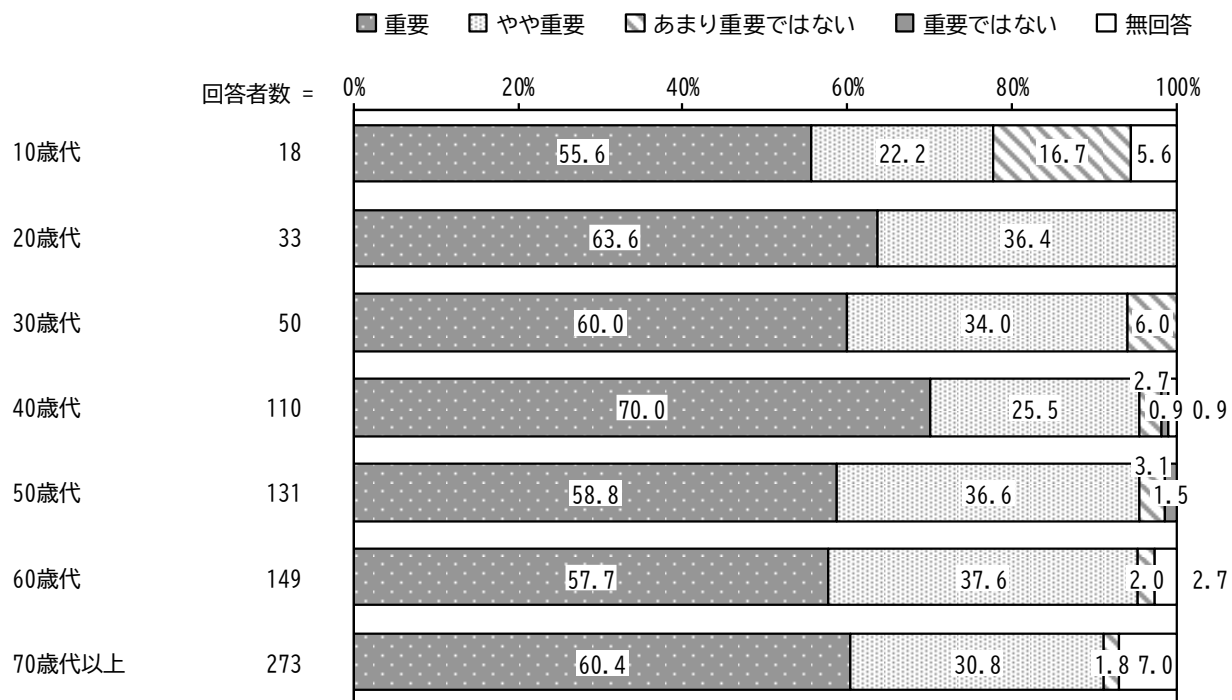
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が女性で高くなっています。



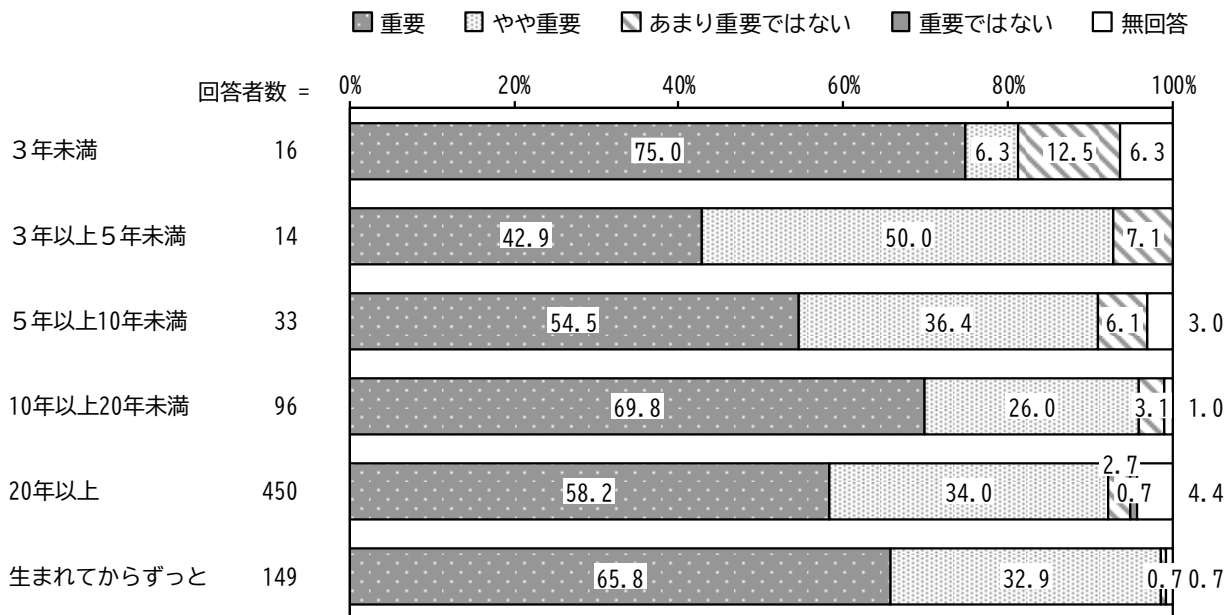
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が10歳代で低くなっています。



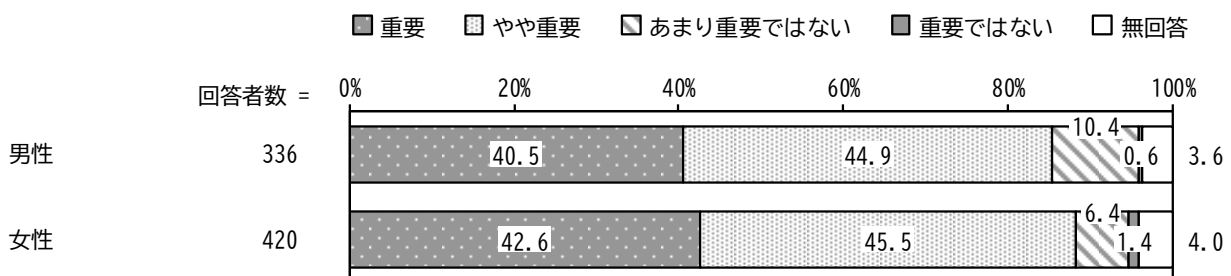
【居住年数別】

居住年数別にみると、“重要”の割合が『3年未満』から『10年以上20年未満』にかけて高くなる傾向にあります。



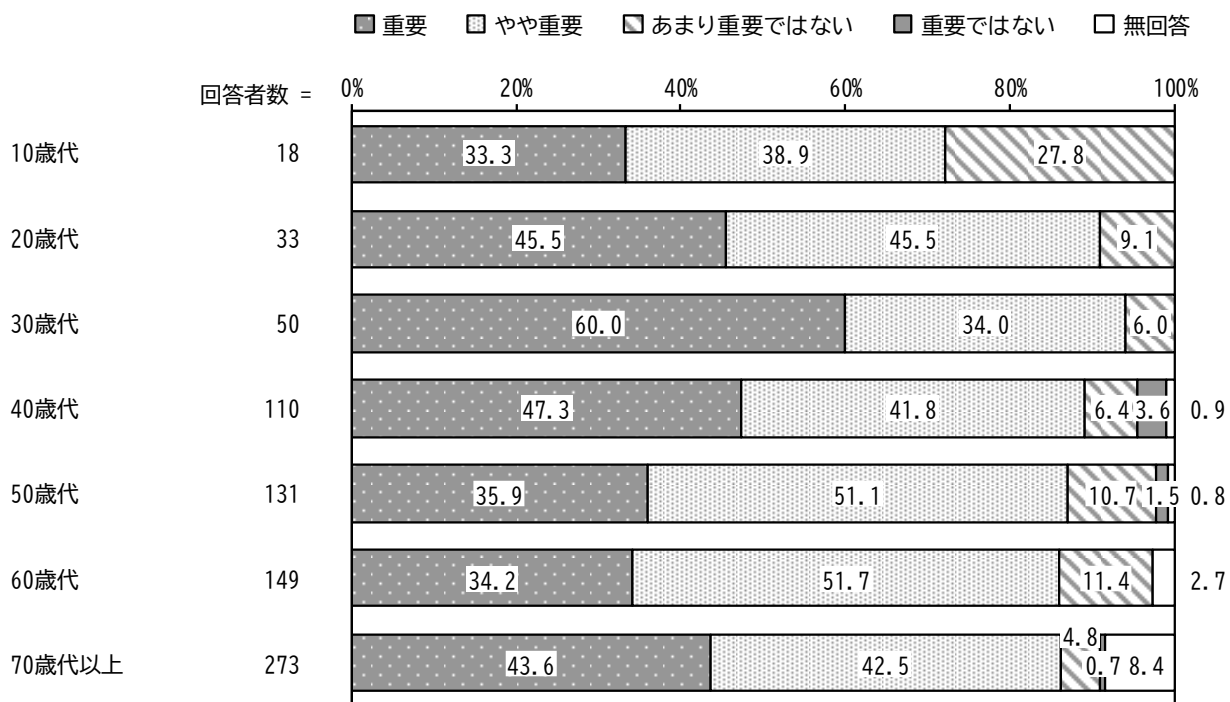
(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

【性別】



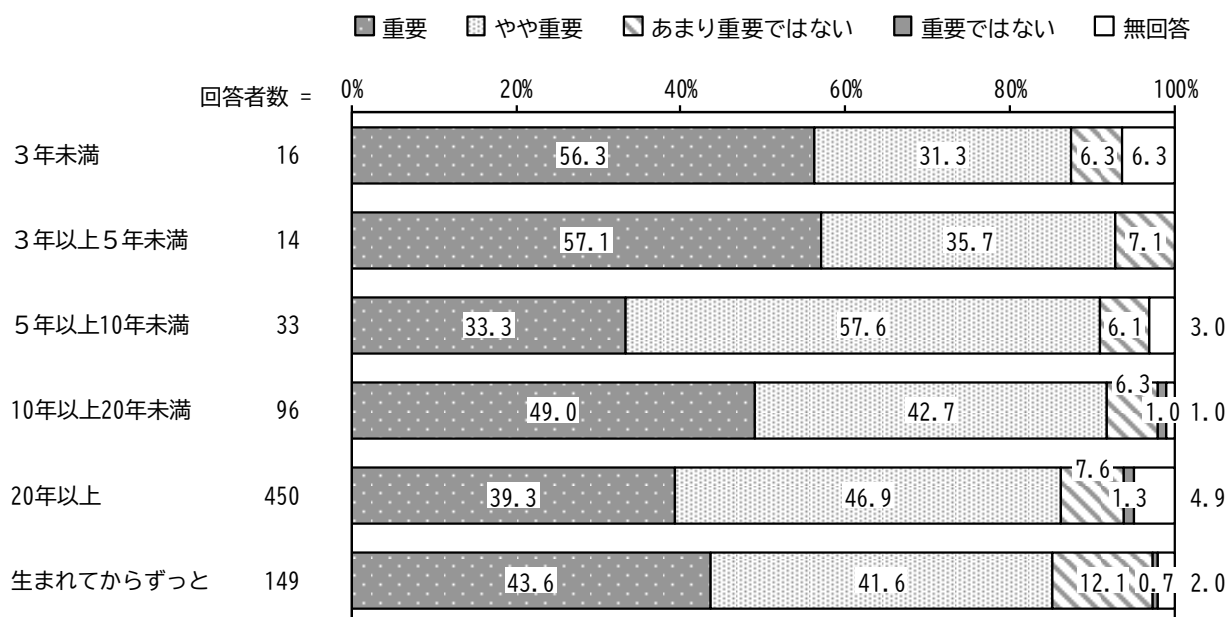
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が30歳代から60歳代にかけて低くなっています。



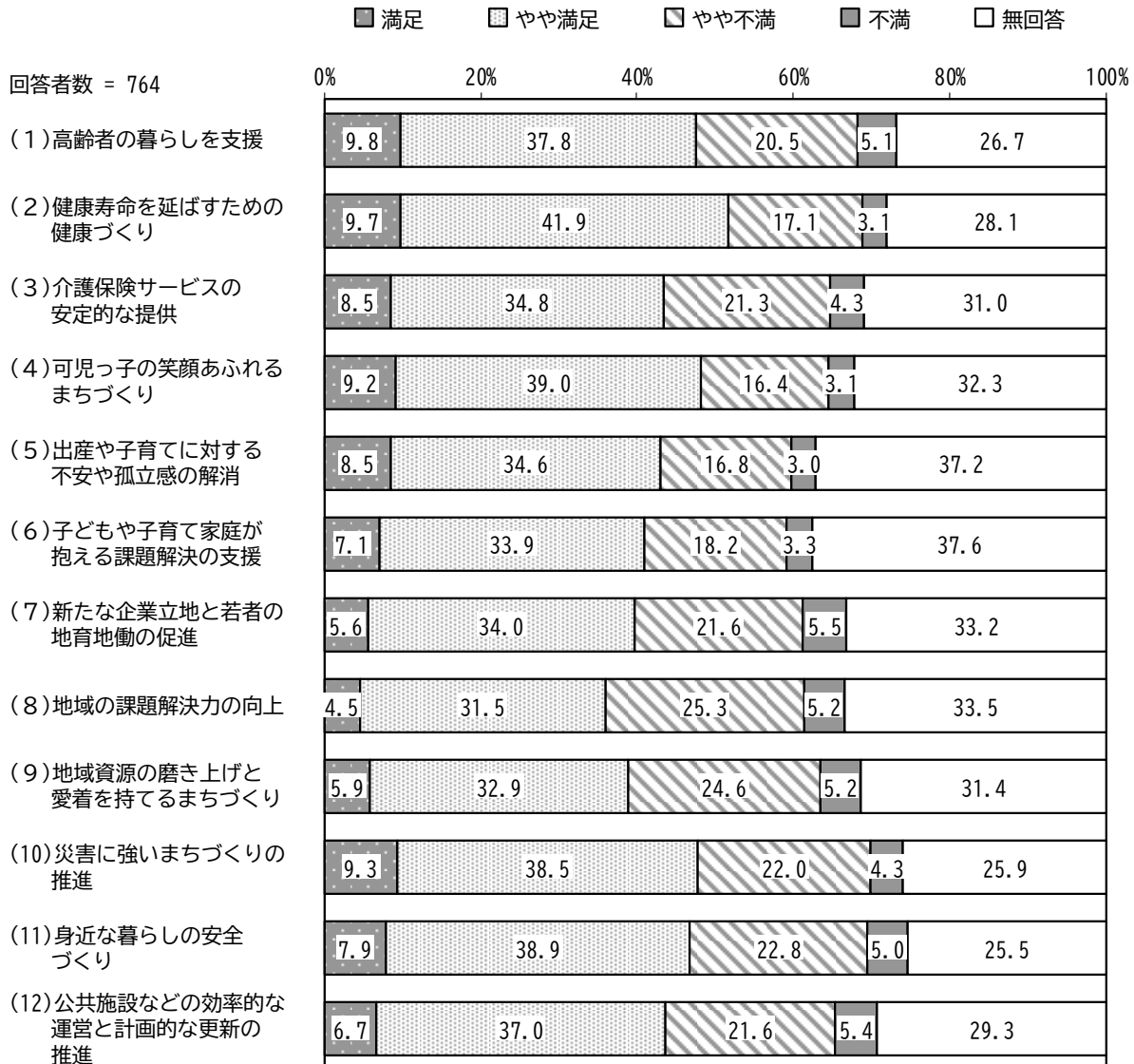
【居住年数別】

居住年数別にみると、「重要」の割合が『5年以上10年未満』で低く、「重要」の割合が『10年以上20年未満』から『生まれてからずっと』にかけて低くなっています。



問 16 市政経営計画の重点施策である以下の（１）～（１２）の各項目の満足度について、あなたの考えに近いものを「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」から選び、○印をつけてください。わからない場合は空欄にしてください。

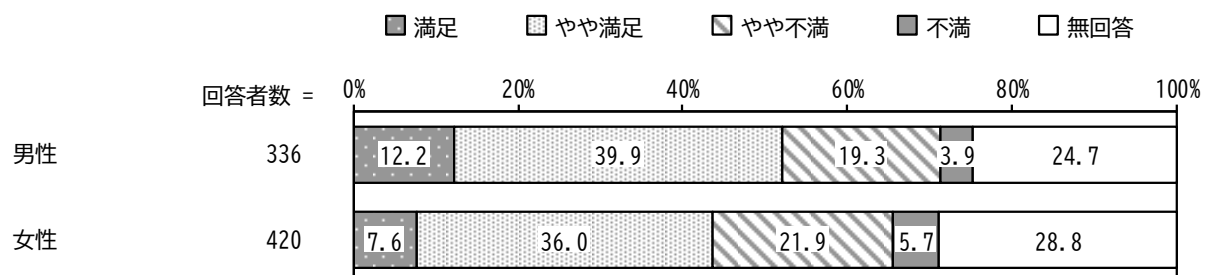
『（２）健康寿命を延ばすための健康づくり』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『（８）地域の課題解決力の向上』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



（１）高齢者の暮らしを支援

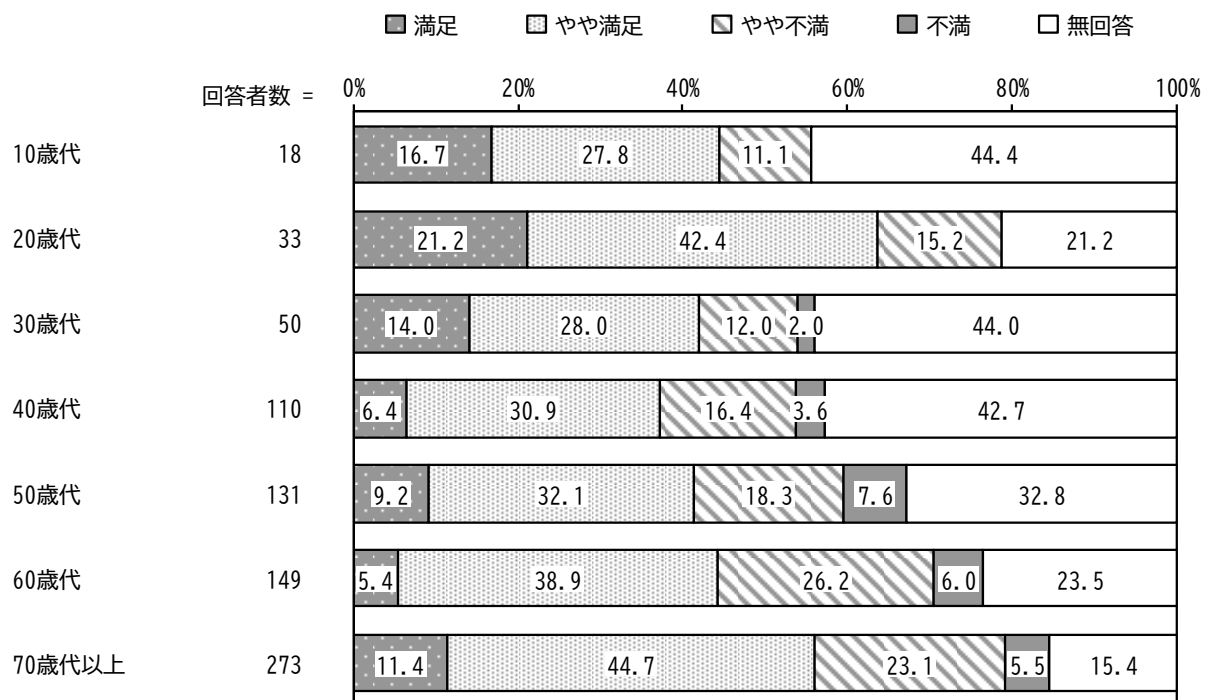
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



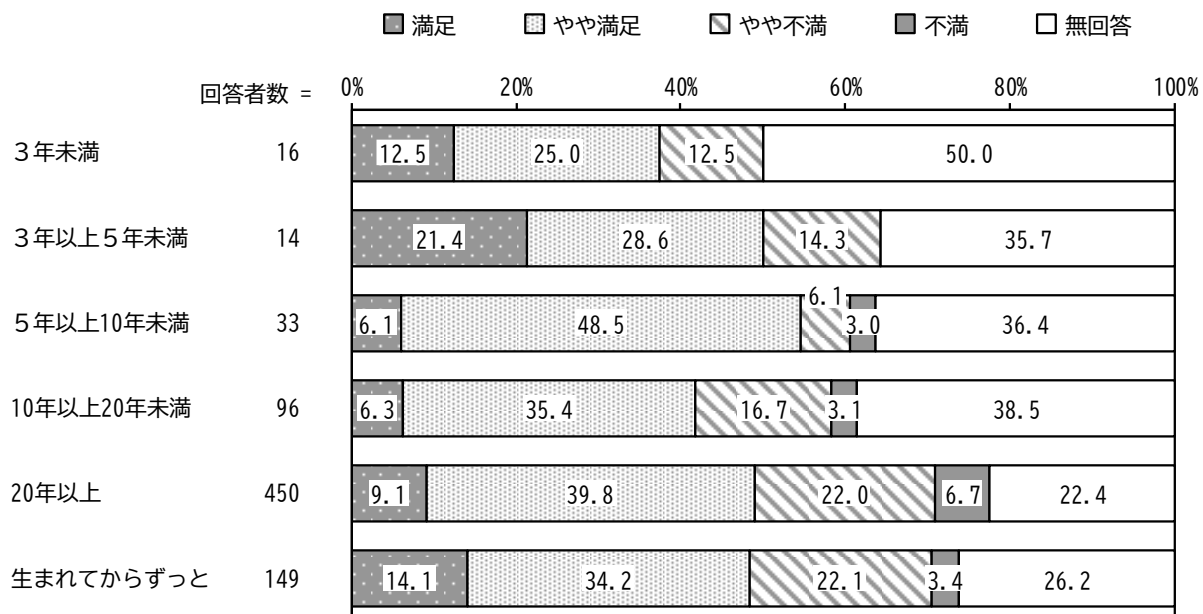
【年代別】

年代別にみると、“不満”の割合が10歳代から60歳代にかけて高くなる傾向にあります。



【居住年数別】

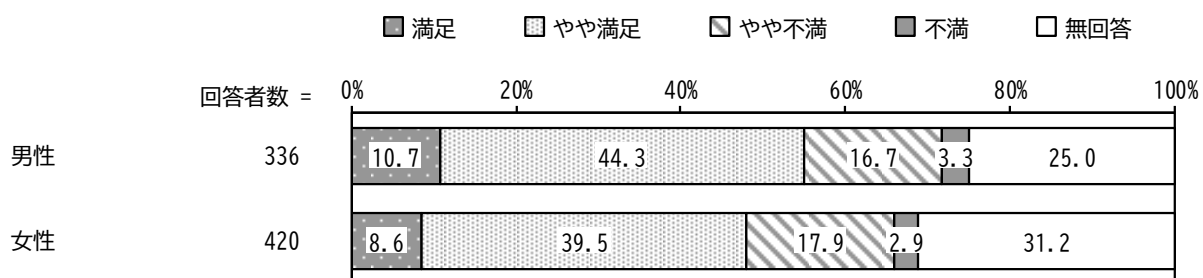
居住年数別にみると、“不満”の割合が『5年以上10年未満』から『20年以上』にかけて高くなっています。



(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり

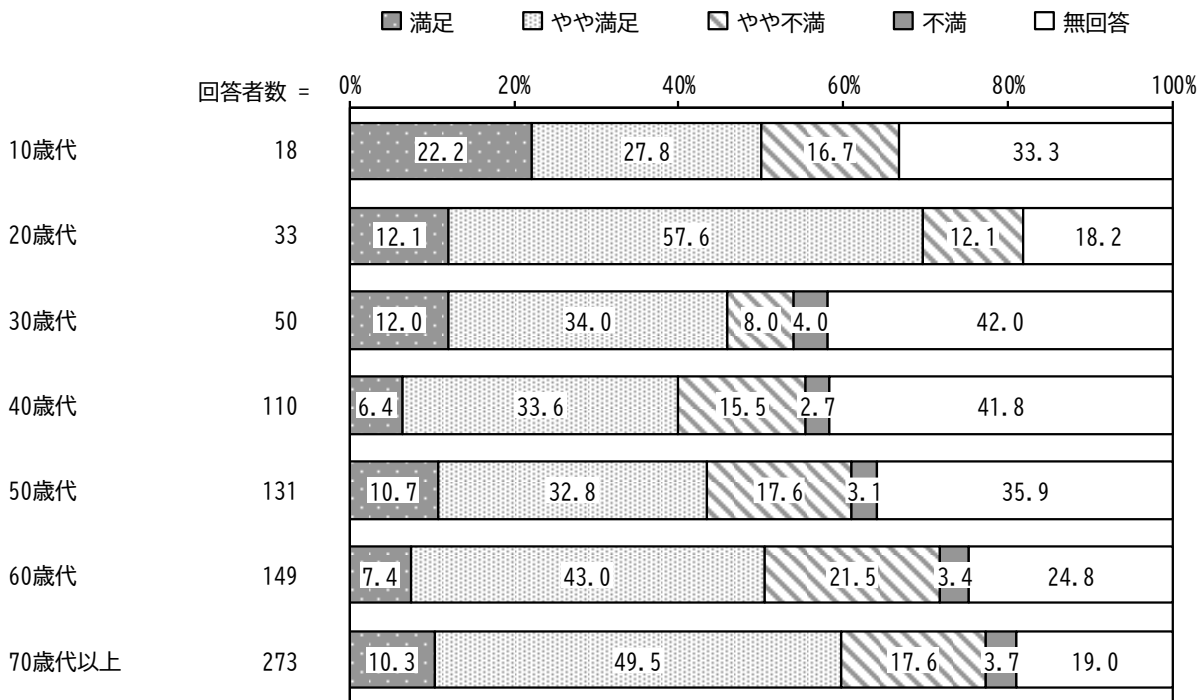
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



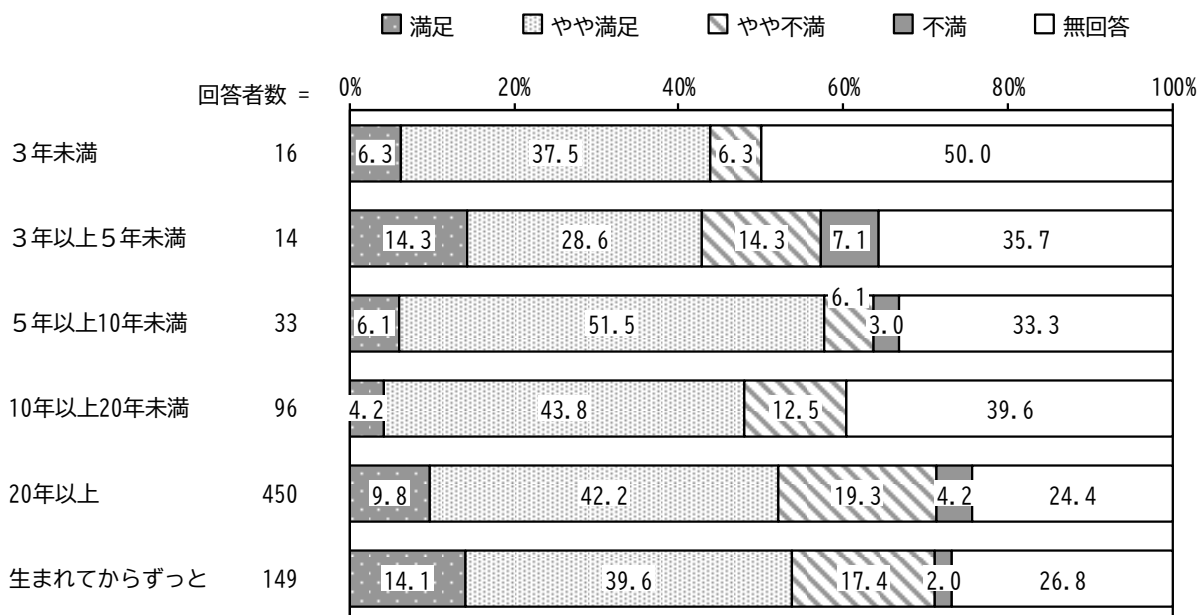
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が40歳代から70歳代以上にかけて高くなっています。



【居住年数別】

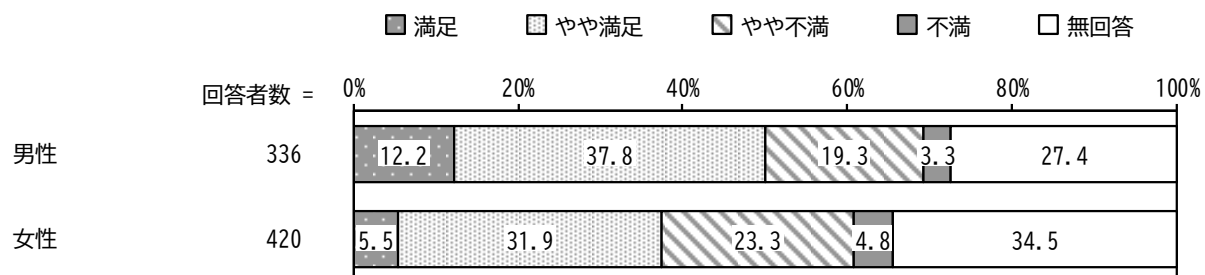
居住年数別にみると、“不満”の割合が『5年以上10年未満』から『20年以上』にかけて高くなっています。



(3) 介護保険サービスの安定的な提供

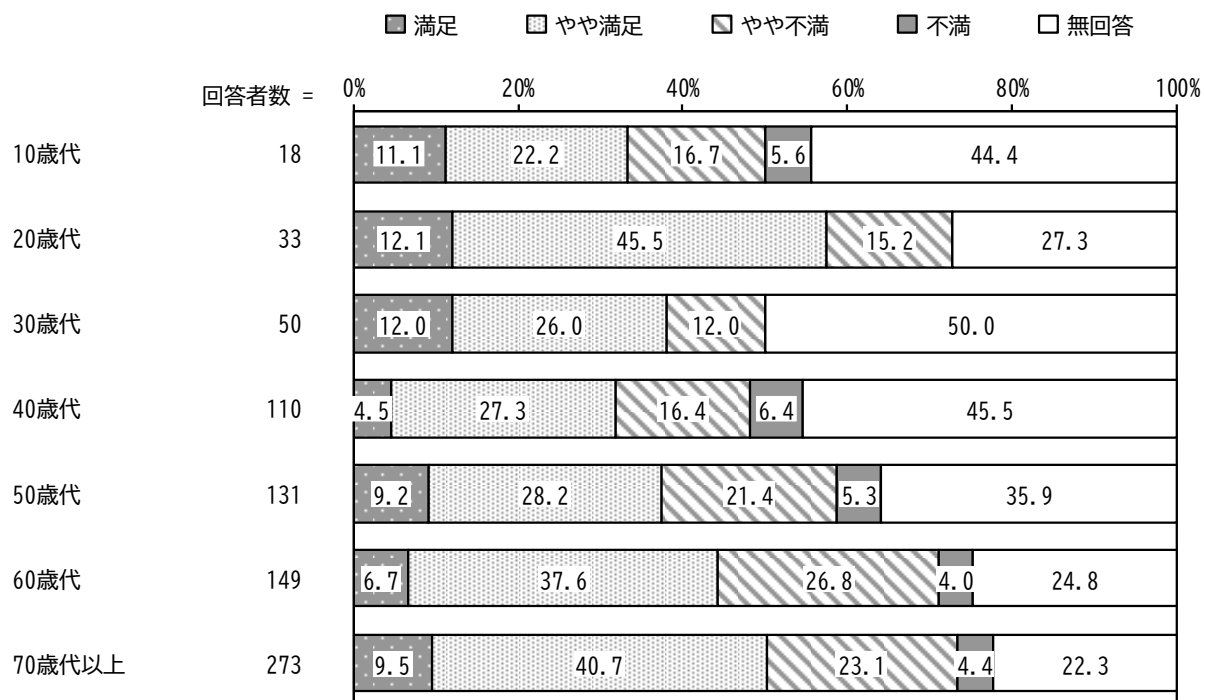
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



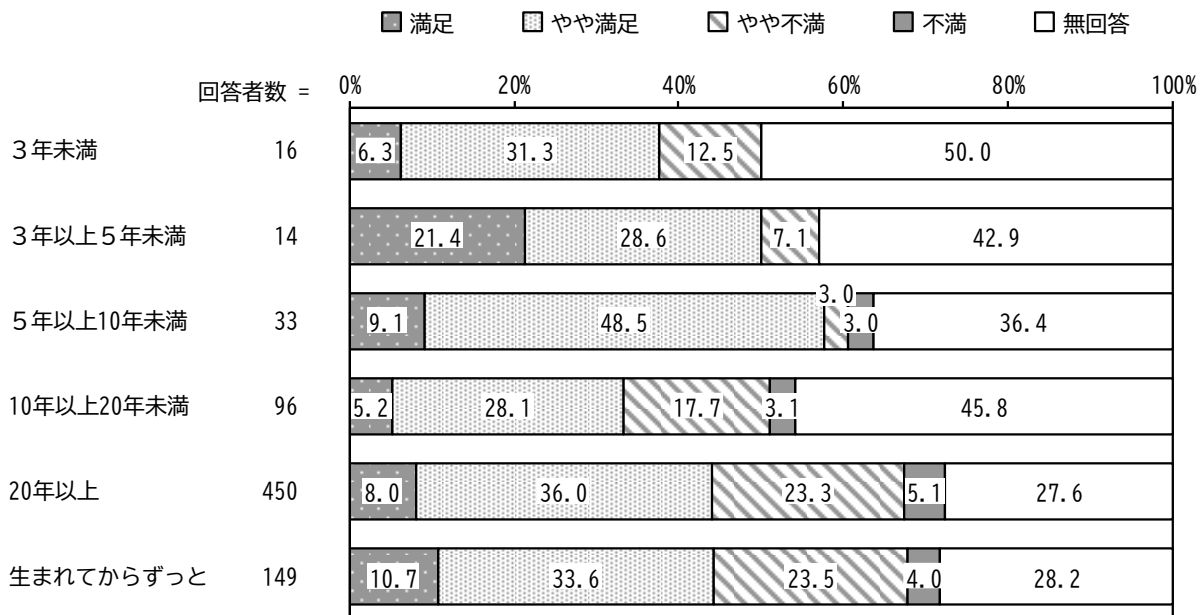
【年代別】

年代別にみると、“不満”の割合が30歳代から60歳代にかけて高くなっています。



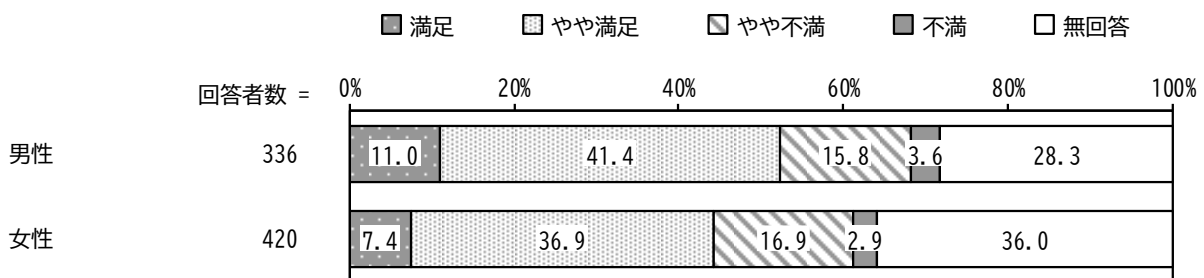
【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合が『5年以上10年未満』から『20年以上』にかけて高くなっています。



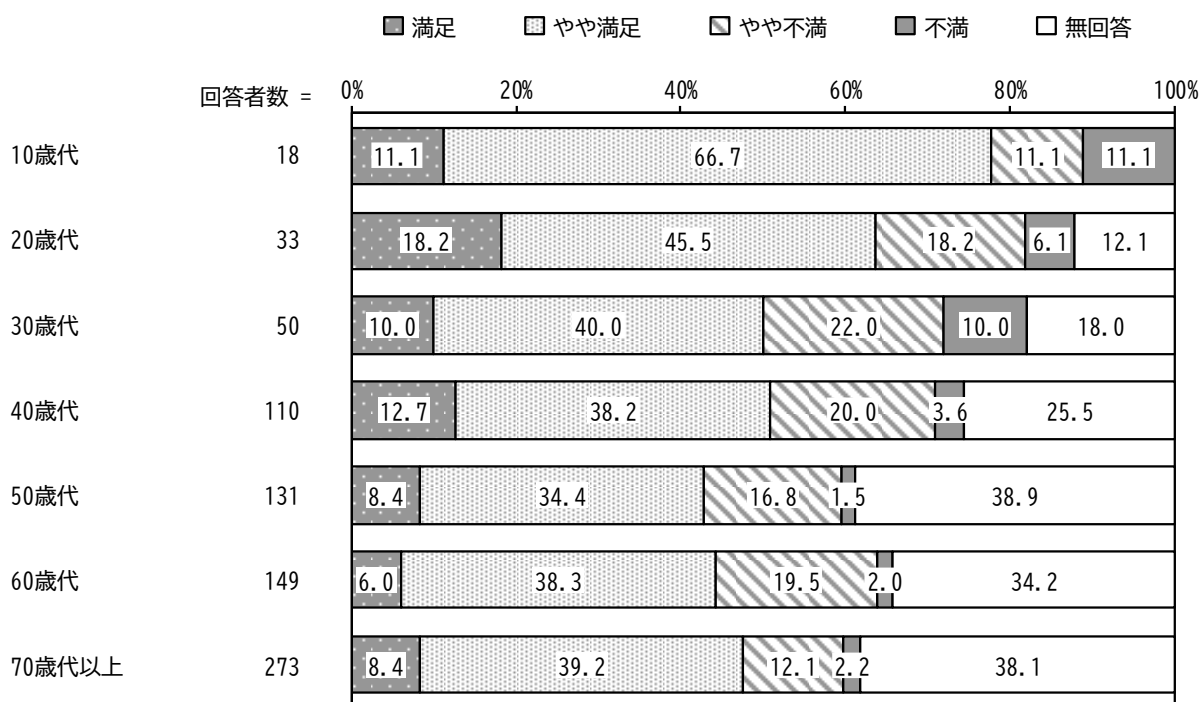
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり

【性別】



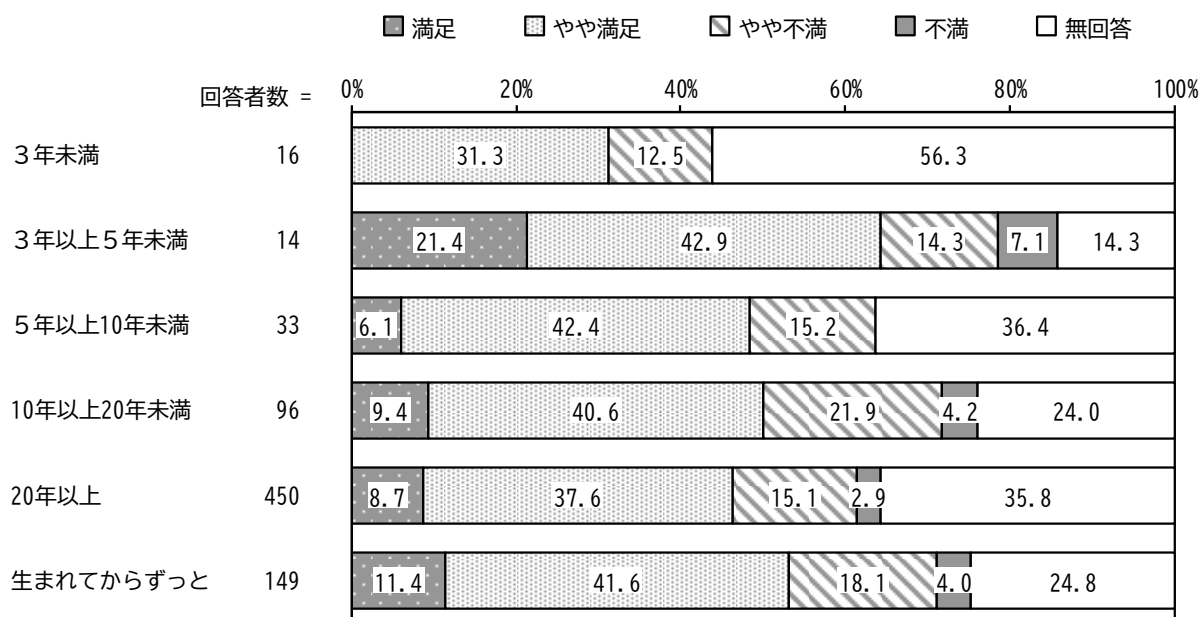
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代から50歳代にかけて低くなる傾向にあります。



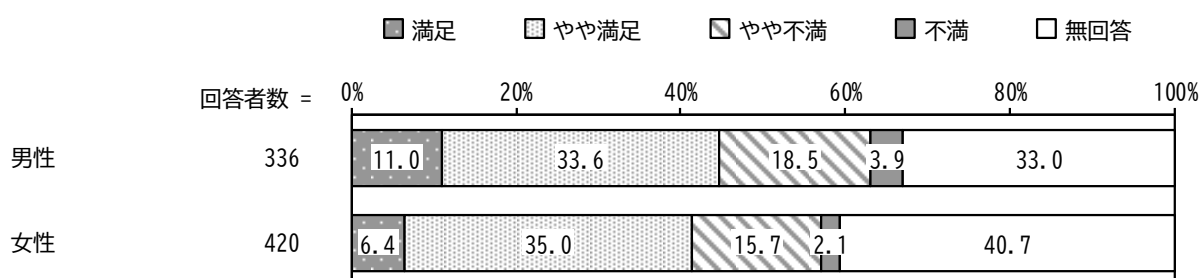
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』から『20年以上』にかけて低くなる傾向にあります。



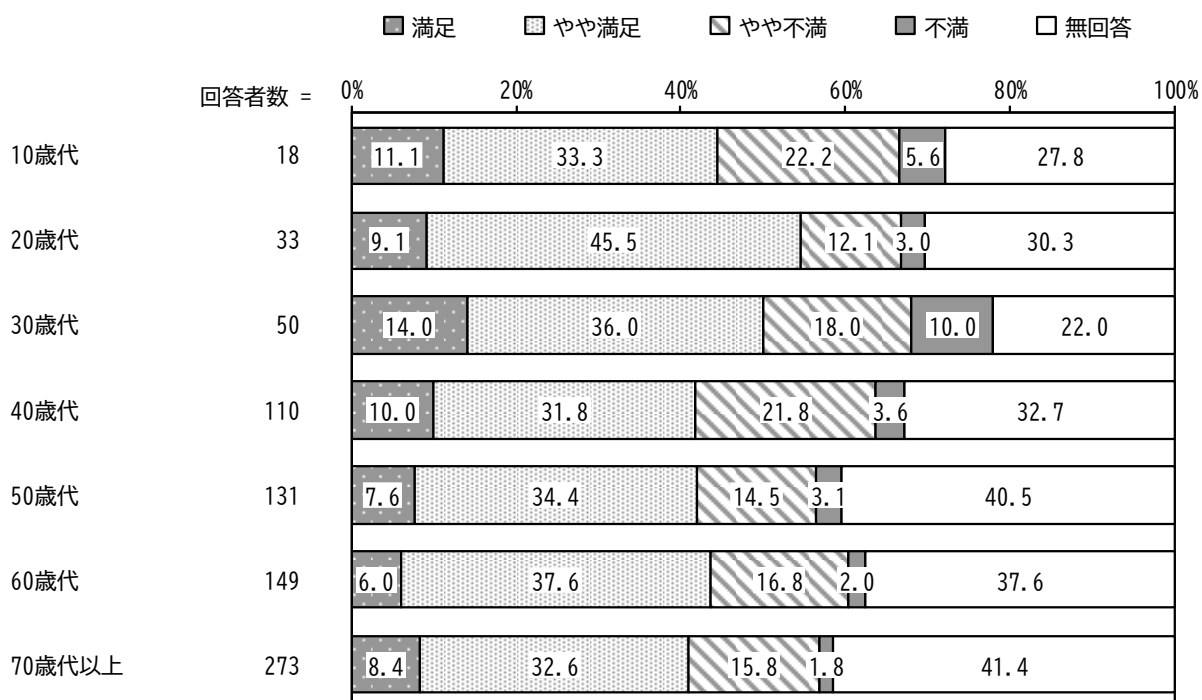
（５）出産や子育てに対する不安や孤立感の解消

【性別】



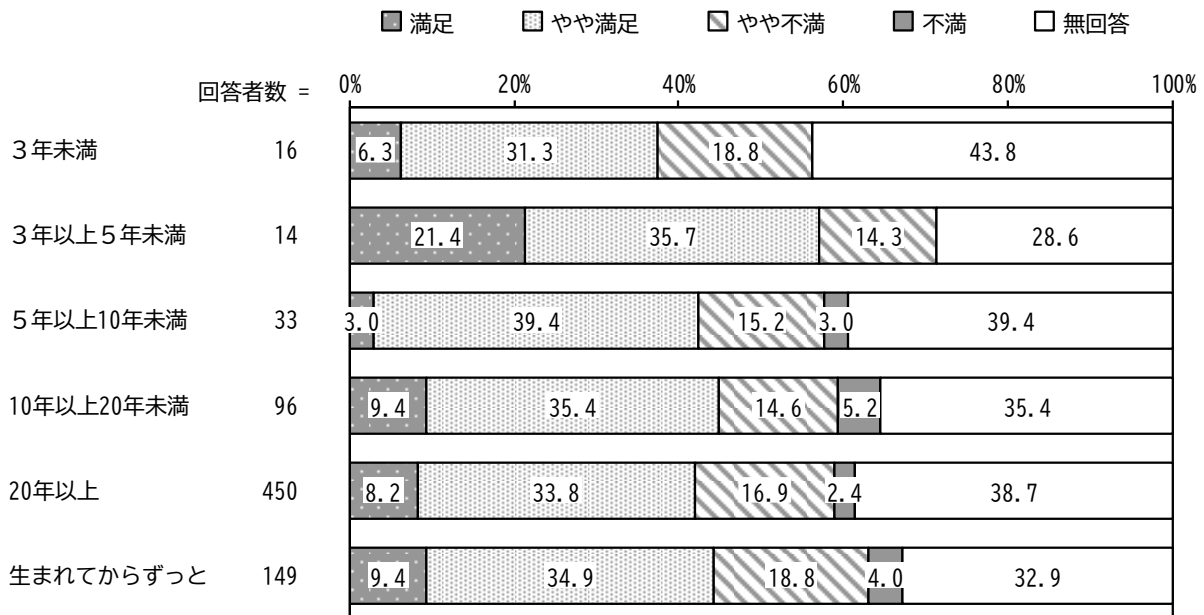
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が20歳代で高く、“不満”の割合が10歳代、30歳代で高くなっています。



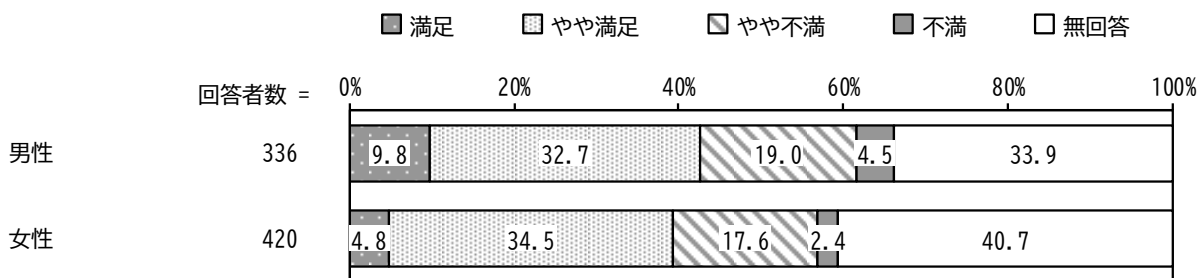
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』から『20年以上』にかけて低くなる傾向にあります。



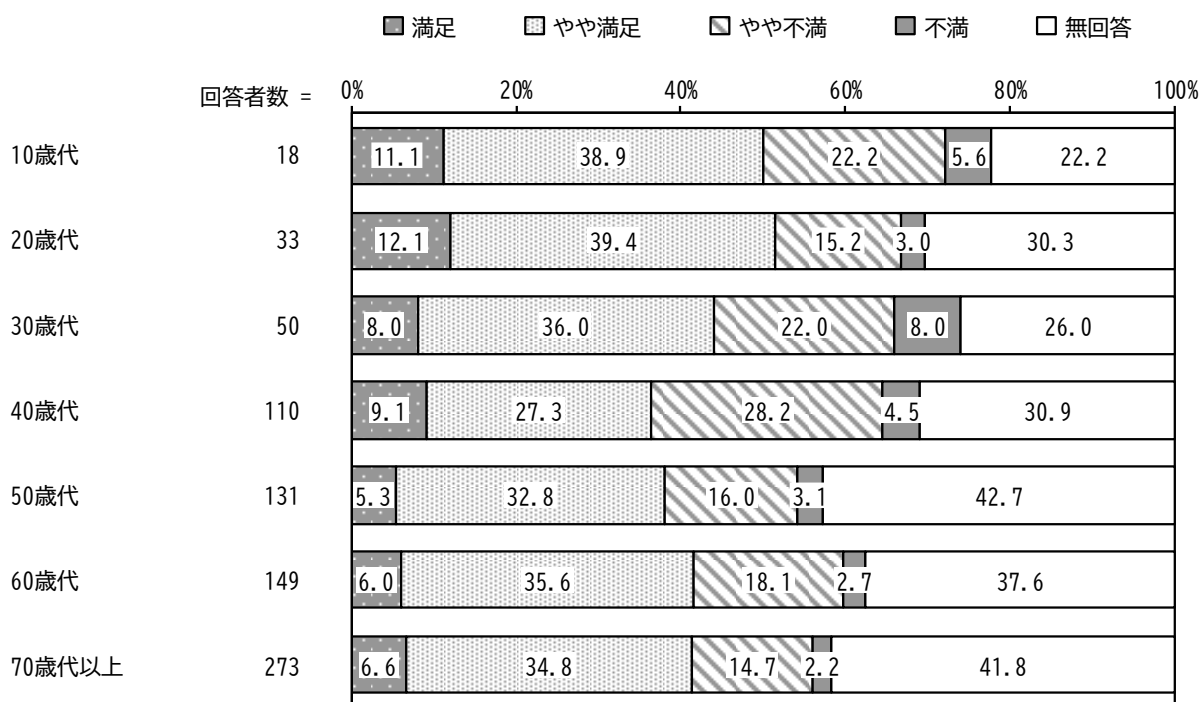
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援

【性別】



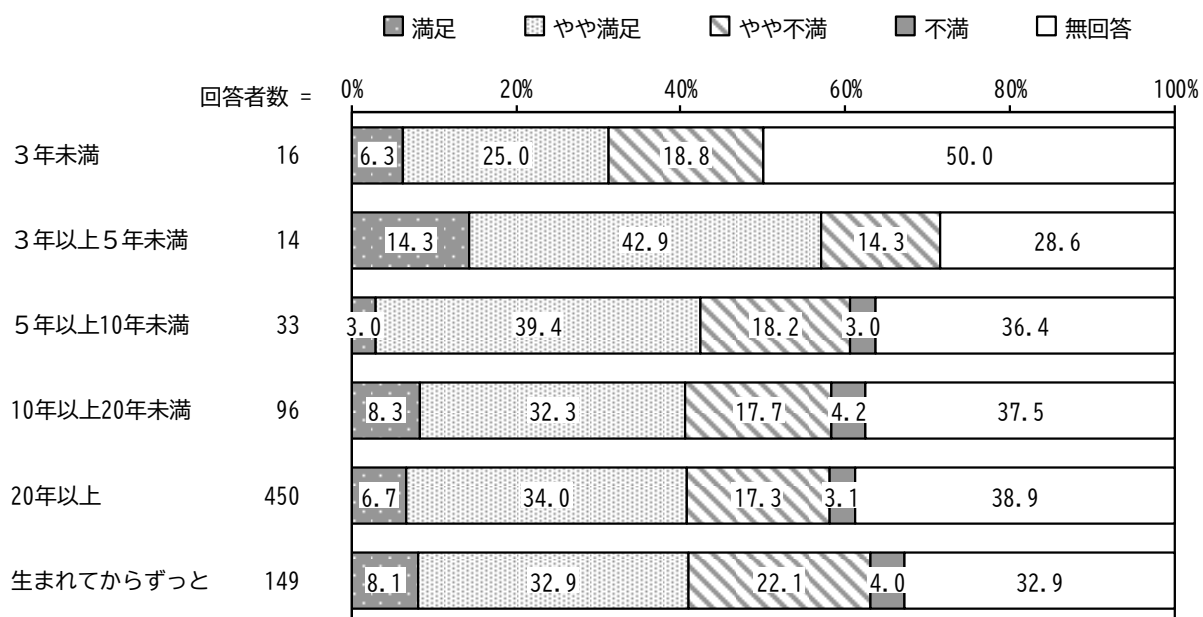
【年代別】

年代別にみると、“不満”の割合が40歳代から70歳代以上にかけて低くなる傾向にあります。



【居住年数別】

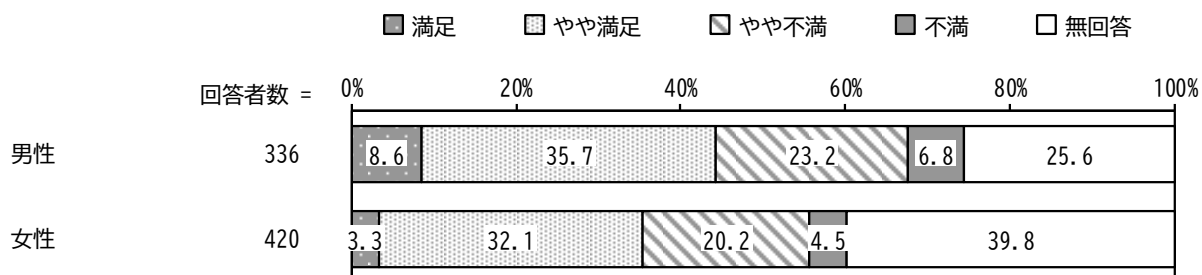
居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』から『10年以上20年未満』にかけて低くなる傾向にあります。



（７）新たな企業立地と若者の地育地働の促進

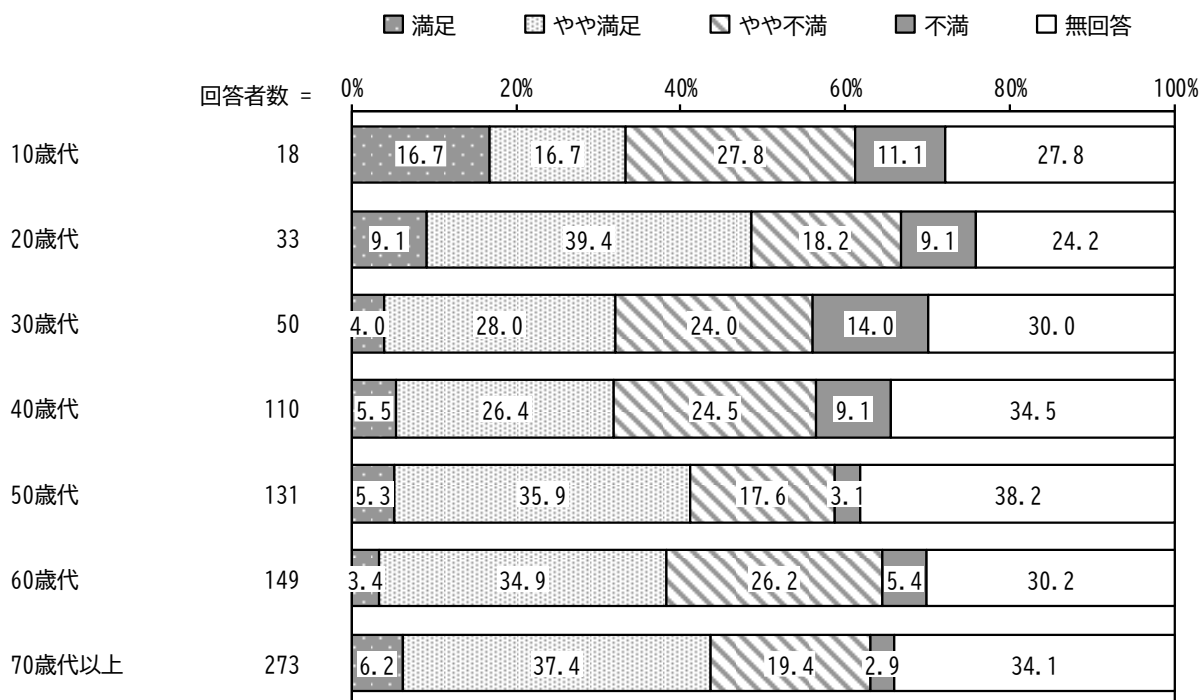
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



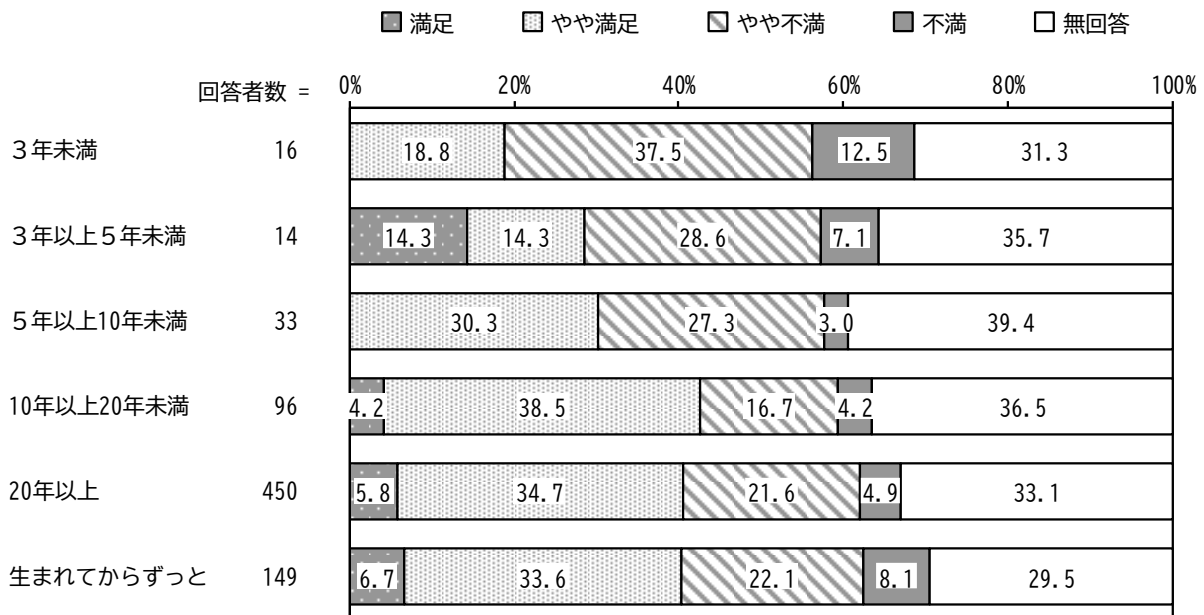
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が40歳代から70歳代以上にかけて高くなる傾向にあります。



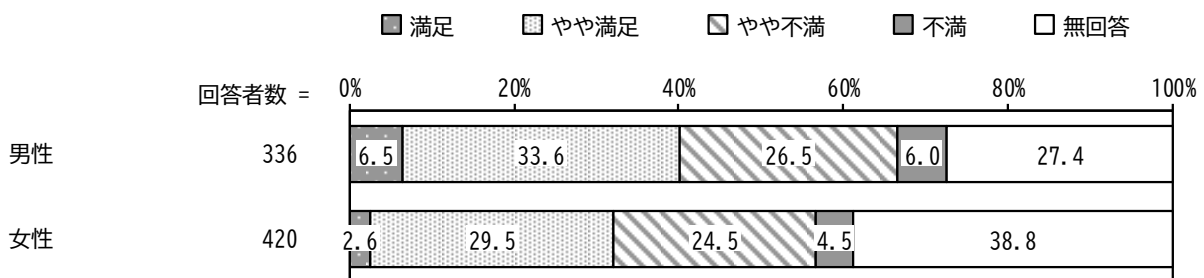
【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合が『3年未満』から『10年以上20年未満』にかけて低くなっています。



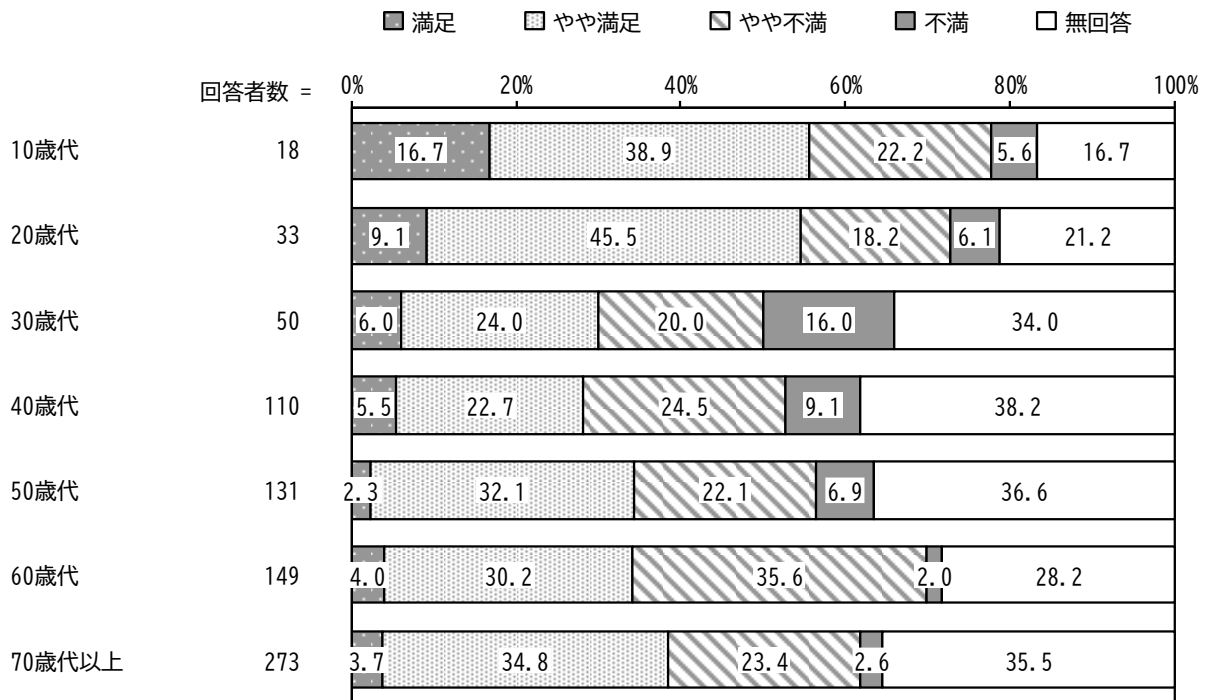
(8) 地域の課題解決力の向上

【性別】



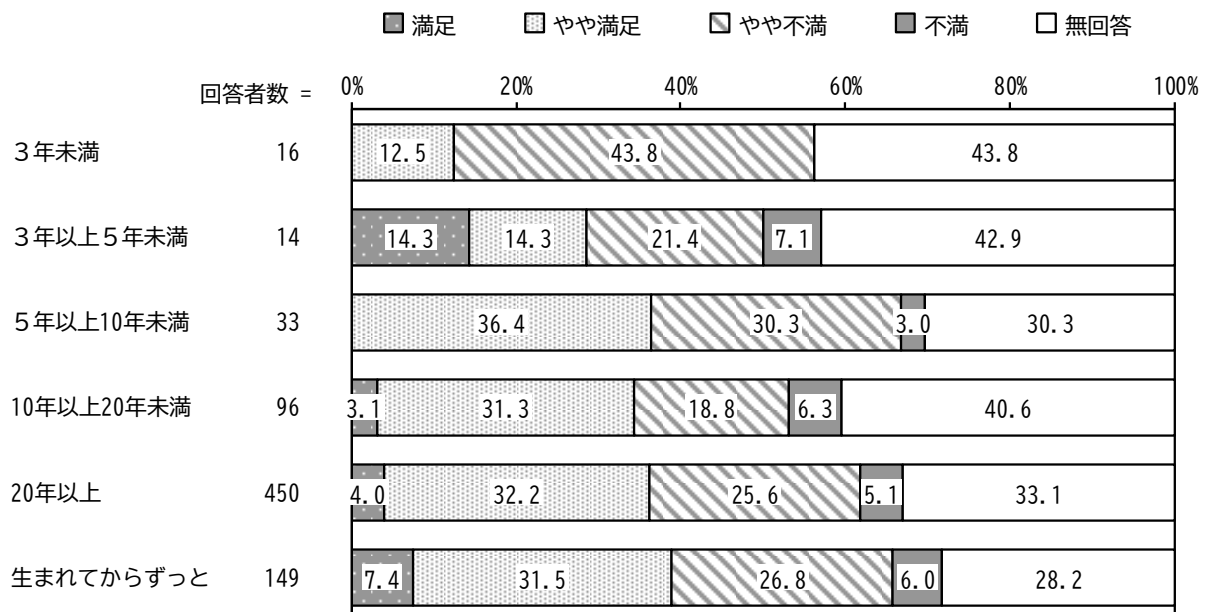
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代から40歳代にかけて低くなっています。



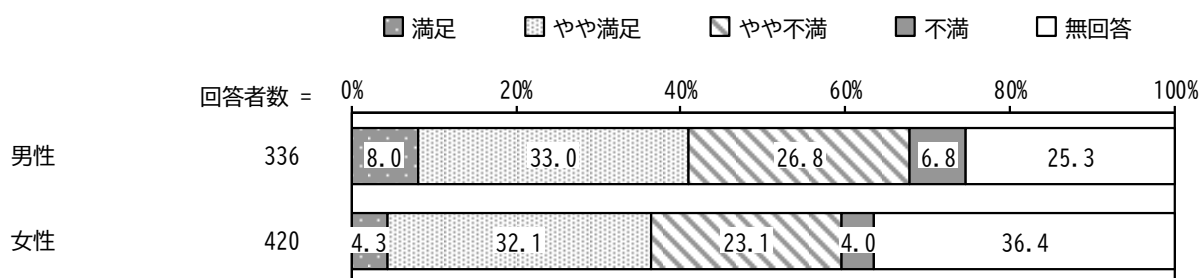
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が居住年数が長いほど高くなる傾向にあります。



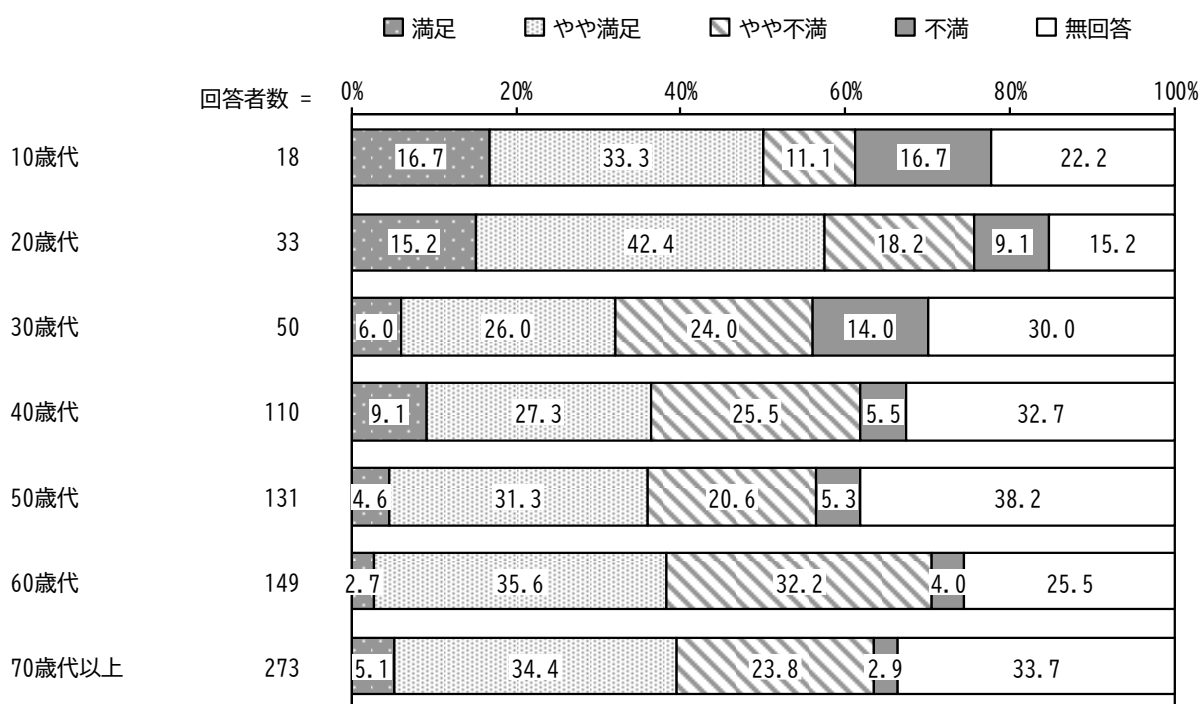
(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり

【性別】



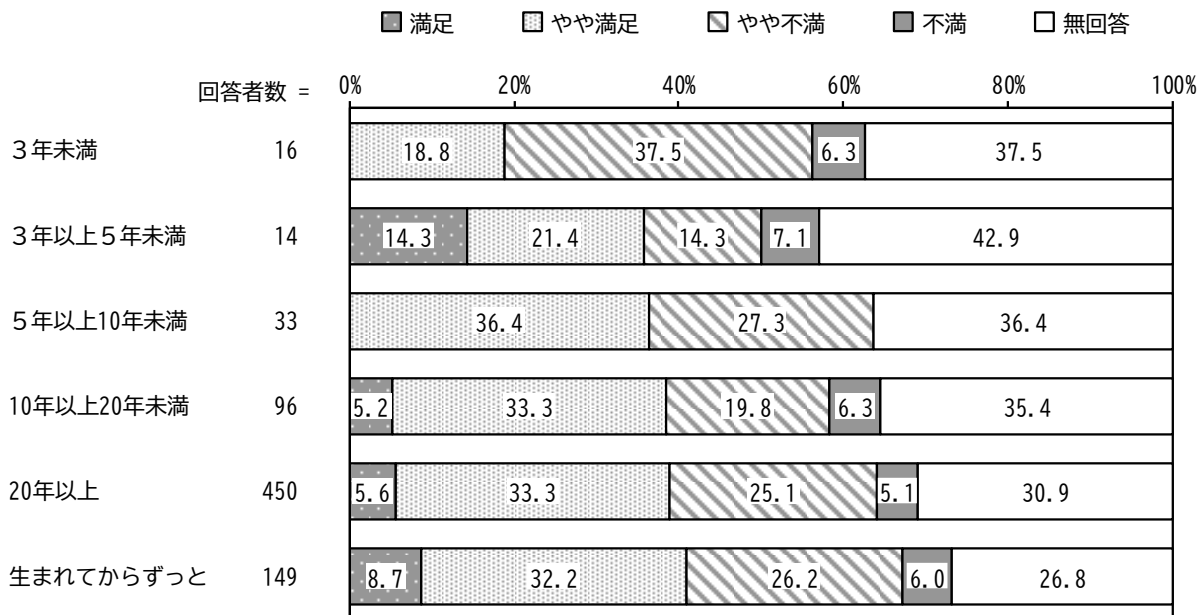
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が20歳代で高く、“不満”の割合が30歳代で高くなっています。



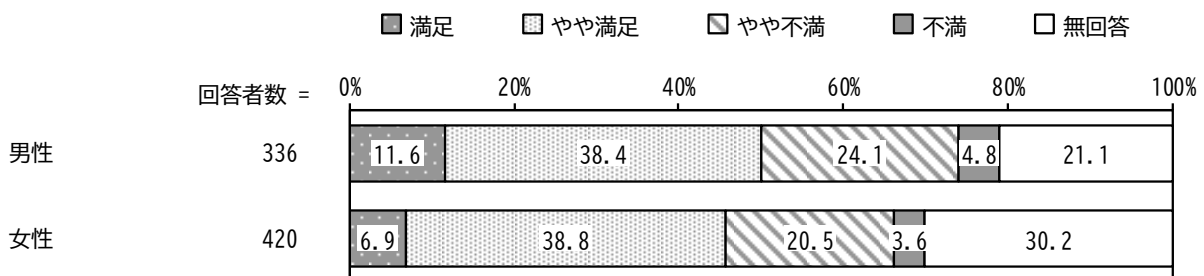
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が居住年数が長いほど高くなっています。また、“不満”の割合が『3年以上5年未満』から『生まれてからずっと』にかけて高くなる傾向にあります。



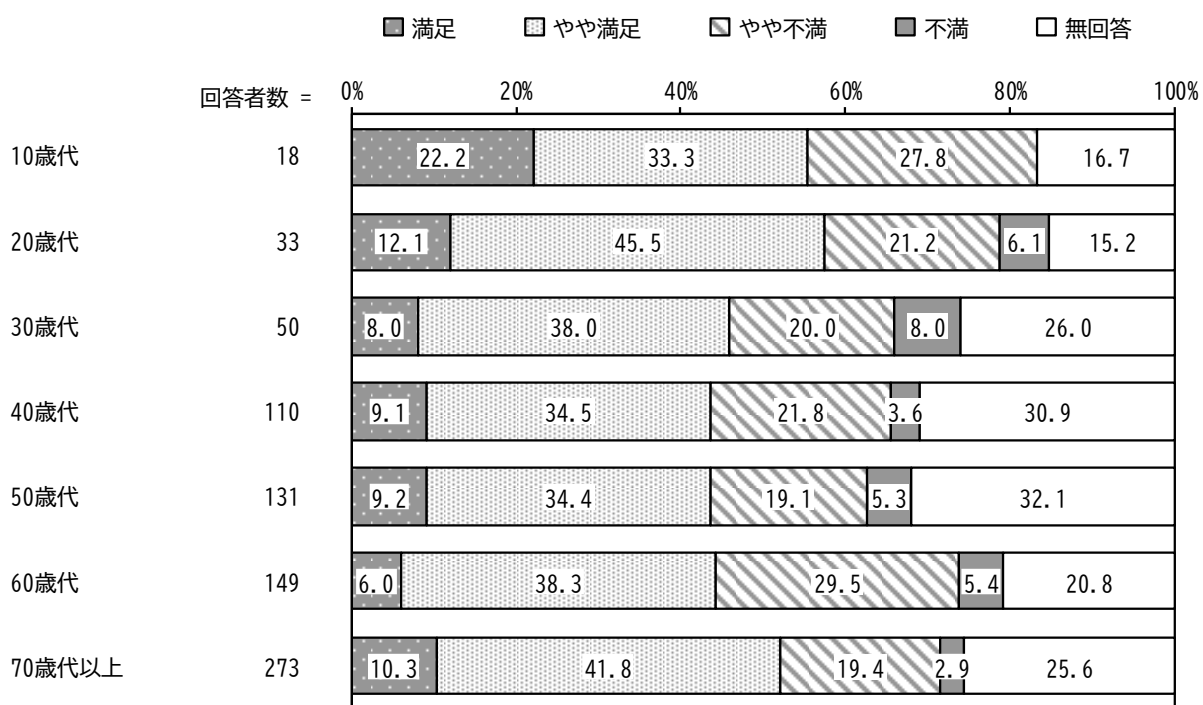
(10) 災害に強いまちづくりの推進

【性別】



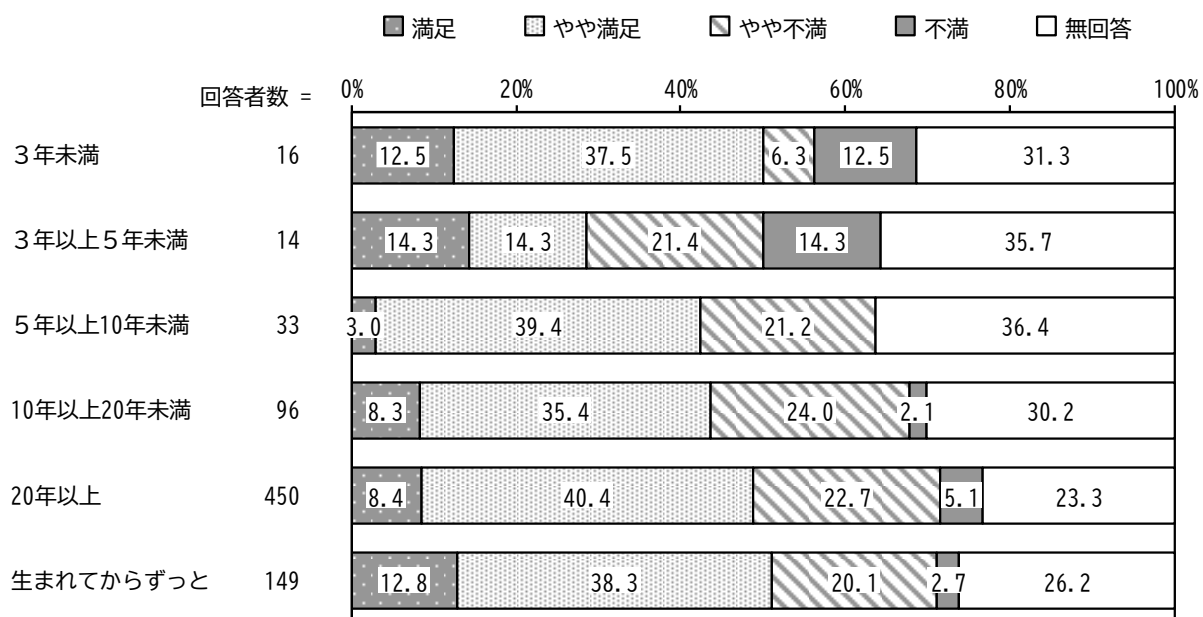
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が20歳代から50歳代にかけて低くなっています。



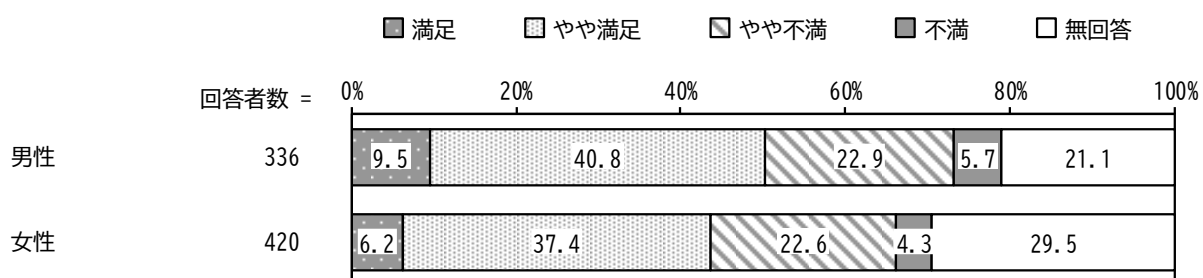
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』から『生まれてからずっと』にかけて高くなっています。



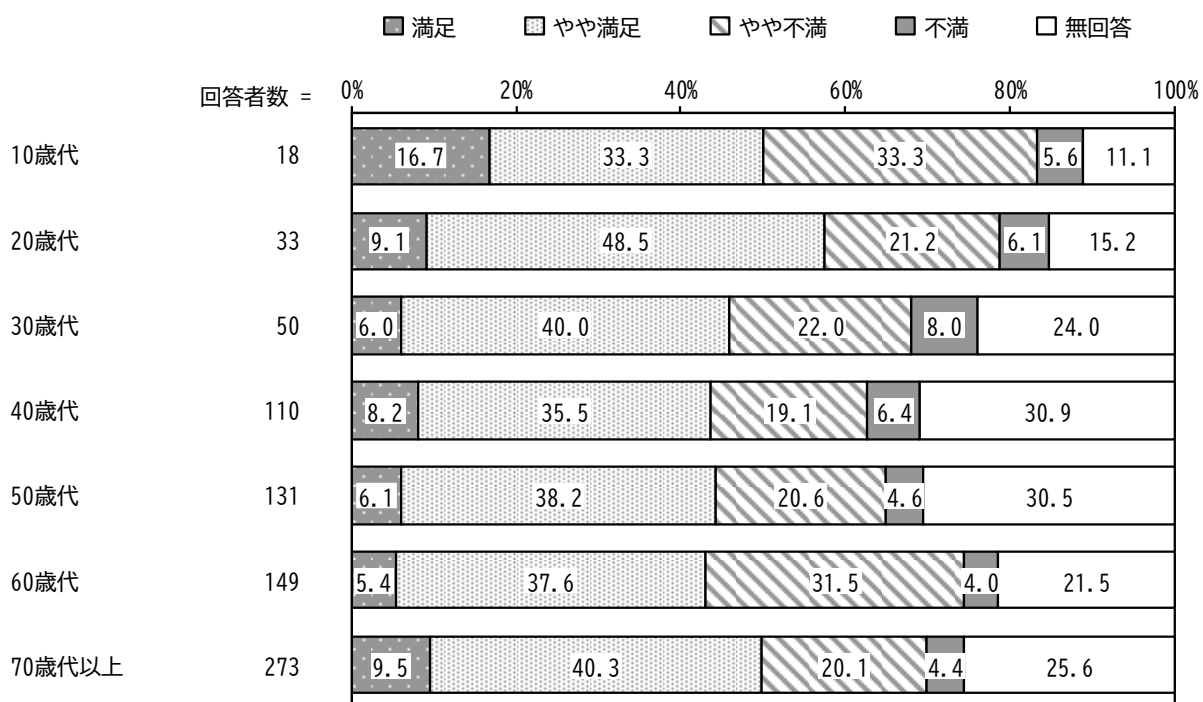
(11) 身近な暮らしの安全づくり

【性別】



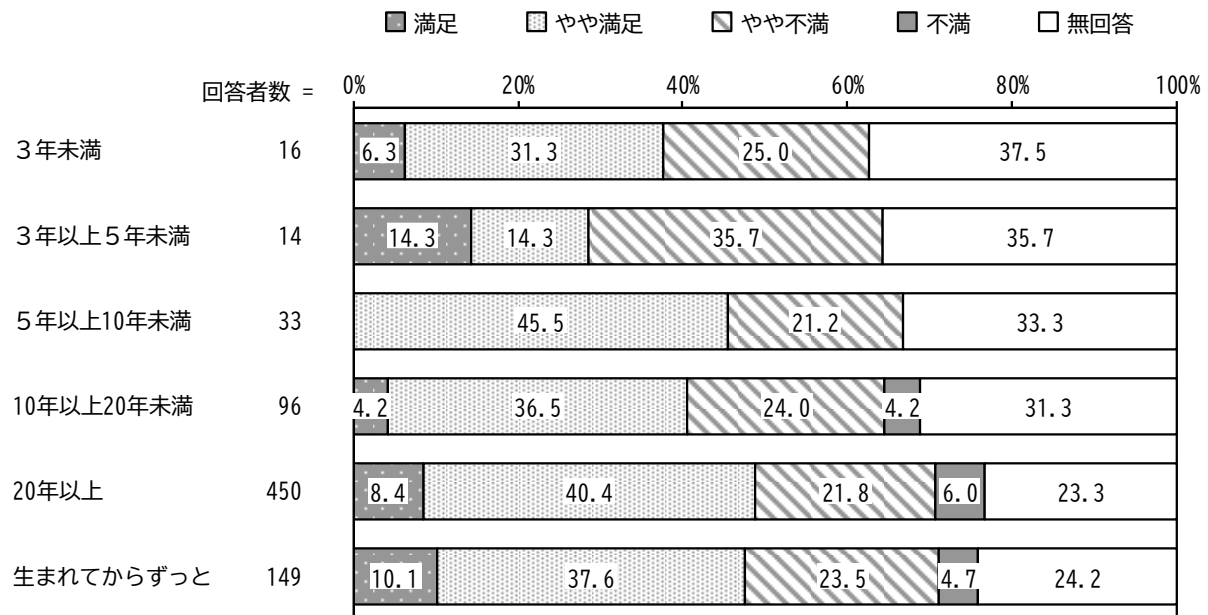
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が20歳代から60歳代にかけて低くなる傾向にあります。



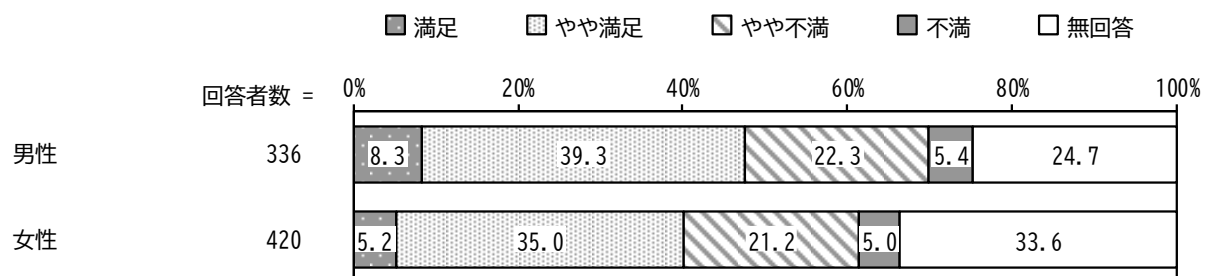
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年未満』、『3年以上5年未満』で低く、“不満”の割合が『5年以上10年未満』で低くなっています。



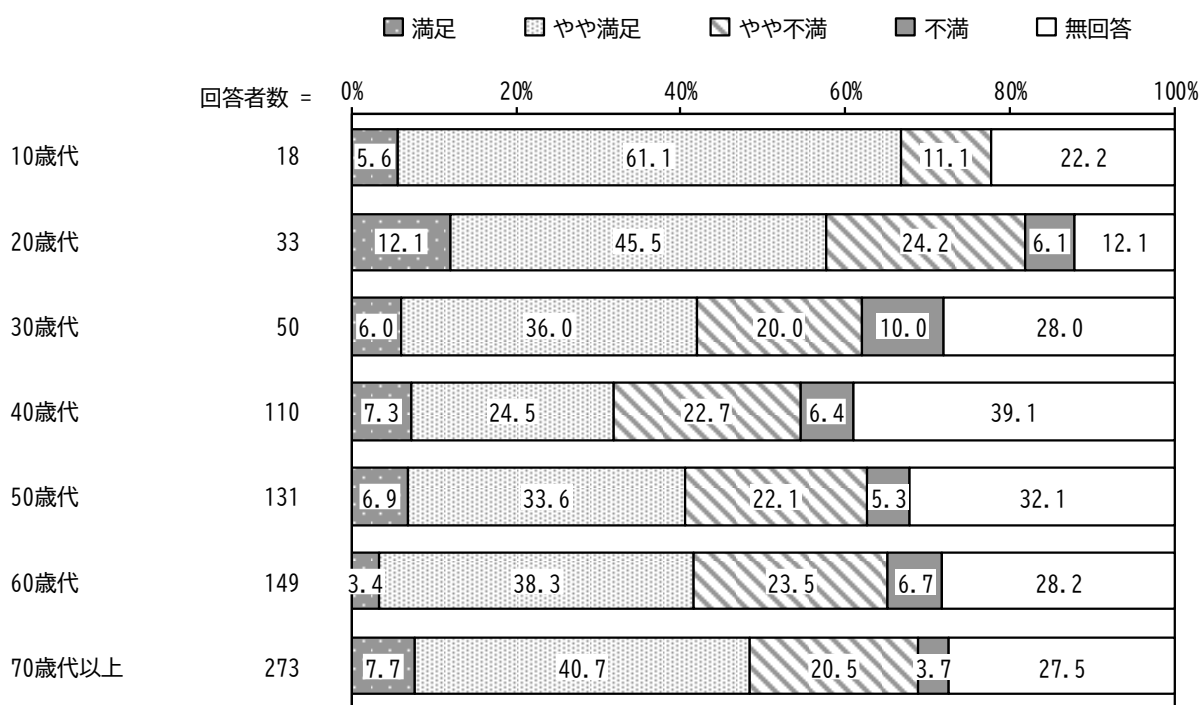
(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

【性別】



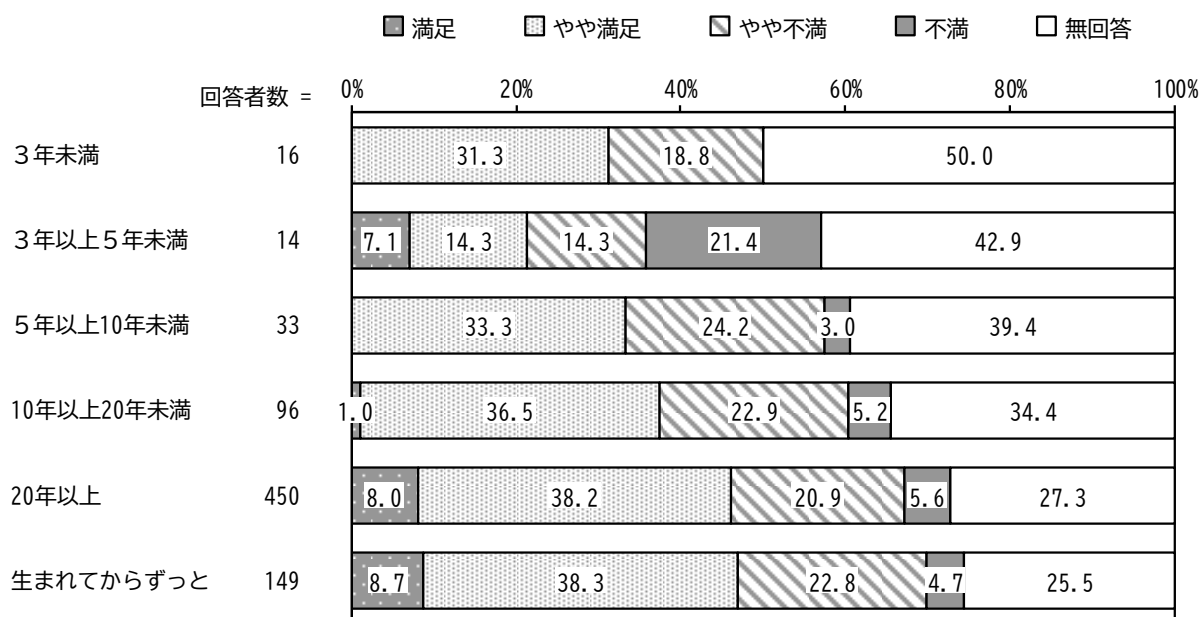
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代から40歳代にかけて低くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』から『生まれてからずっと』にかけて高くなっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・重要度の得点化

12項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を4つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
不満	→	-2点		重要ではない	→	-2点
やや不満	→	-1点		あまり重要ではない	→	-1点
やや満足	→	1点		やや重要	→	1点
満足	→	2点		重要	→	2点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「満足（重要）」の回答数
 +1点×「やや満足（やや重要）」の回答数
 -1点×「やや不満（あまり重要ではない）」の回答数
 -2点×「不満（重要ではない）」の回答数／無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

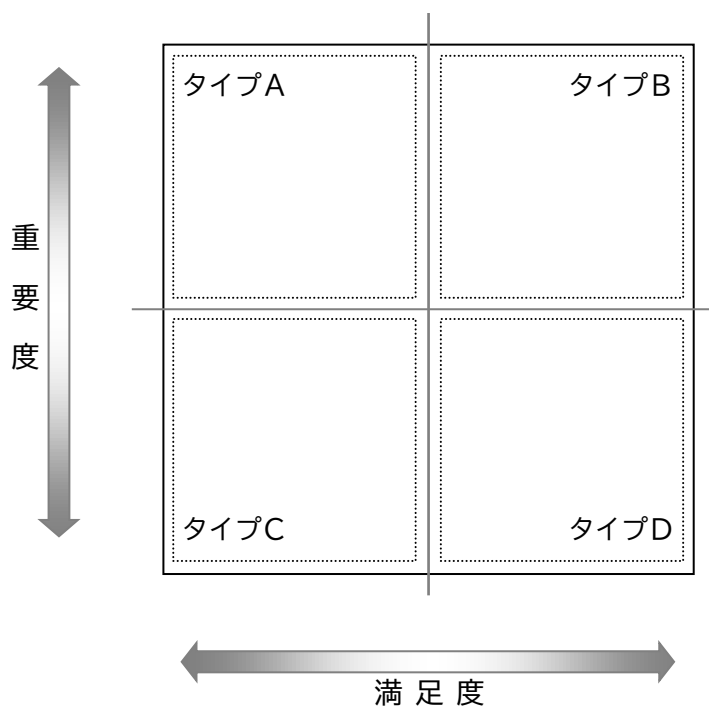
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名				施策名
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	0.53	第1位	1.65	(10)災害に強いまちづくりの推進
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	0.51	第2位	1.56	(11)身近な暮らしの安全づくり
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	0.46	第3位	1.55	(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消
(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進	0.19	第10位	1.23	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進
(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり	0.14	第11位	1.16	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(8)地域の課題解決力の向上	0.07	最下位	1.03	(2)健康寿命を延ばすための健康づくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA 満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB 満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC 満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD 満足度は高い、重要度は低い

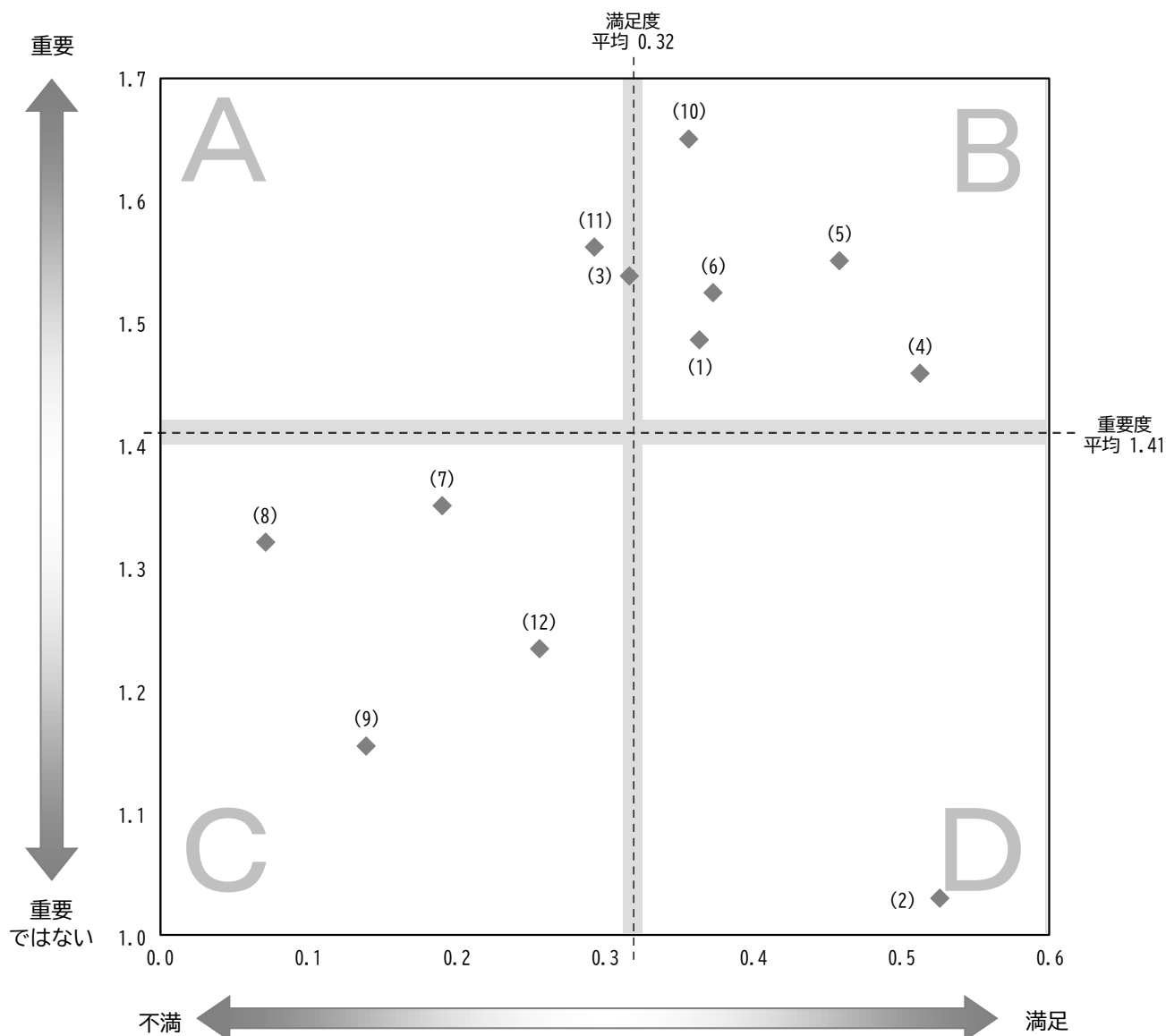
→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 764）

満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(10)災害に強いまちづくりの推進』『(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消』『(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援』『(1)高齢者の暮らしを支援』『(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり』となっています。

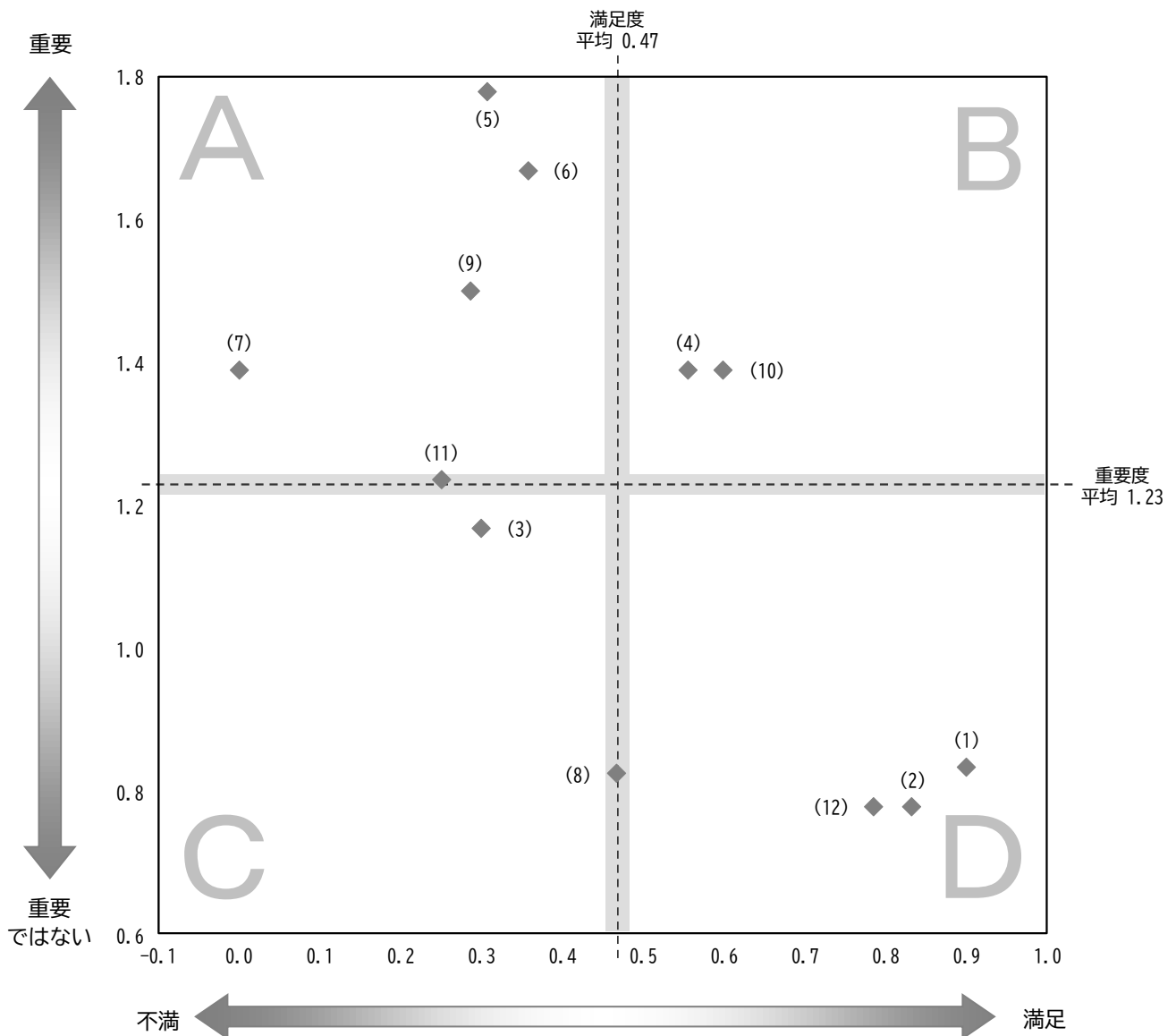
各年代のポートフォリオからみると、可児市は笑顔あふれるまちづくりができており、出産や子育てに対する不安や孤立感が解消され、災害に強いまちづくりが推進されていると多くの世代が感じています。

満足度が低く、重要度が高い施策（タイプA）は、30歳代、40歳代の子育て世代で『(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援』、年代が高くなるほど『(11)身近な暮らしの安心づくり』が挙げられています。



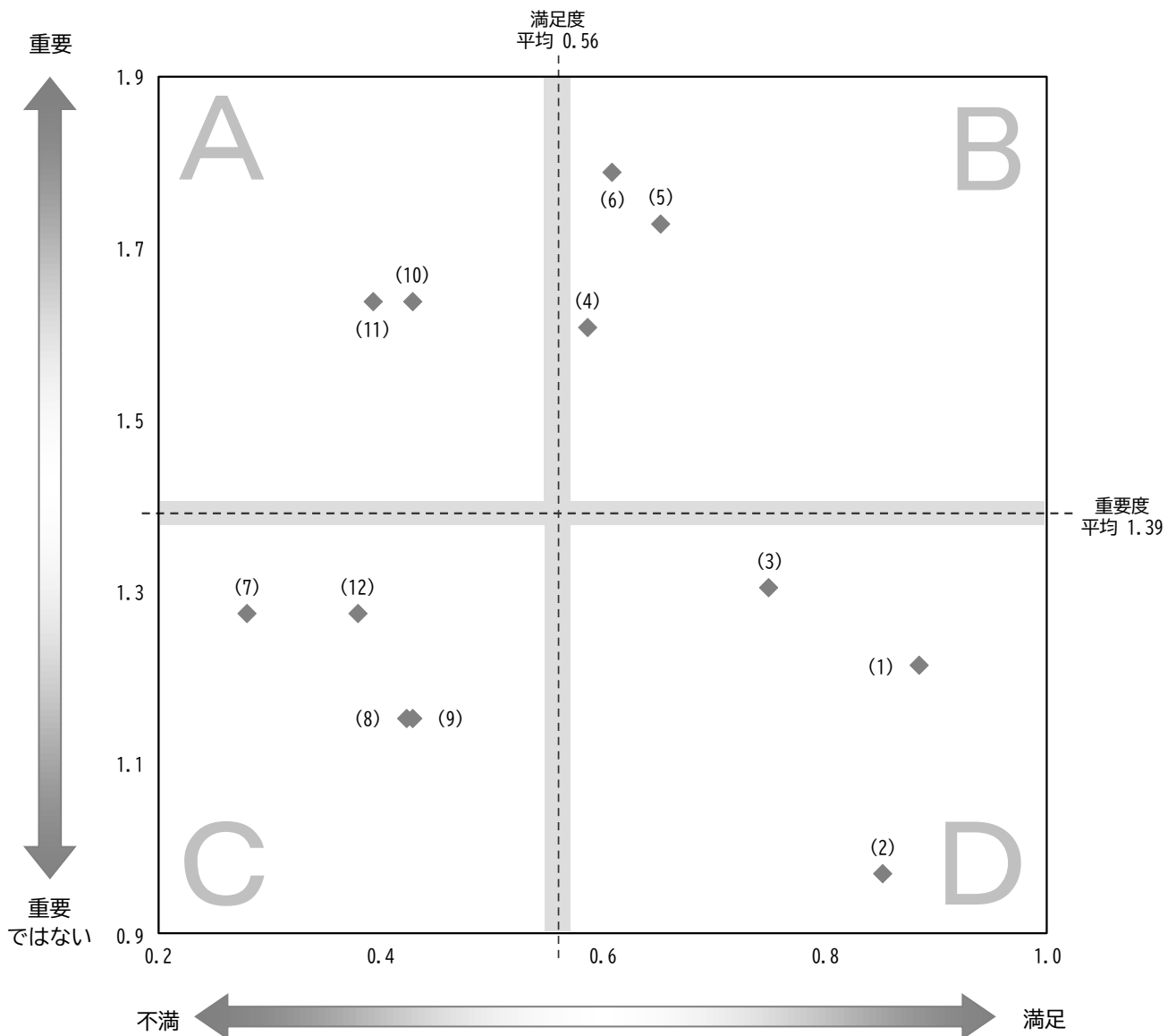
項目	
(1) 高齢者の暮らしを支援	(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり	(8) 地域の課題解決力の向上
(3) 介護保険サービスの安定的な提供	(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10) 災害に強いまちづくりの推進
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11) 身近な暮らしの安心づくり
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（10 歳代 回答者数 = 18）



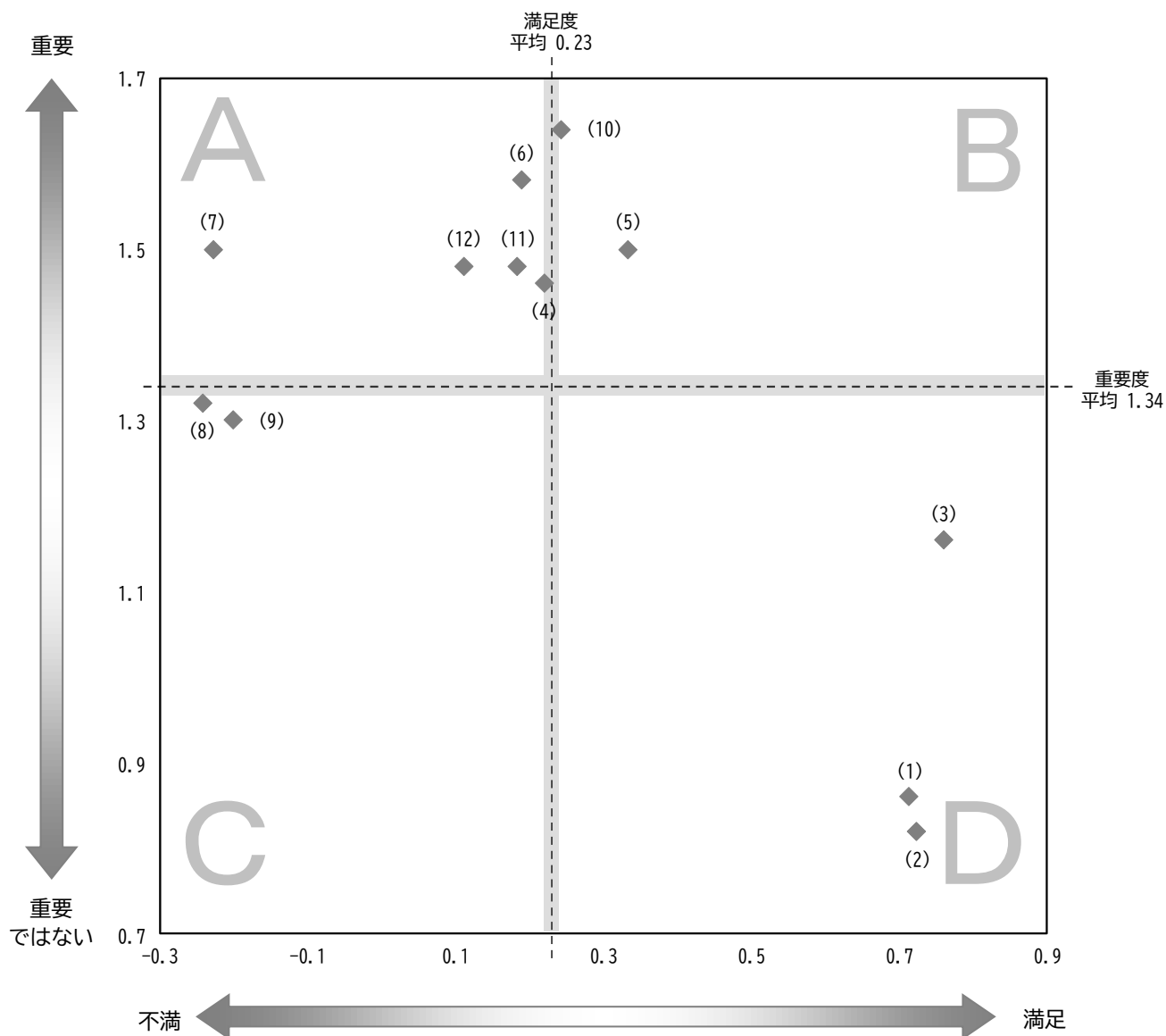
項目	
(1) 高齢者の暮らしを支援	(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり	(8) 地域の課題解決力の向上
(3) 介護保険サービスの安定的な提供	(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10) 災害に強いまちづくりの推進
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11) 身近な暮らしの安全づくり
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（20 歳代 回答者数 = 33）

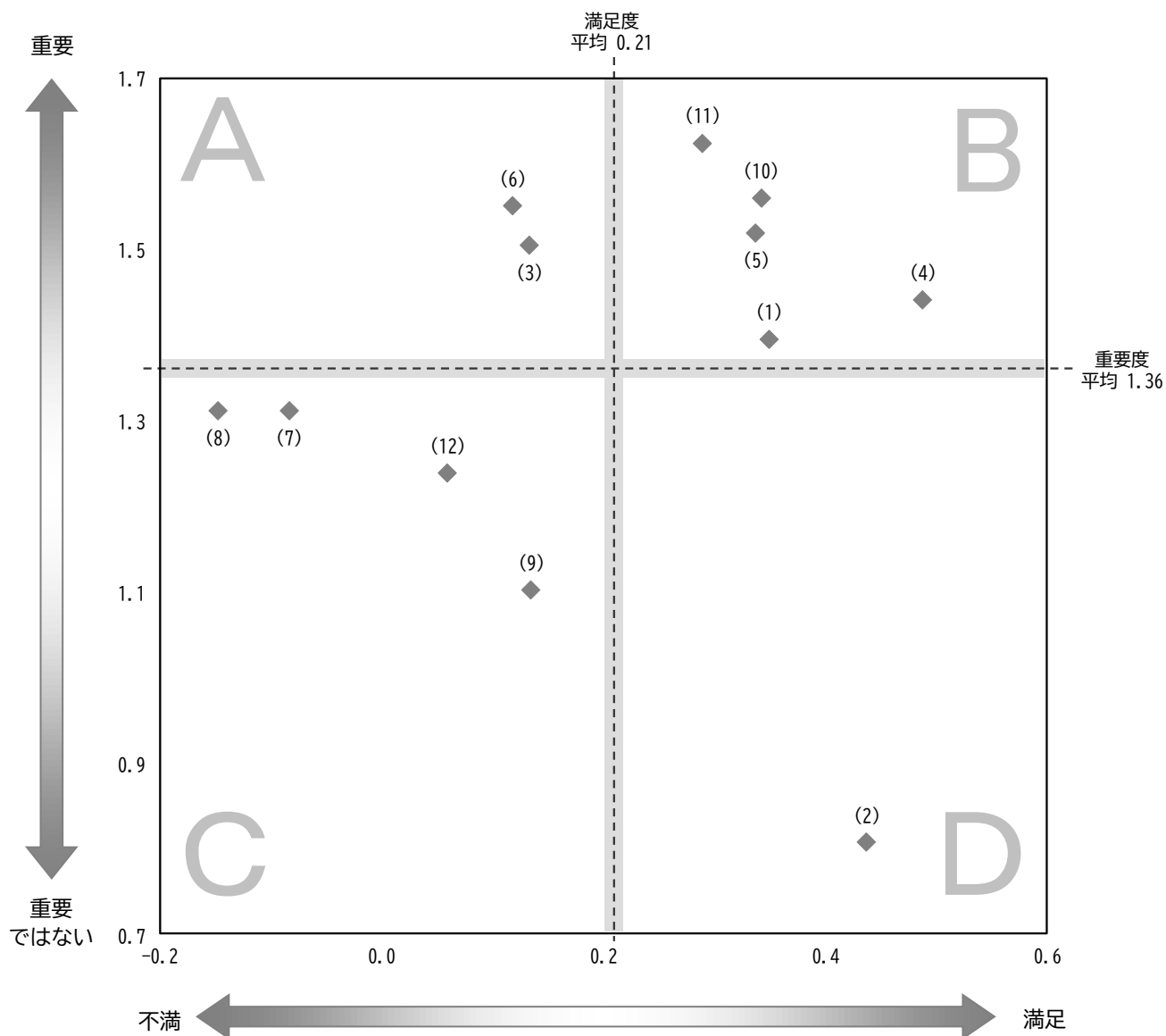


項目	
(1) 高齢者の暮らしを支援	(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり	(8) 地域の課題解決力の向上
(3) 介護保険サービスの安定的な提供	(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10) 災害に強いまちづくりの推進
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11) 身近な暮らしの安全づくり
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（30 歳代 回答者数 = 50）

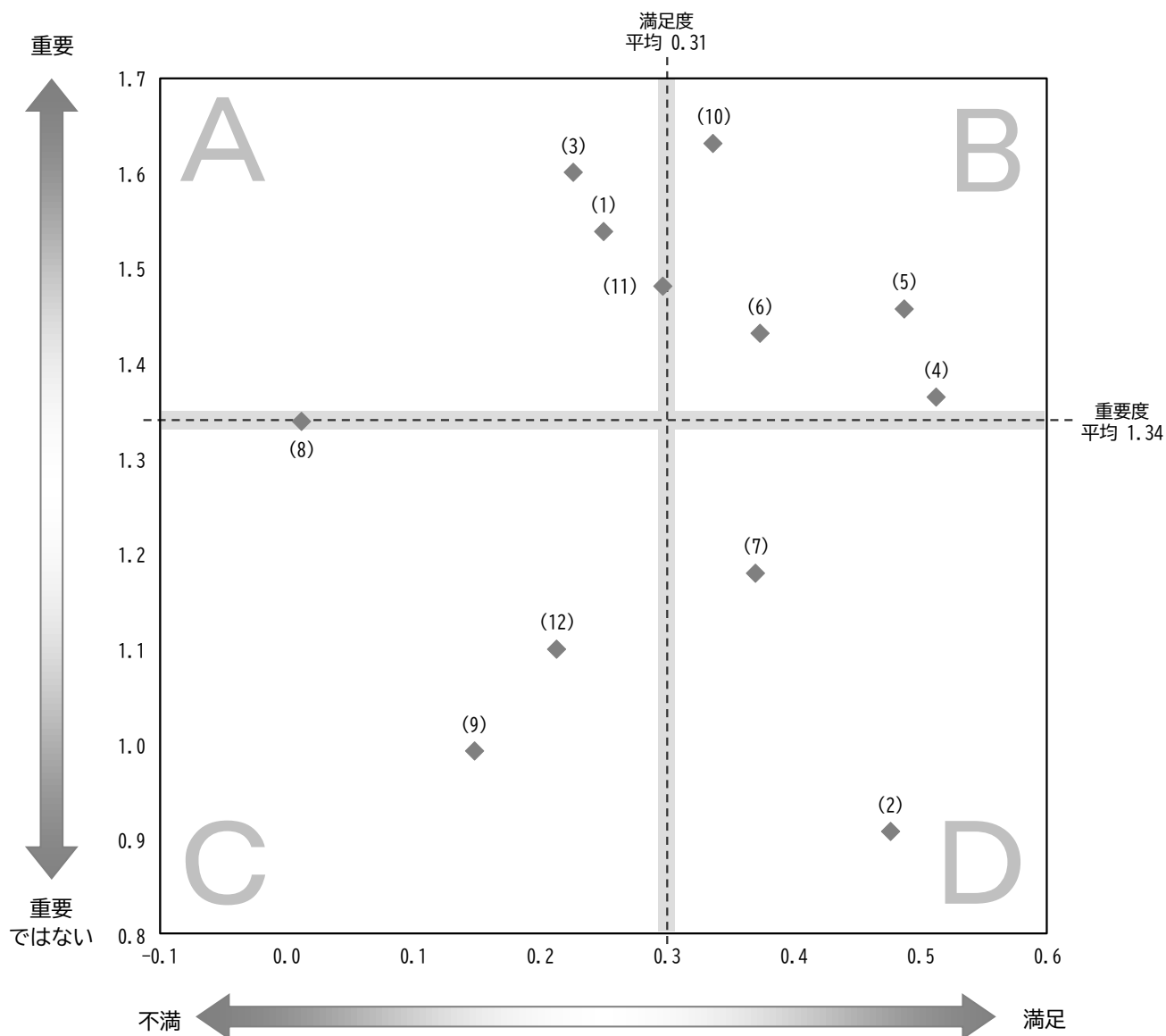


●施策のポートフォリオ分析（40 歳代 回答者数 = 110）



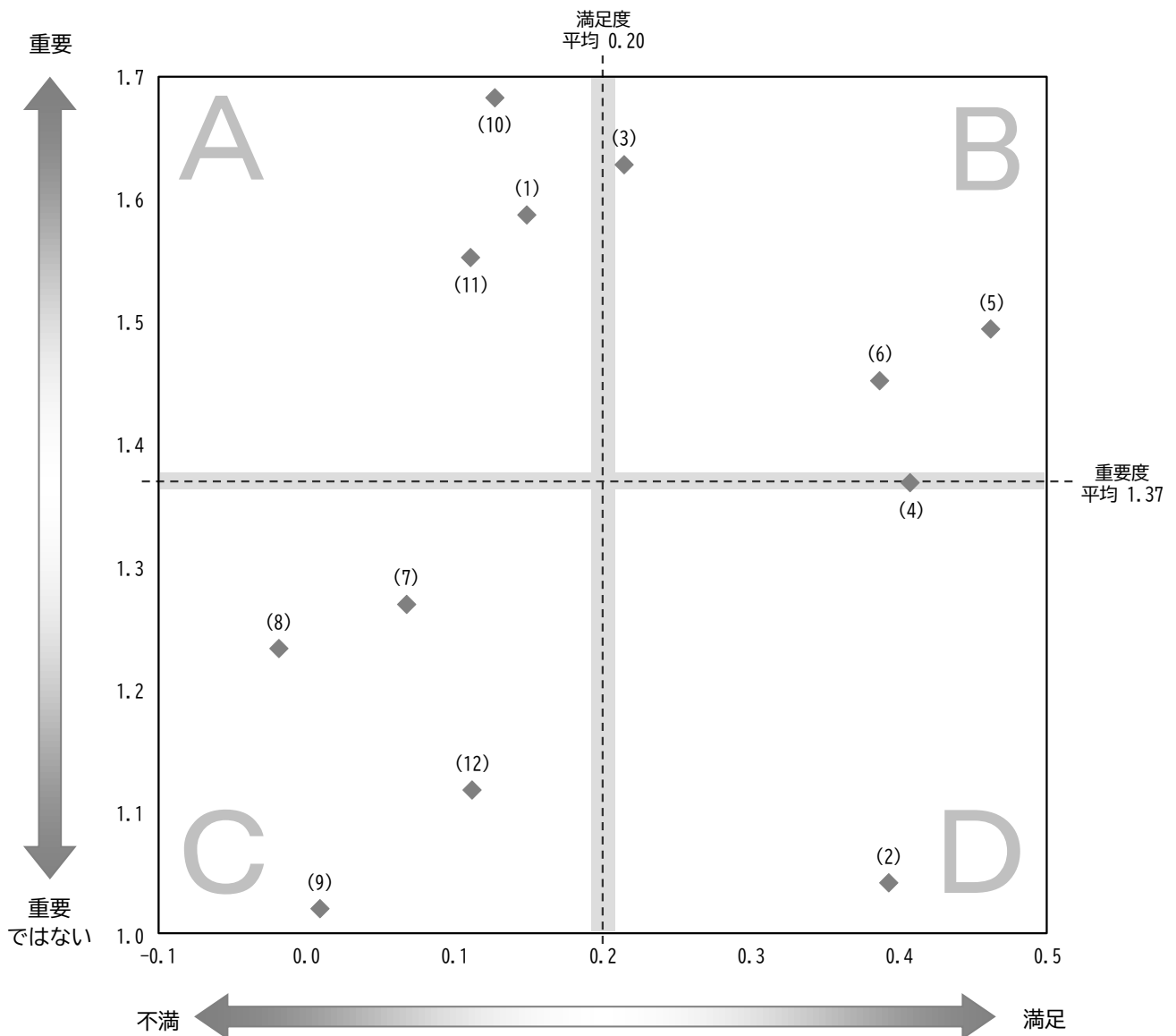
項目	
(1) 高齢者の暮らしを支援	(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり	(8) 地域の課題解決力の向上
(3) 介護保険サービスの安定的な提供	(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10) 災害に強いまちづくりの推進
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11) 身近な暮らしの安全づくり
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（50 歳代 回答者数 = 131）



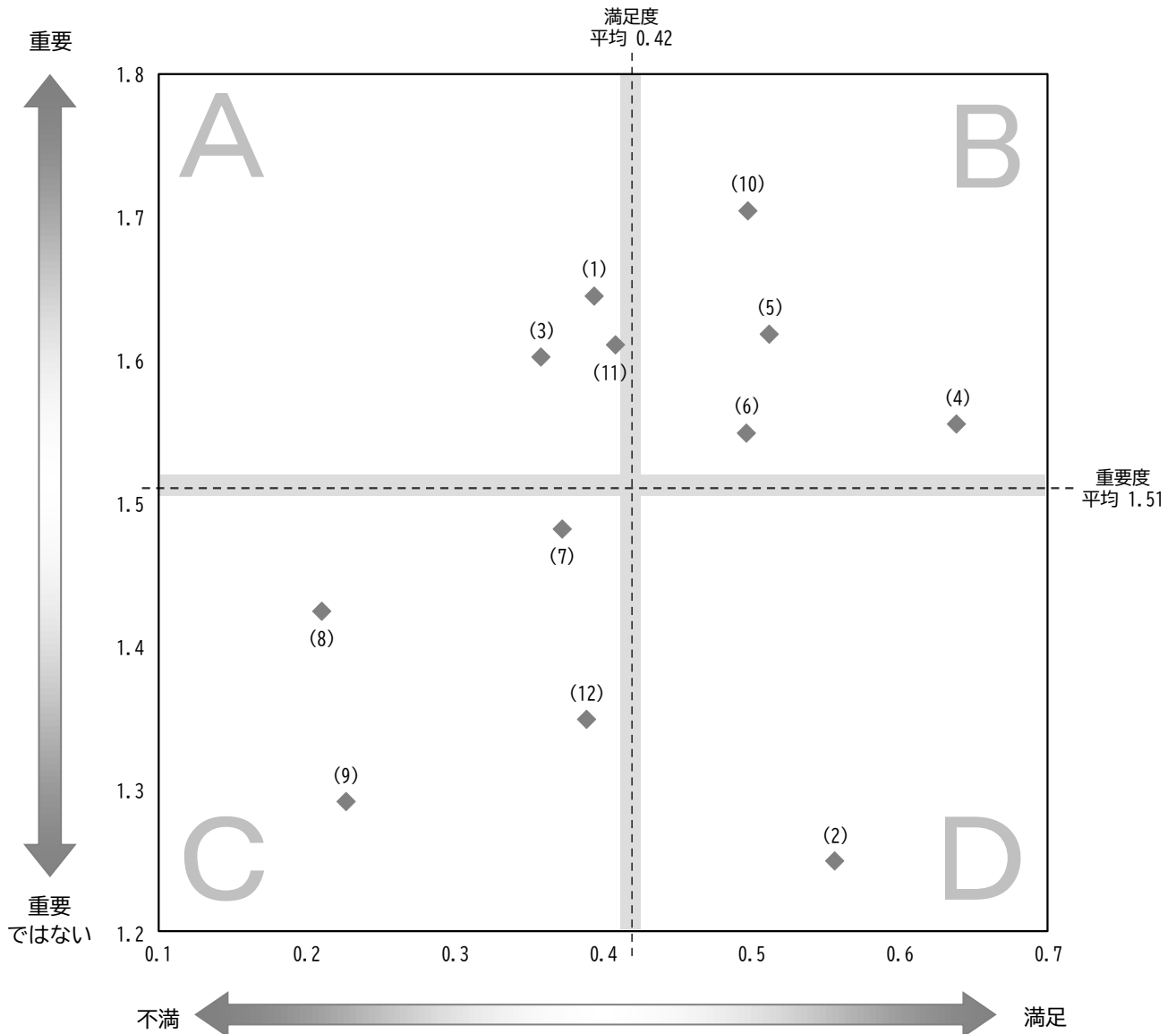
項目	
(1) 高齢者の暮らしを支援	(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり	(8) 地域の課題解決力の向上
(3) 介護保険サービスの安定的な提供	(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10) 災害に強いまちづくりの推進
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11) 身近な暮らしの安全づくり
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（60 歳代 回答者数 = 149）



項目	
(1) 高齢者の暮らしを支援	(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり	(8) 地域の課題解決力の向上
(3) 介護保険サービスの安定的な提供	(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10) 災害に強いまちづくりの推進
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11) 身近な暮らしの安全づくり
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（70 歳以上 回答者数 = 273）



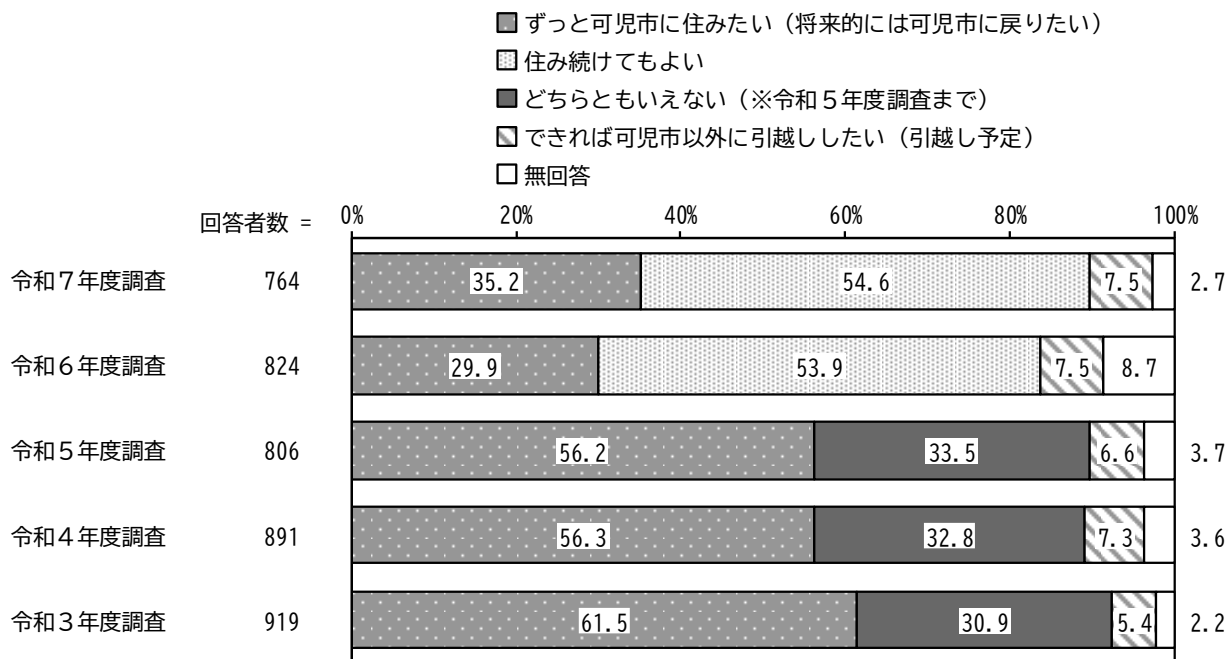
項目	
(1) 高齢者の暮らしを支援	(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり	(8) 地域の課題解決力の向上
(3) 介護保険サービスの安定的な提供	(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10) 災害に強いまちづくりの推進
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11) 身近な暮らしの安全づくり
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

(4) 可児市のイメージについて

問 17 可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

「住み続けてもよい」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」の割合が 35.2%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」の割合が増加しています。

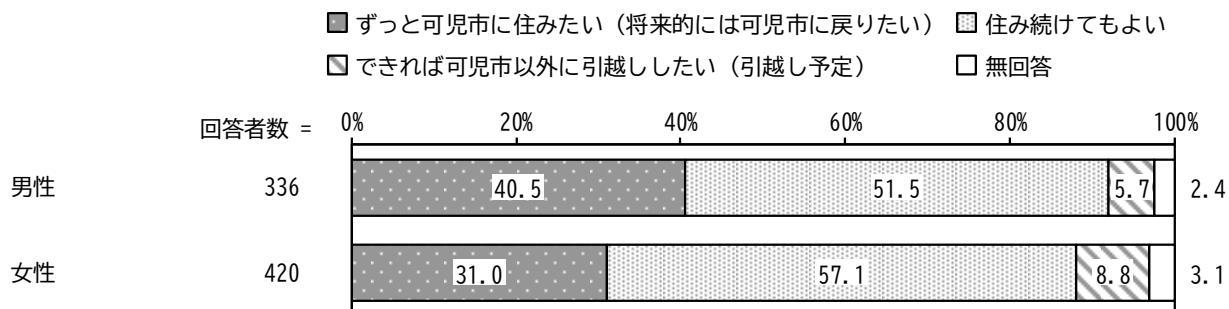


※令和5年度調査以前では、「どちらともいえない(※令和5年度調査まで)」がありました。

令和5年度調査以前では、「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」が「可児市外へ出て、将来的には可児市に戻りたい」となっており、「住み続けてもよい」がありませんでした。

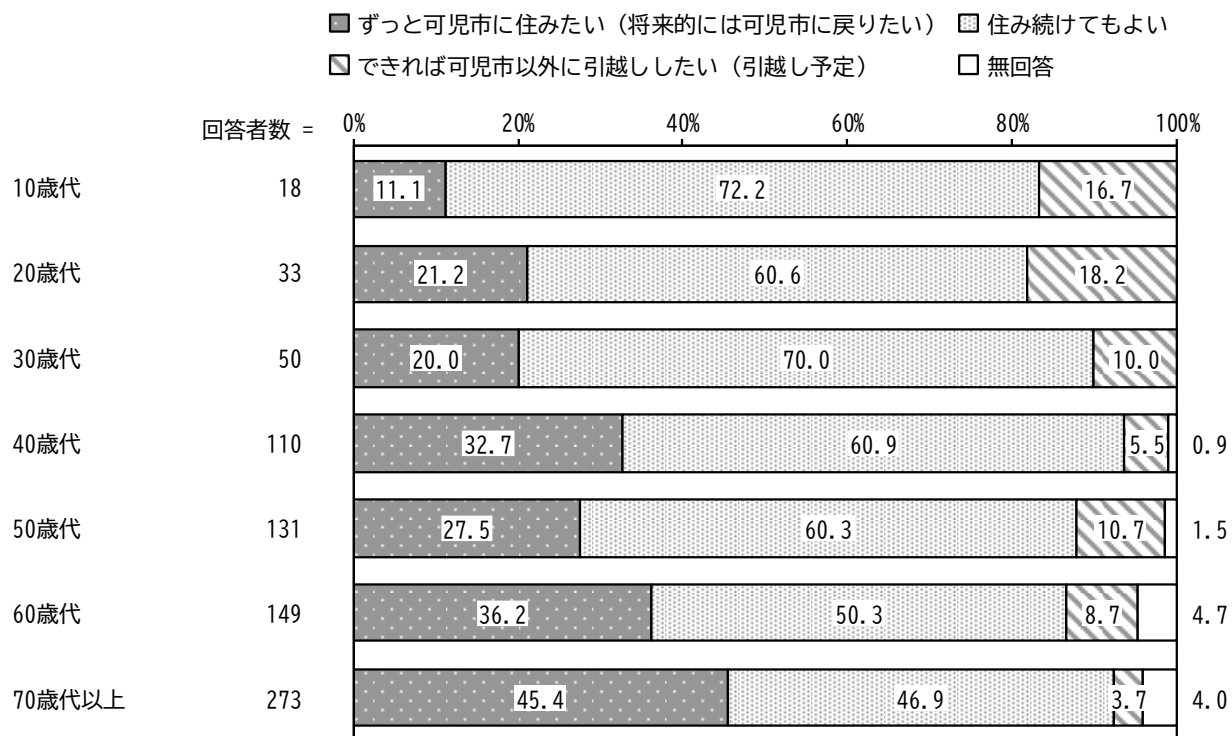
【性別】

性別にみると、「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」の割合が男性で高く、「住み続けてもよい」の割合が女性で高くなっています。



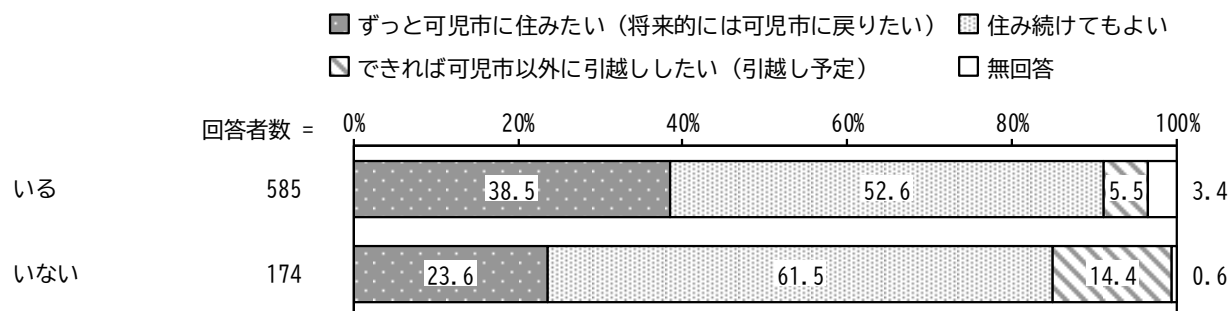
【年代別】

年代別にみると、「ずっと可児市に住みたい（将来的には可児市に戻りたい）」の割合が年齢が上がるほど高くなる傾向にあります。



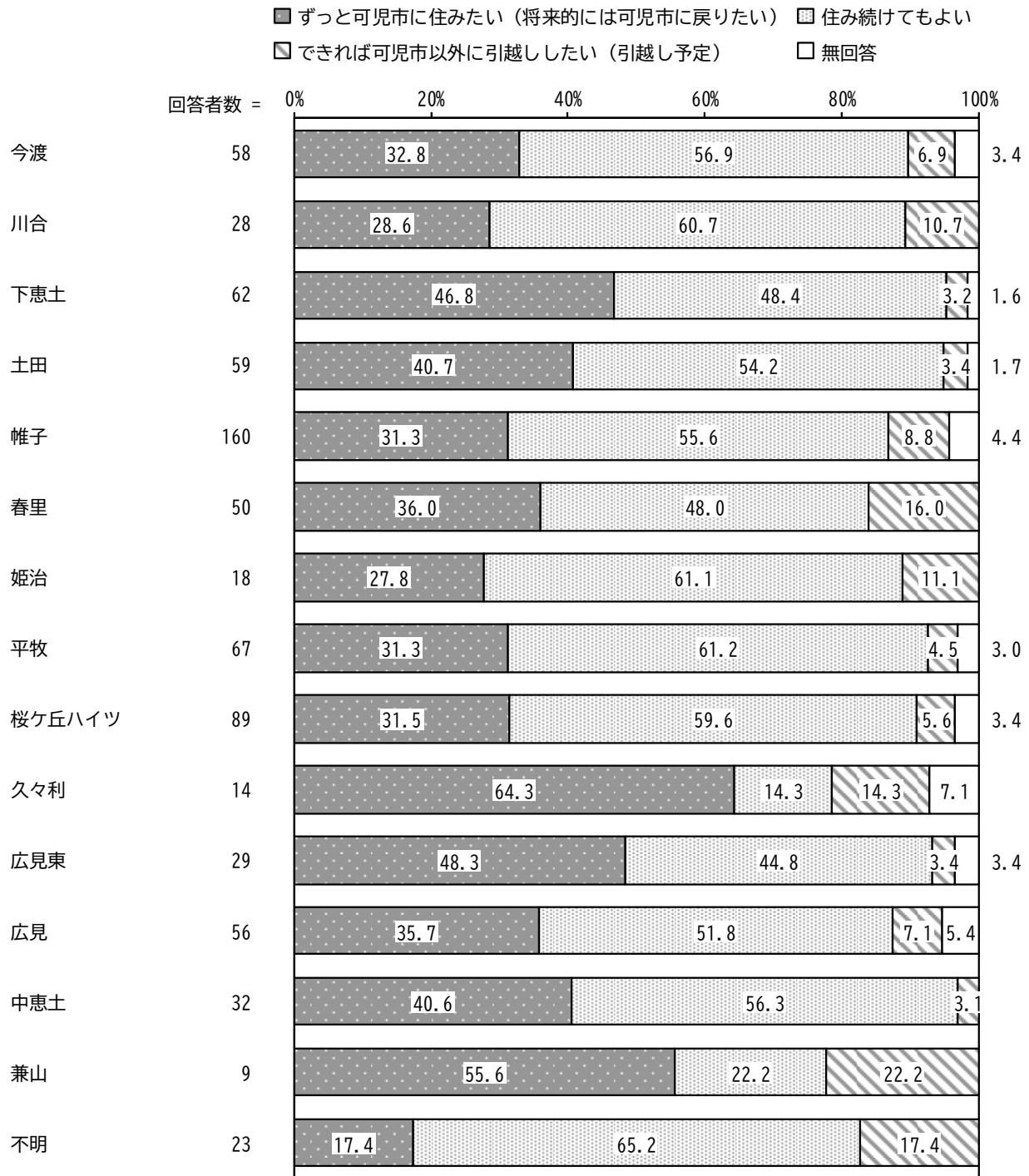
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「ずっと可児市に住みたい（将来的には可児市に戻りたい）」の割合が『いる』で高く、「住み続けてもよい」、「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が『いない』で高くなっています。



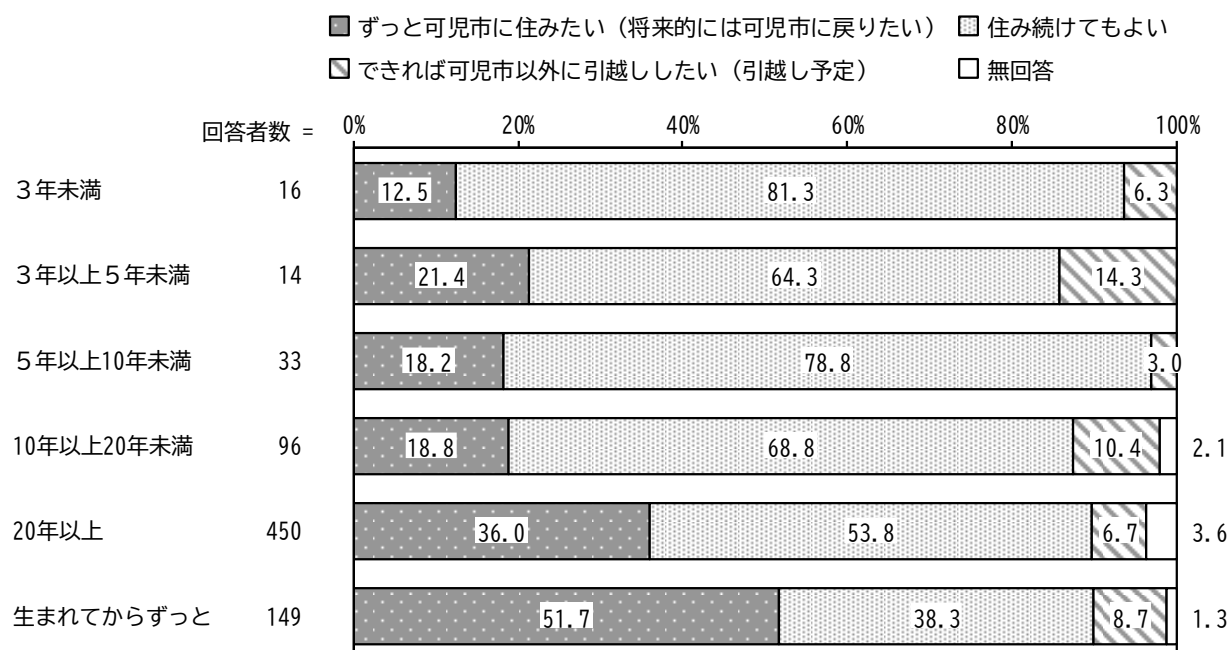
【居住地区別】

居住地区別にみると、「ずっと可児市に住みたい（将来的には可児市に戻りたい）」の割合が「久々利」で最も高く、次いで「兼山」で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、『5年以上10年未満』から『生まれてからずっと』にかけて「可児市に住みたい（将来的には可児市に戻りたい）」の割合が高く、「住み続けてもよい」の割合が低くなっています。

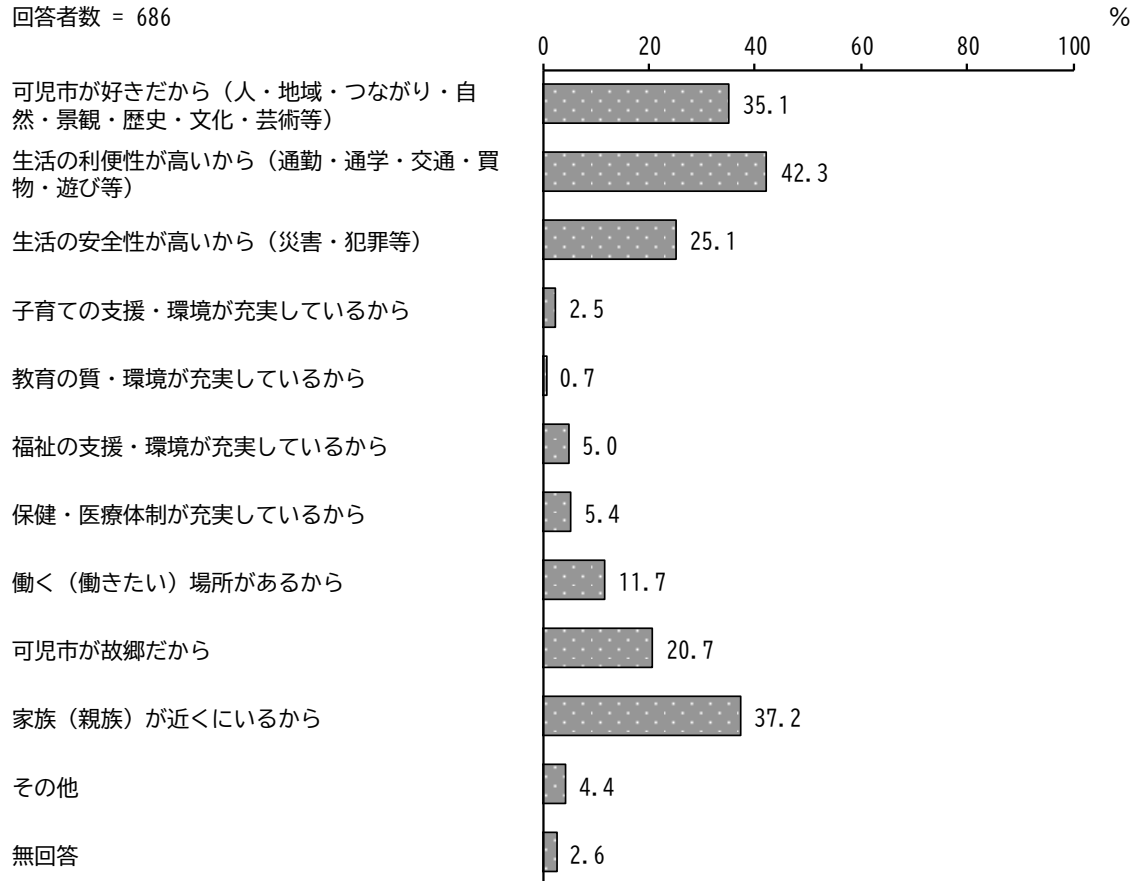


【問 17 で 1（ずっと可児市に住みたい）または 2（住み続けてもよい）を選択された方に伺います】

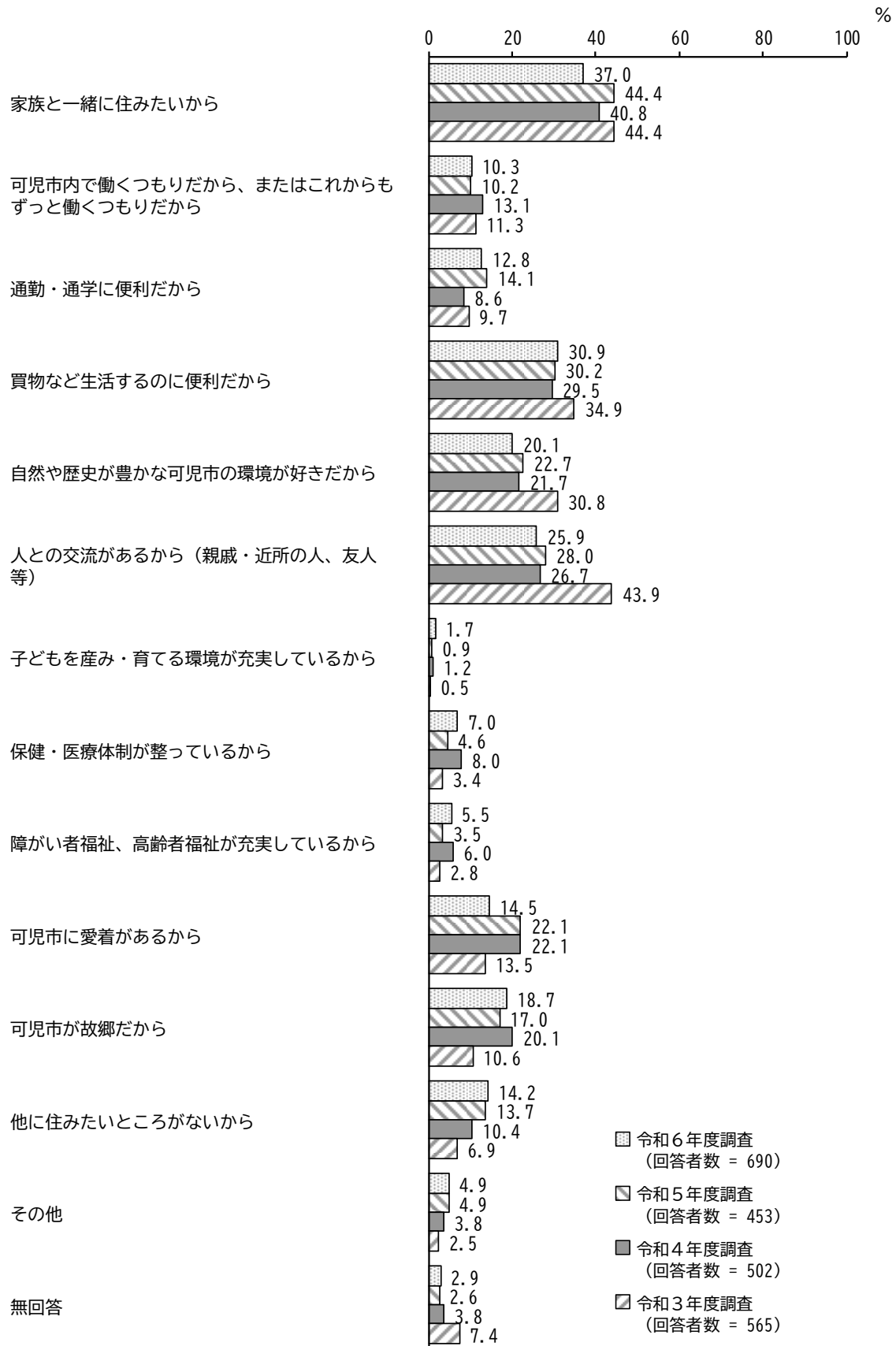
問 18 その理由は何ですか。（○は 3 つまで）

「生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「家族（親族）が近くにいるから」の割合が 37.2%、「可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」の割合が 35.1%となっています。

回答者数 = 686



【経年比較 参考】



【性別】

性別にみると、「可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」、「可児市が故郷だから」の割合が男性で高く、「家族（親族）が近くにいるから」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全 体	686	35.1	42.3	25.1	2.5	0.7	5.0	5.4	11.7	20.7	37.2	4.4	2.6
男性	309	40.1	42.4	25.2	1.6	1.0	4.9	4.5	11.0	25.6	31.4	5.2	2.6
女性	370	31.4	41.6	25.1	3.2	0.5	4.9	5.9	11.6	17.0	42.7	3.5	2.7

【年代別】

年代別にみると、「可児市が故郷だから」の割合が年齢が下がるほど高くなっています。また、「家族（親族）が近くにいるから」の割合が20歳代で高く、「可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」の割合が70歳代以上で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全 体	686	35.1	42.3	25.1	2.5	0.7	5.0	5.4	11.7	20.7	37.2	4.4	2.6
10歳代	15	26.7	46.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	53.3	46.7	0.0	0.0
20歳代	27	22.2	40.7	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	14.8	48.1	63.0	3.7	0.0
30歳代	45	13.3	48.9	4.4	15.6	0.0	0.0	2.2	20.0	37.8	42.2	6.7	4.4
40歳代	103	32.0	40.8	20.4	5.8	2.9	1.0	5.8	14.6	27.2	40.8	3.9	1.0
50歳代	115	25.2	45.2	12.2	0.9	0.0	2.6	1.7	22.6	20.0	44.3	3.5	2.6
60歳代	129	34.9	43.4	32.6	0.0	0.0	6.2	5.4	10.1	15.5	32.6	3.1	3.1
70歳代以上	252	46.8	39.7	35.7	0.8	0.8	8.7	8.3	4.8	13.1	30.6	5.6	3.2

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」、「生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）」の割合が『いる』で高く、「可児市が故郷だから」の割合が『いない』で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全 体	686	35.1	42.3	25.1	2.5	0.7	5.0	5.4	11.7	20.7	37.2	4.4	2.6
いる	533	37.1	42.6	28.0	3.2	0.8	5.8	5.8	11.3	17.8	36.4	5.1	2.4
いない	148	28.4	41.9	14.9	0.0	0.0	2.0	4.1	12.8	30.4	39.9	2.0	3.4

【居住地区別】

居住地区別にみると、「可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」の割合が今渡で低く、「生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が「下恵土」で高く、「生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）」の割合が「桜ヶ丘ハイツ」で高く、「働く（働きたい）場所があるから」の割合が「川合」で高く、「家族（親族）が近くにいるから」の割合が「春里」で高くなっています。

単位：％

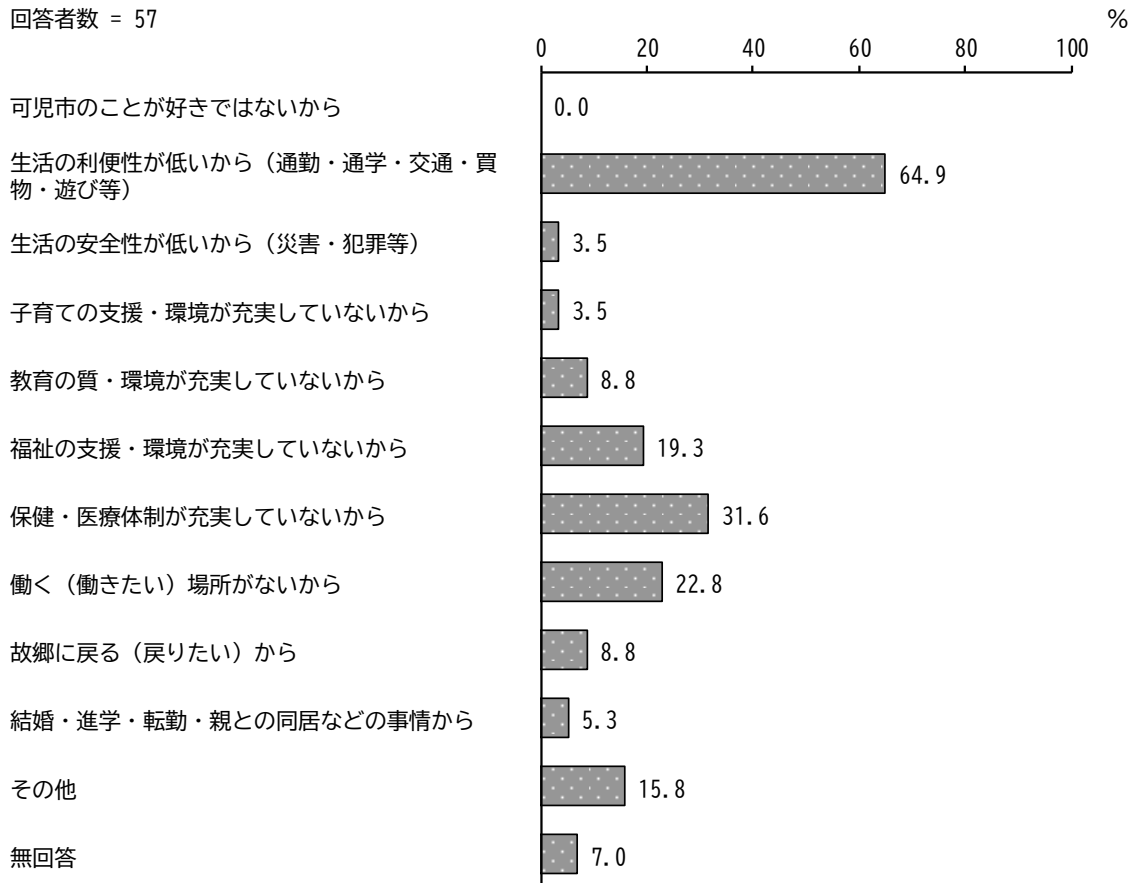
区分	回答者数（件）	可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全 体	686	35.1	42.3	25.1	2.5	0.7	5.0	5.4	11.7	20.7	37.2	4.4	2.6
今渡	52	15.4	53.8	15.4	11.5	1.9	7.7	7.7	19.2	23.1	42.3	1.9	3.8
川合	25	24.0	48.0	16.0	0.0	0.0	0.0	12.0	28.0	16.0	44.0	4.0	0.0
下恵土	59	37.3	62.7	22.0	1.7	0.0	3.4	5.1	15.3	23.7	33.9	0.0	3.4
土田	56	26.8	48.2	25.0	1.8	0.0	1.8	1.8	10.7	16.1	41.1	3.6	3.6
帷子	139	43.9	39.6	33.1	2.2	0.0	5.0	3.6	7.2	13.7	33.8	5.0	1.4
春里	42	26.2	28.6	19.0	2.4	2.4	2.4	0.0	4.8	35.7	54.8	9.5	2.4
姫治	16	37.5	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	31.3	37.5	12.5	0.0
平牧	62	40.3	37.1	24.2	1.6	0.0	11.3	11.3	3.2	21.0	32.3	1.6	4.8
桜ヶ丘ハイツ	81	39.5	33.3	46.9	1.2	3.7	7.4	4.9	11.1	8.6	28.4	6.2	1.2
久々利	11	45.5	18.2	45.5	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	54.5	27.3	9.1	0.0
広見東	27	48.1	51.9	11.1	3.7	0.0	3.7	0.0	18.5	51.9	44.4	3.7	0.0
広見	49	28.6	49.0	16.3	4.1	0.0	2.0	6.1	16.3	20.4	42.9	4.1	2.0
中恵土	31	32.3	48.4	12.9	0.0	0.0	6.5	12.9	12.9	22.6	35.5	3.2	3.2
兼山	7	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	42.9	14.3	0.0
不明	19	31.6	36.8	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	15.8	31.6	5.3	5.3

【問 17 で 3（できれば可児市以外に引越したい（引越し予定））を選択された方に伺います】

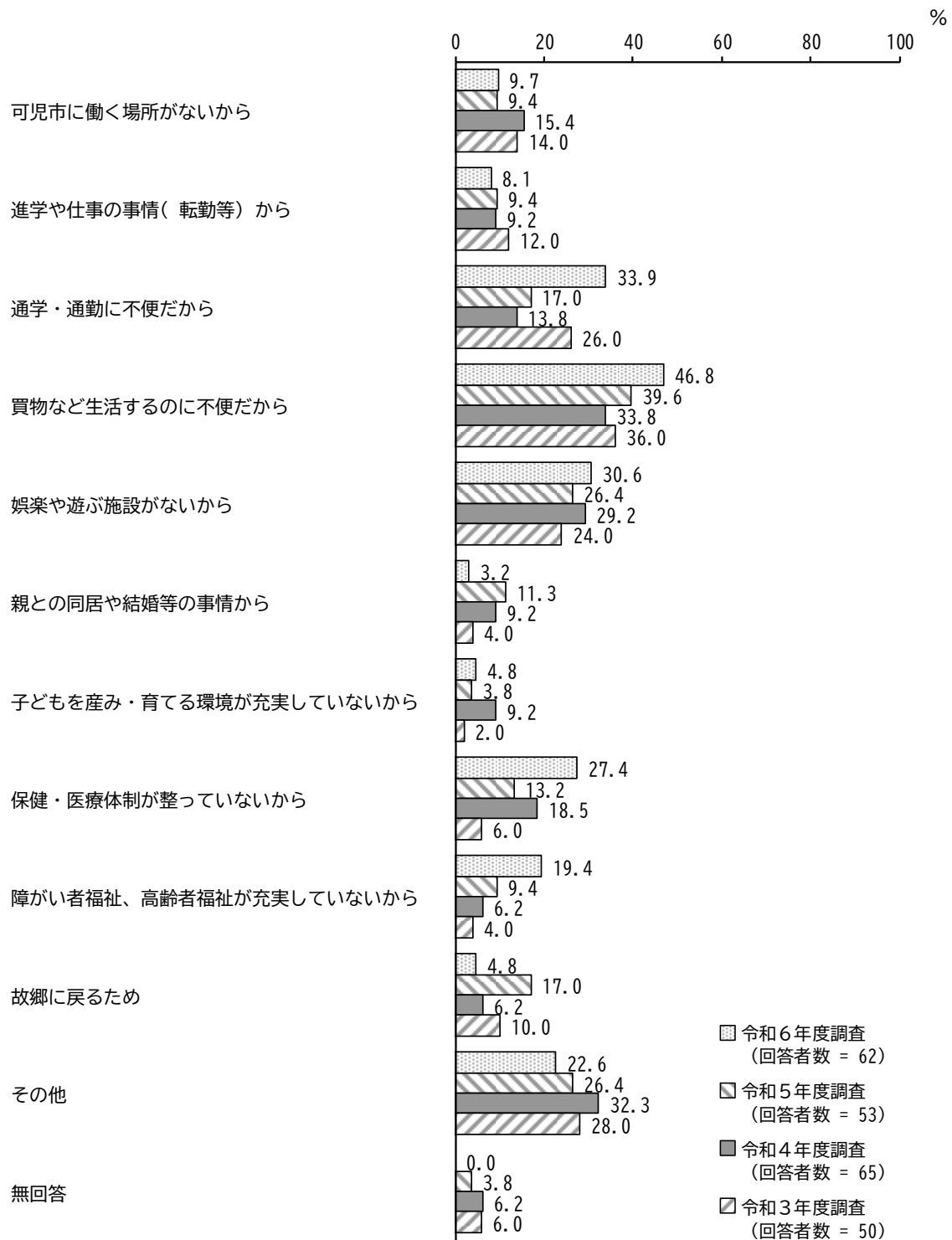
問 19 その理由は何ですか。（○は3つまで）

「生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「保健・医療体制が充実していないから」の割合が 31.6%、「働く（働きたい）場所がないから」の割合が 22.8%となっています。

回答者数 = 57



【経年比較 参考】



【性別】

性別にみると、「生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）」、「教育の質・環境が充実していないから」、「故郷に戻る（戻りたい）から」、「結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から」の割合が男性で高く、「生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」、「子育ての支援・環境が充実していないから」、「福祉の支援・環境が充実していないから」、「保健・医療体制が充実していないから」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全 体	57	0.0	64.9	3.5	3.5	8.8	19.3	31.6	22.8	8.8	5.3	15.8	7.0
男性	19	0.0	57.9	5.3	0.0	15.8	0.0	26.3	21.1	15.8	10.5	21.1	15.8
女性	37	0.0	70.3	0.0	5.4	5.4	29.7	35.1	24.3	5.4	2.7	13.5	2.7

【年代別】

年代別にみると、「保健・医療体制が充実していないから」の割合が 60 歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全 体	57	0.0	64.9	3.5	3.5	8.8	19.3	31.6	22.8	8.8	5.3	15.8	7.0
10歳代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3
20歳代	6	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
30歳代	5	0.0	80.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
40歳代	6	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
50歳代	14	0.0	64.3	7.1	0.0	7.1	14.3	14.3	7.1	21.4	0.0	21.4	7.1
60歳代	13	0.0	76.9	0.0	7.7	0.0	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0	23.1	7.7
70歳代以上	10	0.0	70.0	0.0	0.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」、「子育ての支援・環境が充実していないから」、「教育の質・環境が充実していないから」、「福祉の支援・環境が充実していないから」、「保健・医療体制が充実していないから」の割合が『いる』で高く、「生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）」、「働く（働きたい）場所がないから」、「故郷に戻る（戻りたい）から」、「結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から」の割合が『いない』で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全 体	57	0.0	64.9	3.5	3.5	8.8	19.3	31.6	22.8	8.8	5.3	15.8	7.0
いる	32	0.0	68.8	0.0	6.3	12.5	25.0	37.5	9.4	6.3	0.0	15.6	9.4
いない	25	0.0	60.0	8.0	0.0	4.0	12.0	24.0	40.0	12.0	12.0	16.0	4.0

【居住地区別】

居住地区別にみると、有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

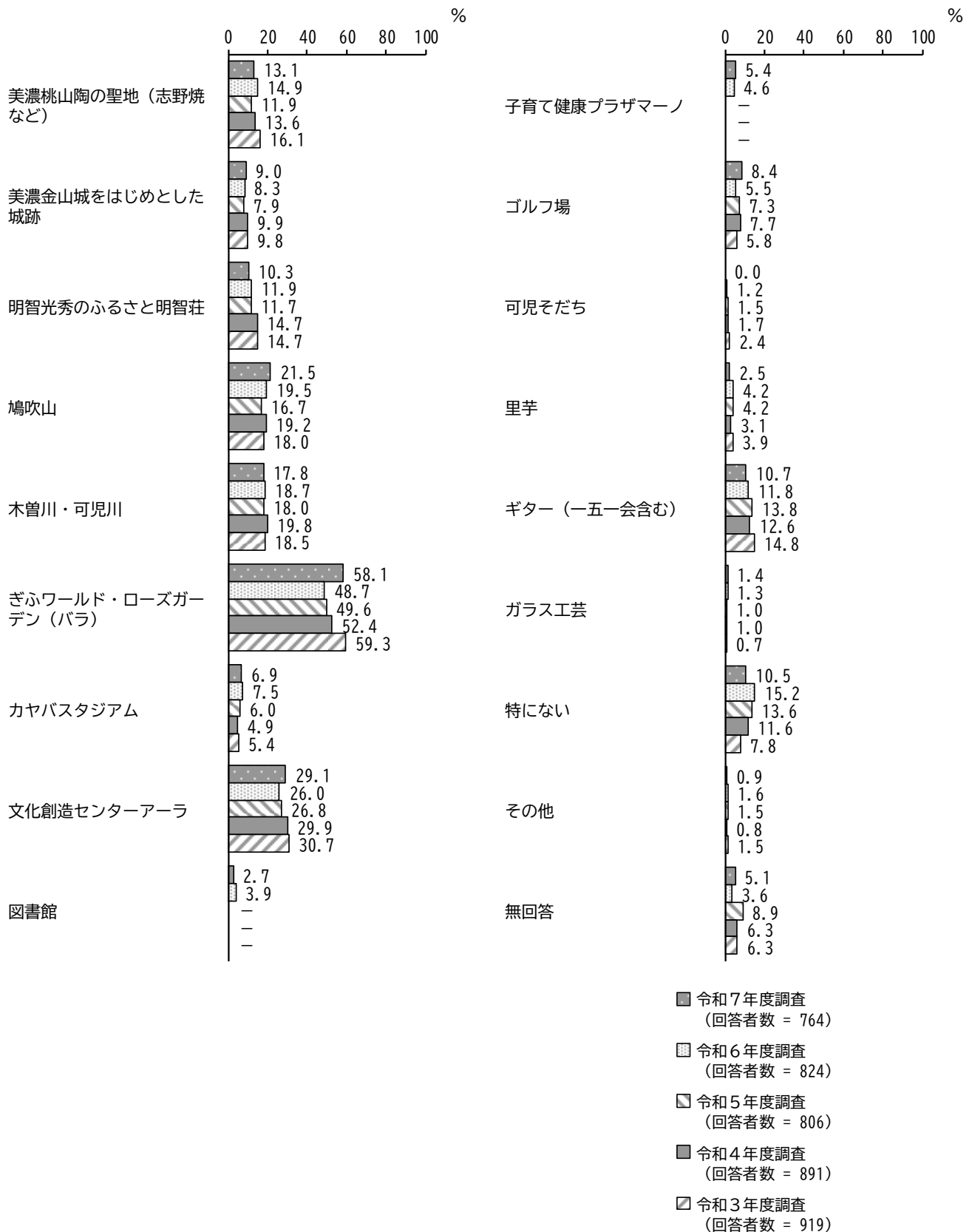
単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全 体	57	0.0	64.9	3.5	3.5	8.8	19.3	31.6	22.8	8.8	5.3	15.8	7.0
今渡	4	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
川合	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
下恵土	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
土田	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
帷子	14	0.0	71.4	0.0	0.0	7.1	21.4	50.0	42.9	7.1	7.1	14.3	0.0
春里	8	0.0	87.5	0.0	12.5	12.5	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
姫治	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
平牧	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
桜ヶ丘ハイツ	5	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
久々利	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
広見東	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
広見	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
中恵土	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兼山	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0

問 20 可児市の自慢できるものはどれだと思いますか。(〇は3つまで)

「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「文化創造センターアーラ」の割合が 29.1%、「鳩吹山」の割合が 21.5%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が増加しています。



※令和5年度調査以前では、「図書館」、「子育て健康プラザマーノ」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「明智光秀のふるさと明智荘」、「ゴルフ場」の割合が男性で高く、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」、「文化創造センターアーラ」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ロ ーズガーデン(バラ)	カヤバスタジアム	文化創造センターア ーラ	図書館
全 体	764	13.1	9.0	10.3	21.5	17.8	58.1	6.9	29.1	2.7
男性	336	13.1	11.3	13.4	21.7	19.6	54.5	6.3	25.3	1.2
女性	420	13.1	7.1	8.1	21.2	16.4	61.2	7.1	32.6	3.8

区分	子育て健康プラザマ ーノ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター（一五一会含 む）	ガラス工芸	特にない	その他	無回答
全 体	5.4	8.4	0.0	2.5	10.7	1.4	10.5	0.9	5.1
男性	4.5	12.2	0.0	1.5	10.7	0.6	10.4	0.9	5.4
女性	6.2	5.2	0.0	3.3	10.7	2.1	10.7	1.0	4.8

【年代別】

年代別にみると、「明智光秀のふるさと明智荘」の割合が年齢が下がるほど高くなる傾向にあります。また、「ギター（一五一会含む）」の割合が10歳代で高く、「木曽川・可児川」「文化創造センターアーラ」の割合が70歳代以上で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ロー ズガーデン(バラ)	カヤバスタジアム	文化創造センターア ーラ	図書館
全 体	764	13.1	9.0	10.3	21.5	17.8	58.1	6.9	29.1	2.7
10歳代	18	0.0	5.6	27.8	27.8	5.6	55.6	5.6	33.3	0.0
20歳代	33	6.1	3.0	12.1	18.2	9.1	81.8	6.1	21.2	0.0
30歳代	50	8.0	2.0	14.0	10.0	8.0	62.0	4.0	24.0	2.0
40歳代	110	7.3	9.1	12.7	20.0	17.3	57.3	11.8	22.7	0.9
50歳代	131	7.6	9.2	10.7	27.5	11.5	57.3	7.6	26.7	3.8
60歳代	149	10.7	13.4	8.7	18.1	18.8	56.4	6.0	21.5	2.0
70歳代以上	273	22.0	8.8	8.1	23.1	24.2	56.4	5.9	38.5	4.0

区分	子育て健康プラザマ ーノ	ゴルフ場	可児そだち	里幸	ギター（一五一会含 む）	ガラス工芸	特にない	その他	無回答
全 体	5.4	8.4	0.0	2.5	10.7	1.4	10.5	0.9	5.1
10歳代	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0	5.6
20歳代	15.2	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0	3.0	6.1	3.0
30歳代	18.0	6.0	0.0	2.0	8.0	2.0	14.0	0.0	6.0
40歳代	10.9	11.8	0.0	4.5	14.5	0.0	12.7	0.9	3.6
50歳代	0.8	7.6	0.0	1.5	18.3	0.8	12.2	0.8	4.6
60歳代	4.0	8.1	0.0	2.0	9.4	2.7	12.1	1.3	8.1
70歳代以上	2.2	9.5	0.0	2.6	6.2	1.8	8.1	0.4	4.4

【居住地区別】

居住地区別にみると、「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が姫治、久々利で高く、「明智光秀のふるさと明智荘」の割合が広見東で高く、「木曽川・可児川」の割合が土田で高く、「カヤバスタジアム」の割合が春里で高く、「子育て健康プラザマーノ」の割合が今渡で高く、「ギター（一五一会含む）」の割合が下恵土、広見で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ズギワールド・ロー ズガーデン(バラ)	カヤバスタジアム	文化創造センター アース	図書館
全 体	764	13.1	9.0	10.3	21.5	17.8	58.1	6.9	29.1	2.7
今渡	58	5.2	8.6	8.6	13.8	15.5	51.7	10.3	31.0	0.0
川合	28	10.7	0.0	7.1	21.4	25.0	64.3	3.6	17.9	7.1
下恵土	62	3.2	4.8	9.7	25.8	9.7	71.0	6.5	35.5	0.0
土田	59	6.8	6.8	6.8	40.7	42.4	57.6	5.1	32.2	5.1
帷子	160	16.3	10.0	10.0	37.5	21.3	49.4	7.5	30.6	3.1
春里	50	6.0	8.0	6.0	14.0	14.0	52.0	16.0	22.0	0.0
姫治	18	27.8	16.7	11.1	11.1	5.6	44.4	5.6	22.2	0.0
平牧	67	19.4	6.0	11.9	11.9	13.4	62.7	9.0	29.9	7.5
桜ヶ丘ハイツ	89	16.9	14.6	6.7	13.5	14.6	60.7	4.5	33.7	5.6
久々利	14	42.9	21.4	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0	28.6	7.1
広見東	29	13.8	0.0	31.0	10.3	13.8	75.9	6.9	34.5	0.0
広見	56	12.5	3.6	14.3	10.7	7.1	66.1	5.4	30.4	0.0
中恵土	32	15.6	9.4	15.6	21.9	21.9	65.6	3.1	21.9	0.0
兼山	9	11.1	88.9	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	22.2	0.0
不明	23	13.0	0.0	8.7	4.3	8.7	65.2	8.7	13.0	0.0

区分	子育て健康プラザ マーノ	ゴルフ場	可児そだち	里辛	ギター（一五一会 含む）	ガラス工芸	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	5.4	8.4	0.0	2.5	10.7	1.4	10.5	0.9	5.1
今渡	15.5	6.9	0.0	1.7	5.2	0.0	13.8	0.0	8.6
川合	0.0	7.1	0.0	7.1	10.7	0.0	10.7	3.6	3.6
下恵土	8.1	14.5	0.0	8.1	19.4	0.0	9.7	1.6	1.6
土田	3.4	6.8	0.0	1.7	5.1	3.4	5.1	1.7	3.4
帷子	3.1	6.3	0.0	3.1	12.5	1.9	10.0	0.0	2.5
春里	4.0	4.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	2.0	6.0
姫治	5.6	5.6	0.0	0.0	16.7	5.6	11.1	0.0	16.7
平牧	3.0	10.4	0.0	1.5	13.4	4.5	6.0	0.0	7.5
桜ヶ丘ハイツ	6.7	12.4	0.0	2.2	4.5	0.0	13.5	2.2	1.1
久々利	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3
広見東	3.4	6.9	0.0	0.0	10.3	0.0	3.4	0.0	6.9
広見	7.1	7.1	0.0	1.8	17.9	0.0	8.9	1.8	5.4
中恵土	9.4	0.0	0.0	3.1	12.5	3.1	9.4	0.0	9.4
兼山	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	0.0	8.7

【居住年数別】

居住年数別にみると、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が『3年未満』から『10年以上20年未満』にかけて低くなっています。また、「子育て健康プラザマーノ」の割合が『3年以上5年未満』で高くなっています。

単位：％

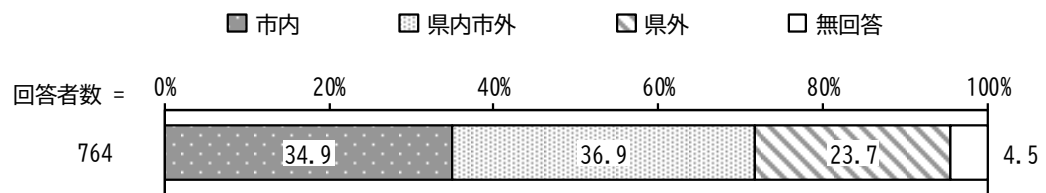
区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ロー ズガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センターア ーラ	図書館
全 体	764	13.1	9.0	10.3	21.5	17.8	58.1	6.9	29.1	2.7
3年未満	16	6.3	6.3	25.0	25.0	18.8	87.5	6.3	31.3	6.3
3年以上5年未満	14	0.0	0.0	0.0	14.3	21.4	78.6	0.0	28.6	7.1
5年以上10年未満	33	3.0	6.1	6.1	12.1	15.2	66.7	0.0	24.2	0.0
10年以上20年未満	96	9.4	5.2	12.5	18.8	10.4	53.1	8.3	26.0	2.1
20年以上	450	13.6	9.6	8.4	22.9	20.2	57.1	6.7	32.4	3.6
生まれてからずっと	149	18.1	12.1	14.8	21.5	15.4	58.4	8.1	20.8	0.7

区分	子育て健康プラザマ ーノ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター（二五一会含 む）	ガラス工芸	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	5.4	8.4	0.0	2.5	10.7	1.4	10.5	0.9	5.1
3年未満	6.3	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3
3年以上5年未満	21.4	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0
5年以上10年未満	6.1	12.1	0.0	6.1	12.1	0.0	9.1	0.0	6.1
10年以上20年未満	11.5	6.3	0.0	2.1	11.5	2.1	18.8	2.1	4.2
20年以上	2.0	8.2	0.0	2.7	9.6	2.0	10.2	0.4	4.9
生まれてからずっと	10.1	8.1	0.0	1.3	13.4	0.0	8.1	2.0	6.0

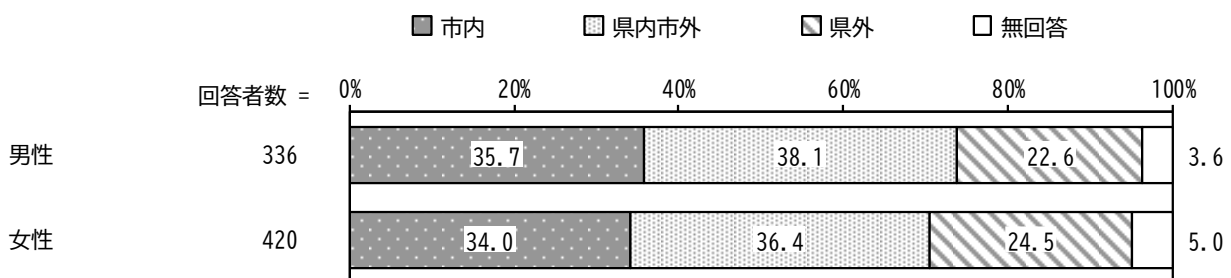
(5) 余暇の過ごし方について

問 21 休日に外出する場合、どこに出かけることが多いですか。(○は1つだけ)

「市内」の割合が 34.9%、「県内市外」の割合が 36.9%、「県外」の割合が 23.7%となっています。

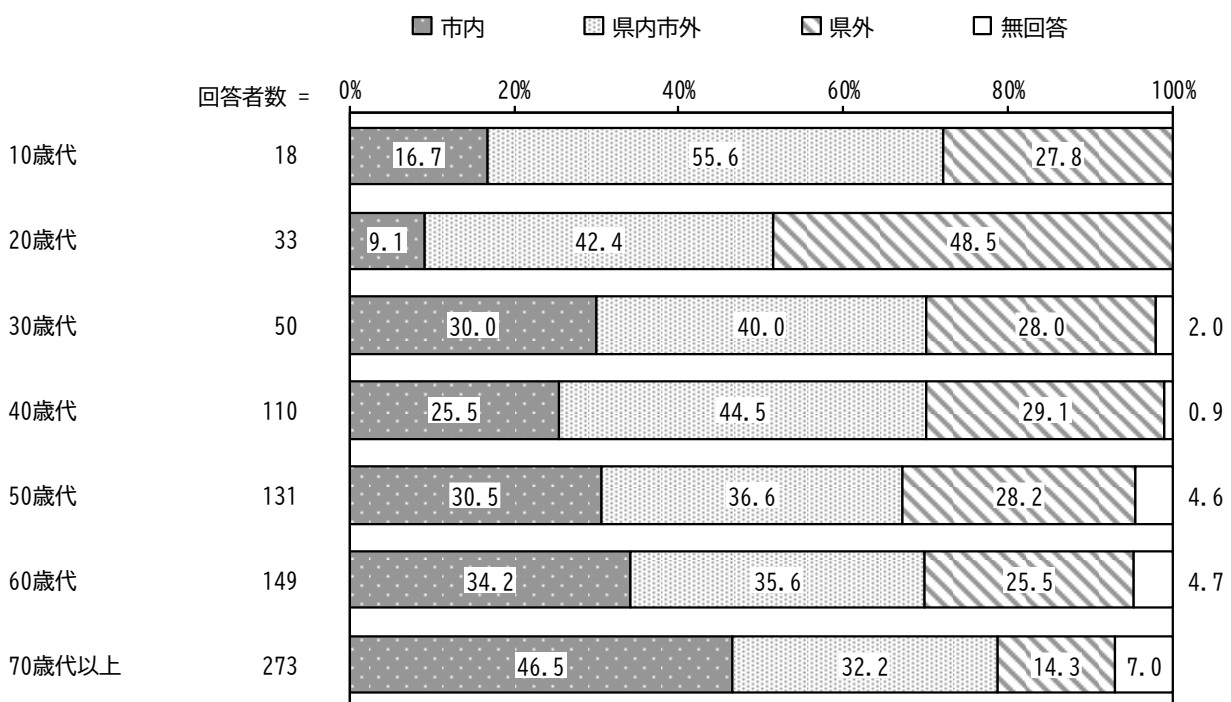


【性別】



【年代別】

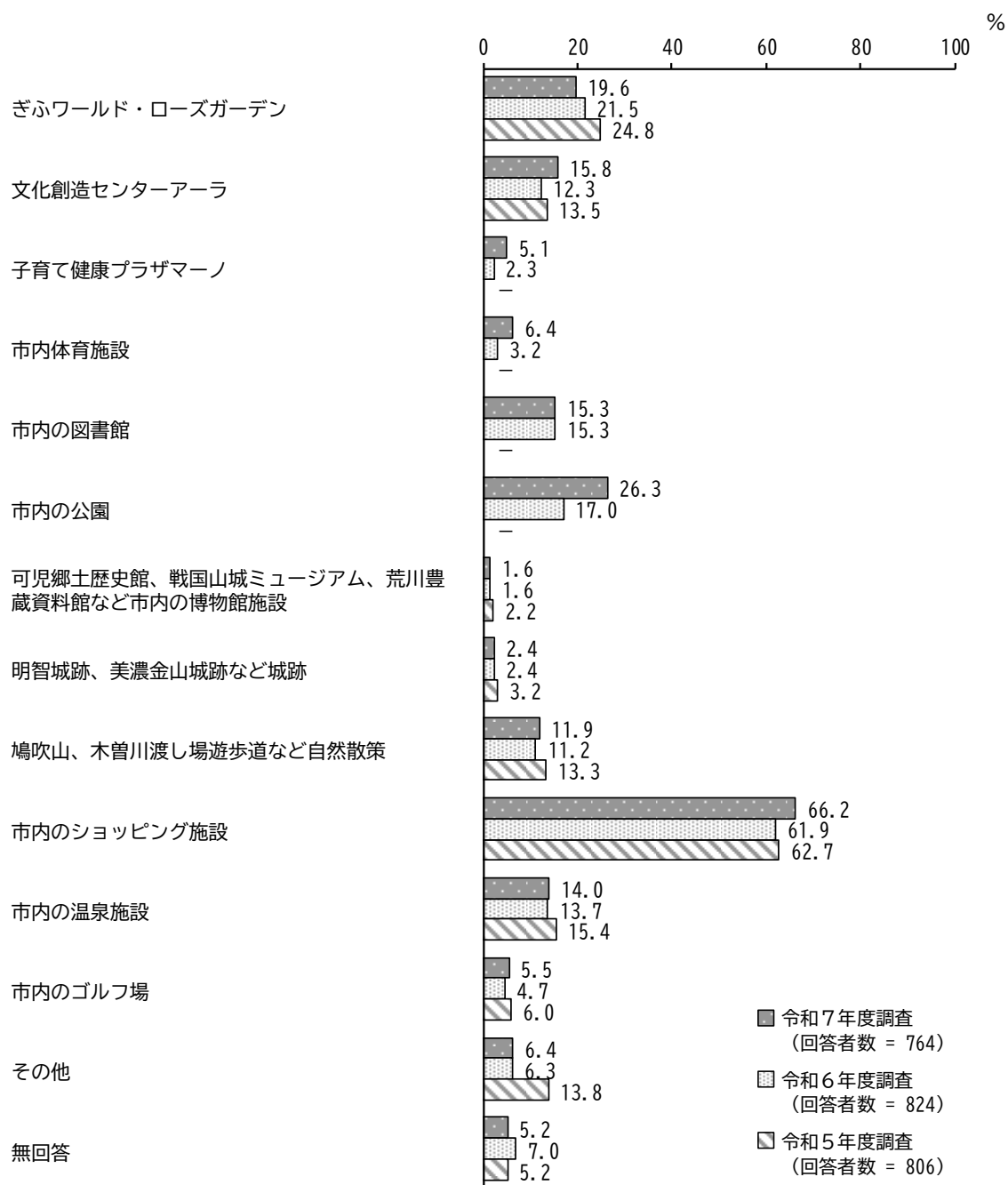
年代別にみると、「県外」の割合が 20 歳代から 70 歳代以上にかけて低くなる傾向にあります。また、「市内」の割合が 40 歳代から 70 歳代以上にかけて高くなっています。



問 22 よく行くところはどこですか。(複数回答可)

「市内のショッピング施設」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「市内の公園」の割合が 26.3%、「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が 19.6%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「市内の公園」の割合が増加しています。



※令和5年度調査では、「子育て健康プラザマーノ」、「市内体育施設」、「市内の図書館」、「市内の公園」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「市内の公園」、「市内のゴルフ場」の割合が男性で高く、「ぎふワールド・ローズガーデン」、「市内の図書館」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

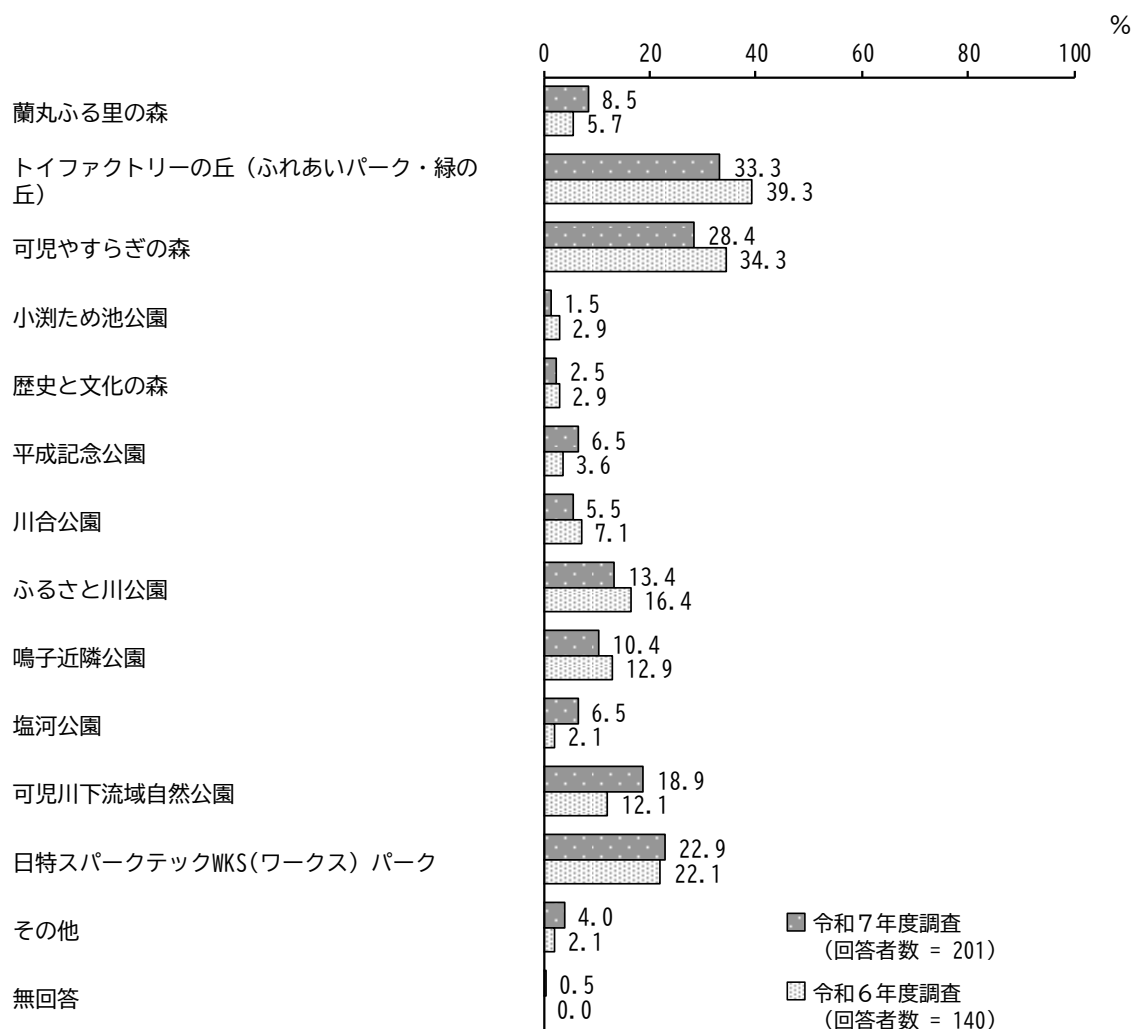
区分	回答者数（件）	ぎふワールド・ローズガーデン	文化創造センターアーラ	子育て健康プラザマノ	市内体育施設	市内の図書館	市内の公園	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市内の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など自然散策	市内のショッピング施設	市内の温泉施設	市内のゴルフ場	その他	無回答
全 体	764	19.6	15.8	5.1	6.4	15.3	26.3	1.6	2.4	11.9	66.2	14.0	5.5	6.4	5.2
男性	336	16.4	15.5	4.2	5.7	11.6	29.5	2.4	3.0	13.4	67.0	11.9	10.1	5.4	4.5
女性	420	21.9	16.4	6.0	7.1	18.3	23.3	0.7	1.7	10.5	65.5	15.7	1.7	7.4	6.0

【問 22 で 6（公園）を選択された方に伺います】

問 23 よく利用する公園はどこですか。（複数回答可）

「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「可児やすらぎの森」の割合が 28.4%、「日特スパークテック WKS(ワークス) パーク」の割合が 22.9%となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、「可児川下流域自然公園」の割合が増加しています。一方、「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」「可児やすらぎの森」の割合が減少しています。



【年代別】

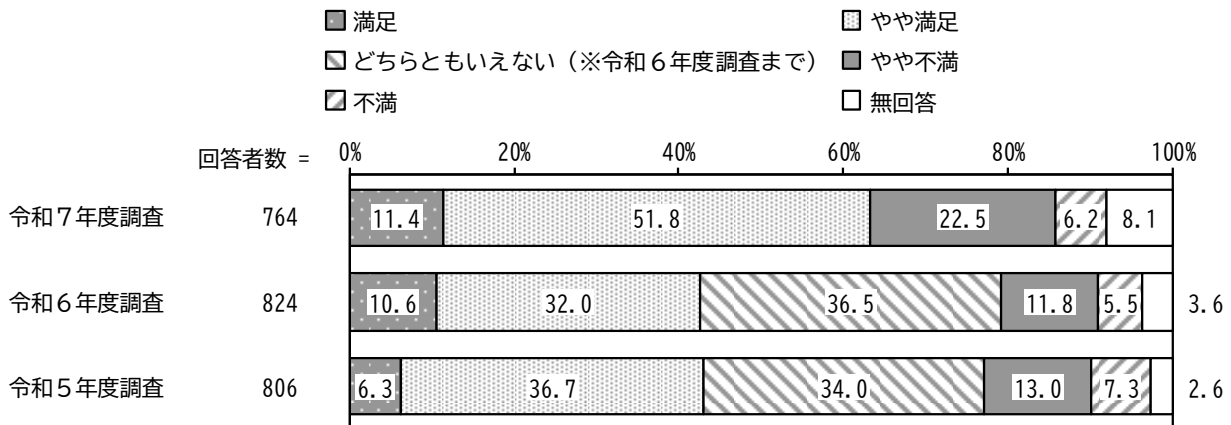
年代別にみると、「ふるさと川公園」の割合が年齢が上がるほど低くなる傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	蘭丸ふるりの森	トイファクトリーの丘(ふれあいパーク・緑の丘)	可児やすらぎの森	小渕ため池公園	歴史と文化の森	平成記念公園	川合公園	ふるさと川公園	鳴子近隣公園	塩河公園	可児川下流域自然公園	日特スパークテック(ワークス)パーク	その他	無回答
全 体	201	8.5	33.3	28.4	1.5	2.5	6.5	5.5	13.4	10.4	6.5	18.9	22.9	4.0	0.5
10歳代	5	20.0	60.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	8	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	37.5	12.5	0.0	25.0	50.0	12.5	0.0
30歳代	16	6.3	43.8	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	31.3	25.0	6.3	6.3	43.8	6.3	0.0
40歳代	27	3.7	25.9	22.2	0.0	0.0	11.1	7.4	18.5	18.5	14.8	7.4	44.4	3.7	0.0
50歳代	25	12.0	44.0	12.0	4.0	0.0	0.0	20.0	8.0	8.0	4.0	12.0	8.0	0.0	0.0
60歳代	43	7.0	30.2	34.9	0.0	9.3	2.3	2.3	9.3	9.3	7.0	23.3	18.6	9.3	0.0
70歳代以上	77	10.4	29.9	39.0	2.6	1.3	5.2	3.9	7.8	6.5	5.2	26.0	16.9	1.3	1.3

問 24 可児市内の公園の整備状況についてどう思いますか（○は1つだけ）

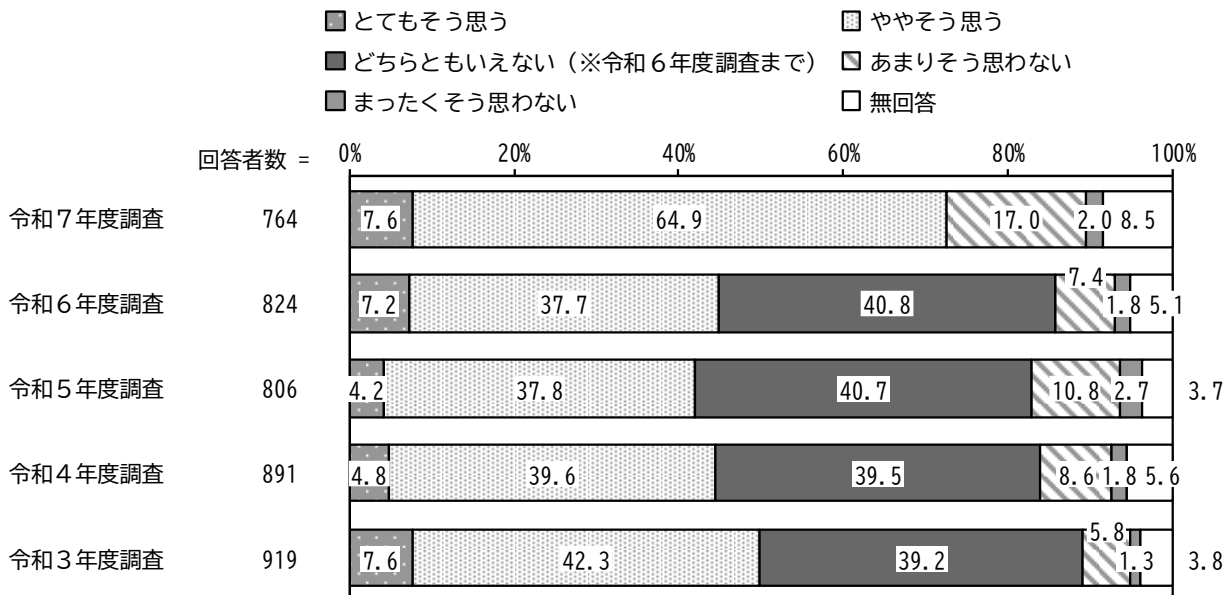
「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が63.2%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が28.7%となっています。



(6) 子育て環境について

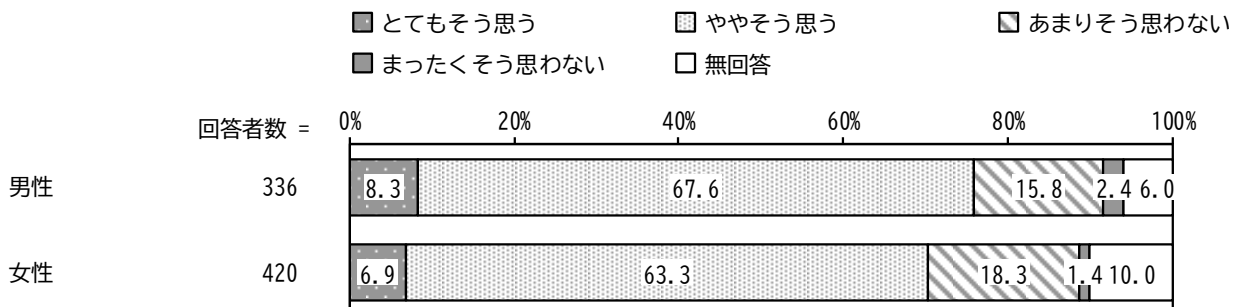
問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が72.5%、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が19.0%となっています。



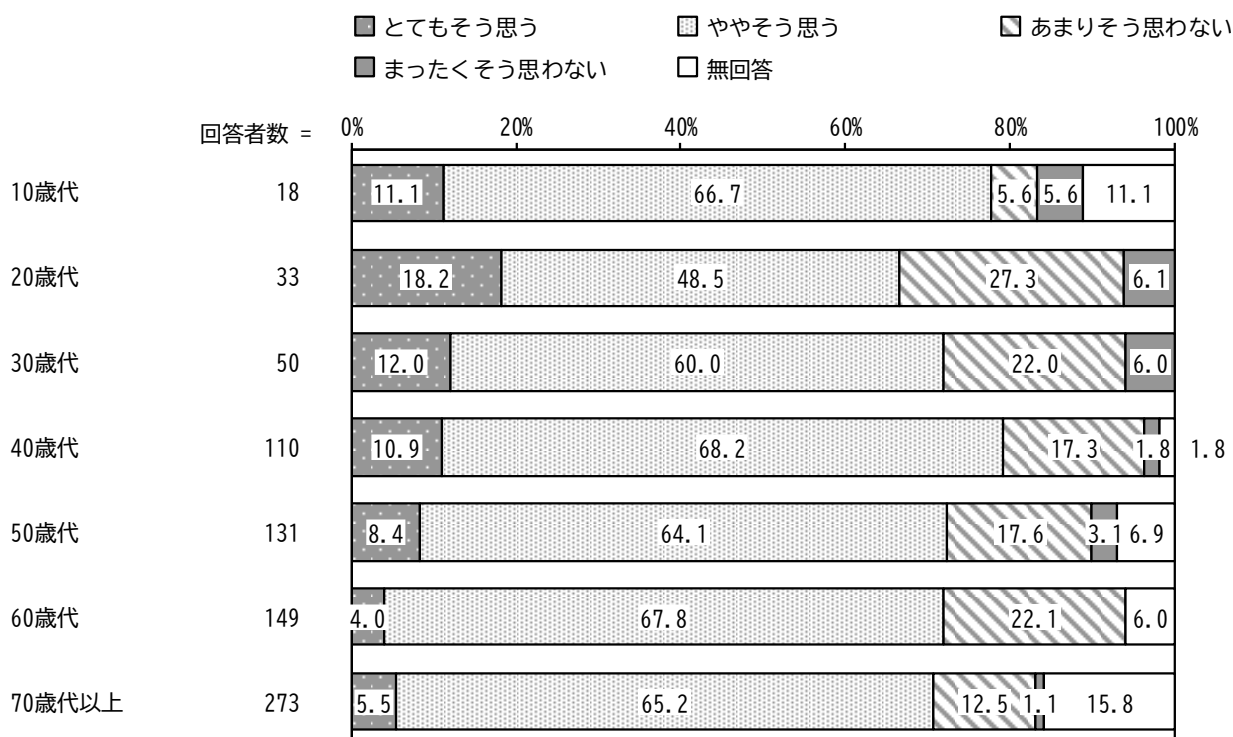
【性別】

性別にみると、“そう思う”の割合が男性で高くなっています。



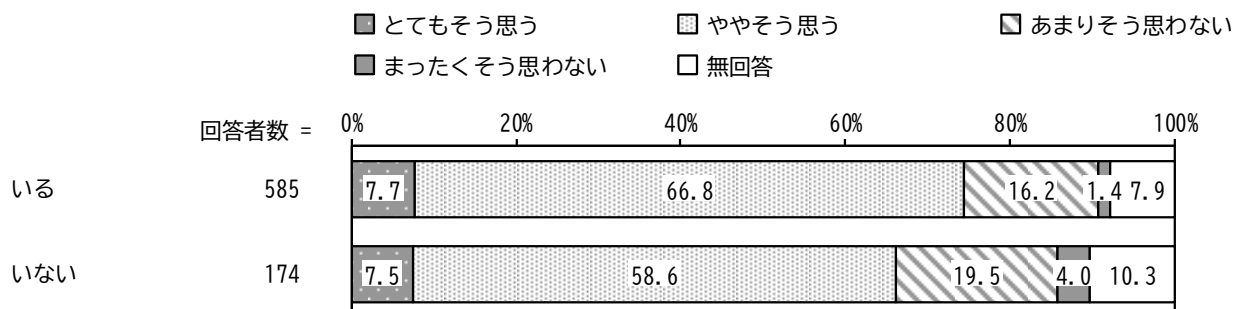
【年代別】

年代別にみると、「とてもそう思う」の割合が20歳代から60歳代にかけて低くなっています。



【子どもの有無別】

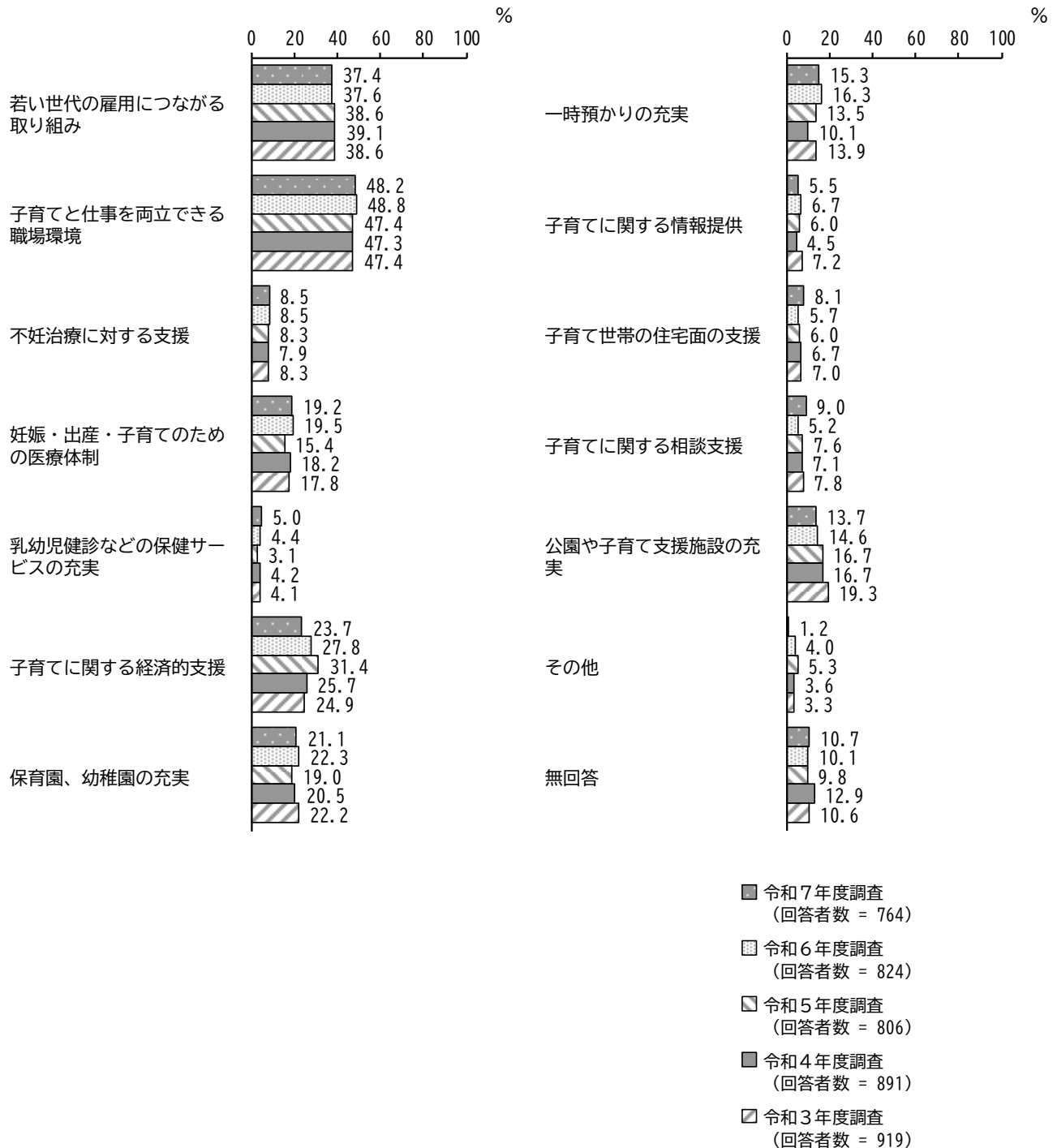
子どもの有無別にみると、“そう思う”の割合が『いる』で高くなっています。



問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視して取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「若い世代の雇用につながる取り組み」の割合が 37.4%、「子育てに関する経済的支援」の割合が 23.7%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和6年度調査以前では、「若い世代の雇用につながる取り組み」が「若い世代の雇用の安定」となっていました。

【性別】

性別にみると、「若い世代の雇用につながる取り組み」、「子育てに関する経済的支援」の割合が男性で高く、「一時預かりの充実」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	若い世代の雇用につながる取り組み	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
全 体	764	37.4	48.2	8.5	19.2	5.0	23.7	21.1	15.3	5.5	8.1	9.0	13.7	1.2	10.7
男性	336	43.8	46.1	6.0	17.6	5.4	29.2	18.8	10.7	4.8	7.4	8.3	14.9	0.6	10.1
女性	420	32.6	50.0	10.2	20.7	4.8	19.8	22.9	18.8	6.2	8.6	9.8	12.9	1.4	11.0

【年代別】

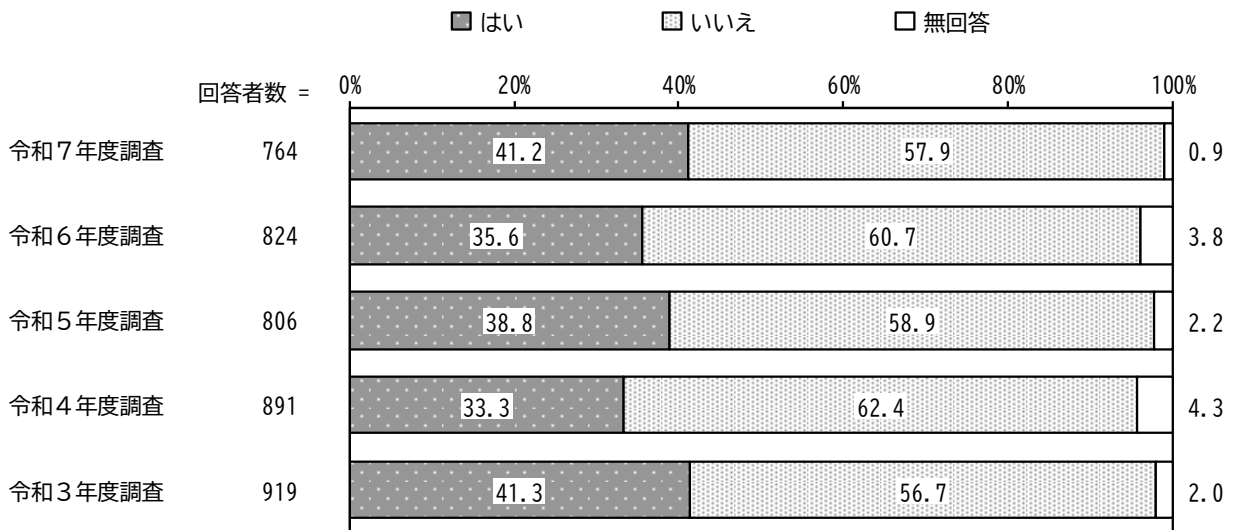
年代別にみると、「子育てに関する経済的支援」の割合が年齢が下がるほど高くなる傾向にあります。また、「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が20歳代で高く、「公園や子育て支援施設の充実」の割合が30歳代で高くなっています。

単位：％

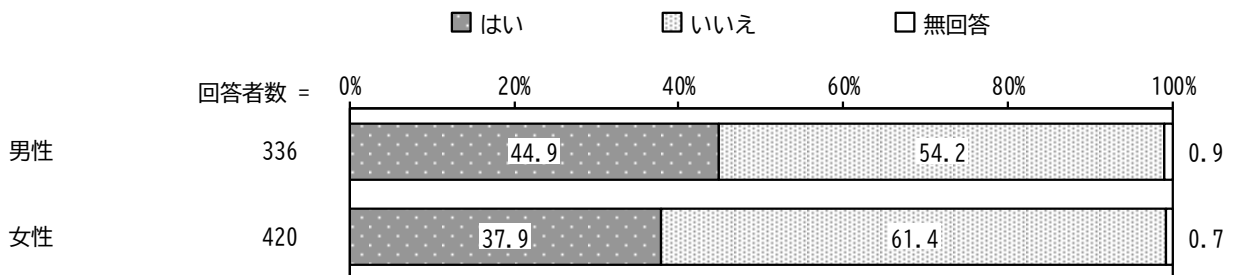
区分	回答者数（件）	若い世代の雇用につながる取り組み	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
全 体	764	37.4	48.2	8.5	19.2	5.0	23.7	21.1	15.3	5.5	8.1	9.0	13.7	1.2	10.7
10歳代	18	44.4	22.2	0.0	16.7	16.7	55.6	5.6	11.1	5.6	11.1	16.7	16.7	5.6	11.1
20歳代	33	36.4	48.5	12.1	36.4	12.1	45.5	24.2	15.2	21.2	18.2	6.1	9.1	0.0	0.0
30歳代	50	28.0	46.0	14.0	24.0	6.0	36.0	20.0	10.0	0.0	16.0	8.0	28.0	2.0	6.0
40歳代	110	30.9	46.4	13.6	14.5	3.6	34.5	18.2	15.5	5.5	8.2	9.1	20.0	0.9	5.5
50歳代	131	29.0	52.7	3.8	21.4	4.6	19.1	25.2	20.6	7.6	5.3	9.2	11.5	1.5	10.7
60歳代	149	41.6	55.7	12.1	24.8	3.4	19.5	26.8	18.8	4.7	6.0	10.7	13.4	1.3	4.0
70歳代以上	273	43.2	44.7	5.9	14.3	4.8	16.8	17.9	12.1	4.0	7.7	8.1	10.3	0.7	18.7

(7) 運動の推進・健康管理について

問 27 可児市では、1 回 30 分週 2 回のウォーキングを推奨する「歩こう可児 302」運動や 1 人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ一市民スポーツを推進しています。あなたは、1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上行い、それを 1 年以上続けていますか。
(○は 1 つだけ)

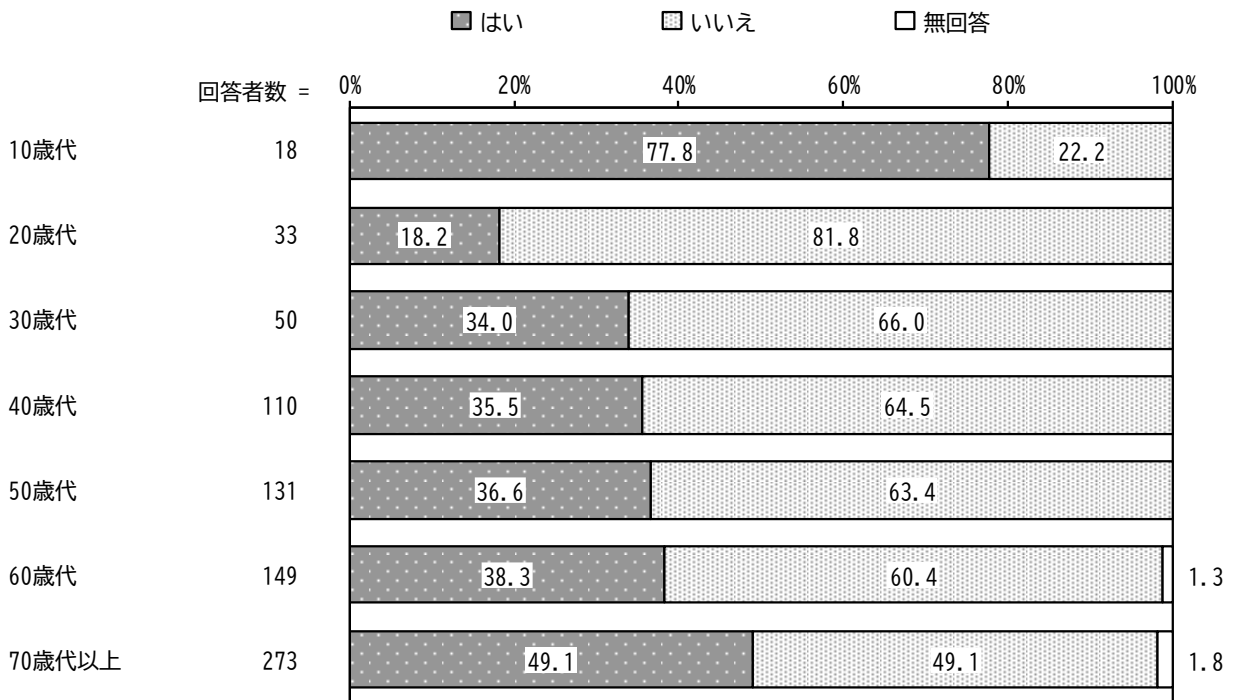


【性別】

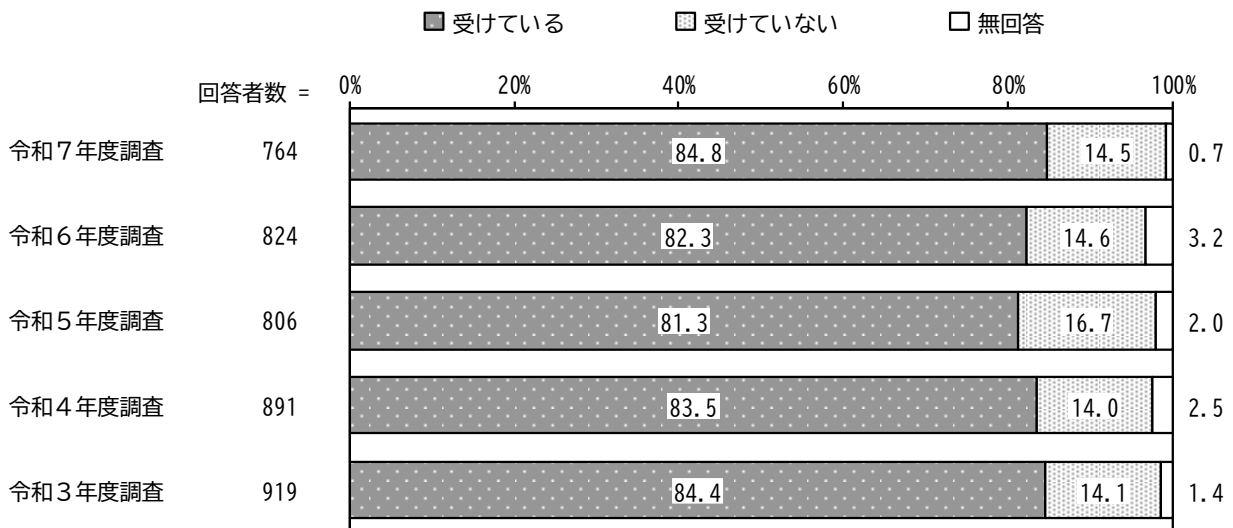


【年代別】

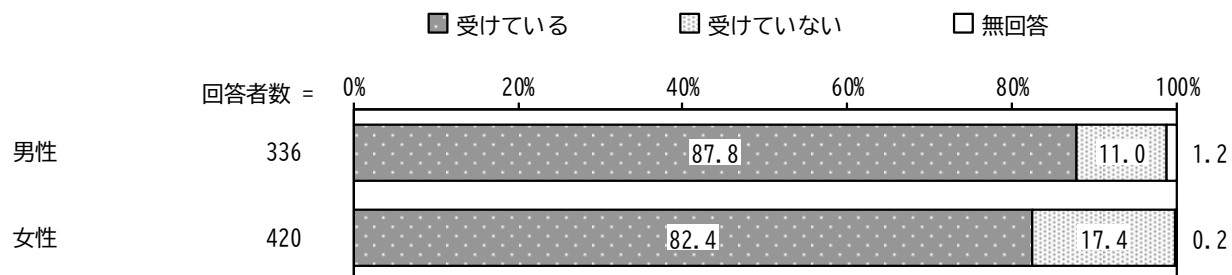
年代別にみると、「いいえ」の割合が20歳代から70歳代以上にかけて低くなっています。



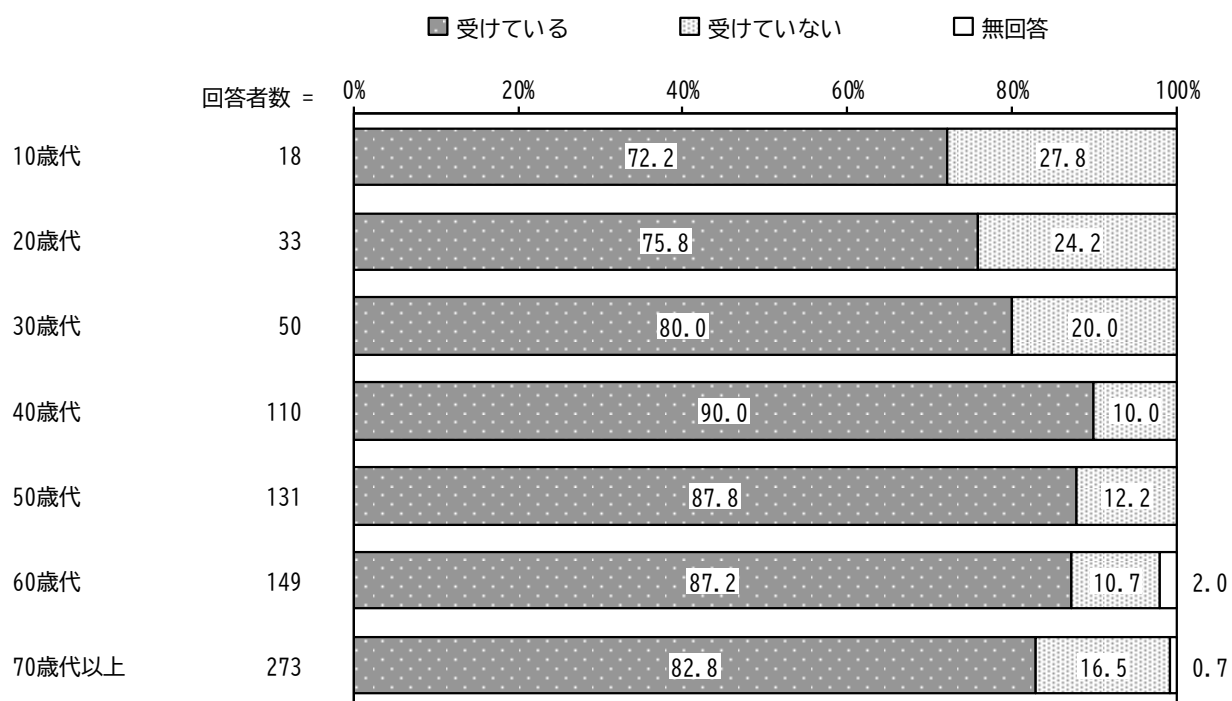
問 28 定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)



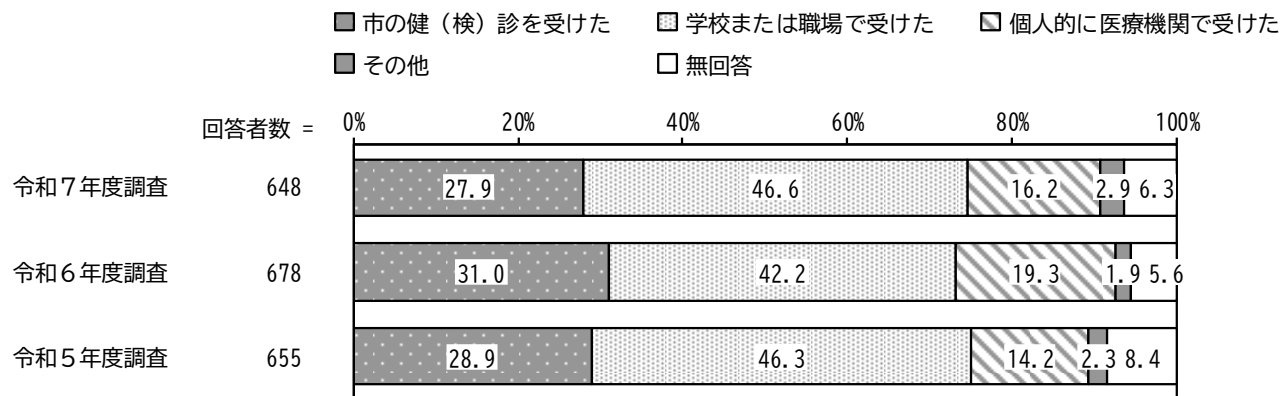
【性別】



【年代別】

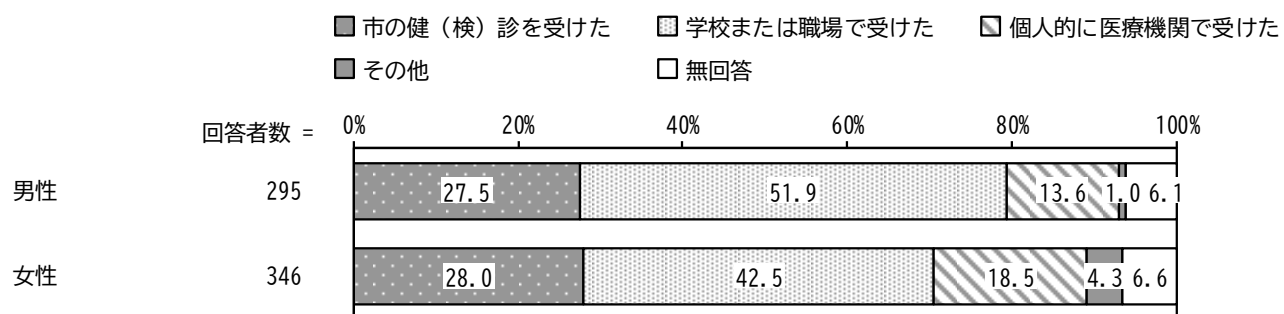


受診場所



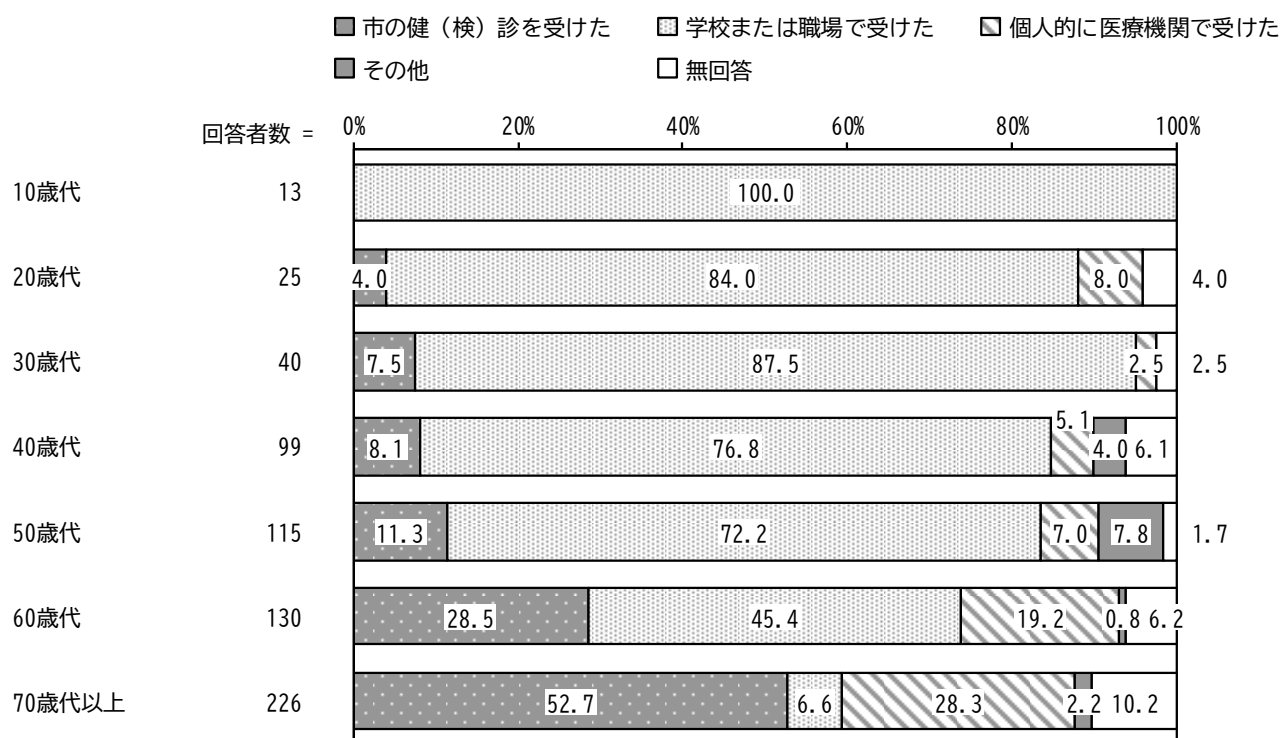
【性別】

性別にみると、「学校または職場で受けた」の割合が男性で高くなっています。



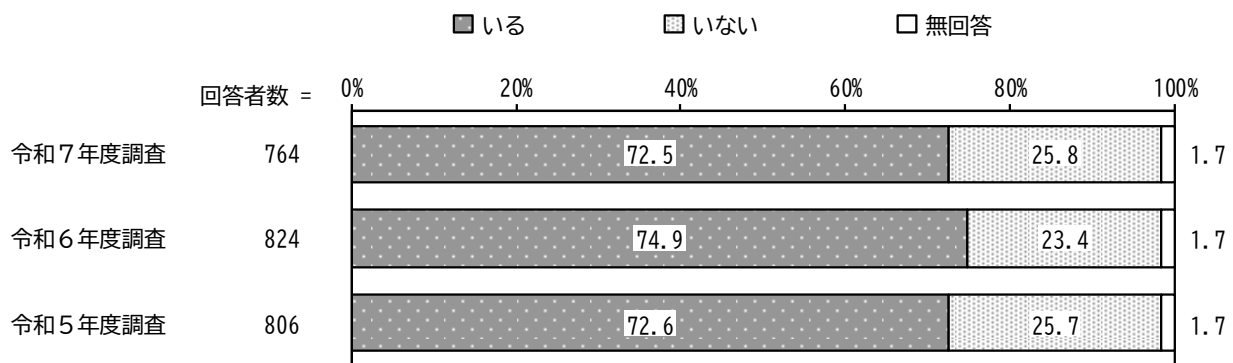
【年代別】

年代別にみると、「市の健（検）診を受けた」の割合が20歳代から70歳代以上にかけて高くなっています。

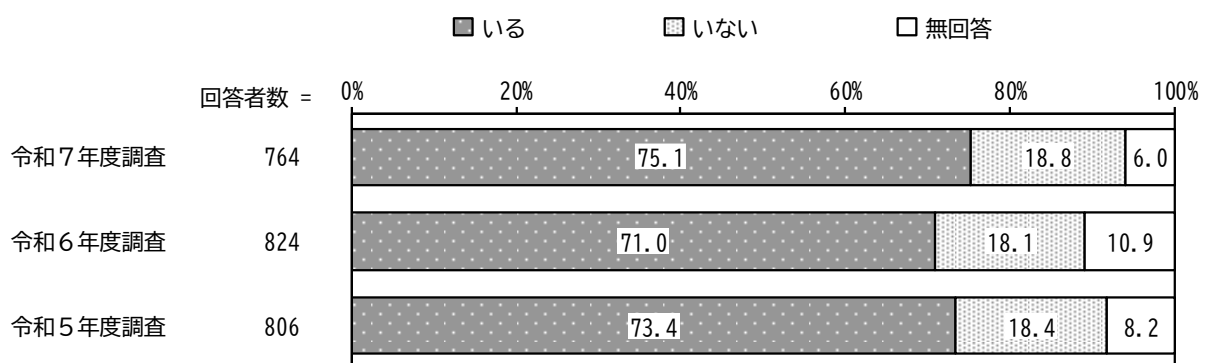


問 29 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」はいますか。（それぞれ○は1つだけ）

かかりつけ医



かかりつけ歯科医

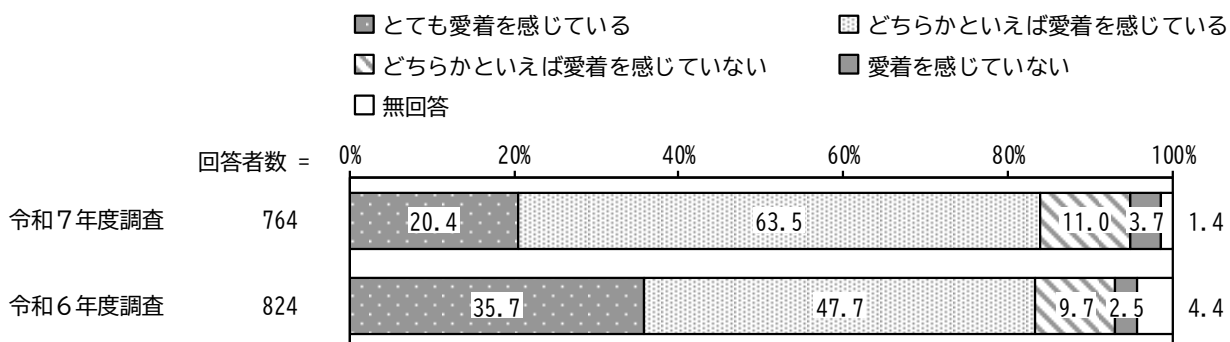


(8) 可児市への愛着について

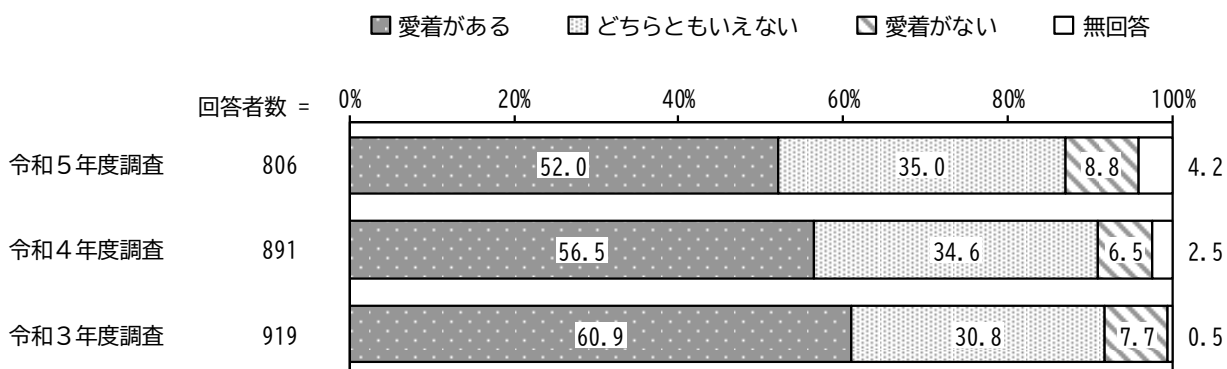
問 30 可児市に愛着を感じていますか？（○は1つだけ）

「とても愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせた“愛着を感じている”の割合が 83.9%、「どちらかといえば愛着を感じていない」「愛着を感じていない」を合わせた“愛着を感じていない”の割合が 14.7%となっています。

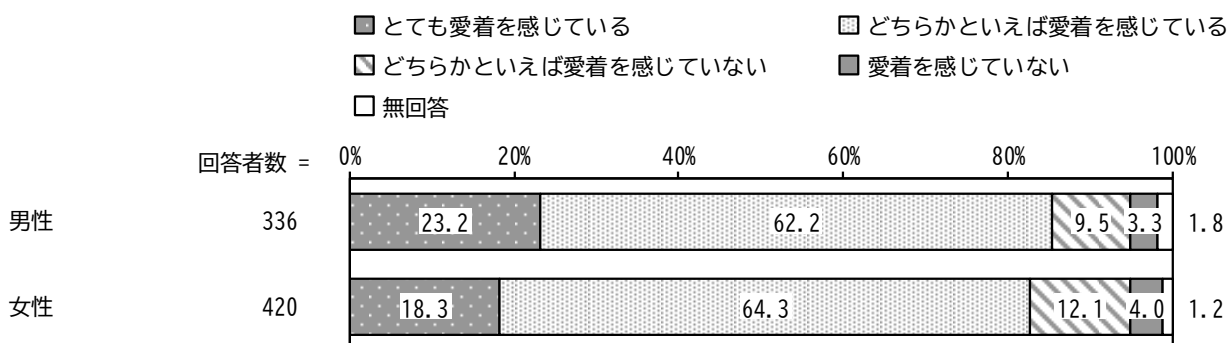
令和6年度調査と比較すると、「どちらかといえば愛着を感じている」の割合が増加しています。一方、「とても愛着を感じている」の割合が減少しています。



【経年比較 参考】

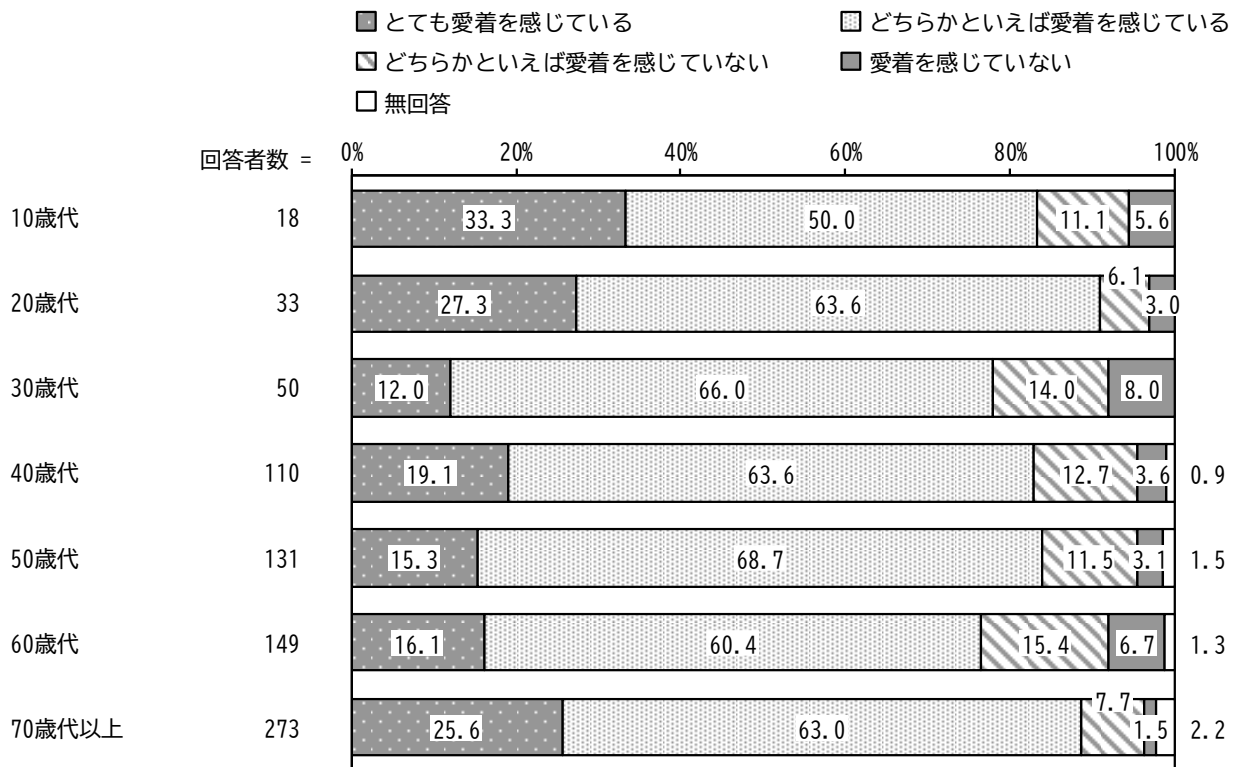


【性別】

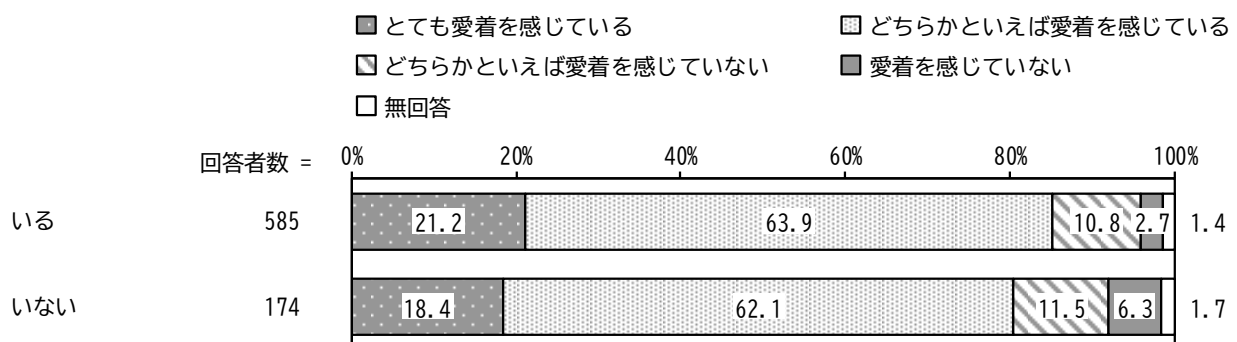


【年代別】

年代別にみると、「どちらかといえば愛着を感じている」の割合が10歳代から50歳代にかけて高くなる傾向にあります。

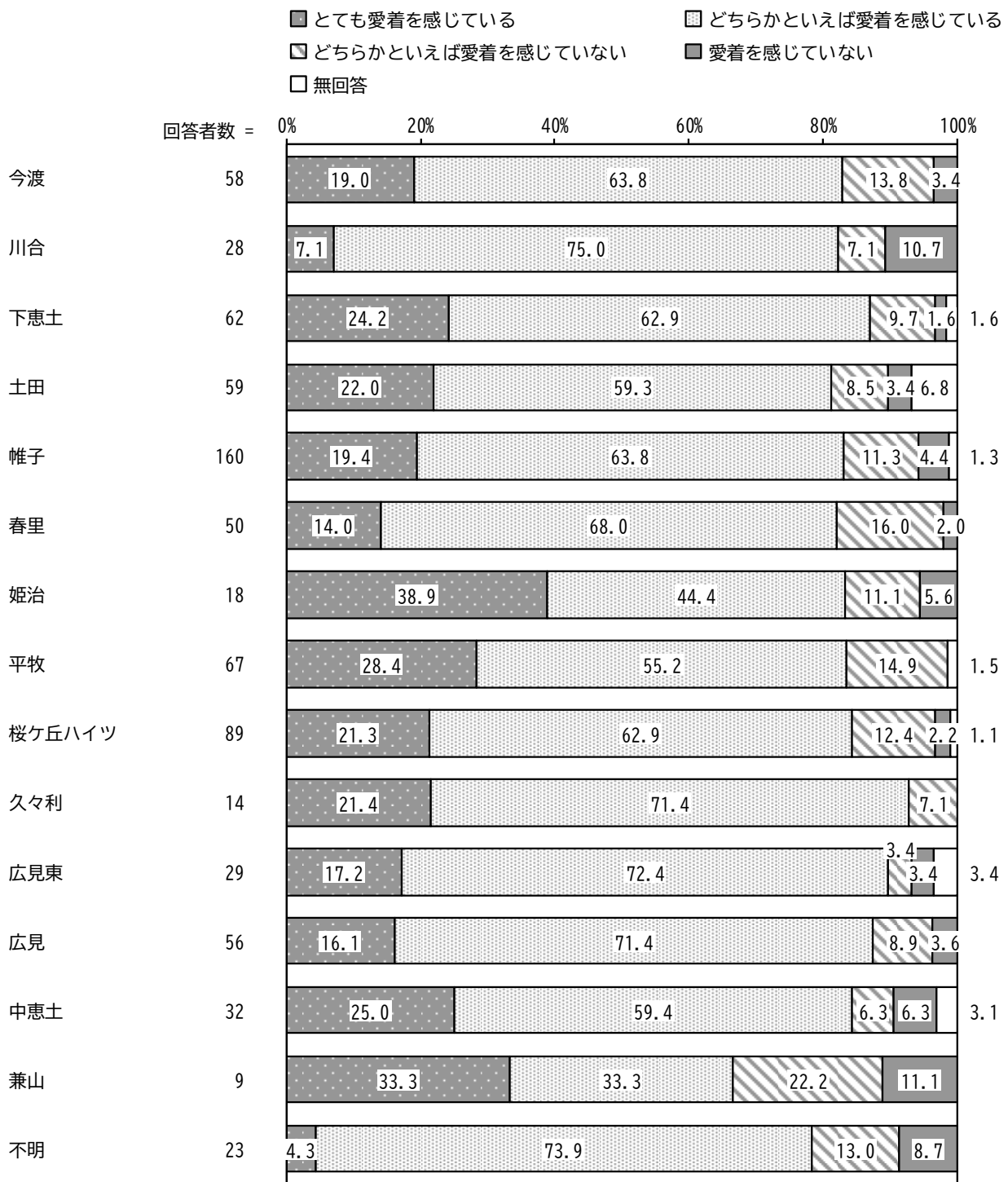


【子どもの有無別】



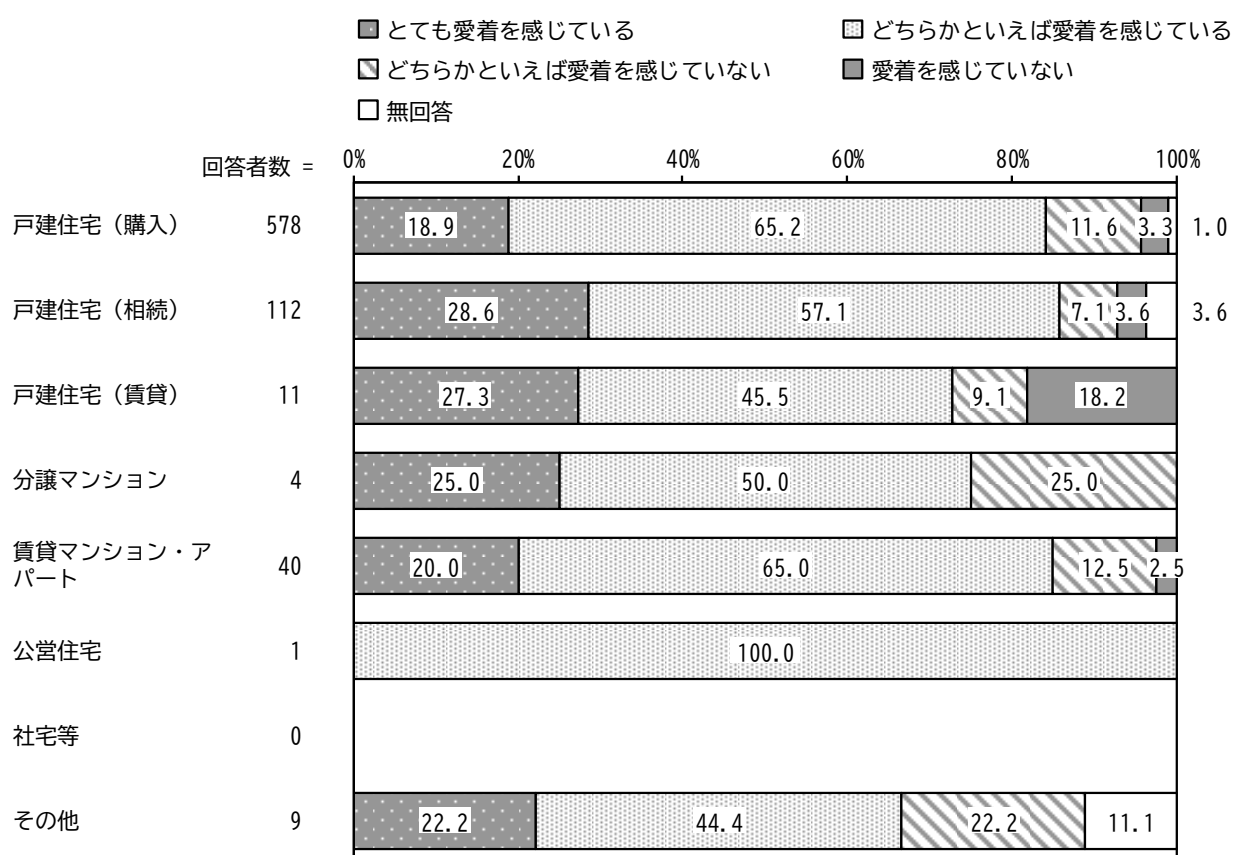
【居住地区別】

居住地区別にみると、“愛着を感じている”の割合が「久々利」で高くなっています。



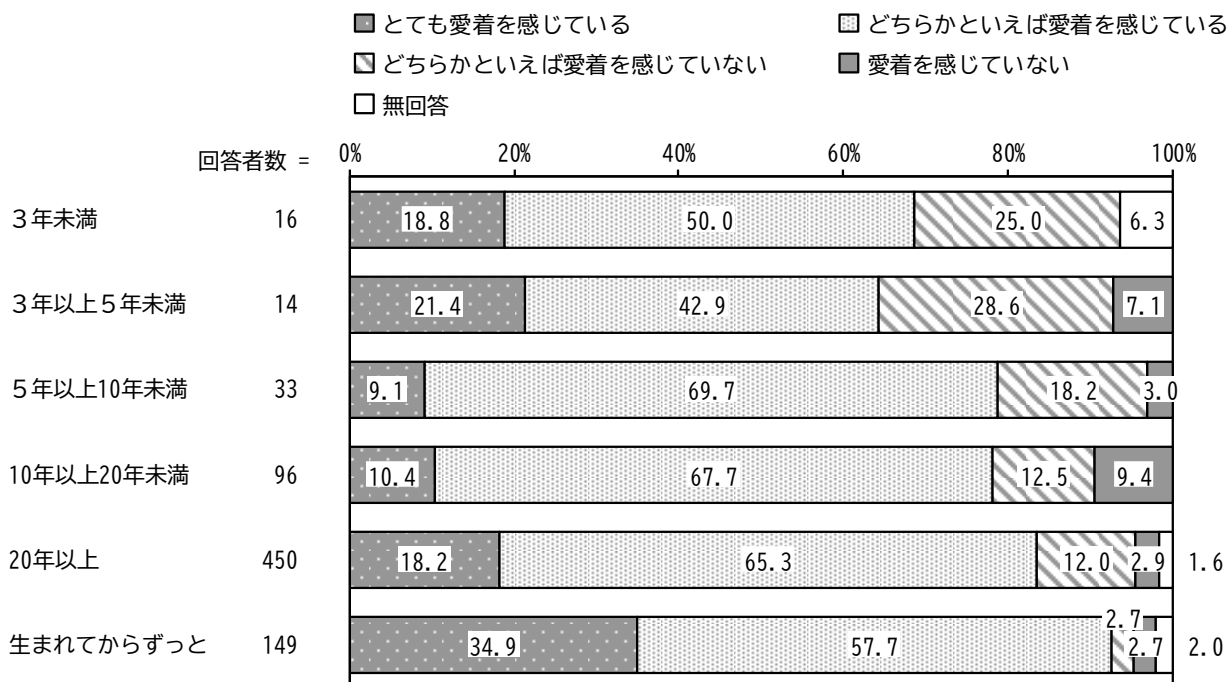
【住まいの形態別】

住まいの形態別にみると、「愛着を感じていない」の割合が戸建住宅（賃貸）で高くなっています。



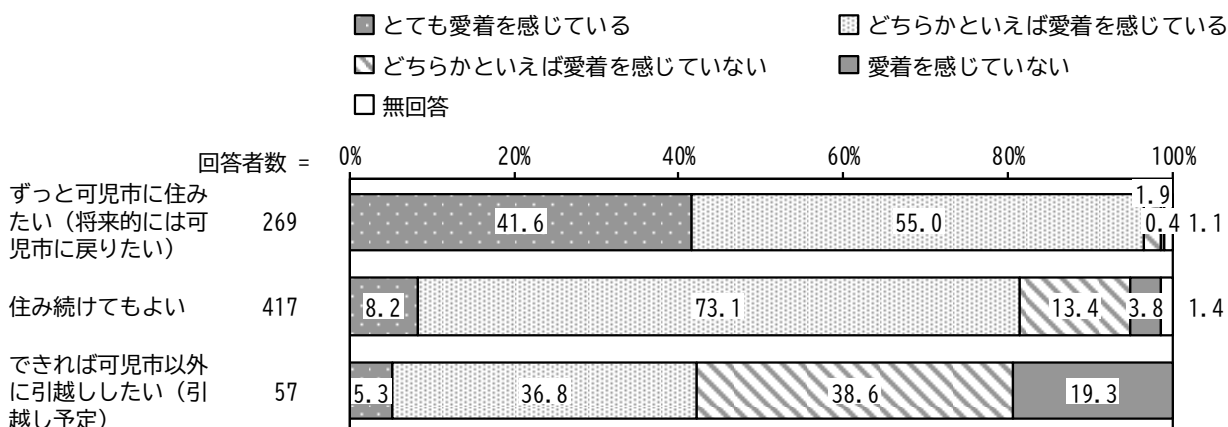
【居住年数別】

居住年数別にみると、“愛着を感じている”の割合が『3年以上5年未満』から『生まれてからずっと』にかけて高くなっています。



【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別にみると、“愛着を感じている”の割合が『できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)』で低くなっています。

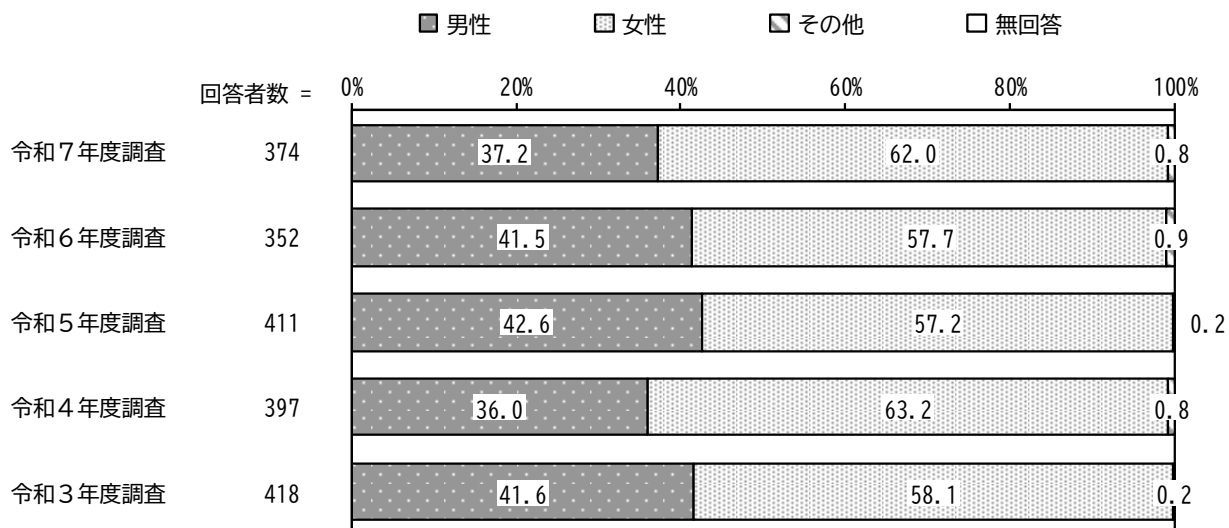


2 若年層

(1) 回答者属性

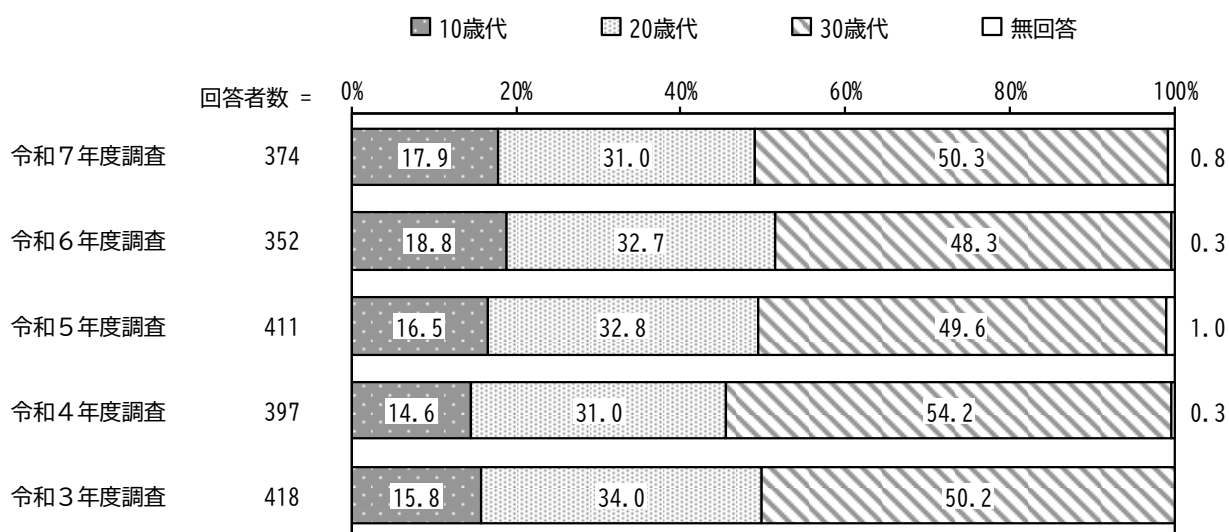
問1 性別はどちらですか。(○は1つだけ)

「男性」の割合が 37.2%、「女性」の割合が 62.0%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



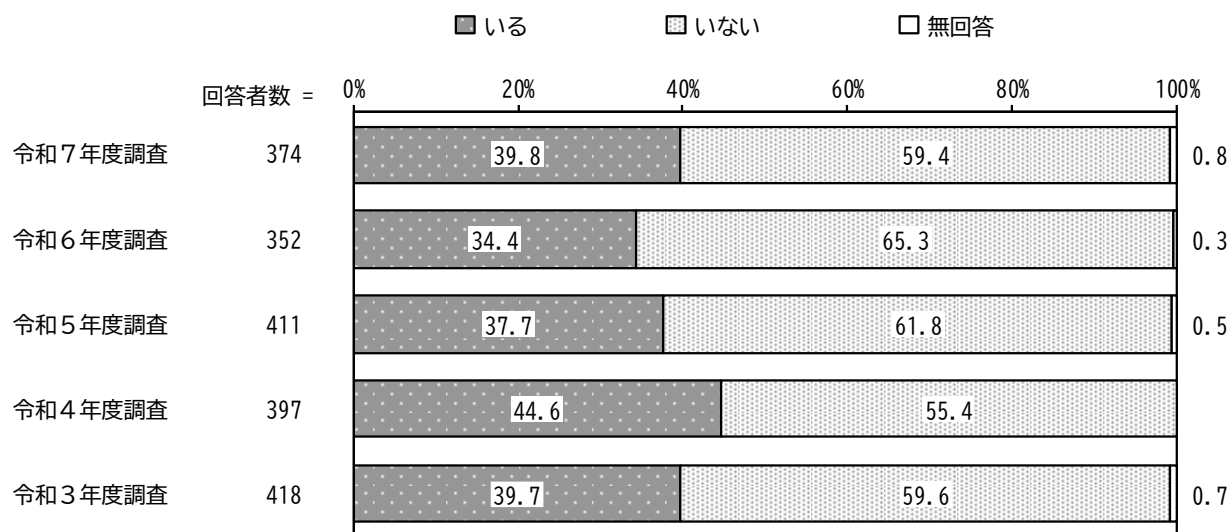
問2 年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「10歳代」の割合が 17.9%、「20歳代」の割合が 31.0%、「30歳代」の割合が 50.3%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



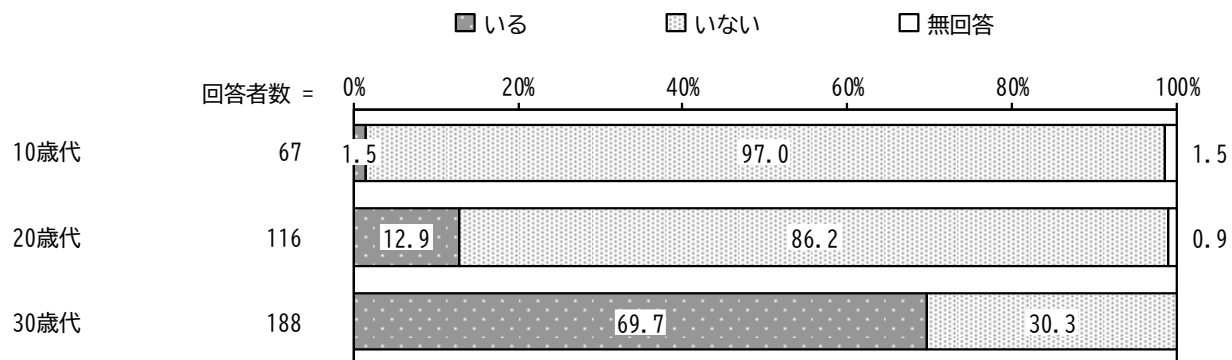
問3 子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

「いる」の割合が39.8%、「いない」の割合が59.4%となっています。
令和6年度調査と比較すると、「いない」の割合が減少しています。



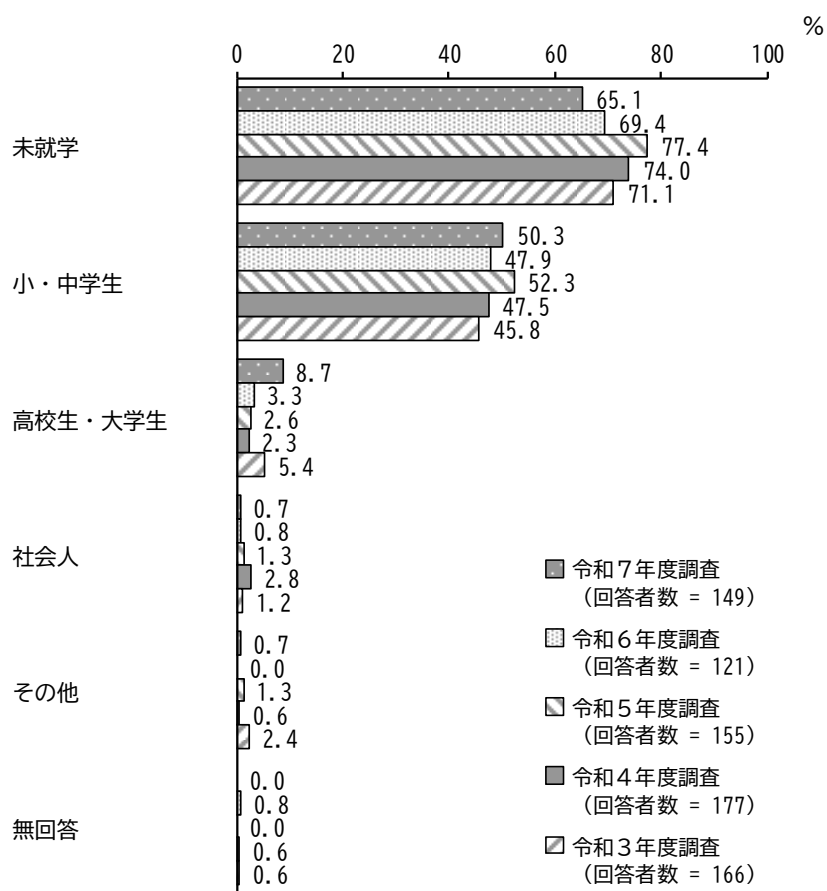
【年代別】

年代別にみると、「いる」の割合が年齢が上がるほど高くなる傾向にあります。



子どもの世代

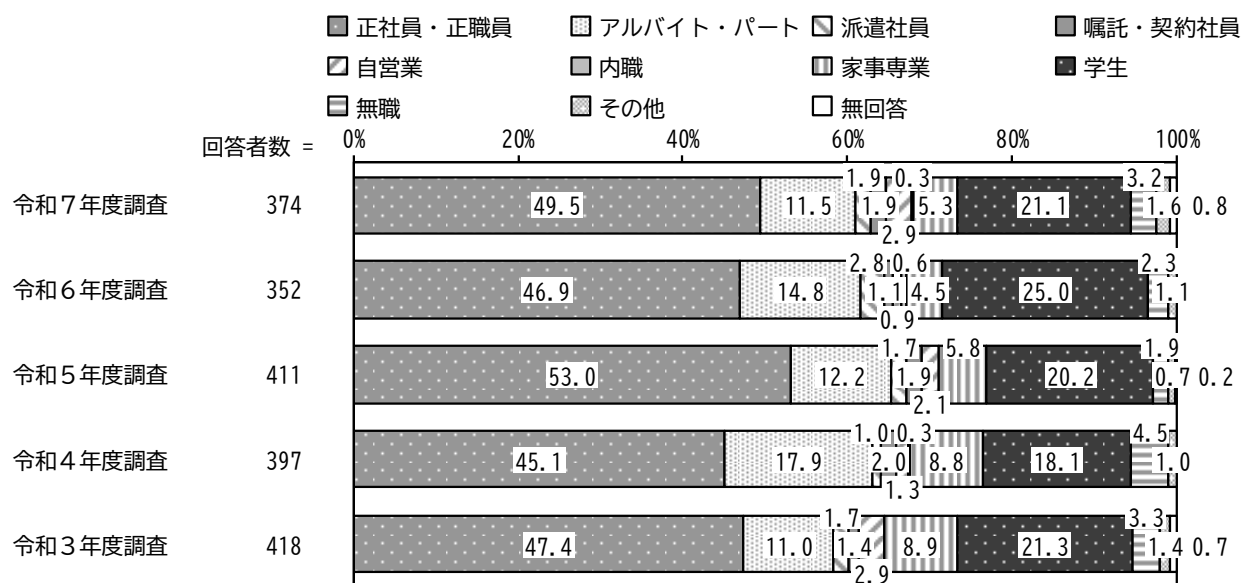
「未就学」の割合が65.1%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が50.3%となっています。
令和6年度調査と比較すると、「高校生・大学生」の割合が増加しています。



問4 職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「正社員・正職員」の割合が49.5%と最も高く、次いで「学生」の割合が21.1%、「アルバイト・パート」の割合が11.5%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

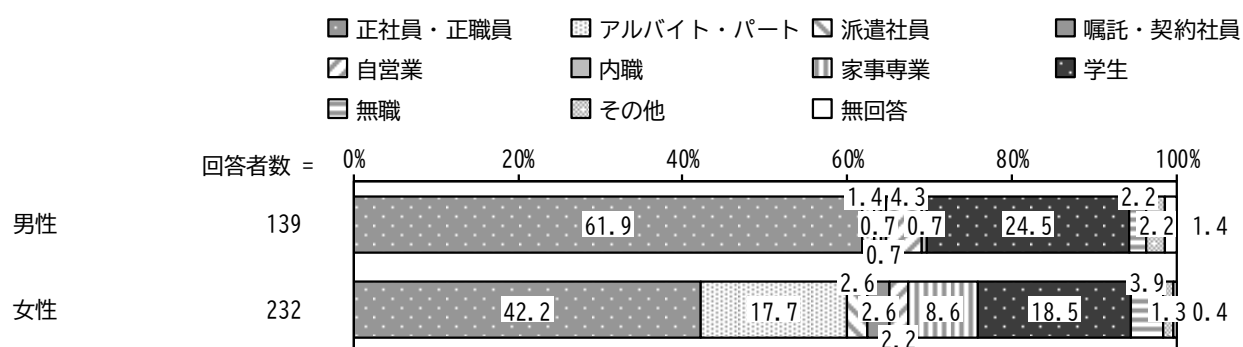


※令和3年度調査では、「内職」がありませんでした。

また「自営業」について、令和5年度調査以前では「自営業主（飲食店）」「自営業（飲食店以外）」を合わせた割合となっています。

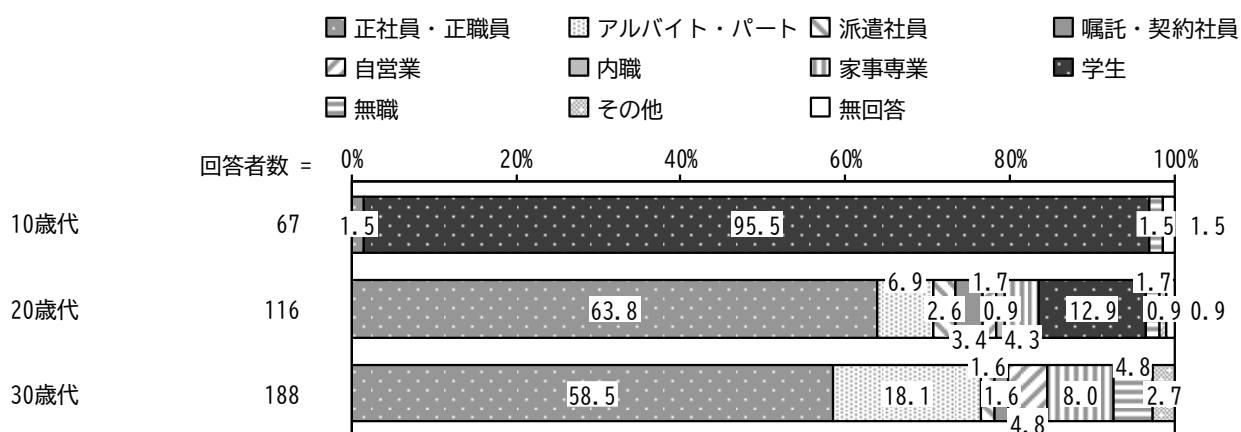
【性別】

性別にみると、「正社員・正職員」、「学生」の割合が男性で高く、「アルバイト・パート」、「家事専業」の割合が女性で高くなっています。



【年代別】

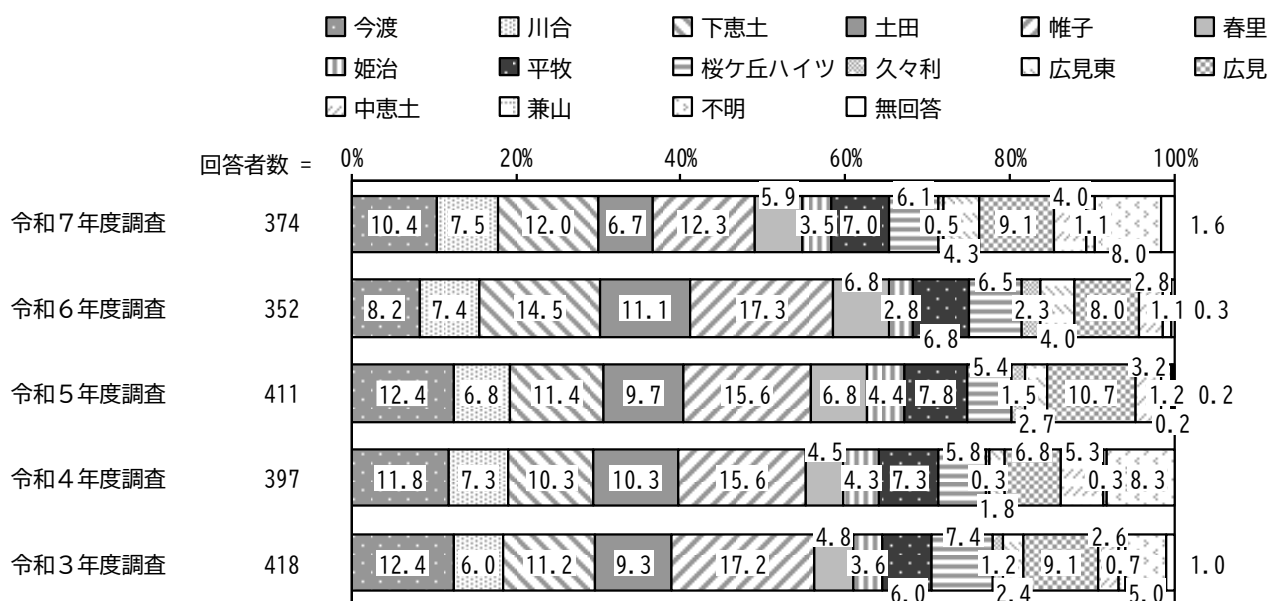
年代別にみると、「学生」の割合が10歳代で高くなっています。



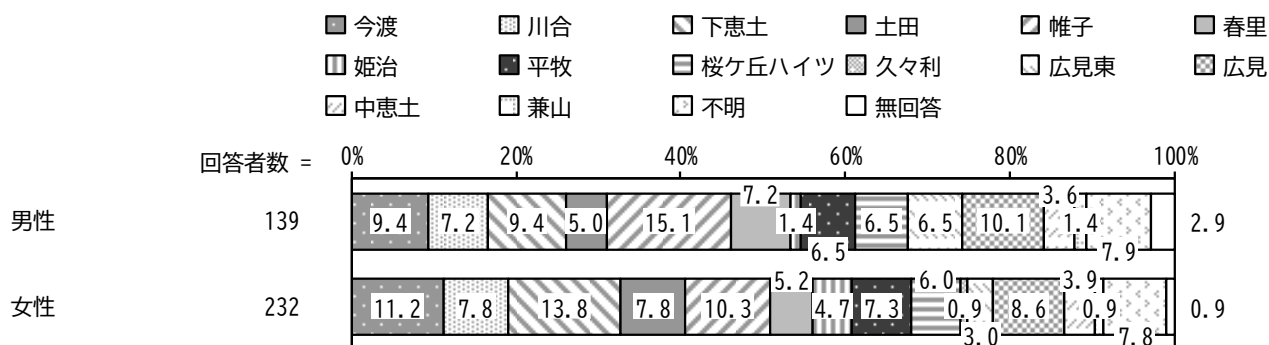
問5 どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)(○は1つだけ)

「帷子」の割合が12.3%と最も高く、次いで「下恵土」の割合が12.0%、「今渡」の割合が10.4%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

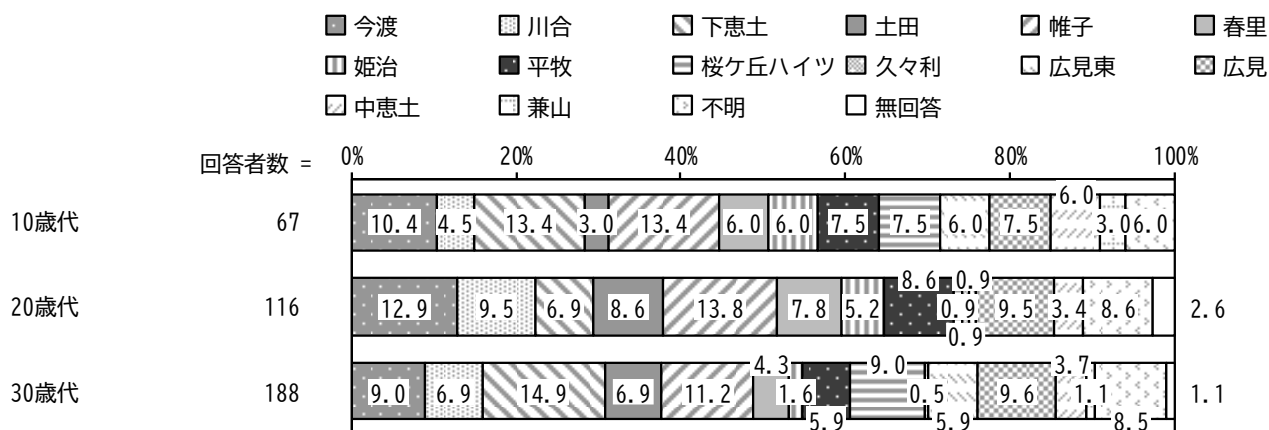


【性別】



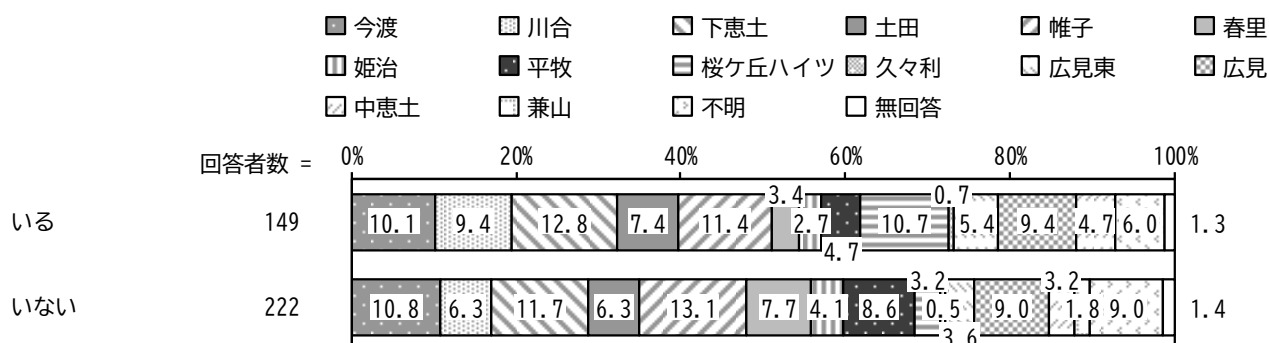
【年代別】

年代別にみると、「桜ヶ丘ハイツ」の割合が20歳代で低くなっています。



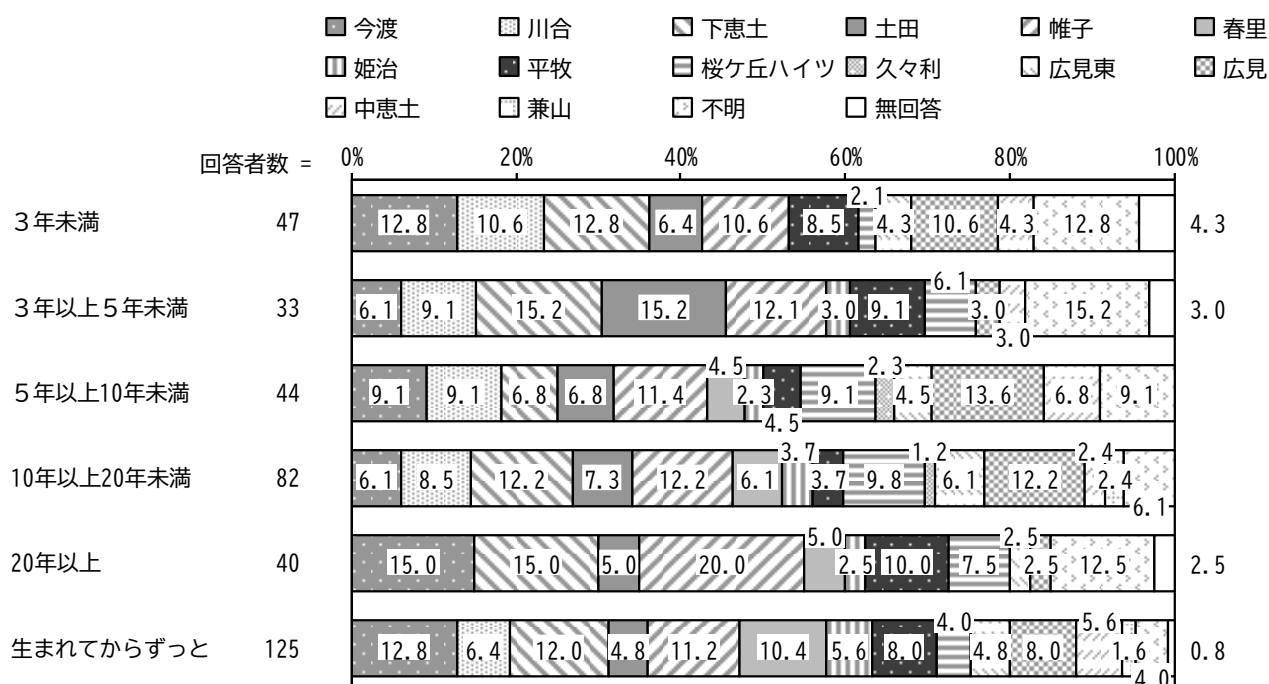
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「桜ヶ丘ハイツ」の割合が『いる』で高くなっています。



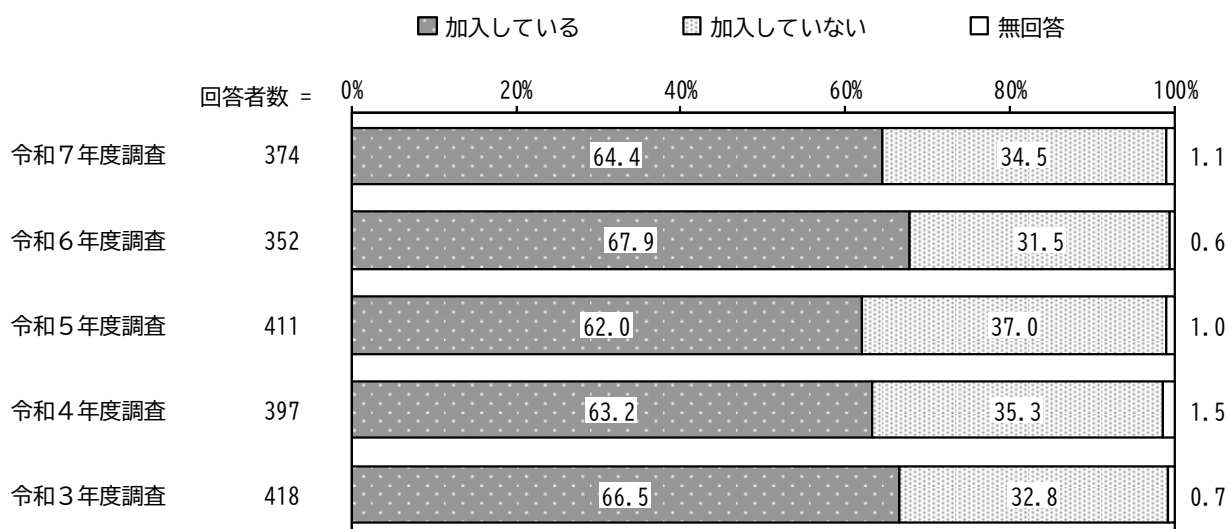
【居住年数別】

居住年数別にみると、「帷子」の割合が『20年以上』で高くなっています。



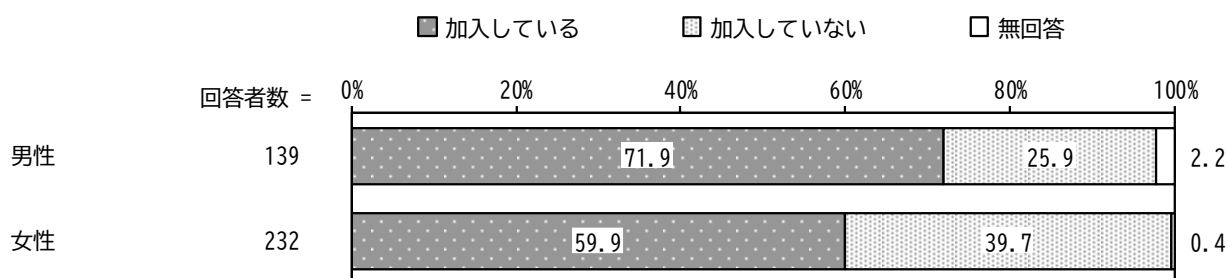
問6 お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

「加入している」の割合が64.4%、「加入していない」の割合が34.5%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



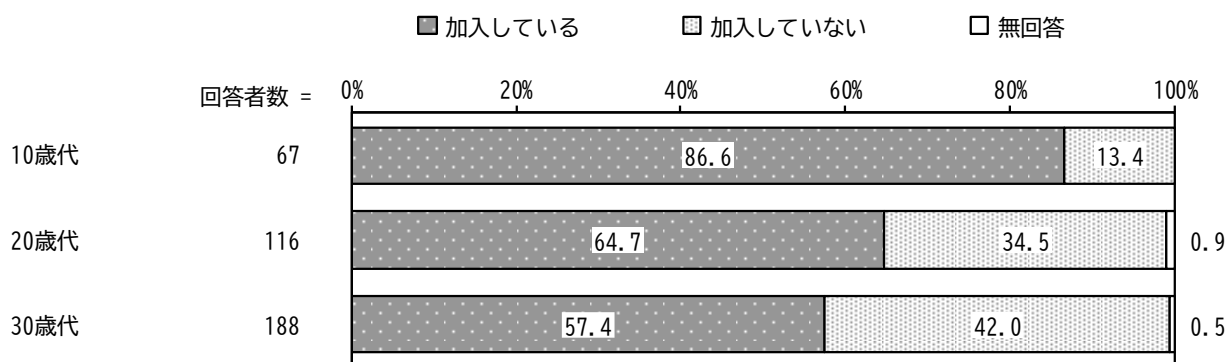
【性別】

性別にみると、「加入している」の割合が男性で高くなっています。



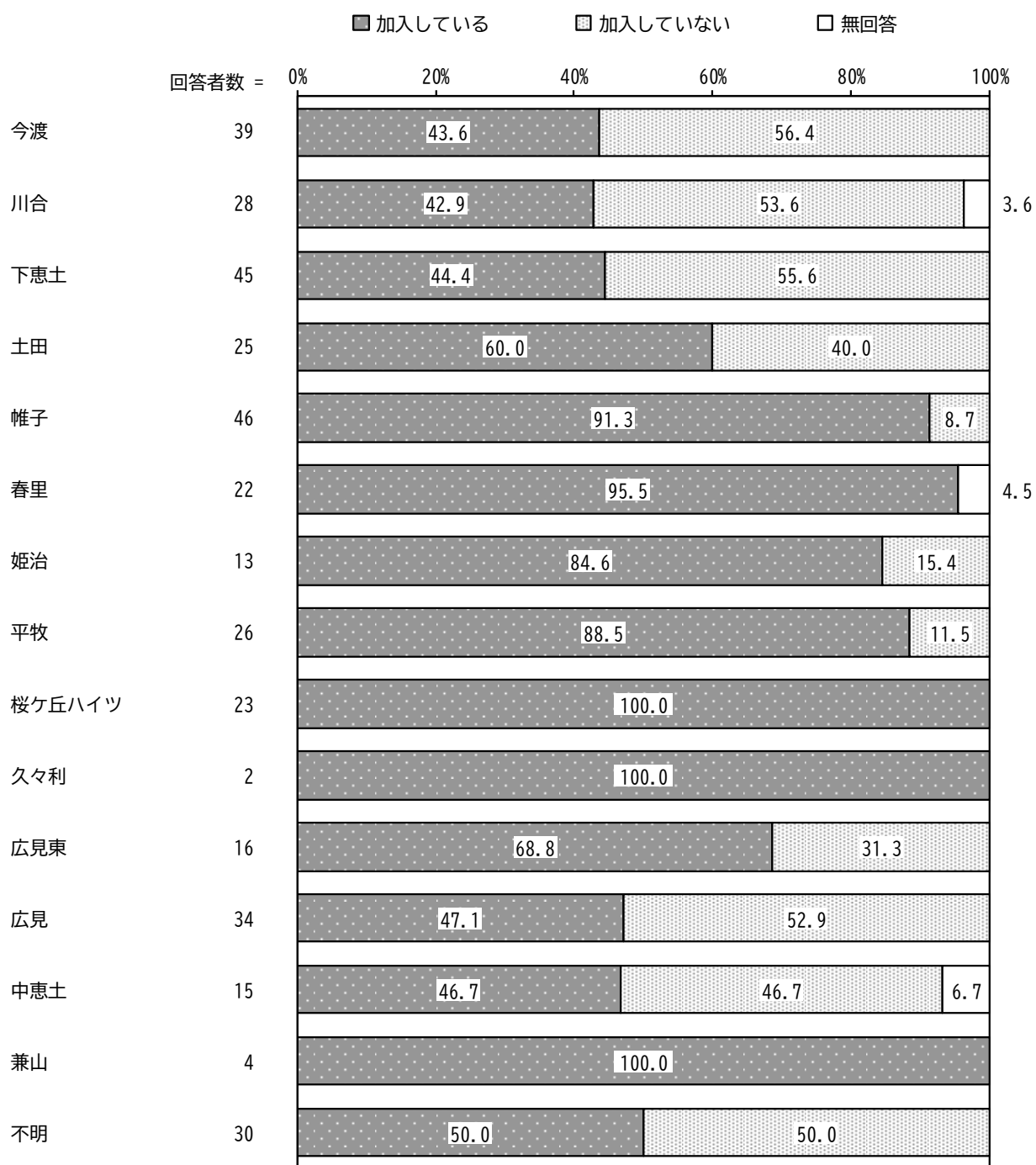
【年代別】

年代別にみると、「加入している」の割合が年齢が下がるほど高くなる傾向にあります。



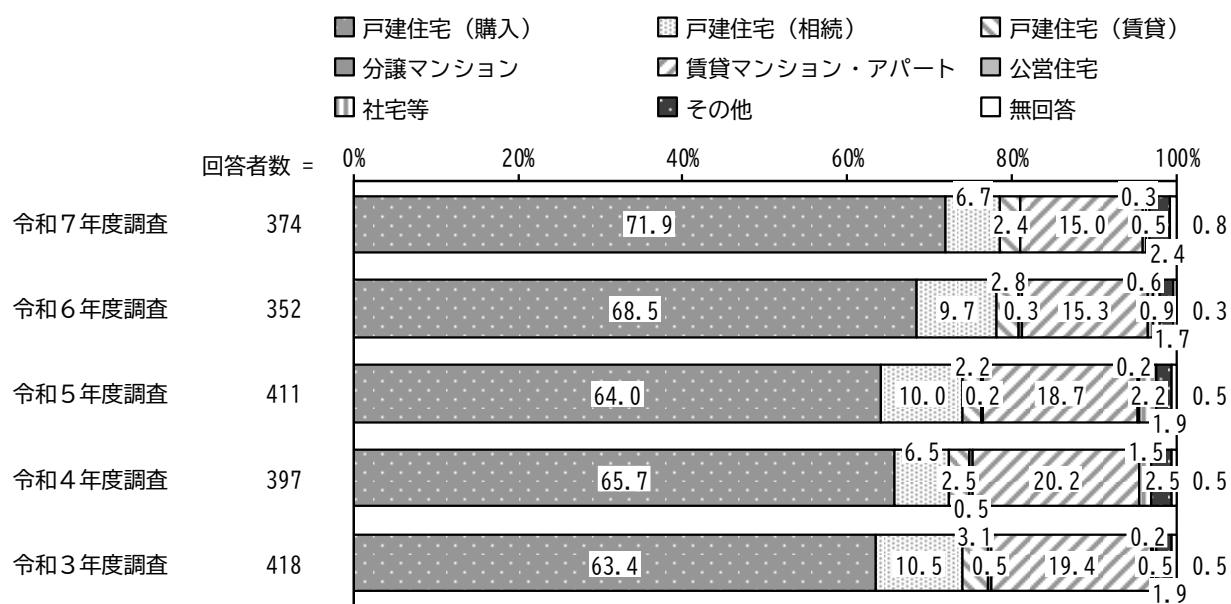
【居住地区別】

居住地区別にみると、「加入している」の割合が春里、桜ヶ丘 Heights で高くなっています。



問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

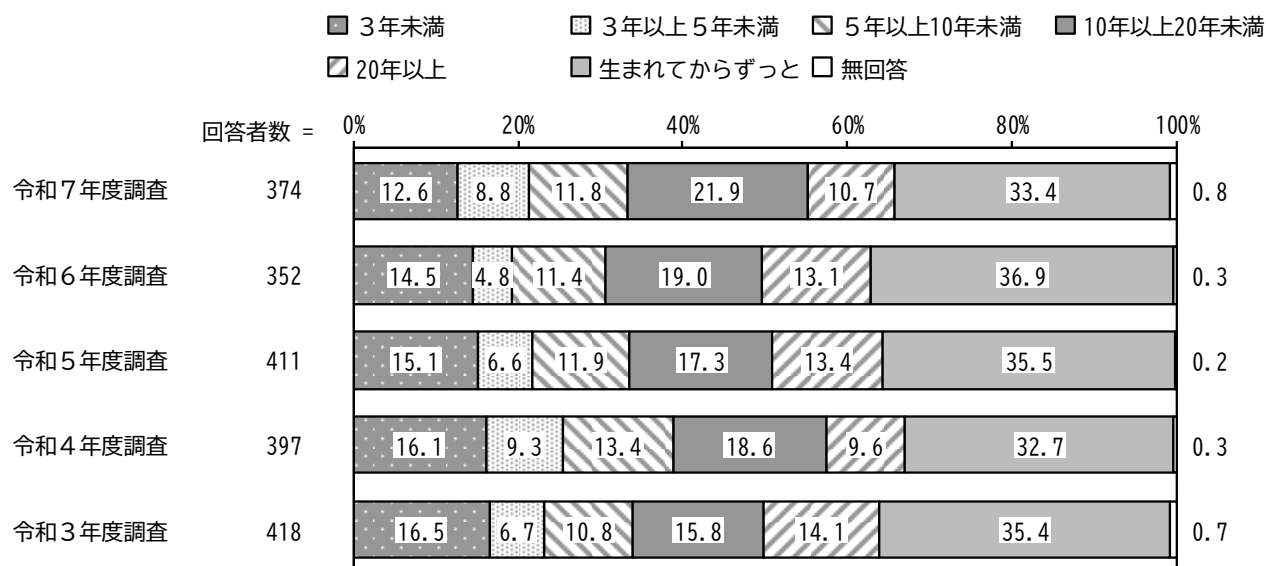
「戸建住宅（購入）」の割合が令和5年度調査以降増加しています。



問8 可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

「生まれてからずっと」の割合が33.4%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が21.9%、「3年未満」の割合が12.6%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



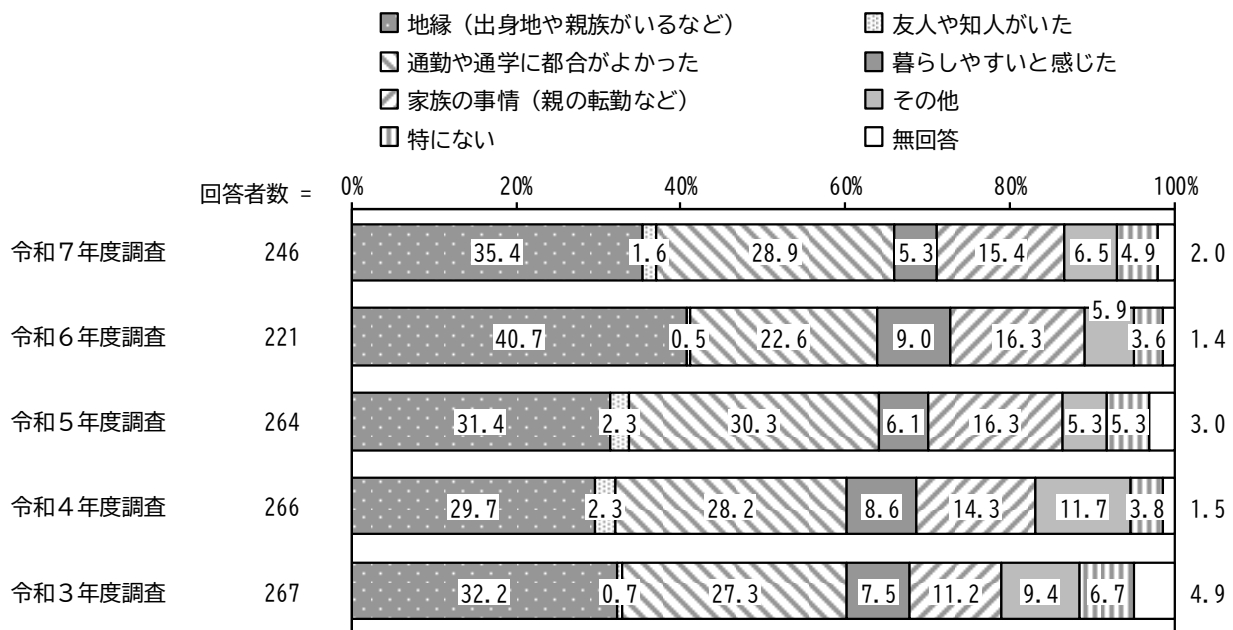
(2) 可児市への居住理由について

【問8で1（3年未満）、2（3年以上5年未満）、3（5年以上10年未満）、4（10年以上20年未満）、5（20年以上）を選択された方に伺います】

問9 可児市を居住地に選んだ理由は何ですか。（○は1つだけ）

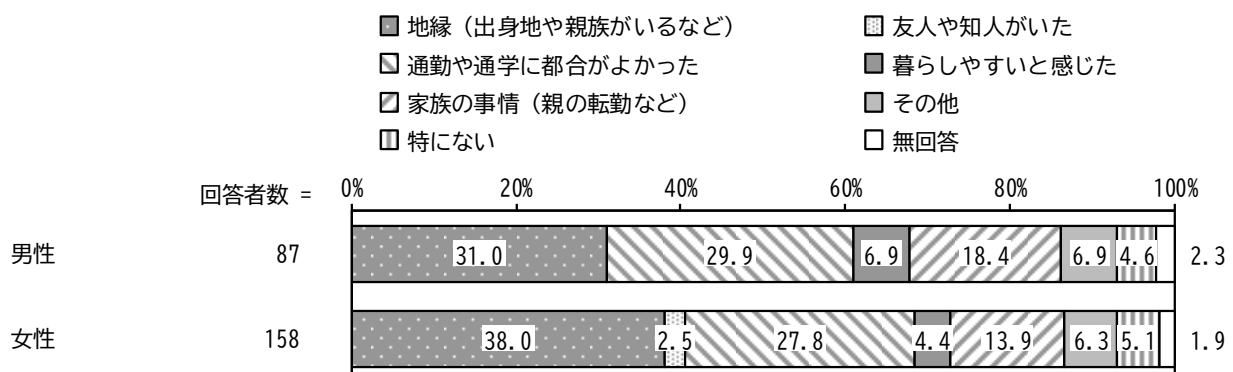
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が35.4%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が28.9%、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が15.4%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が増加しています。一方、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が減少しています。



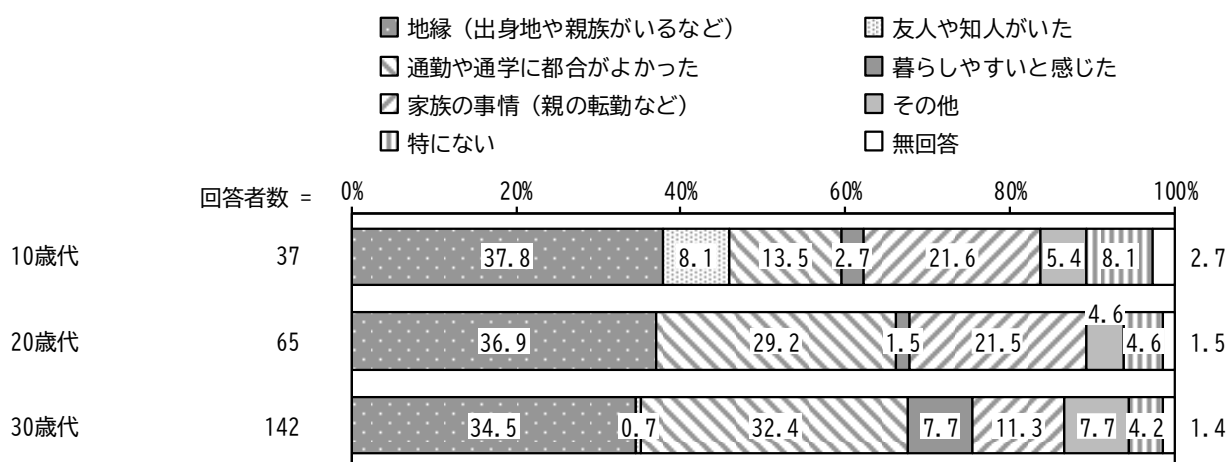
【性別】

性別にみると、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が女性で高くなっています。



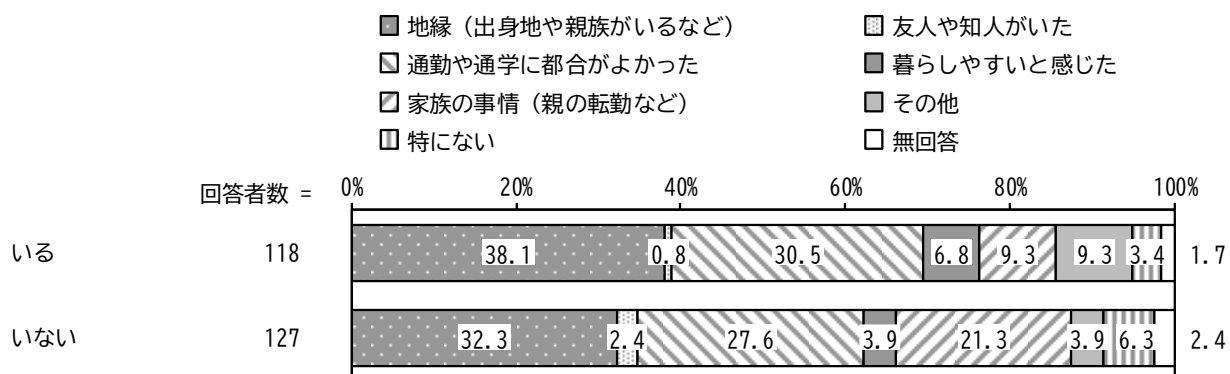
【年代別】

年代別にみると、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が年齢が上がるほど高くなっています。



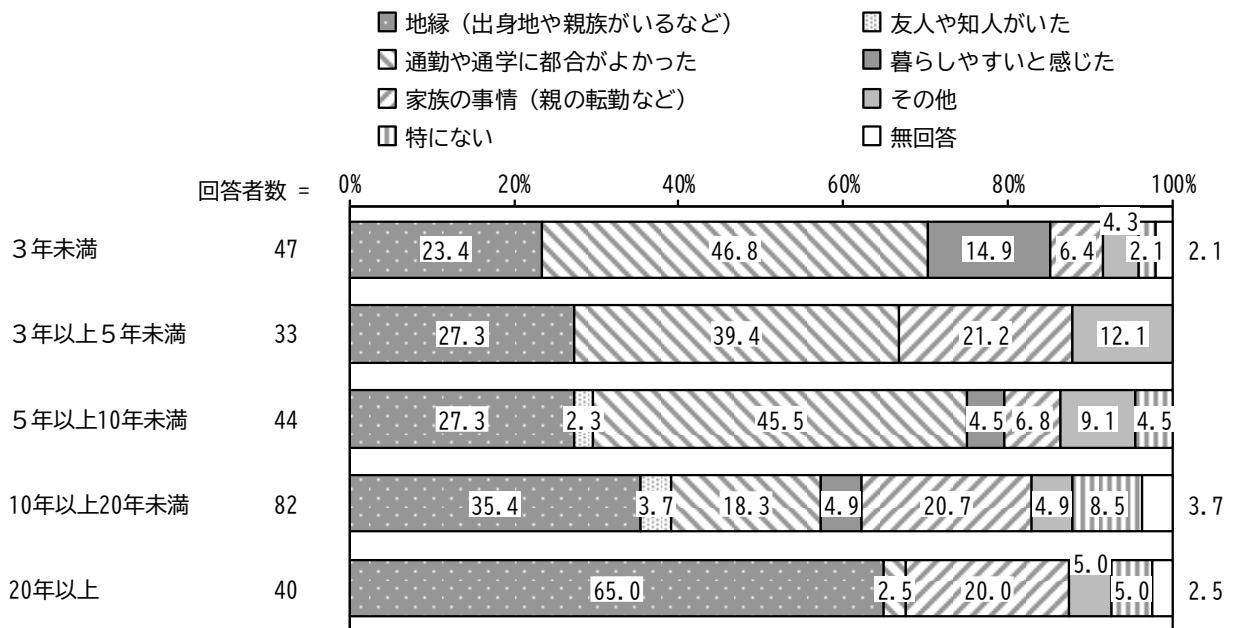
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が『いる』で高く、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が『いない』で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が居住年数が長いほど高くなっています。

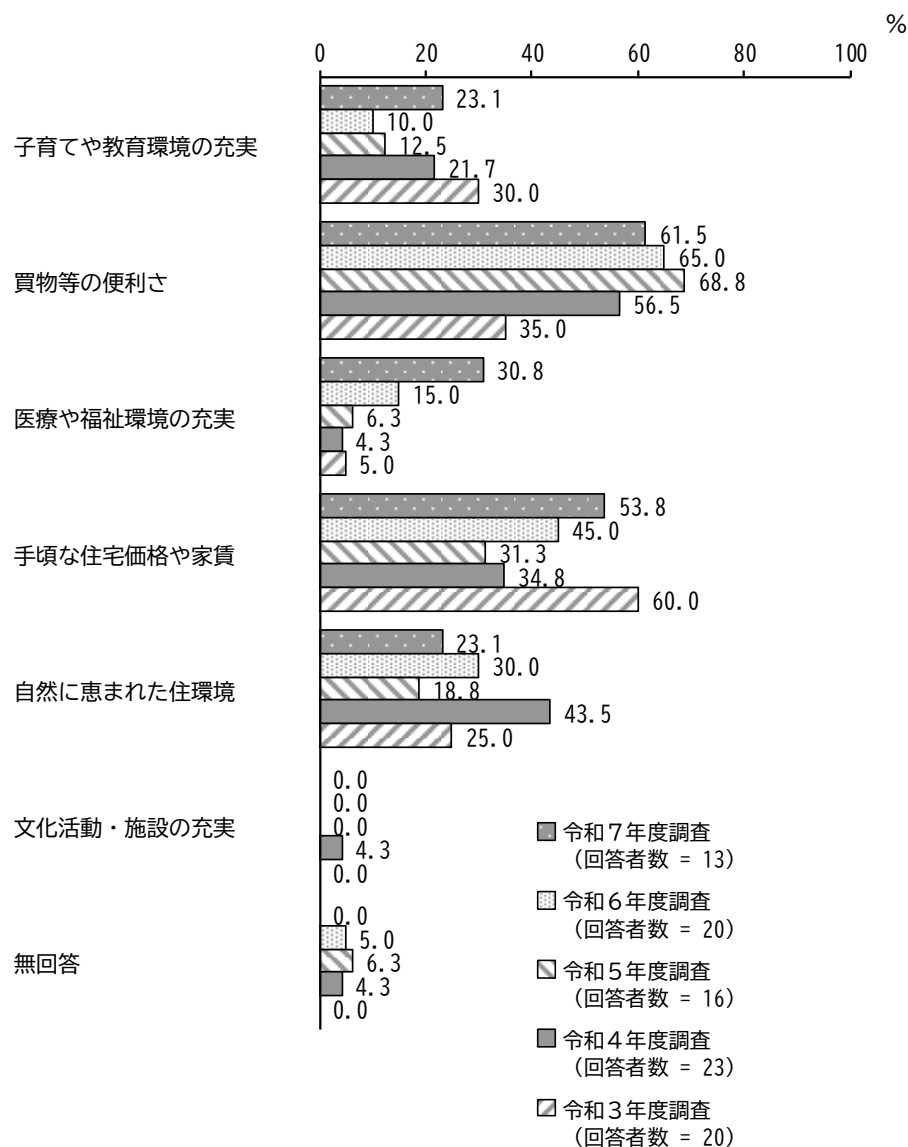


暮らしやすいと感じた理由

「買物等の便利さ」の割合が61.5%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が53.8%、「医療や福祉環境の充実」の割合が30.8%となっています。

経年でみると、令和3年度調査以降「医療や福祉環境の充実」の割合が増加傾向にあります。。

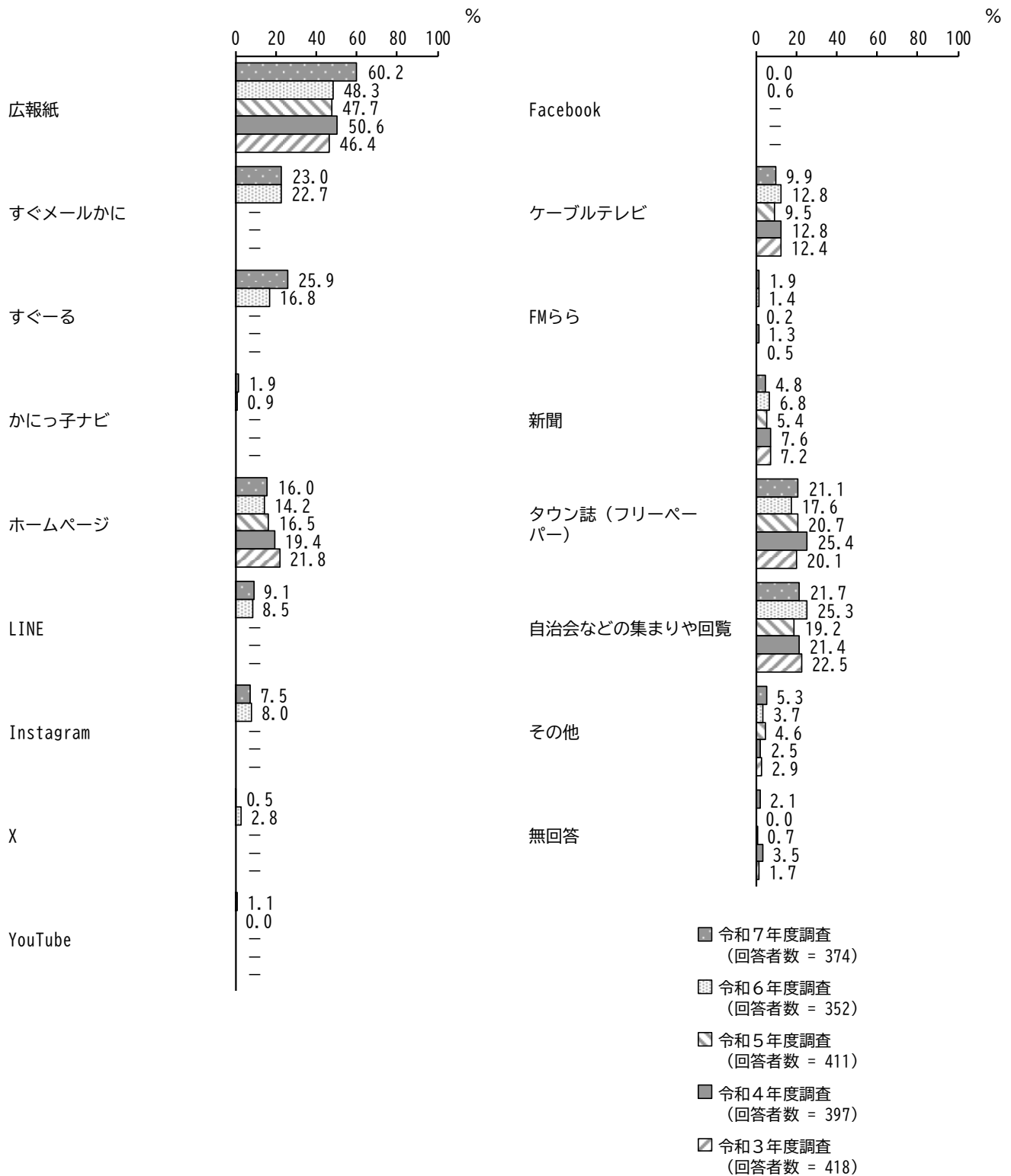
また、令和6年度調査と比較すると、「子育てや教育環境の充実」「手頃な住宅価格や家賃」の割合が増加しています。一方、「自然に恵まれた住環境」の割合が減少しています。



問10 日頃、市の情報をどの方法により収集していますか。(複数回答可)

「広報紙」の割合が60.2%と最も高く、次いで「すぐる」の割合が25.9%、「すぐメールかに」の割合が23.0%となっています。

経年でみると、令和3年度調査以降「広報紙」の割合が増加傾向にあります。



※令和5年度調査以前では、「すぐメールかに」、「すぐる」、「LINE」、「かにっ子ナビ」、「Facebook」、「X(旧 Twitter)」、「Instagram」、「YouTube」がありませんでした。

また、「FMらら」については令和5年度調査までは「コミュニティ FM」、令和6年度調査では「ラジオ」になっていました。

【性別】

性別にみると、「広報紙」、「ケーブルテレビ」、「自治会などの集まりや回覧」の割合が男性で高く、「すぐメールかに」、「すぐーる」、「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールかに	すぐーる	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X
全 体	374	60.2	23.0	25.9	1.9	16.0	9.1	7.5	0.5
男性	139	66.2	19.4	22.3	1.4	12.9	7.9	7.9	0.7
女性	232	56.9	25.4	28.4	2.2	17.7	9.9	7.3	0.4

区分	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
全 体	1.1	0.0	9.9	1.9	4.8	21.1	21.7	5.3	2.1
男性	1.4	0.0	14.4	2.2	7.2	12.2	25.2	7.2	5.0
女性	0.9	0.0	7.3	1.7	3.4	26.3	19.4	4.3	0.4

【年代別】

年代別にみると、「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が年齢が上がるほど高くなっています。

単位：％

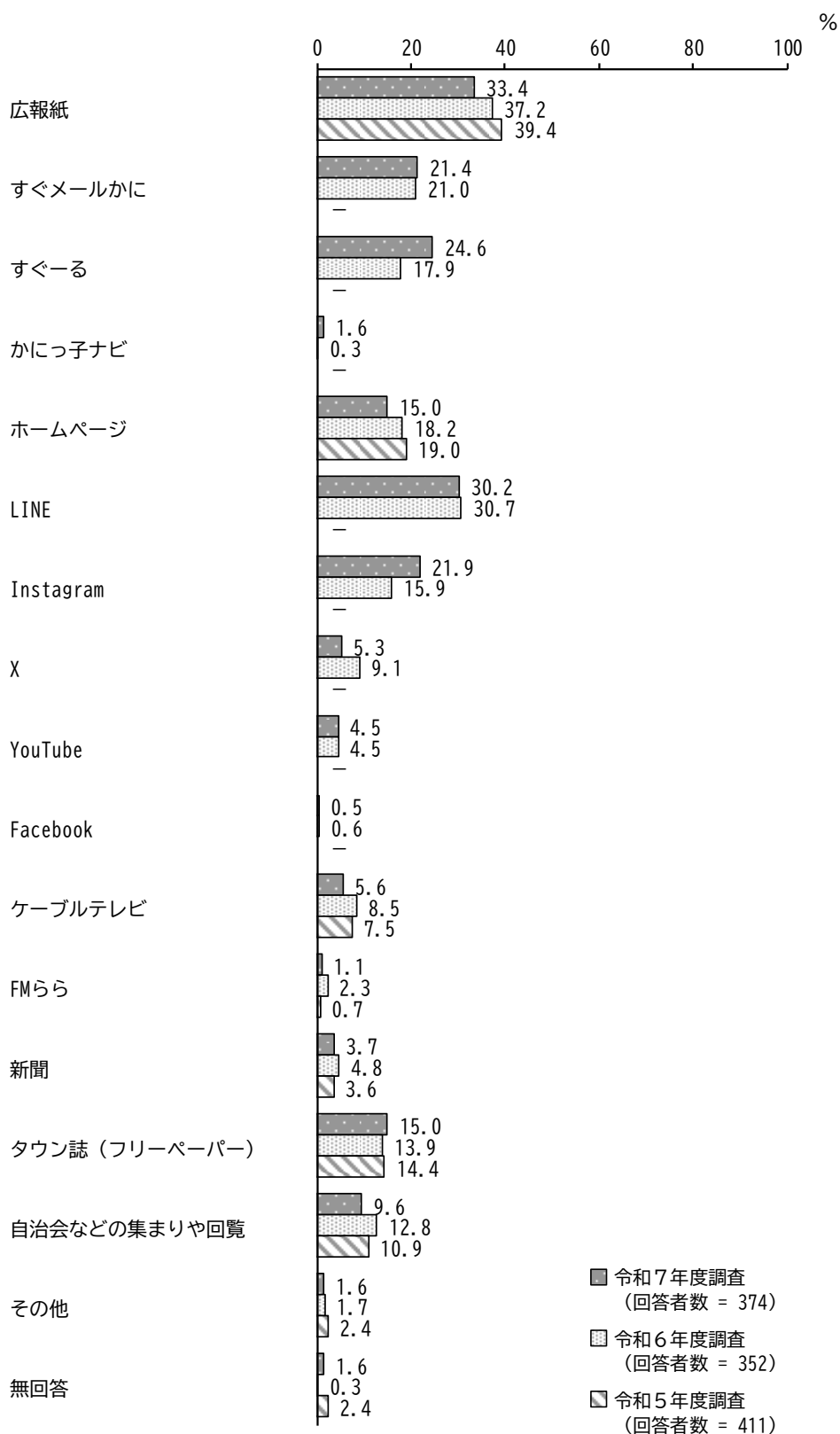
区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールに	すべる	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X
全 体	374	60.2	23.0	25.9	1.9	16.0	9.1	7.5	0.5
10歳代	67	50.7	17.9	23.9	1.5	13.4	6.0	9.0	1.5
20歳代	116	62.1	13.8	3.4	2.6	15.5	12.1	4.3	0.0
30歳代	188	62.8	30.3	39.4	1.6	17.0	8.0	8.5	0.5

区分	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	コらら	新聞	タウン誌 (フリーペーパー)	自治会などの集まり や回覧	その他	無回答
全 体	1.1	0.0	9.9	1.9	4.8	21.1	21.7	5.3	2.1
10歳代	1.5	0.0	13.4	0.0	10.4	10.4	23.9	6.0	6.0
20歳代	2.6	0.0	7.8	0.9	4.3	17.2	23.3	5.2	1.7
30歳代	0.0	0.0	10.1	3.2	3.2	27.1	20.2	5.3	1.1

問 11 市の情報をどの方法により受け取りたいですか。（複数回答可）

「広報紙」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「LINE」の割合が 30.2%、「すぐーる」の割合が 24.6%となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和 5 年度調査では、「すぐメールかに」、「すぐーる」、「LINE」、「かにっ子ナビ」、「Facebook」、「X (旧 Twitter)」、「Instagram」、「YouTube」がありませんでした。

また、「FM らら」については令和 5 年度調査では「コミュニティ FM」、令和 6 年度調査では「ラジオ」になっていました。

【性別】

性別にみると、「YouTube」の割合が男性で高く、「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールに	すべる	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X
全 体	374	33.4	21.4	24.6	1.6	15.0	30.2	21.9	5.3
男性	139	35.3	20.1	23.0	1.4	14.4	33.1	23.0	7.9
女性	232	32.3	22.4	25.9	1.7	15.1	28.4	21.6	3.9

区分	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらじ	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
全 体	4.5	0.5	5.6	1.1	3.7	15.0	9.6	1.6	1.6
男性	7.9	0.0	8.6	0.7	5.0	10.1	11.5	1.4	1.4
女性	2.2	0.9	3.9	1.3	2.6	17.7	8.6	1.7	1.7

【年代別】

年代別にみると、「広報紙」の割合が年齢が上がるほど高くなっています。

単位：％

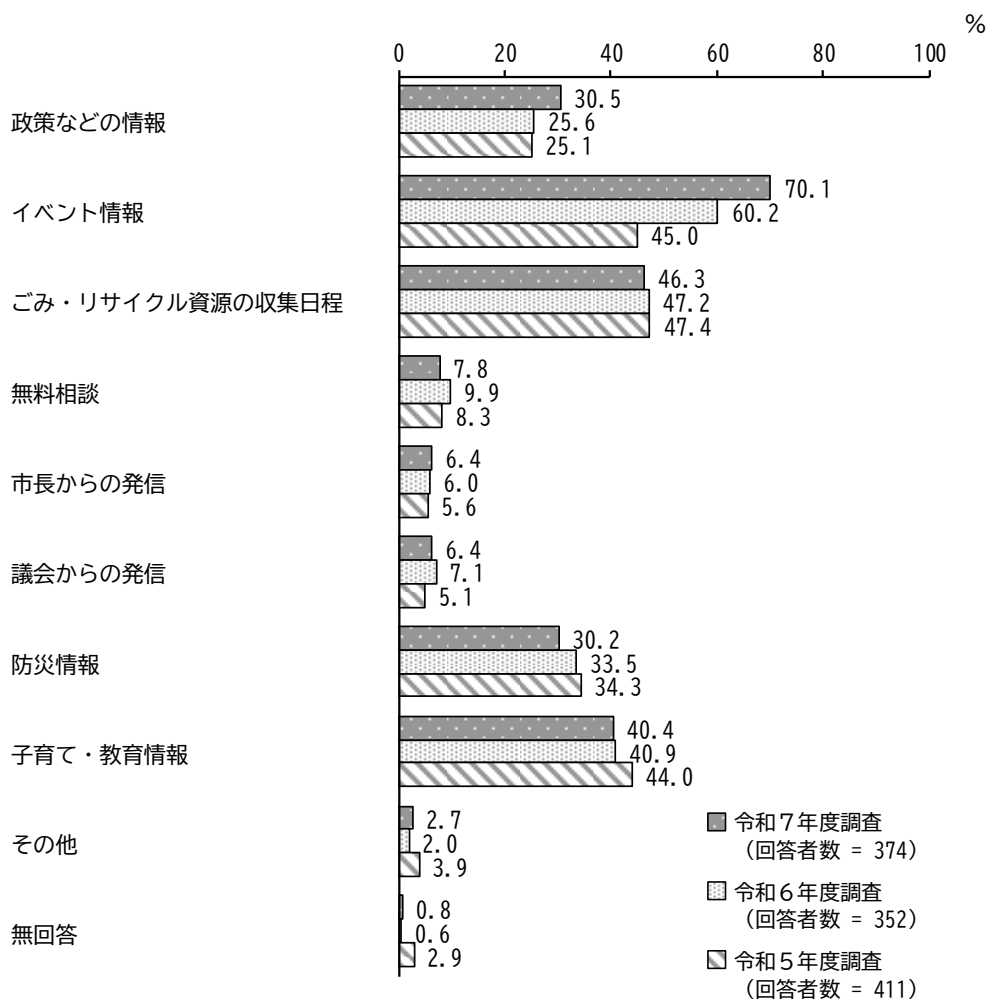
区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールに	すべる	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X
全 体	374	33.4	21.4	24.6	1.6	15.0	30.2	21.9	5.3
10歳代	67	25.4	16.4	22.4	0.0	10.4	25.4	26.9	4.5
20歳代	116	34.5	14.7	1.7	1.7	15.5	37.9	20.7	4.3
30歳代	188	35.6	27.1	38.3	2.1	16.0	27.1	20.7	5.9

区分	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらじ	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
全 体	4.5	0.5	5.6	1.1	3.7	15.0	9.6	1.6	1.6
10歳代	7.5	1.5	3.0	0.0	3.0	10.4	9.0	1.5	3.0
20歳代	5.2	0.0	5.2	0.9	6.9	16.4	8.6	4.3	1.7
30歳代	3.2	0.0	6.9	1.6	2.1	16.0	10.6	0.0	1.1

問 12 市の情報のうち、どれに興味がありますか。(複数回答可)

「イベント情報」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「ごみ・リサイクル資源の収集日程」の割合が 46.3%、「子育て・教育情報」の割合が 40.4%となっています。

経年でみると、令和5年度調査以降「イベント情報」の割合が増加しています。



※令和6年度調査では、「ごみ・リサイクル資源の収集日程」が「月ごとのごみ・リサイクル日程」となっていました。

令和5年度調査では、「イベント情報」が「催しなどの情報」、「ごみ・リサイクル資源の収集日程」が「月ごとのごみ・リサイクル日程」となっていました。

【性別】

性別にみると、「政策などの情報」、「防災情報」の割合が男性で高く、「イベント情報」、「子育て・教育情報」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	政策などの情報	イベント情報	ごみ・リサイクル資源の収集日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
全 体	374	30.5	70.1	46.3	7.8	6.4	6.4	30.2	40.4	2.7	0.8
男性	139	43.9	64.7	43.9	7.9	7.9	8.6	36.0	36.7	2.9	1.4
女性	232	22.4	73.3	47.8	7.8	5.2	4.7	26.7	43.1	2.6	0.4

【年代別】

年代別にみると、「政策などの情報」、「ごみ・リサイクル資源の収集日程」、「子育て・教育情報」の割合が年齢が上がるほど高くなっています。

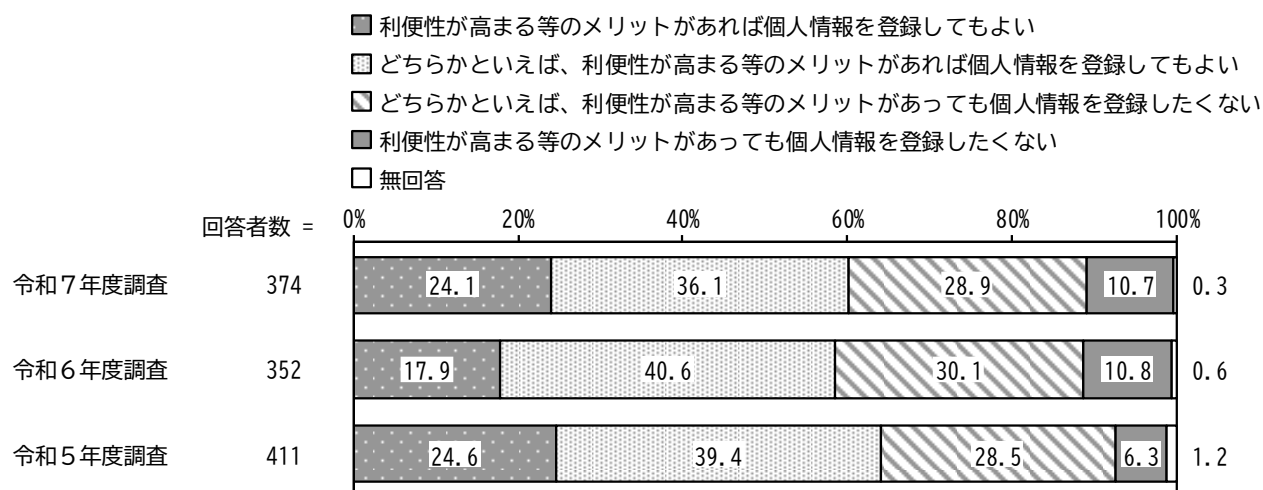
単位：％

区分	回答者数 (件)	政策などの情報	イベント情報	ごみ・リサイクル資源の収集日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
全 体	374	30.5	70.1	46.3	7.8	6.4	6.4	30.2	40.4	2.7	0.8
10歳代	67	16.4	73.1	22.4	4.5	4.5	4.5	29.9	14.9	3.0	1.5
20歳代	116	31.9	68.1	41.4	8.6	6.9	5.2	27.6	25.9	3.4	0.9
30歳代	188	35.1	69.7	58.0	8.5	6.9	8.0	31.9	59.0	2.1	0.5

問 13 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、オンラインでの個人情報の登録について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。（○は1つだけ）

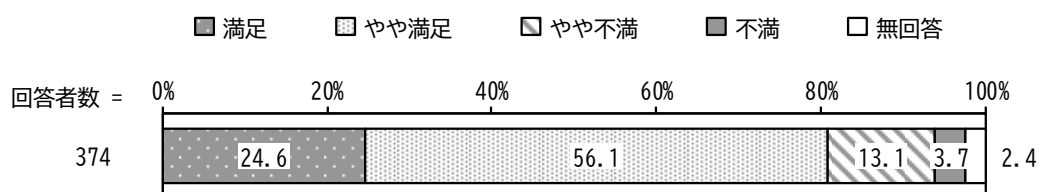
「利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」を合わせた“登録してもよい”の割合が60.2%、「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない」「利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない」を合わせた“登録したくない”の割合が39.6%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」の割合が増加しています。



問 14 市の行政サービスのデジタル化の取り組みについて、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

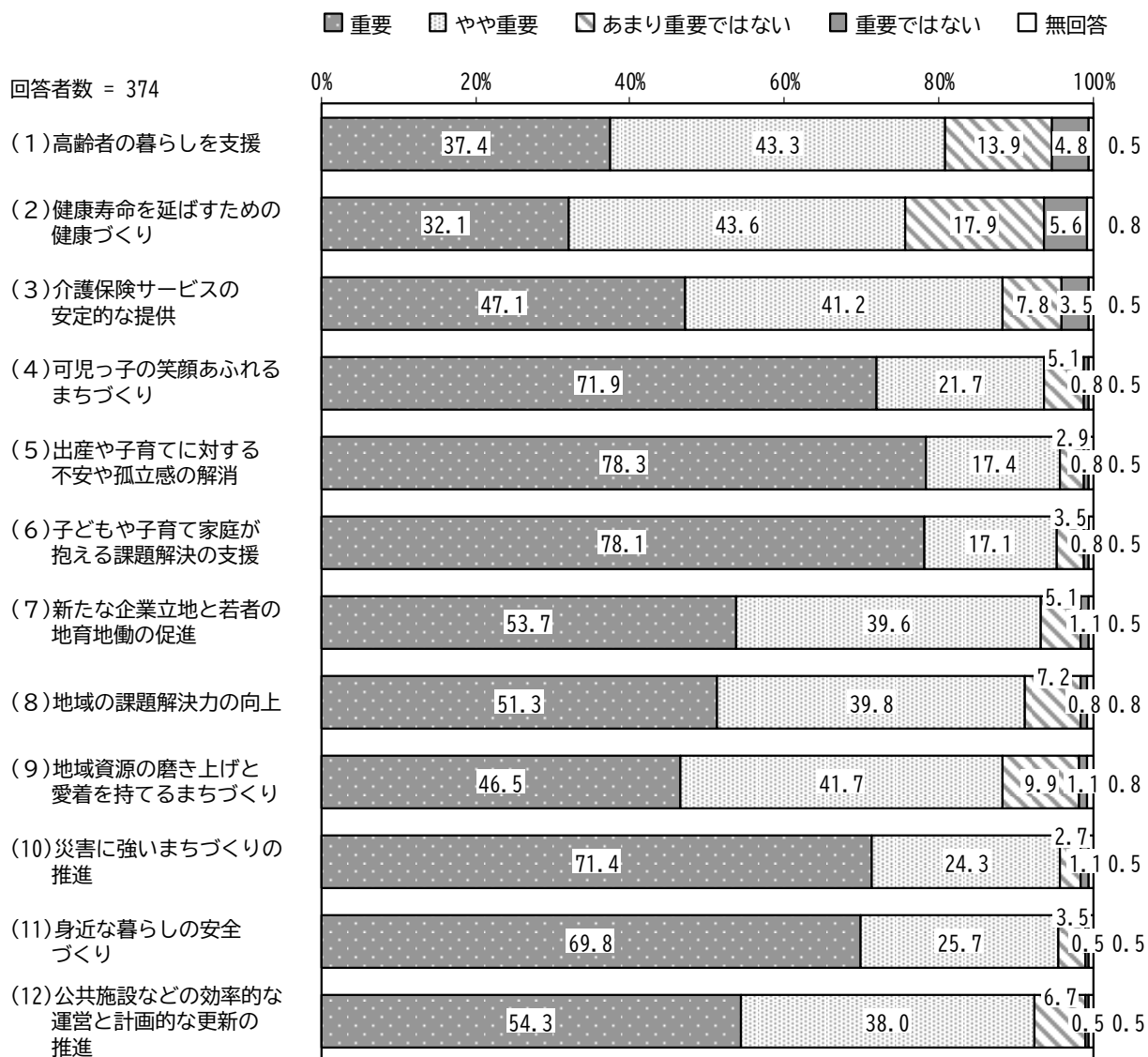
「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が80.7%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が16.8%となっています。



(3) 施策の重要度と満足度について

問 15 市政経営計画の重点施策である以下の(1)～(12)の各施策について、今後の可児市にとってどの程度重要だと思うか、あなたの考えに近いものを「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」から選び、○印をつけてください。

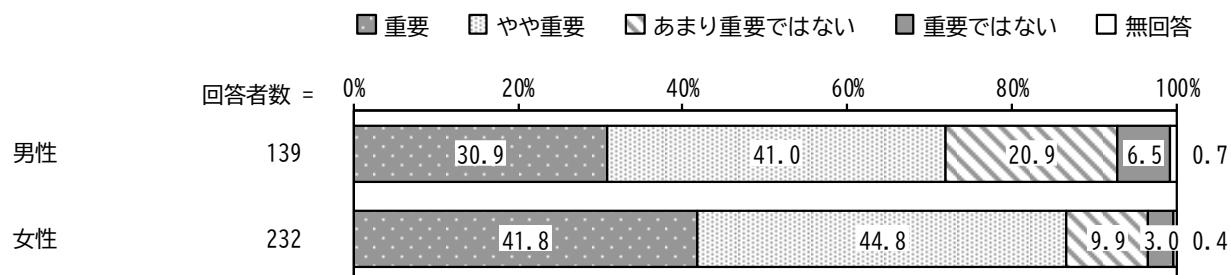
『(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消』、『(10)災害に強いまちづくりの推進』で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が最も高くなっています。一方、『(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり』で「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた“重要ではない”が高くなっています。



(1) 高齢者の暮らしを支援

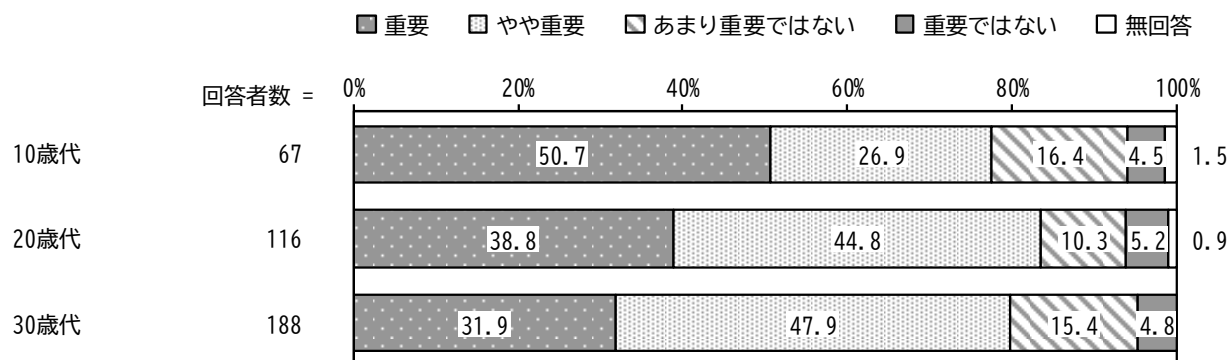
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



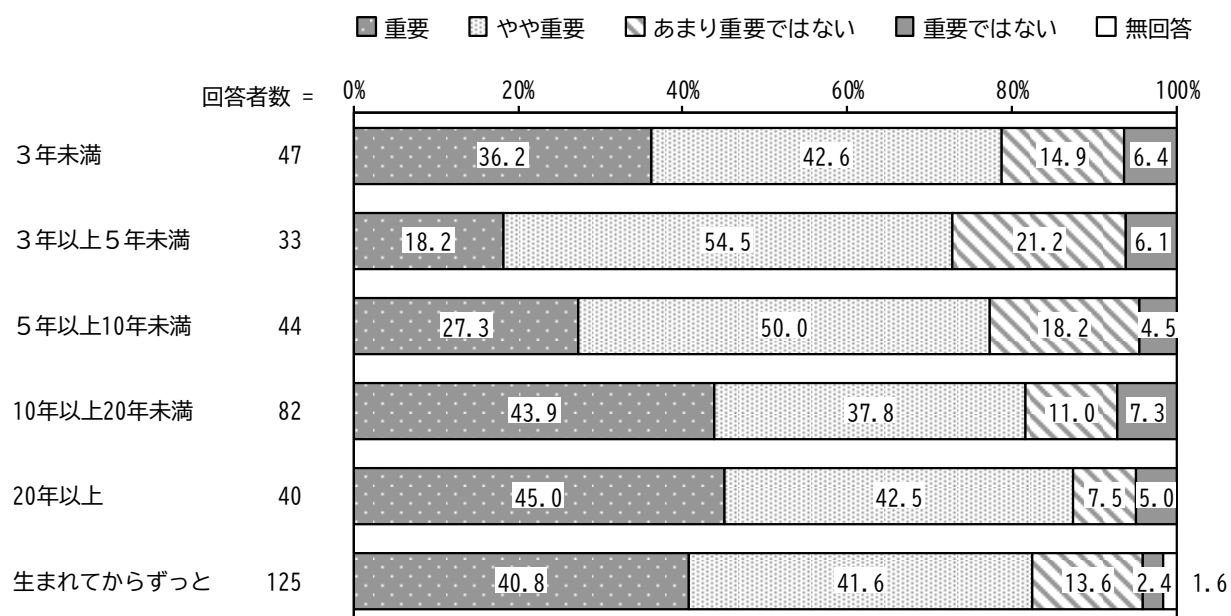
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が年齢が上がるほど低くなっています。



【居住年数別】

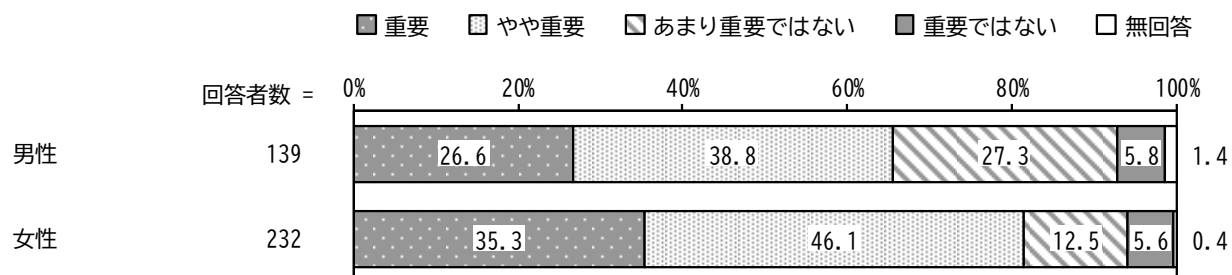
居住年数別にみると、“重要”の割合が『3年以上5年未満』から『20年以上』にかけて高くなっています。



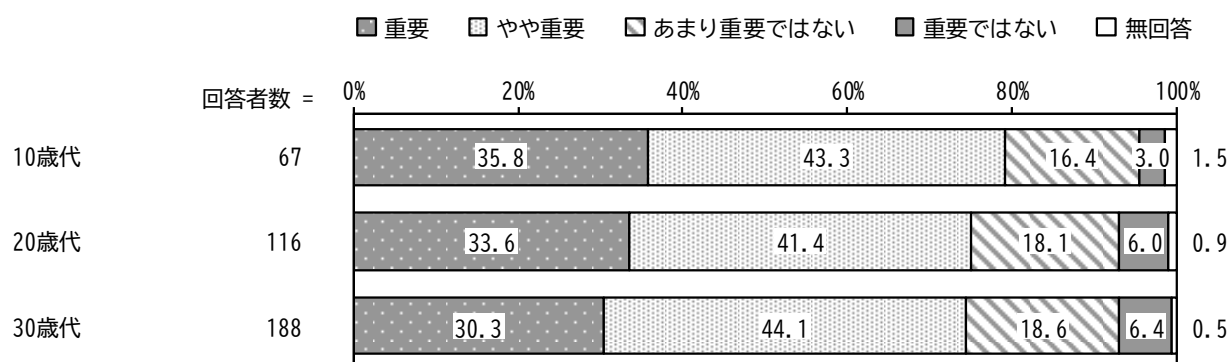
（２）健康寿命を延ばすための健康づくり

【性別】

性別にみると、「重要」の割合が女性で高くなっています。

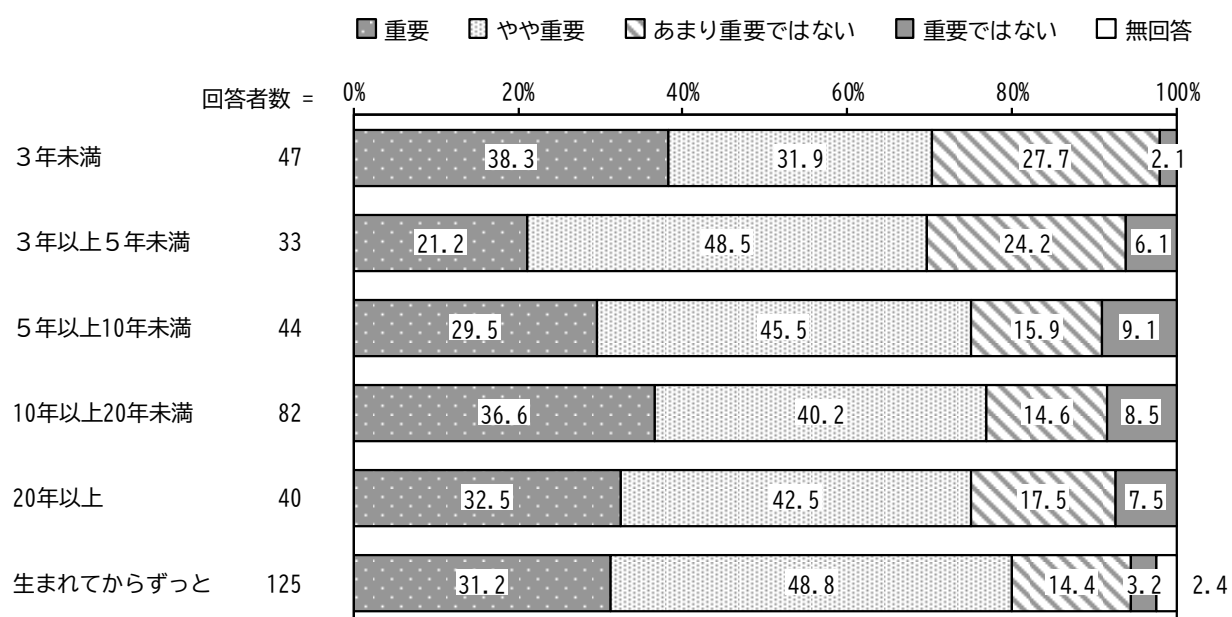


【年代別】



【居住年数別】

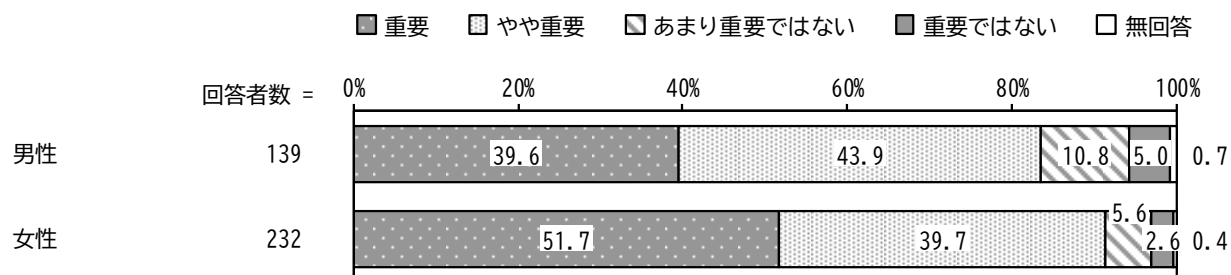
居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年以上5年未満』から『10年以上20年未満』にかけて高くなっています。



(3) 介護保険サービスの安定的な提供

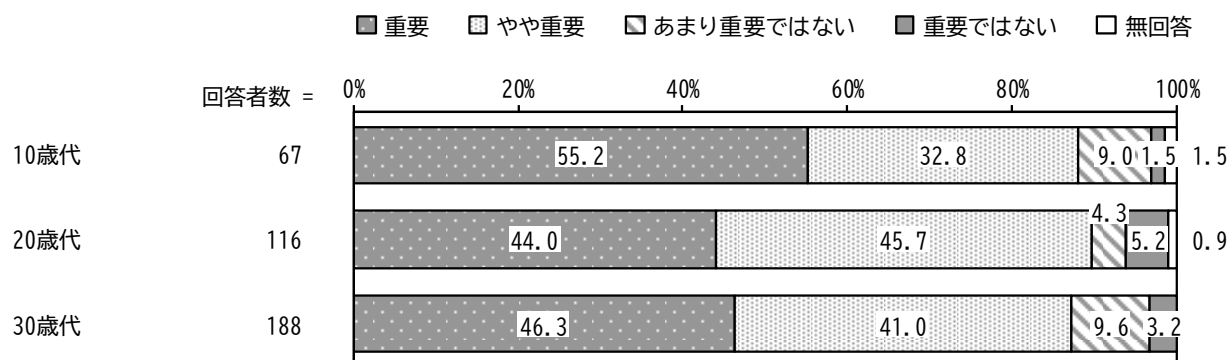
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



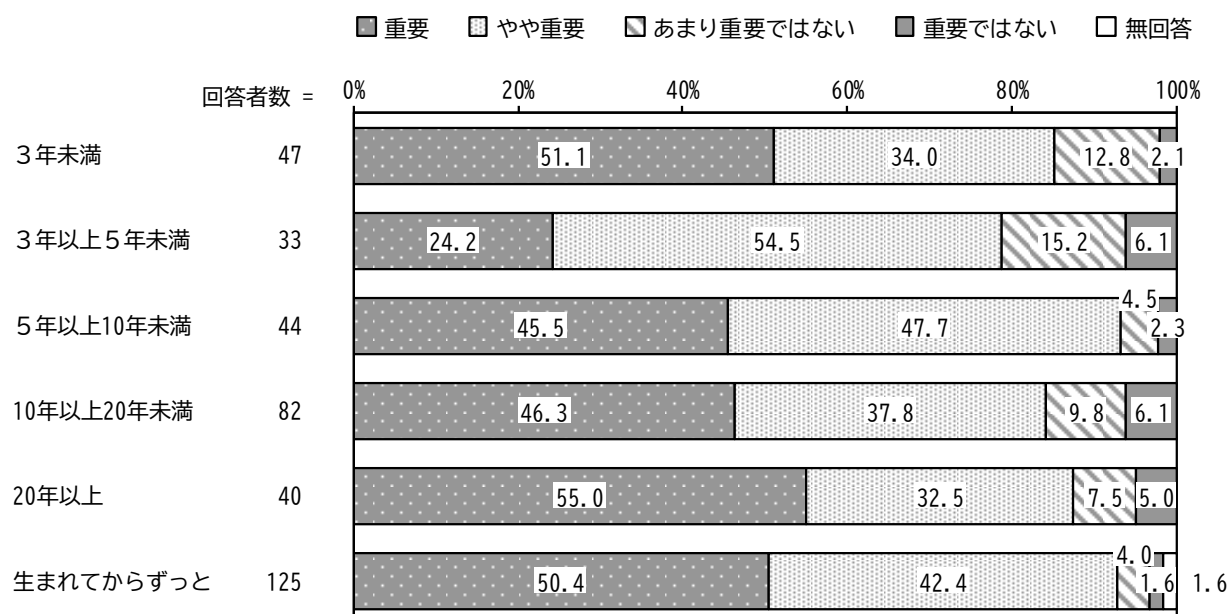
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が10歳代で高くなっています。



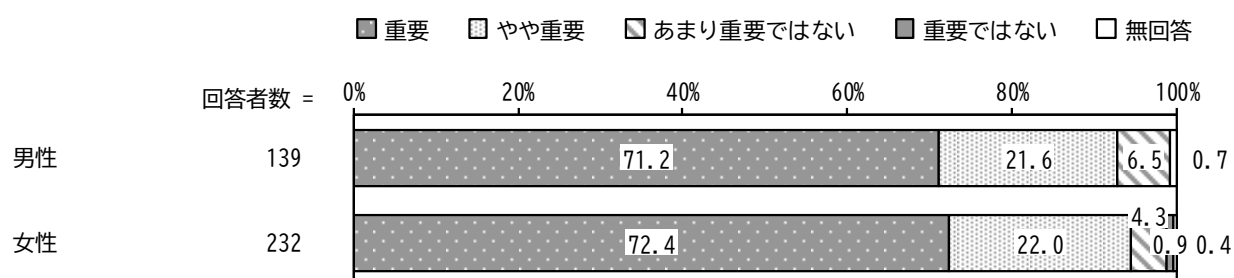
【居住年数別】

居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年以上5年未満』から『20年以上』にかけて高くなっています。

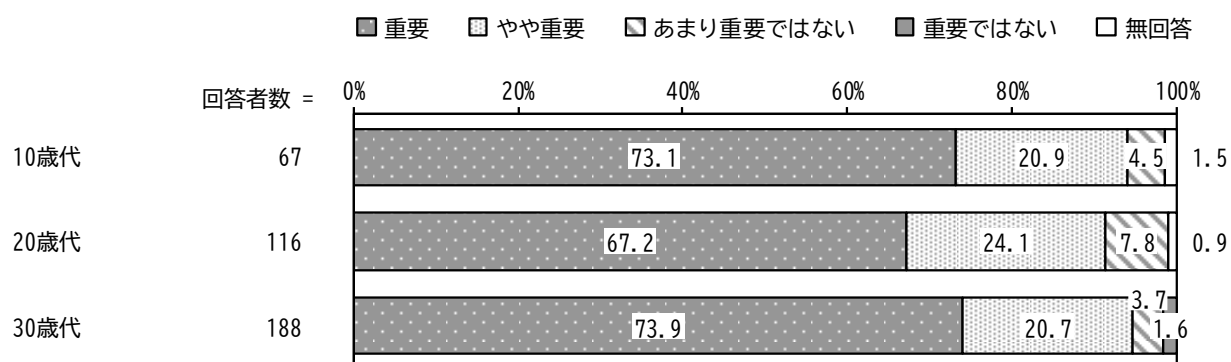


(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり

【性別】

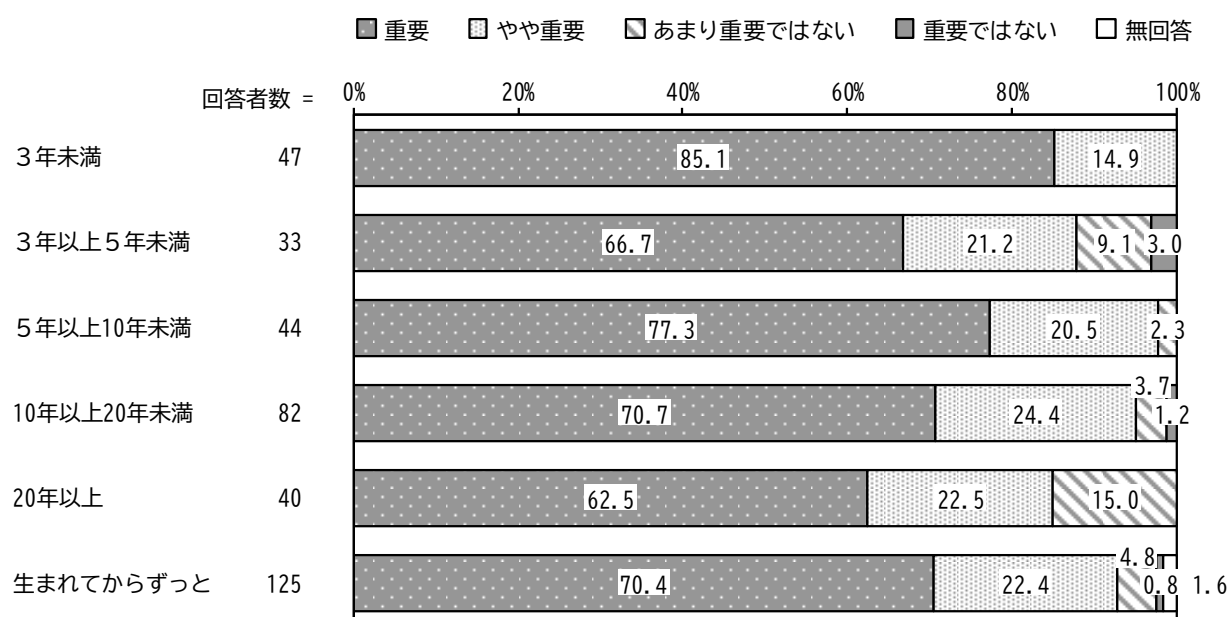


【年代別】



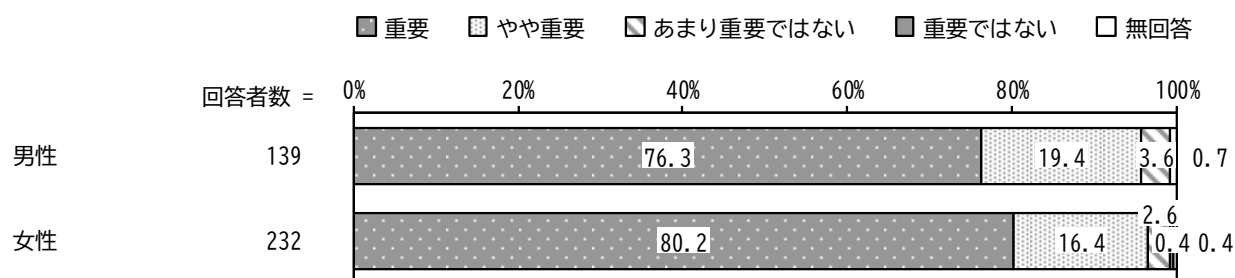
【居住年数別】

居住年数別にみると、“重要”の割合が『3年未満』で高くなっています。

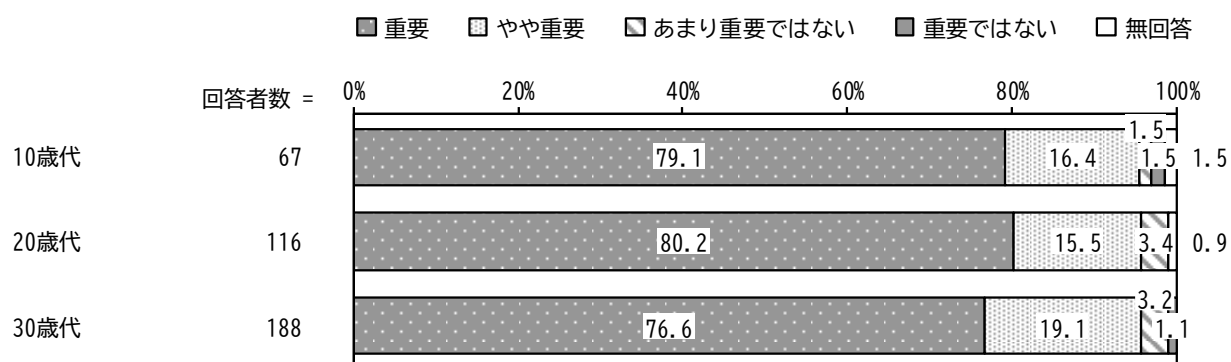


（５）出産や子育てに対する不安や孤立感の解消

【性別】

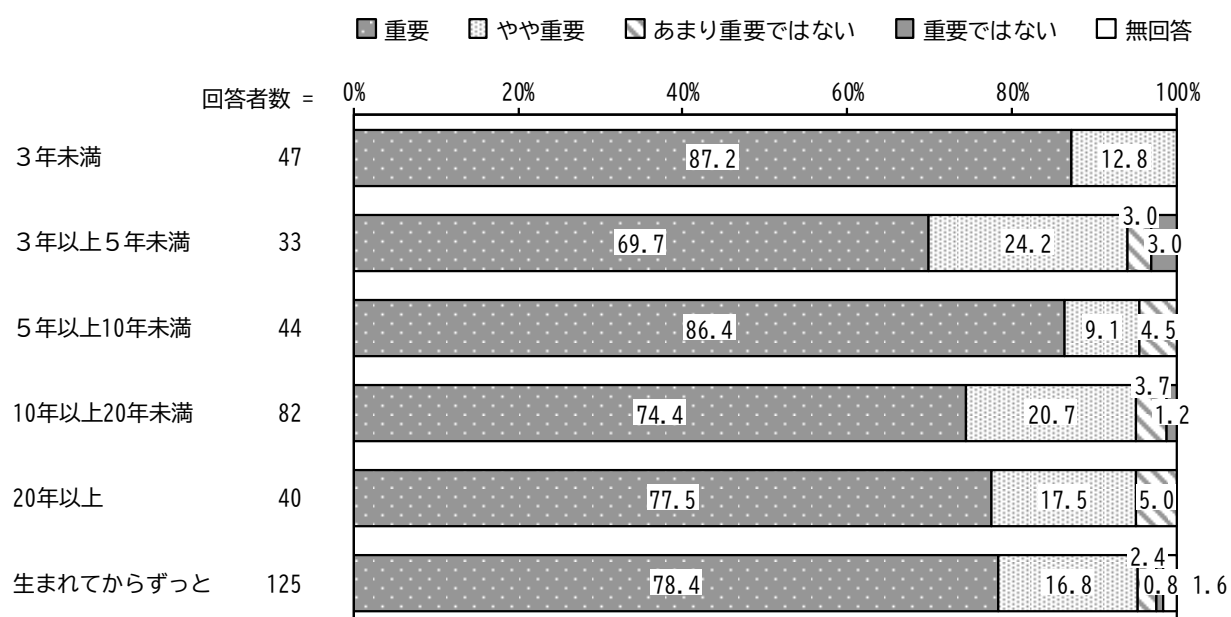


【年代別】



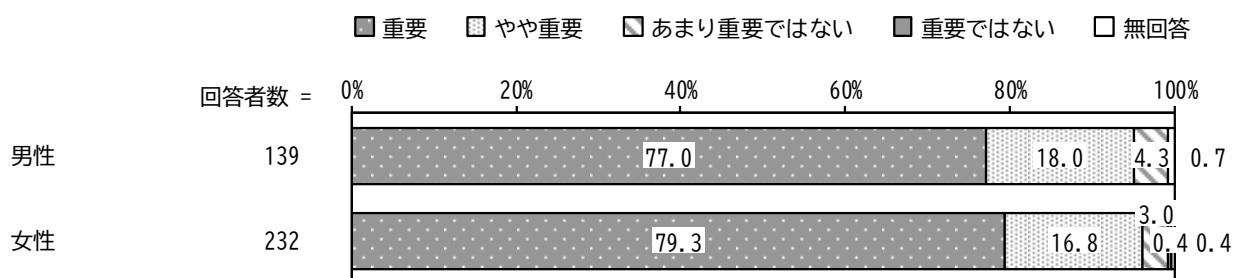
【居住年数別】

居住年数別にみると、“重要”の割合が『3年未満』で高くなっています。

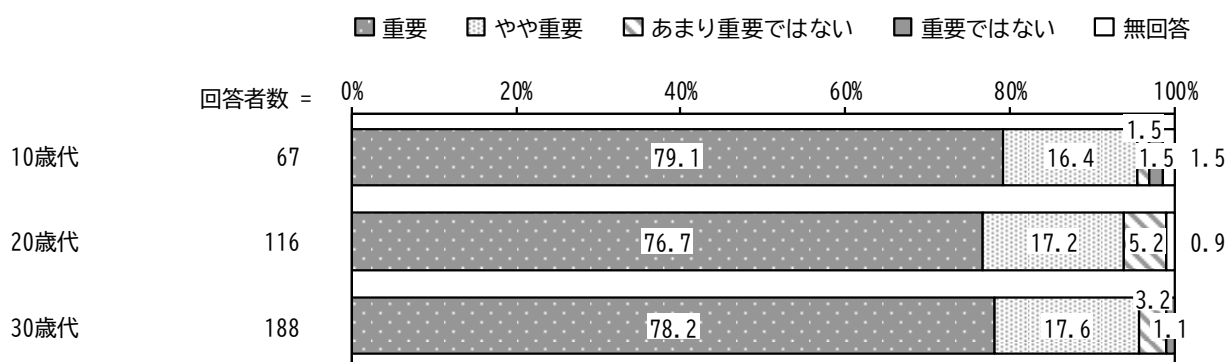


(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援

【性別】

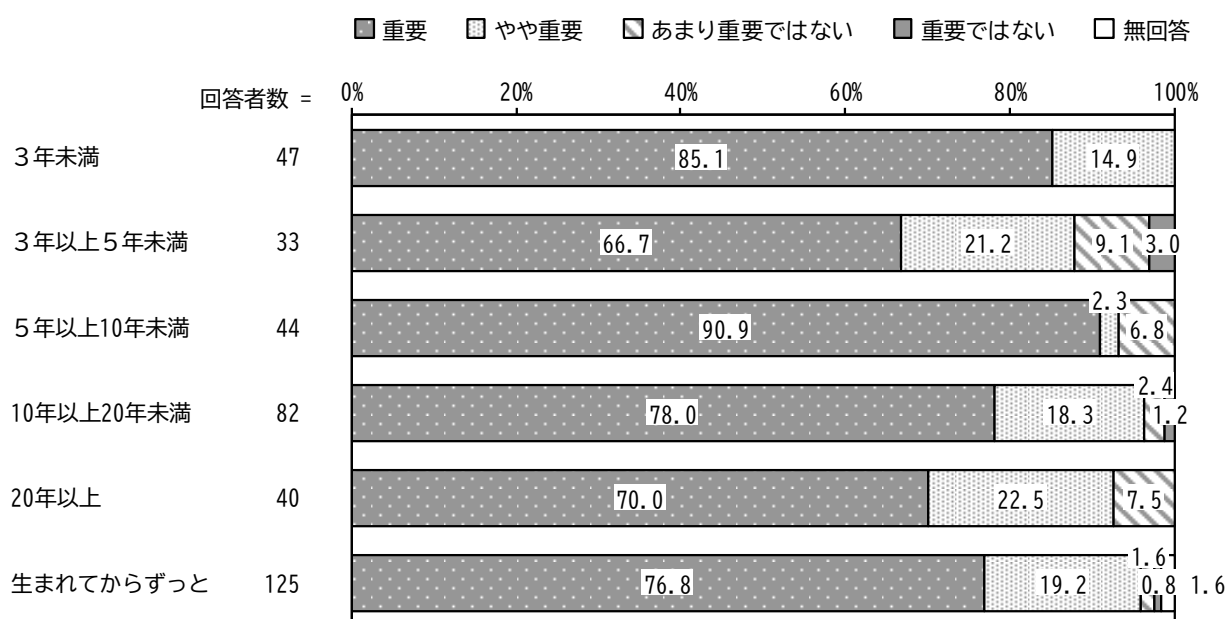


【年代別】



【居住年数別】

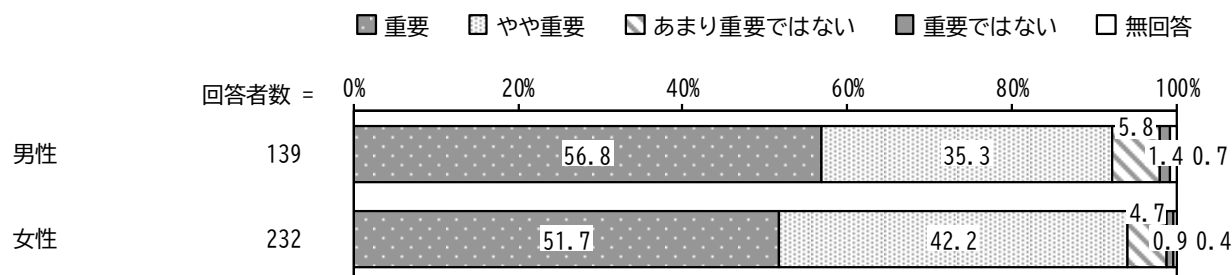
居住年数別にみると、“重要”の割合が『3年未満』で高くなっています。



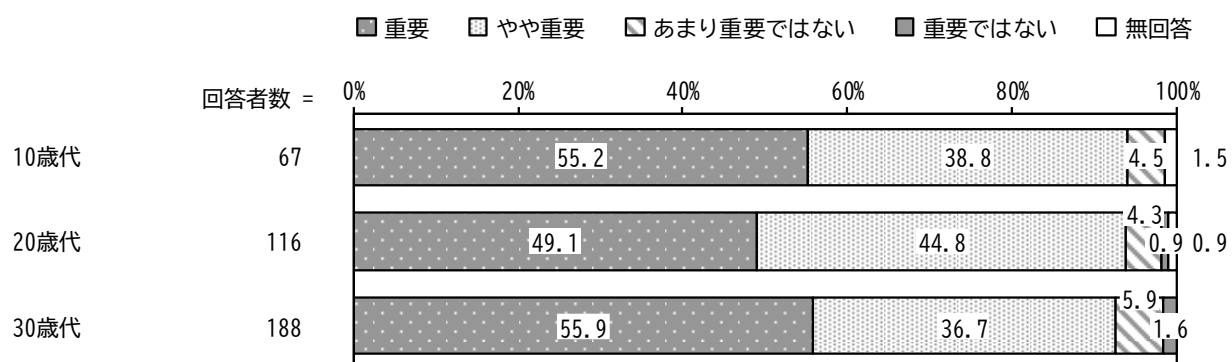
（７）新たな企業立地と若者の地育地働の促進

【性別】

性別にみると、「重要」の割合が男性で高く、「やや重要」の割合が女性で高くなっています。

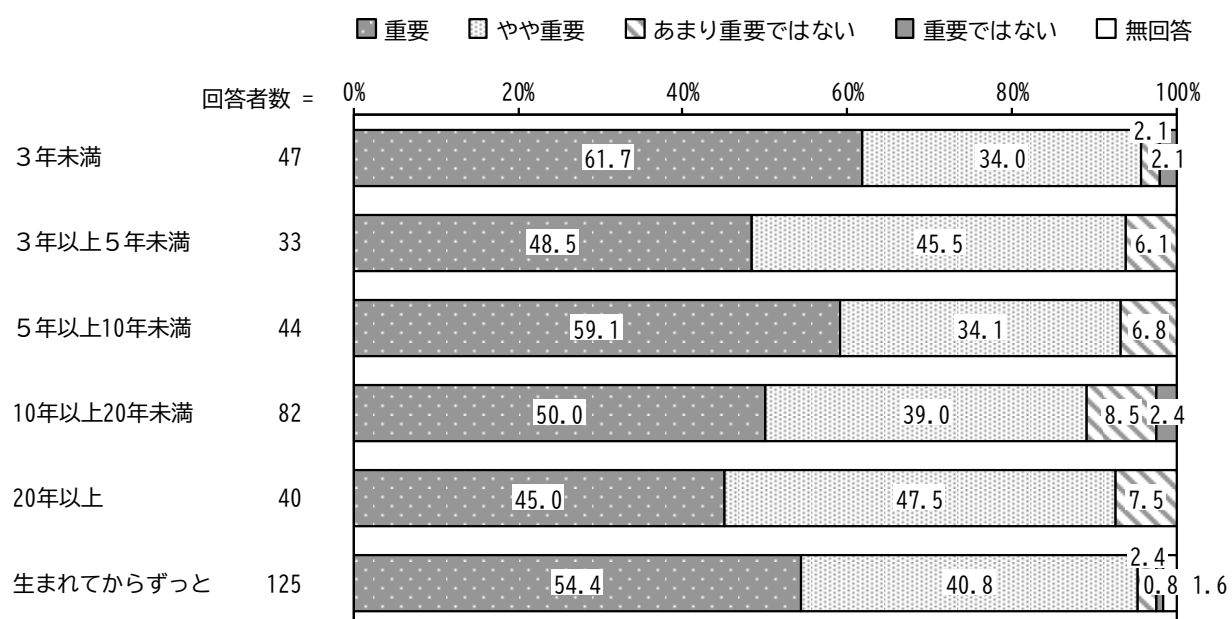


【年代別】



【居住年数別】

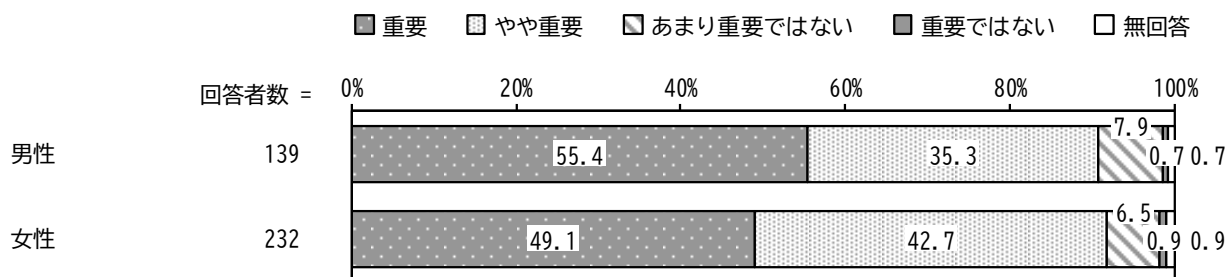
居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年未満』、『生まれてからずっと』で高くなっています。



（８）地域の課題解決力の向上

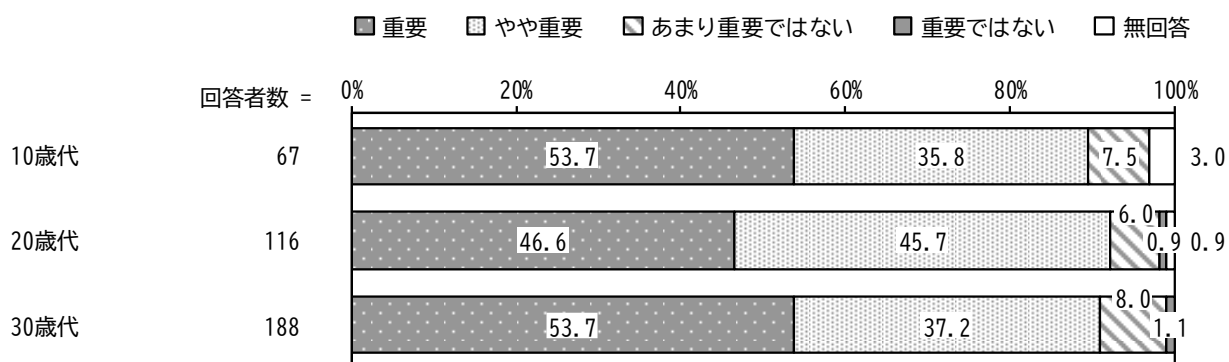
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が男性で高く、「やや重要」の割合が女性で高くなっています。



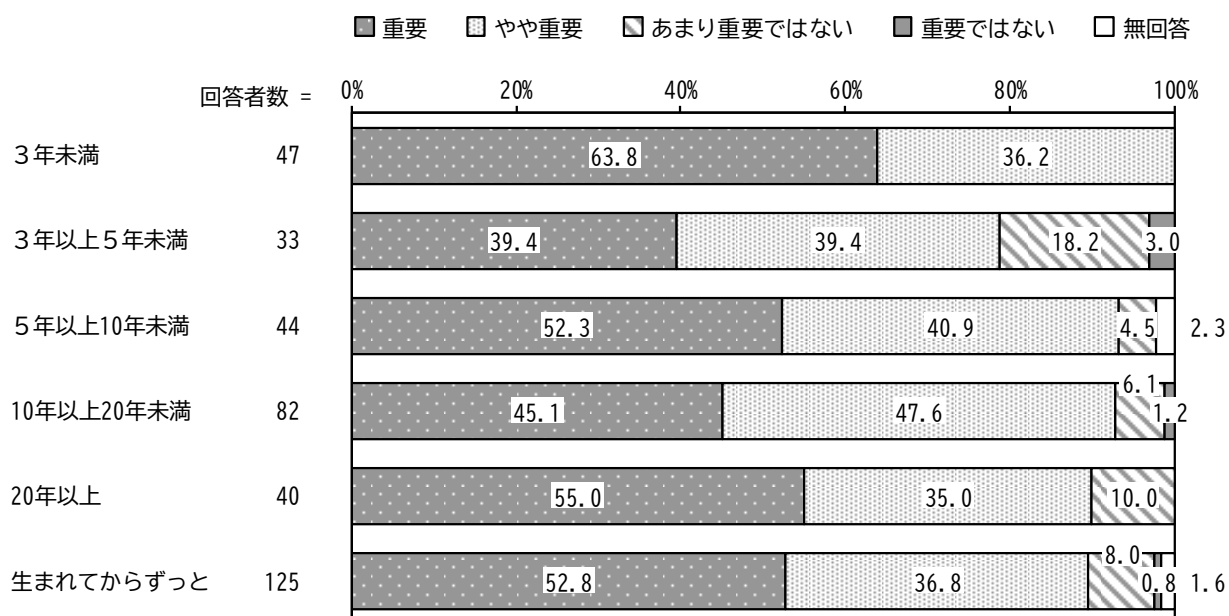
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が10歳代、30歳代で高く、「やや重要」の割合が20歳代で高くなっています。



【居住年数別】

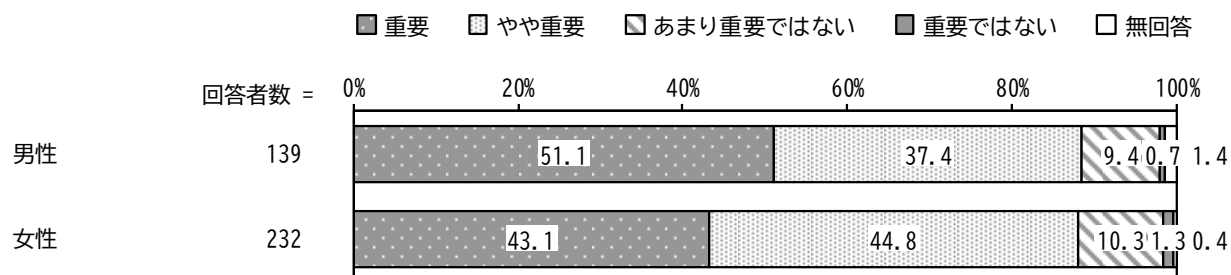
居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年未満』で高くなっています。



(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり

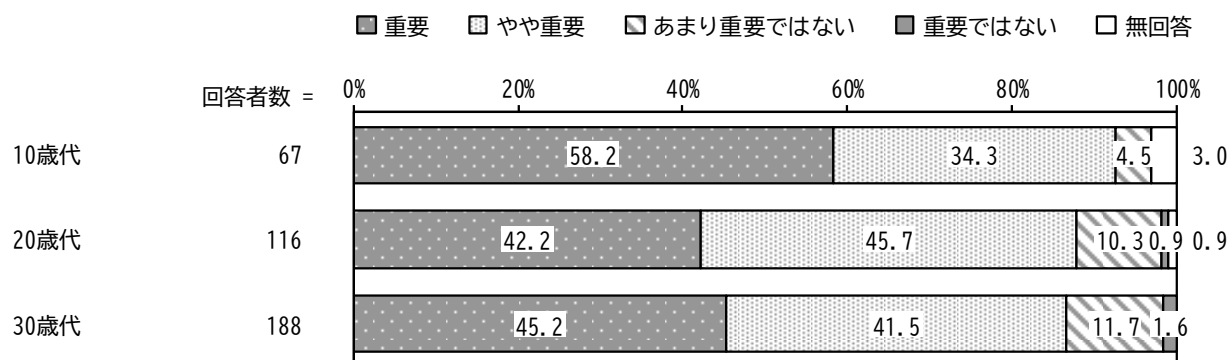
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が男性で高く、「やや重要」の割合が女性で高くなっています。



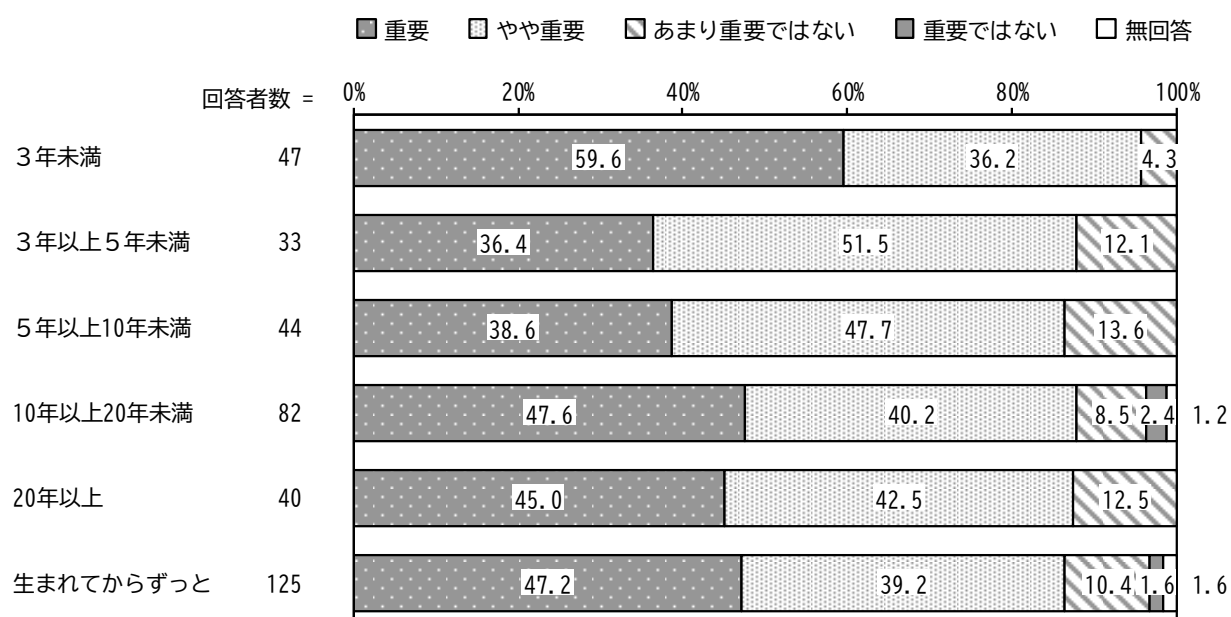
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が年齢が上がるほど低くなる傾向にあります。



【居住年数別】

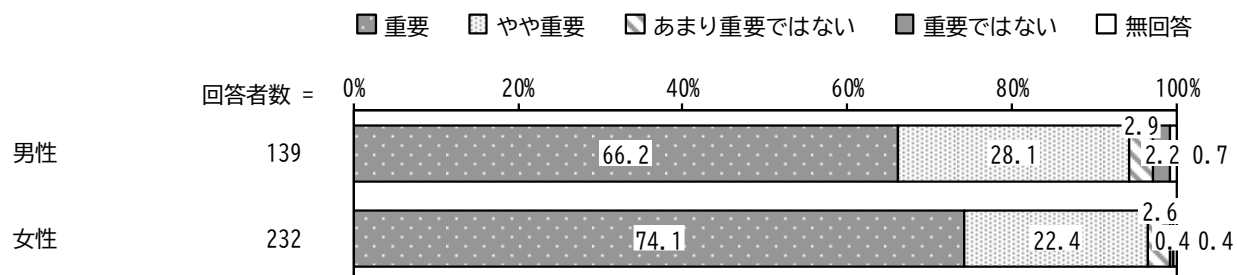
居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年未満』で高くなっています。



(10) 災害に強いまちづくりの推進

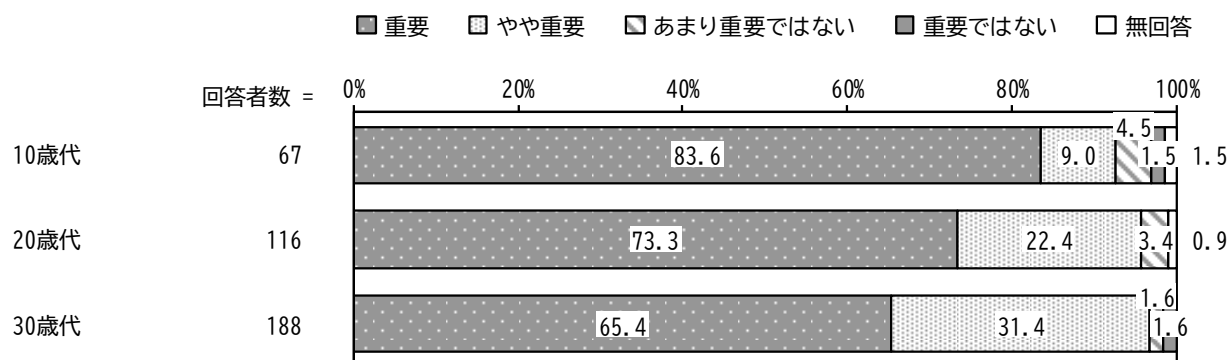
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が女性で高く、「やや重要」の割合が男性で高くなっています。



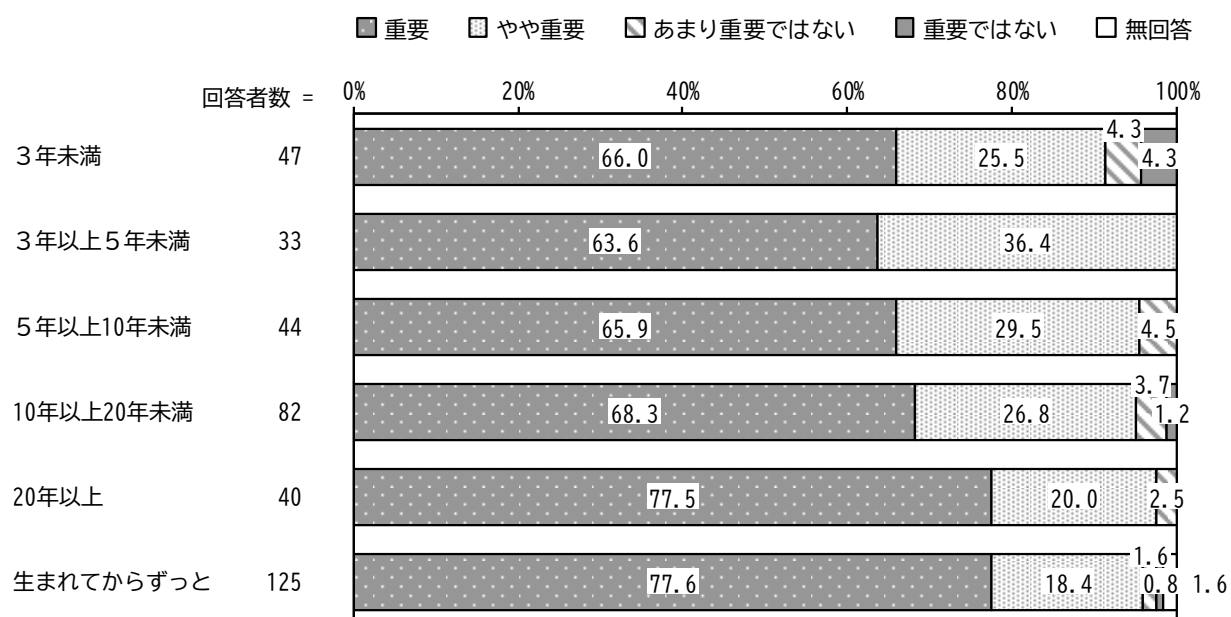
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が年齢が上がるほど低くなっています。



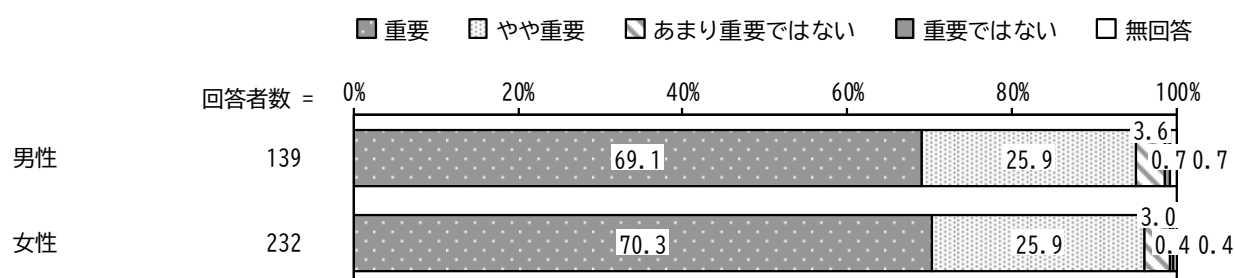
【居住年数別】

居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年以上5年未満』で高くなっています。



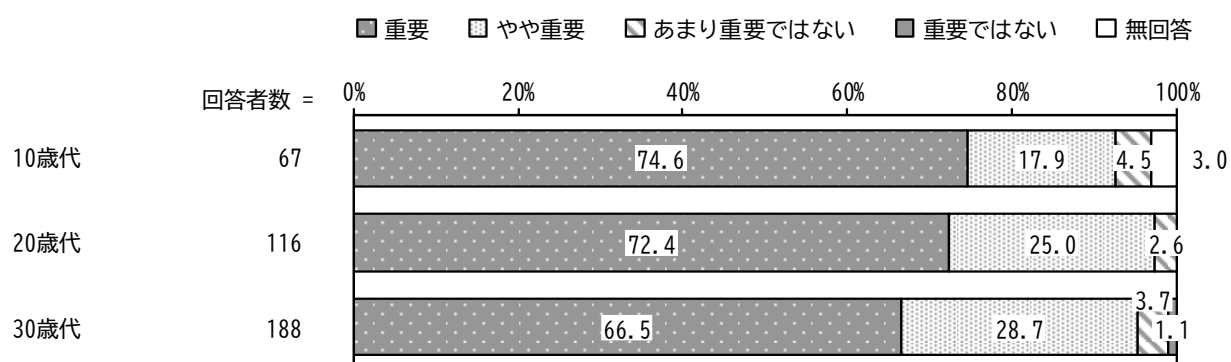
(11) 身近な暮らしの安全づくり

【性別】



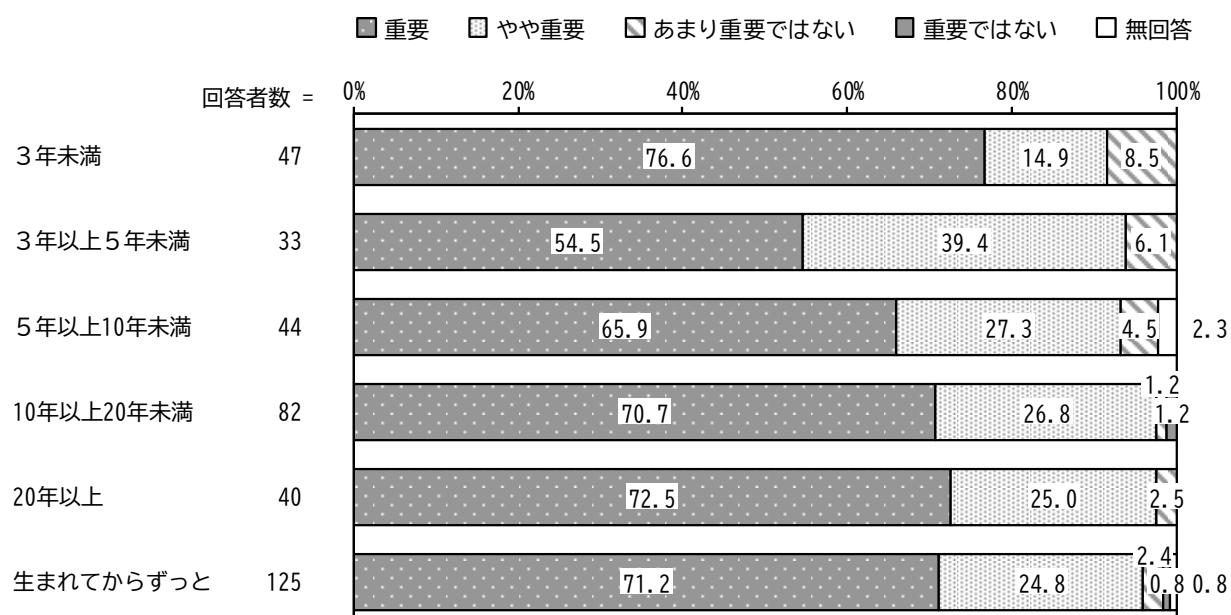
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が年齢が上がるほど低くなっています。



【居住年数別】

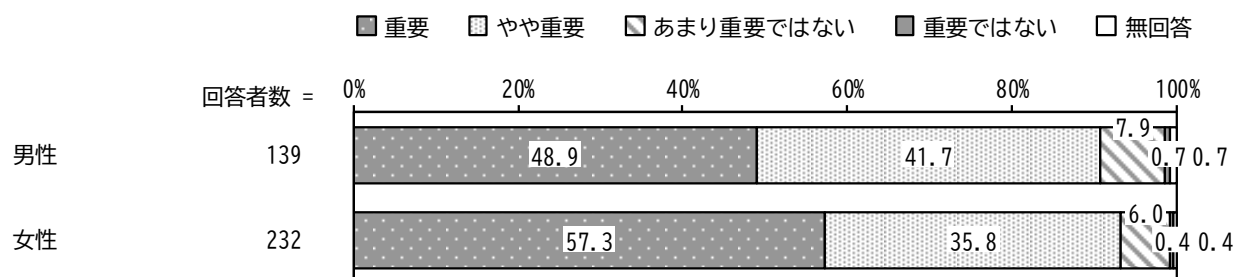
居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年以上5年未満』で低くなっています。



(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

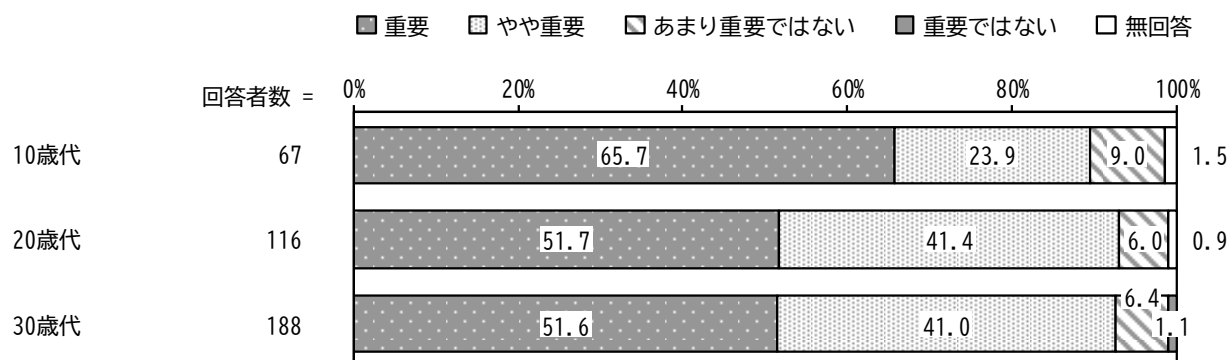
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が女性で高く、「やや重要」の割合が男性で高くなっています。



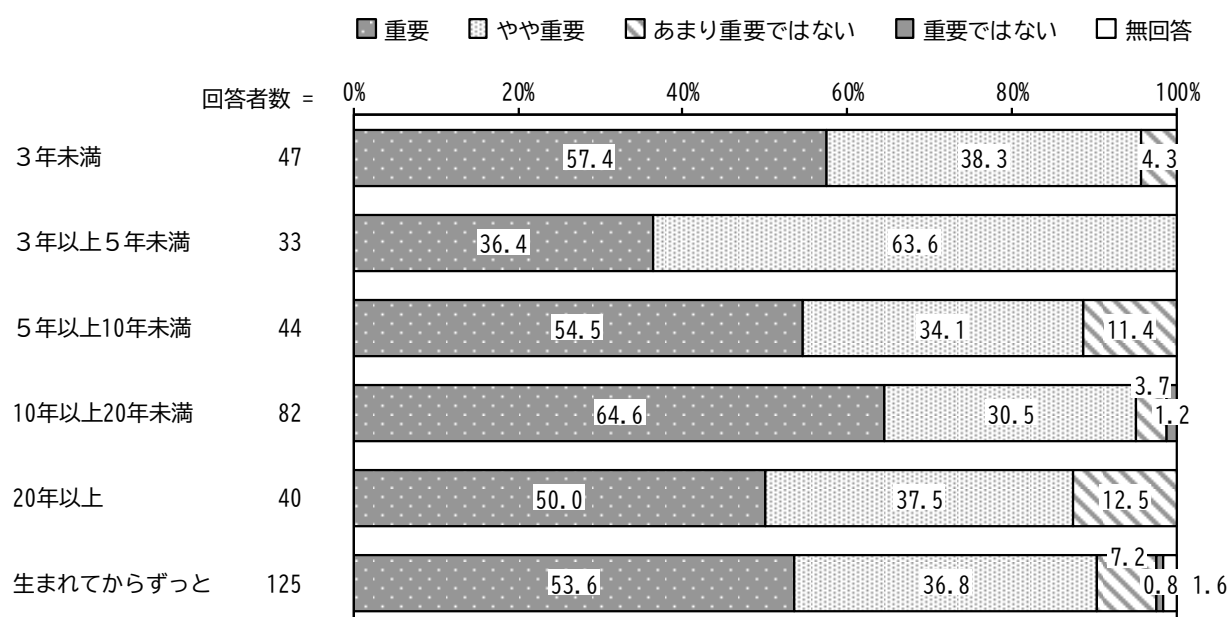
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



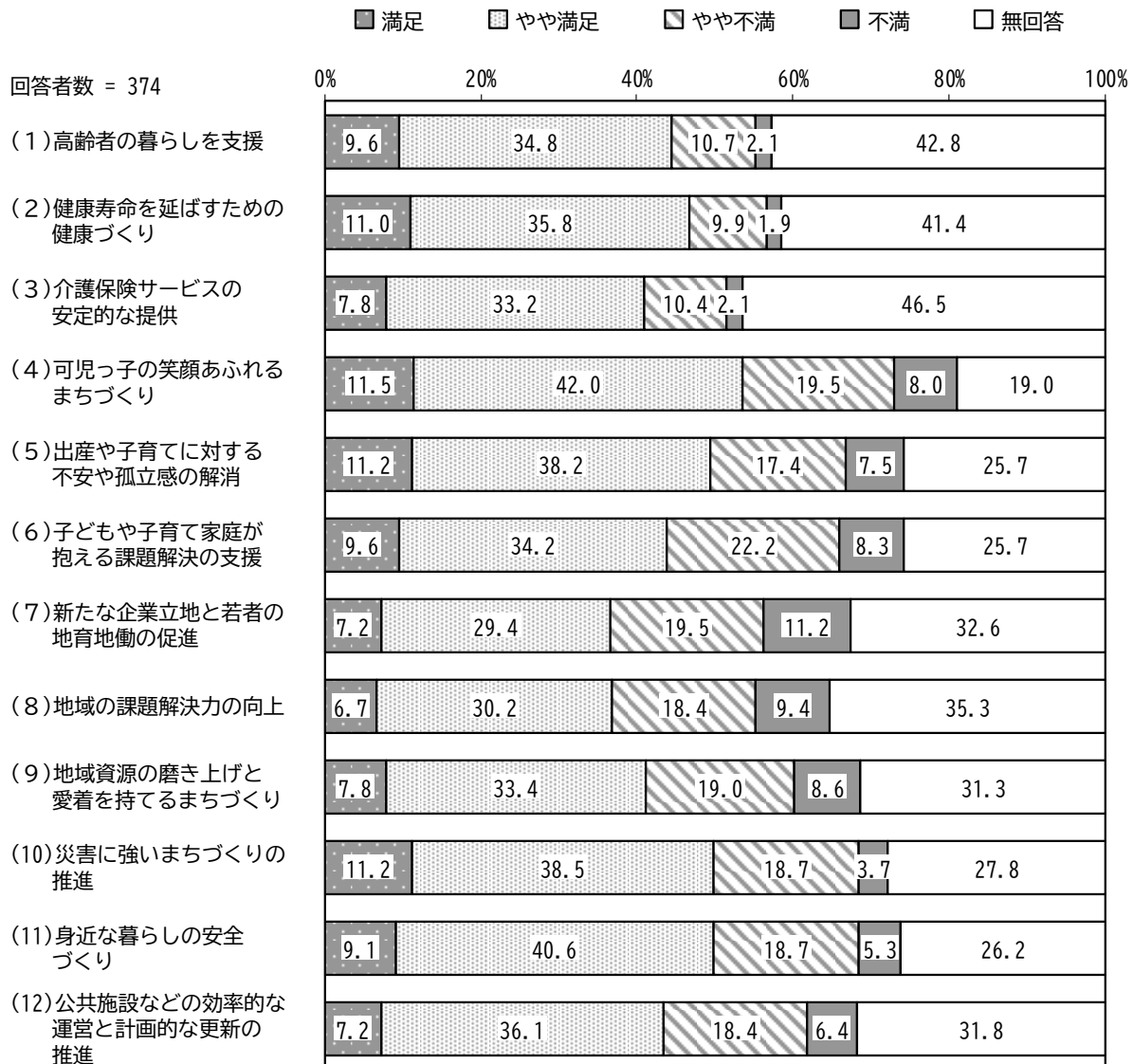
【居住年数別】

居住年数別にみると、「重要」の割合が『3年以上5年未満』で低くなっています。



問 16 市政経営計画の重点施策である以下の（１）～（１２）の各項目の満足度について、あなたの考えに近いものを「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」から選び、○印をつけてください。わからない場合は空欄にしてください。

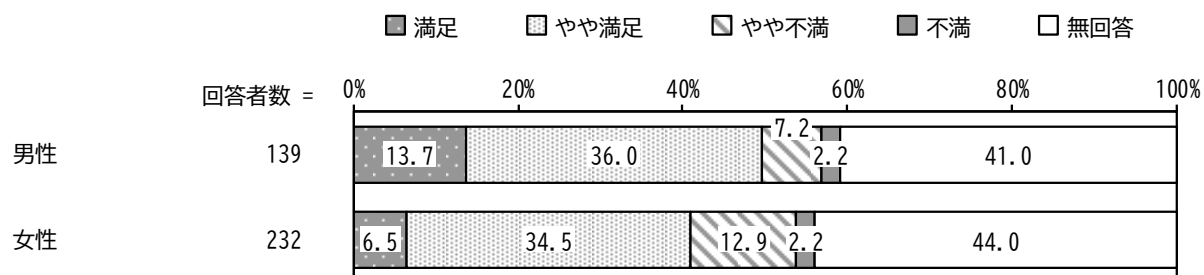
『（４）可児っ子の笑顔あふれるまちづくり』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『（７）新たな企業立地と若者の地育地働の促進』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



(1) 高齢者の暮らしを支援

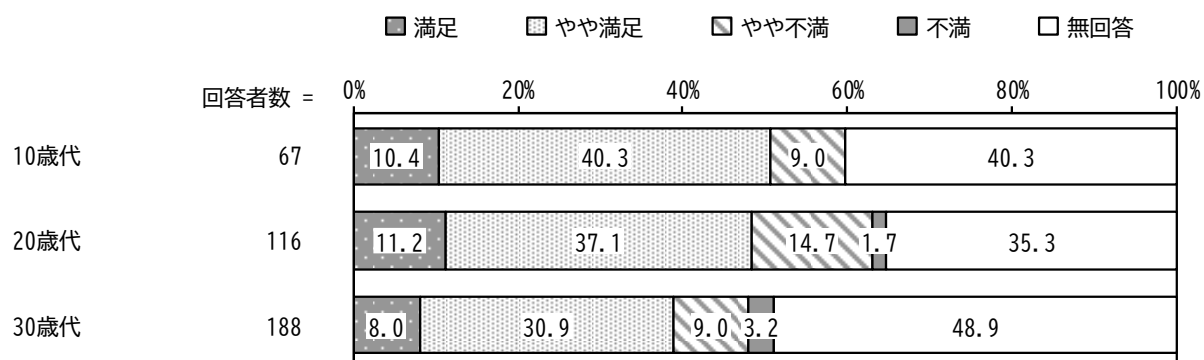
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



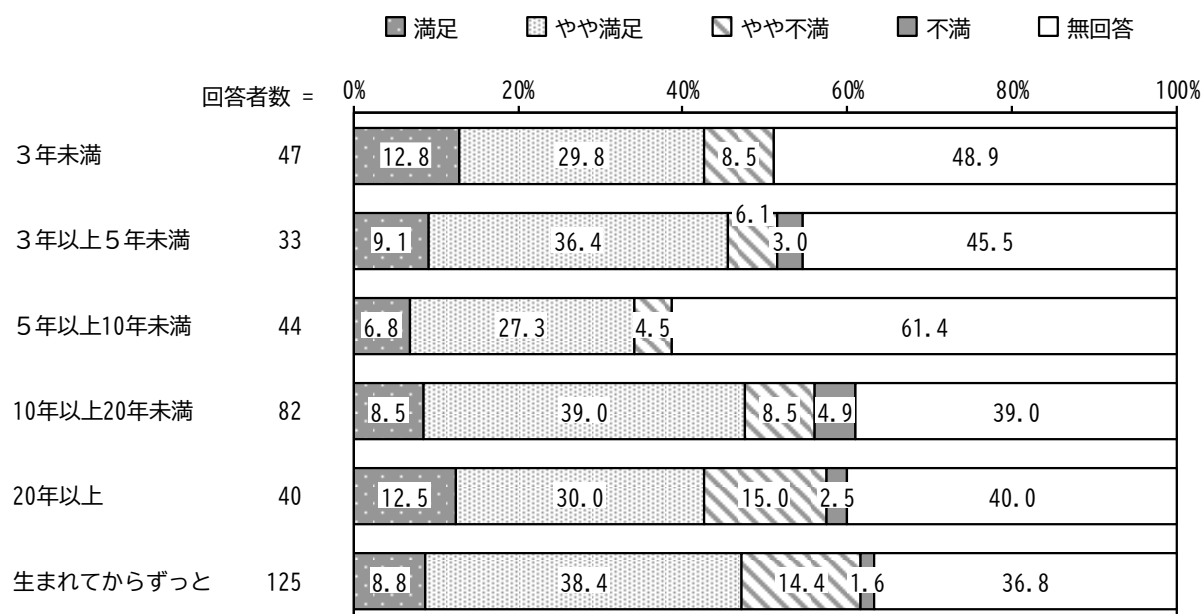
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



【居住年数別】

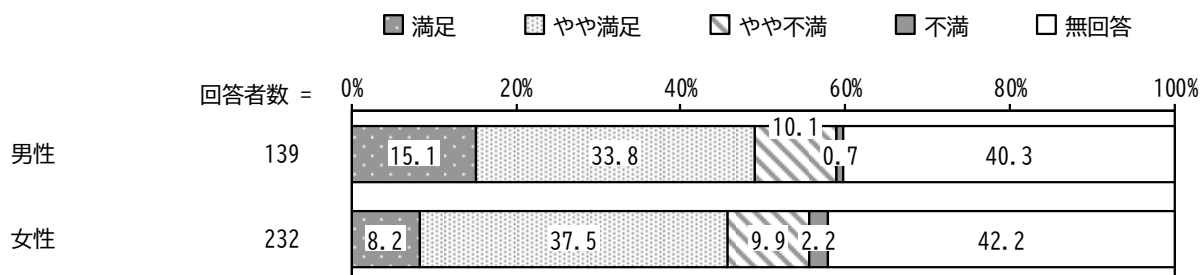
居住年数別にみると、“不満”の割合が『5年以上 10 年未満』から『20 年以上』にかけて高くなる傾向にあります。



(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり

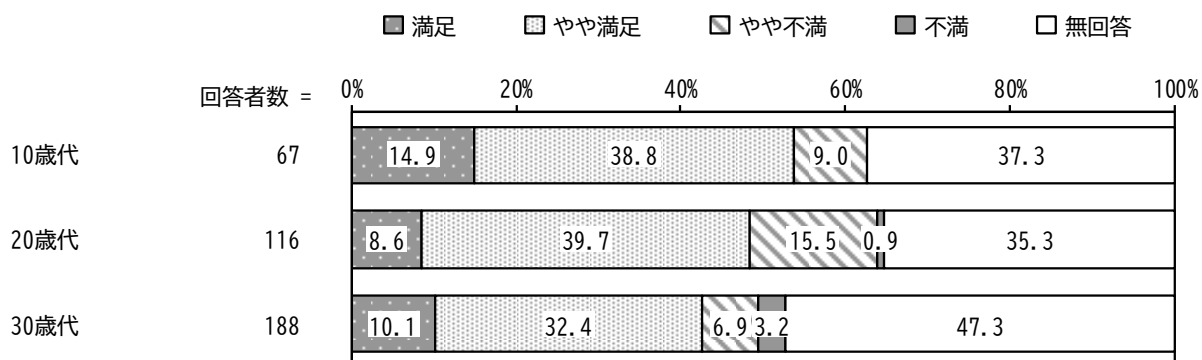
【性別】

性別にみると、「満足」の割合が男性で高くなっています。



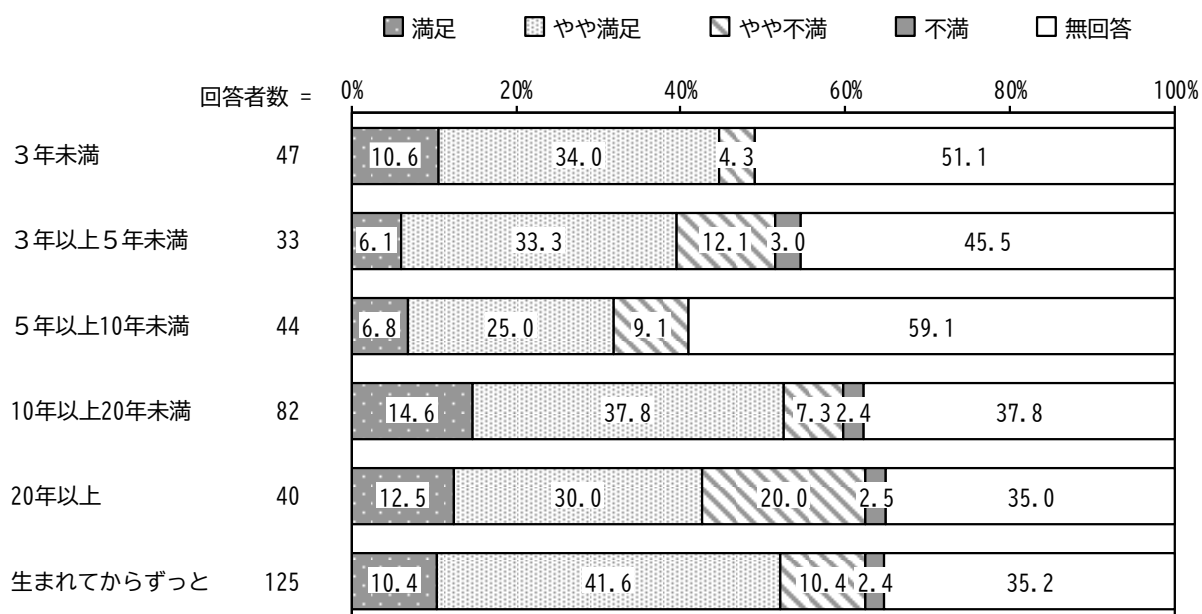
【年代別】

年代別にみると、「満足」の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



【居住年数別】

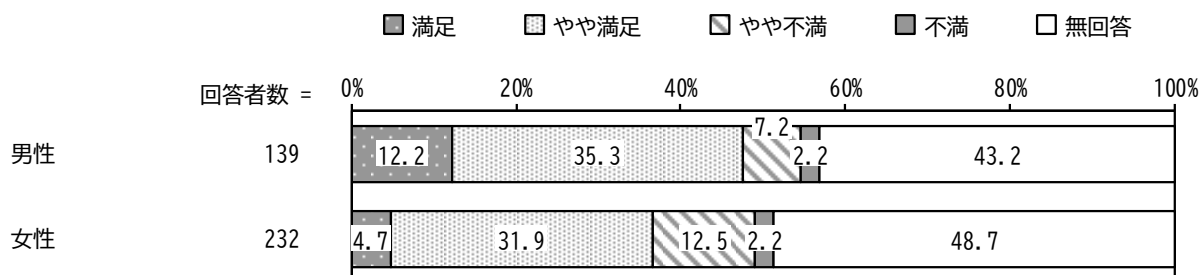
居住年数別にみると、「不満」の割合が『5年以上 10 年未満』から『20 年以上』にかけて高くなっています。



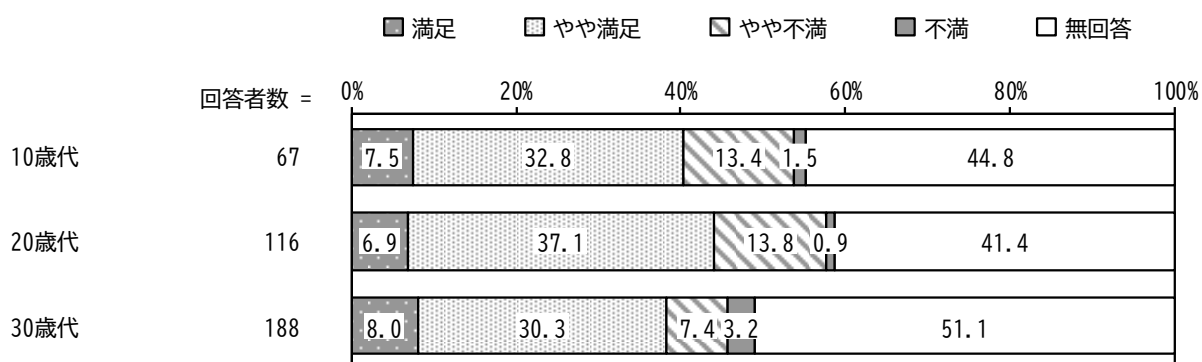
（３）介護保険サービスの安定的な提供

【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。

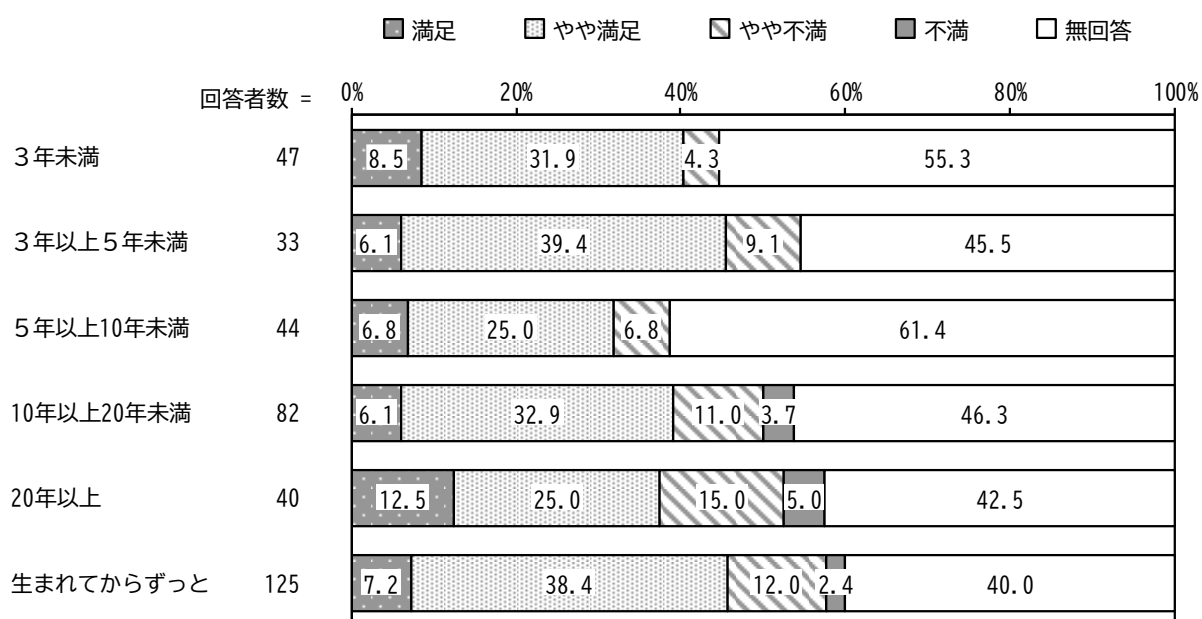


【年代別】



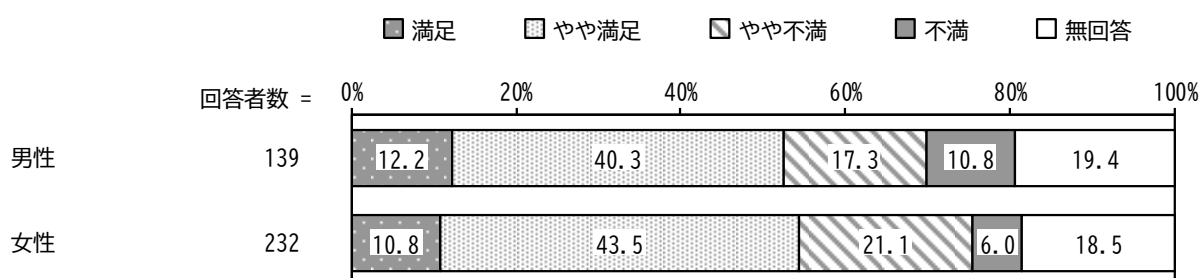
【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合が『3年未満』から『20年以上』にかけて高くなる傾向にあります。



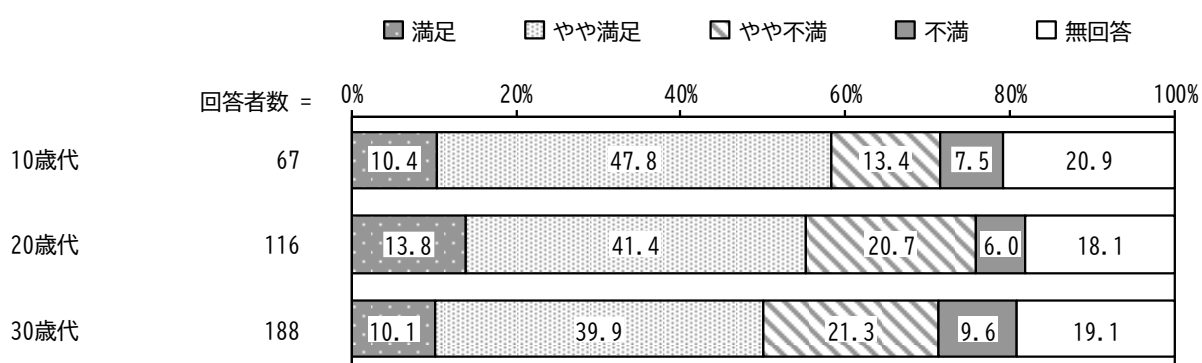
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり

【性別】



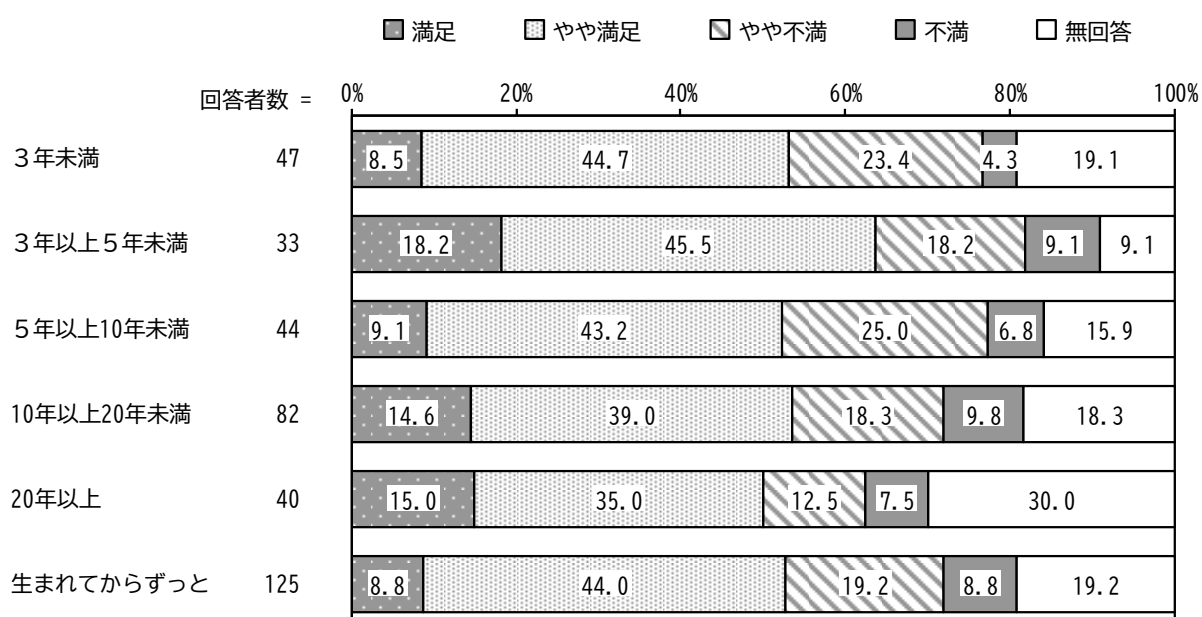
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



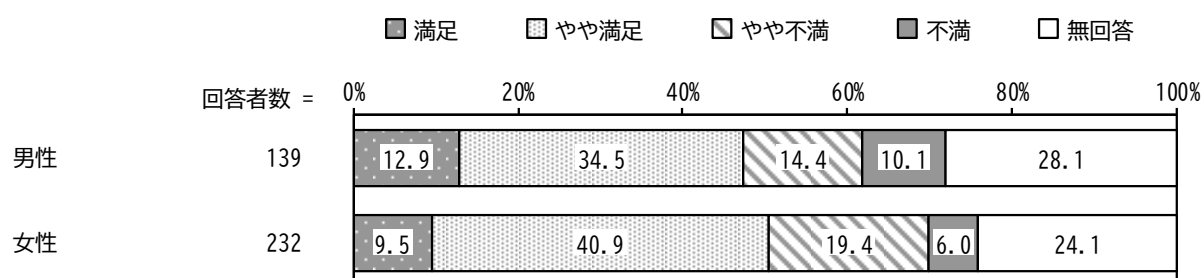
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』で高くなっています。



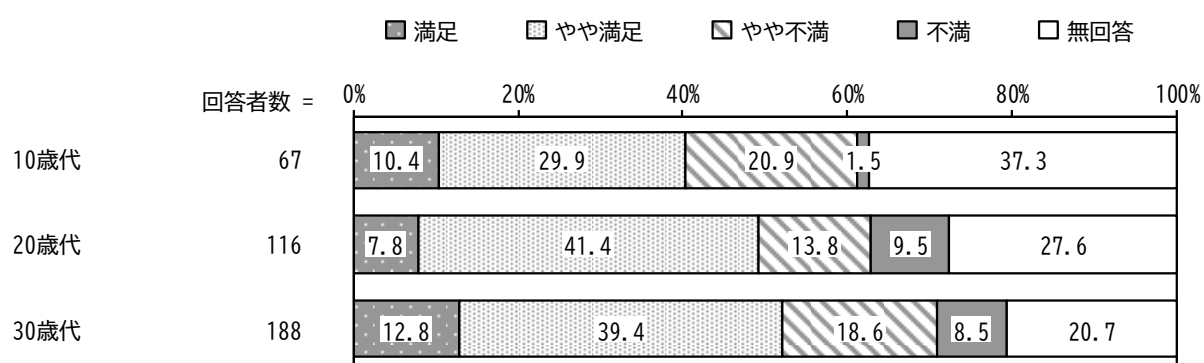
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消

【性別】



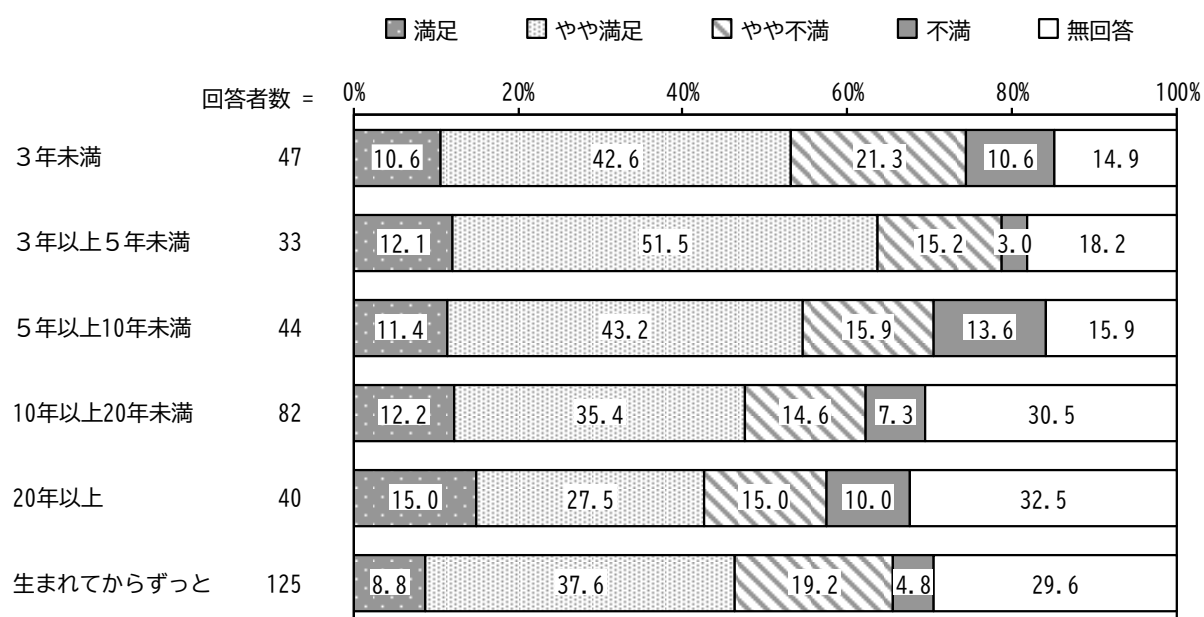
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が年齢が上がるほど高くなっています。



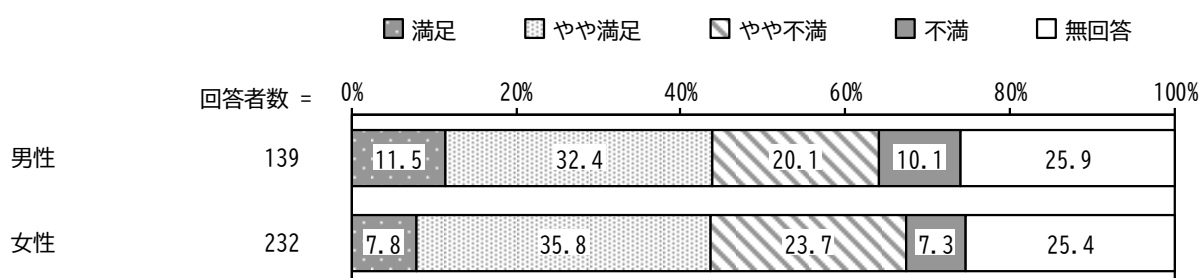
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』から『20年以上』にかけて低くなっています。



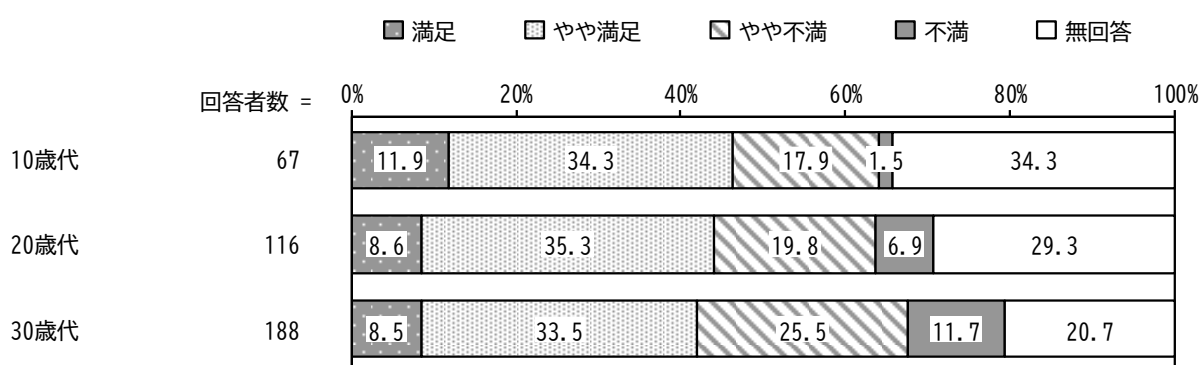
（６）子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援

【性別】



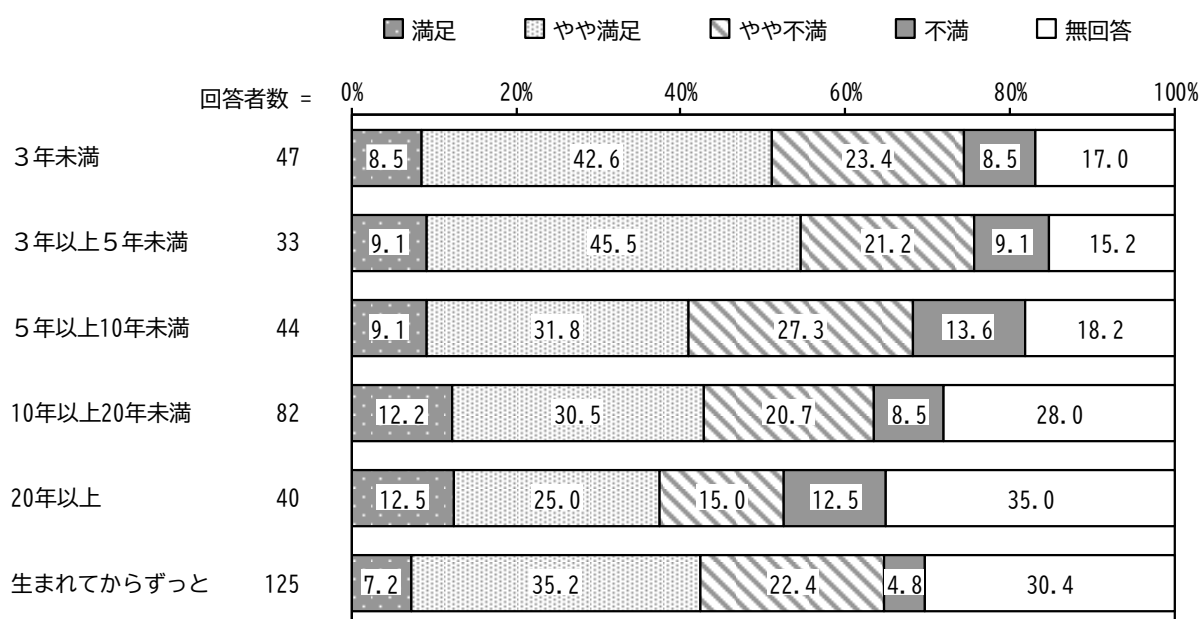
【年代別】

年代別にみると、“不満”の割合が年齢が上がるほど高くなっています。



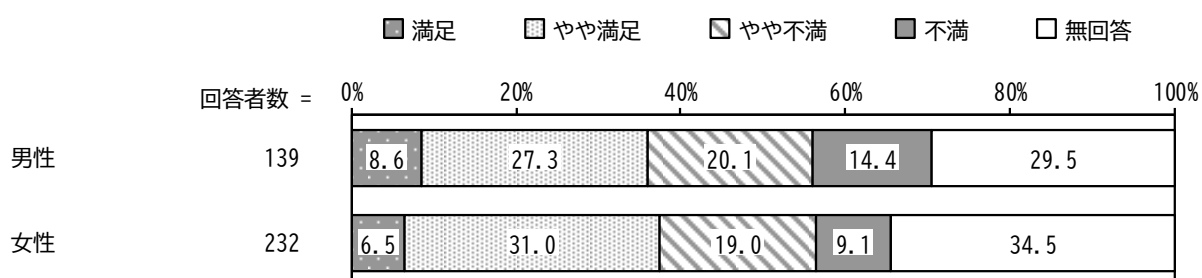
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』から『20年以上』にかけて低くなる傾向にあります。



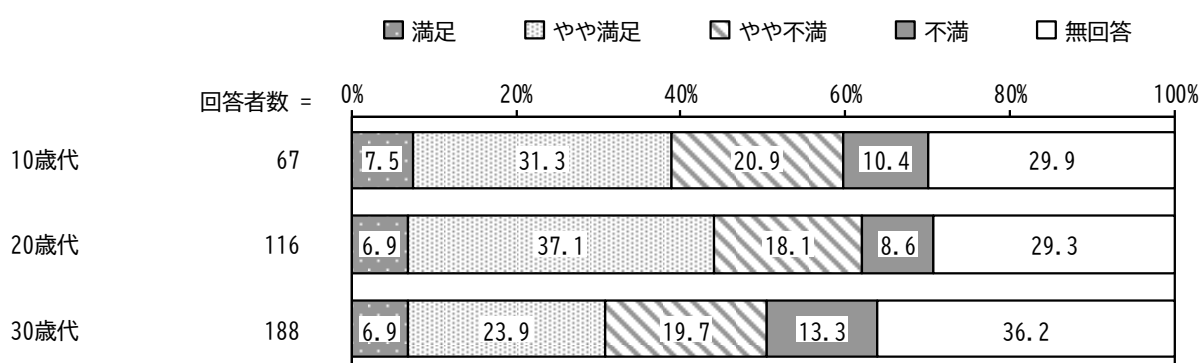
(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進

【性別】



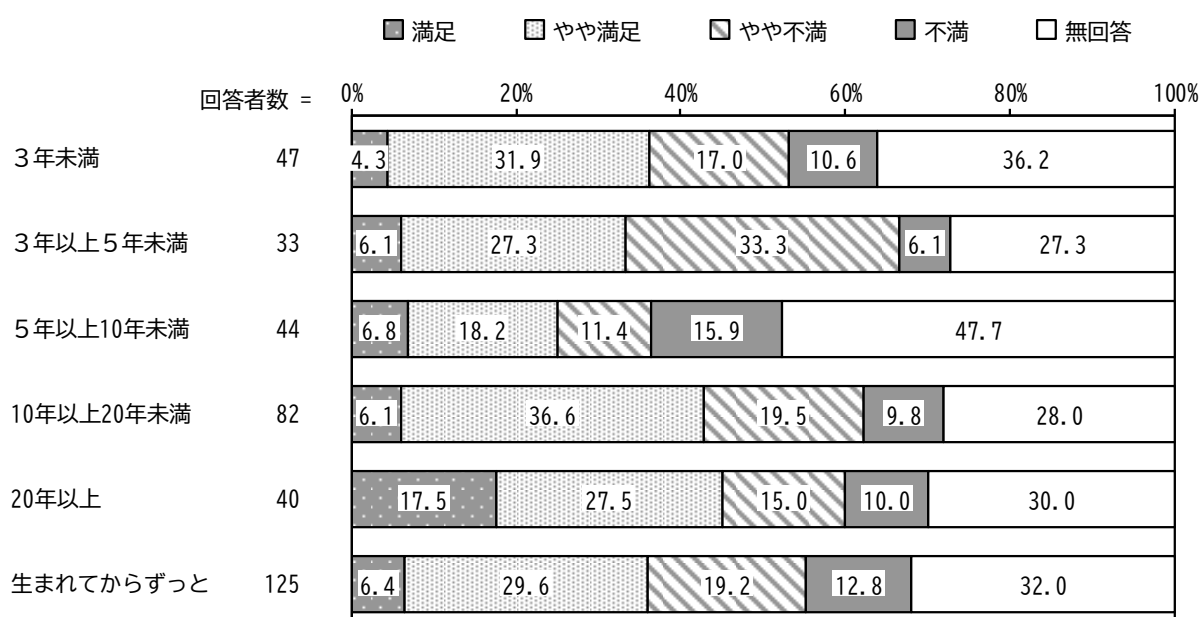
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が20歳代で高くなっています。



【居住年数別】

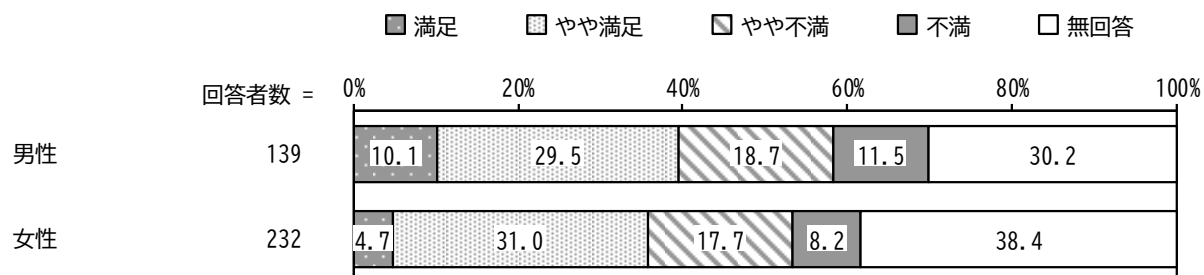
居住年数別にみると、“不満”の割合が『3年以上5年未満』で高くなっています。



（８）地域の課題解決力の向上

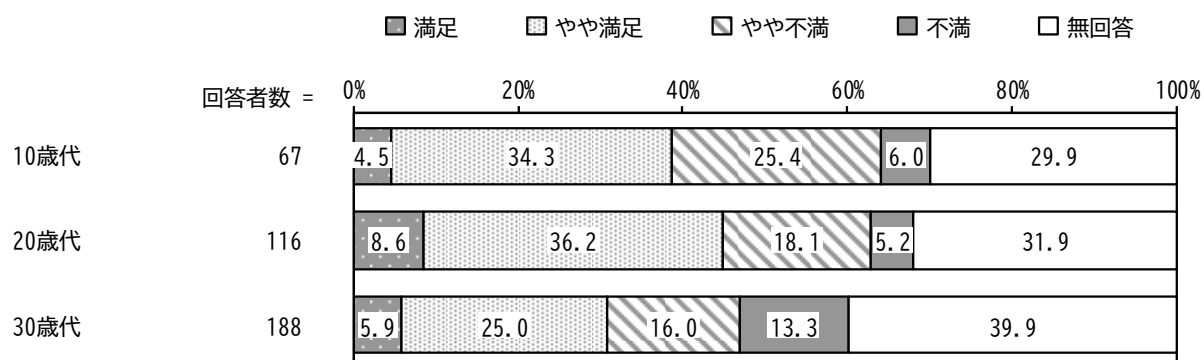
【性別】

性別にみると、「満足」の割合が男性で高くなっています。



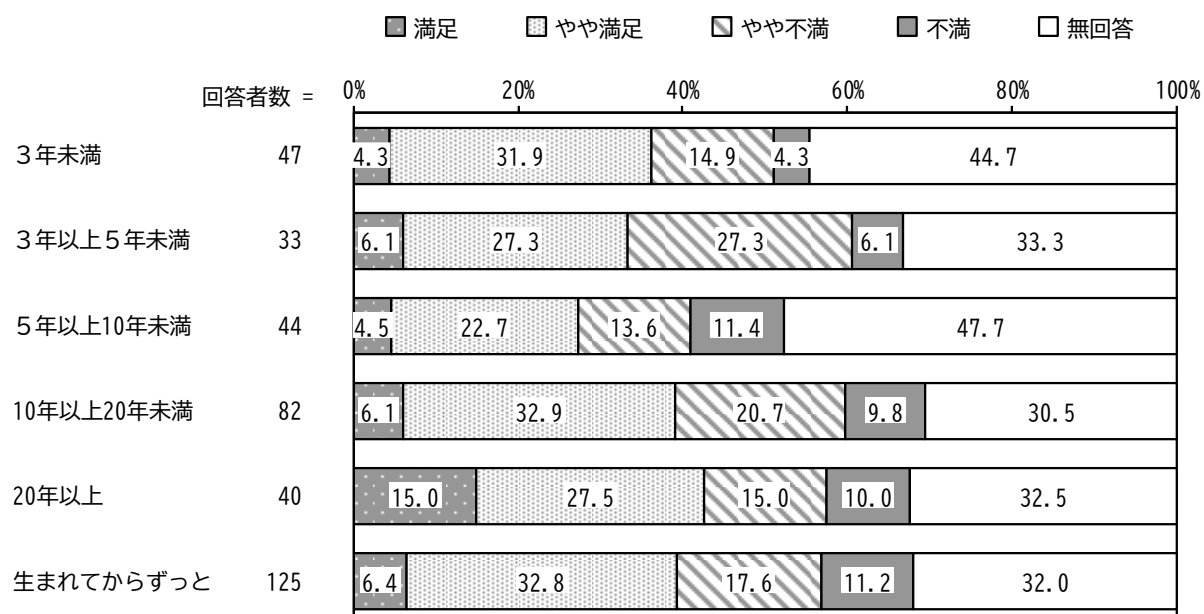
【年代別】

年代別にみると、「やや不満」の割合が年齢が下がるほど高くなる傾向にあります。また、「満足」の割合が20歳代で高くなっています。



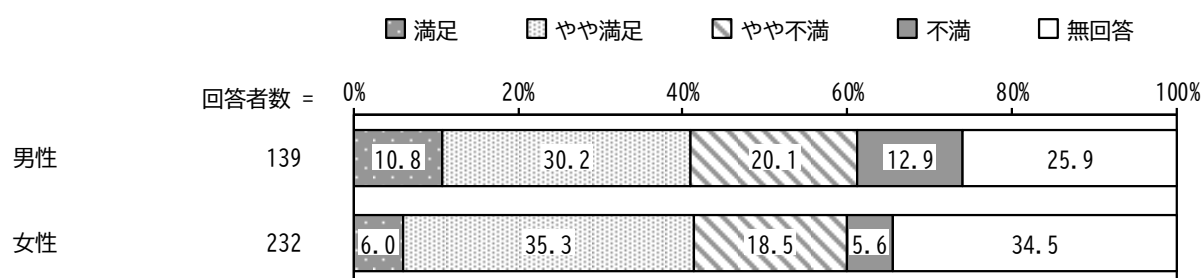
【居住年数別】

居住年数別にみると、「満足」の割合が『5年以上10年未満』で低くなっています。



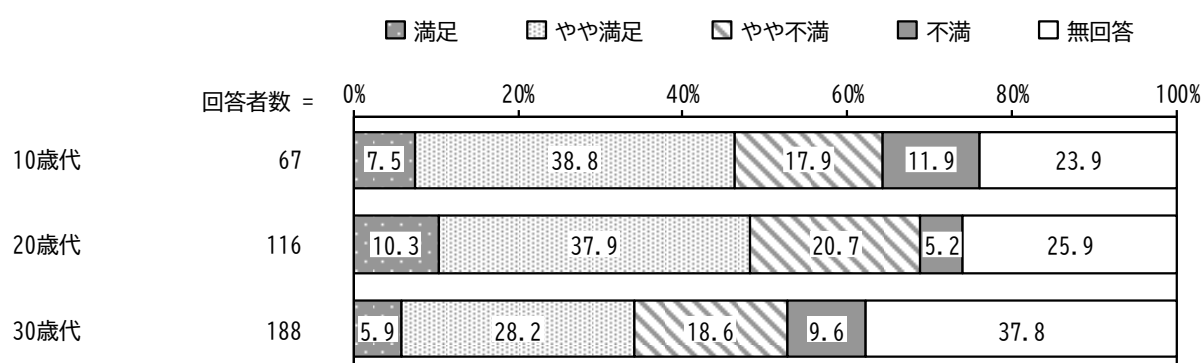
(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり

【性別】



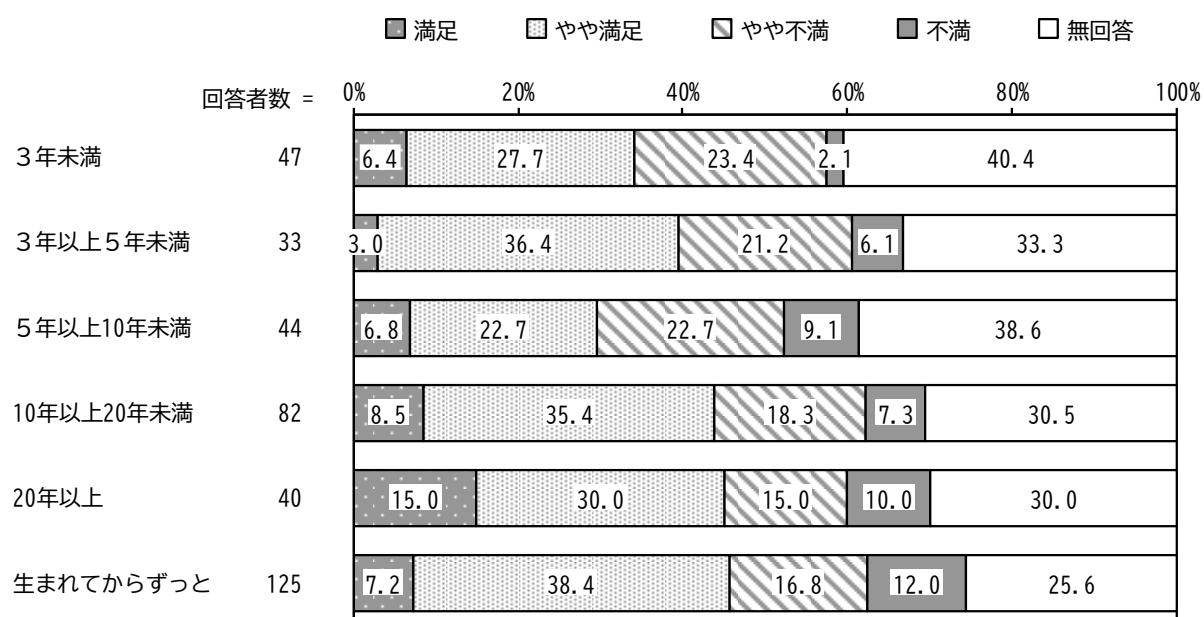
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が30歳代で低くなっています。



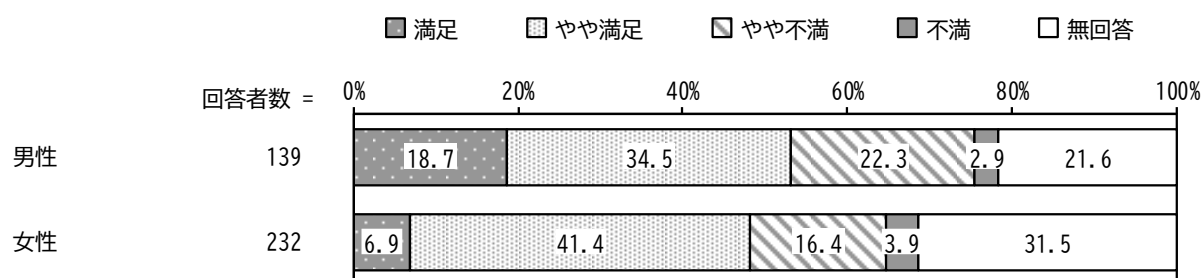
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『5年以上10年未満』から『生まれてからずっと』にかけて高くなっています。



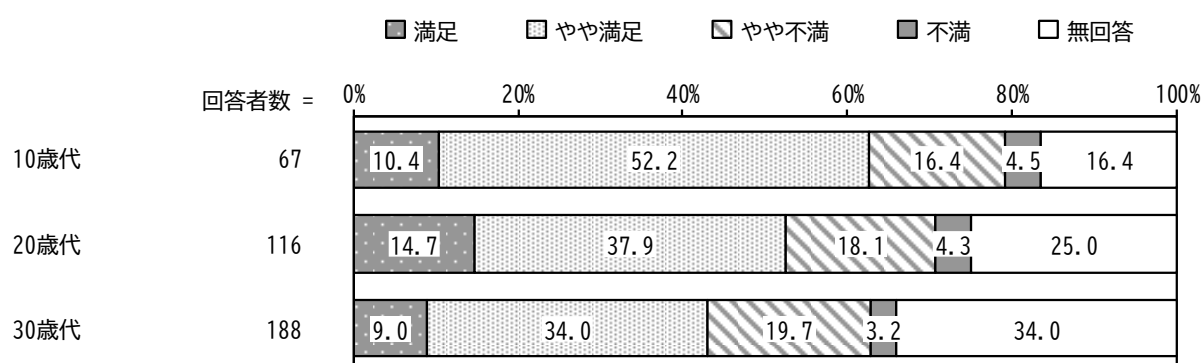
【10】災害に強いまちづくりの推進

【性別】



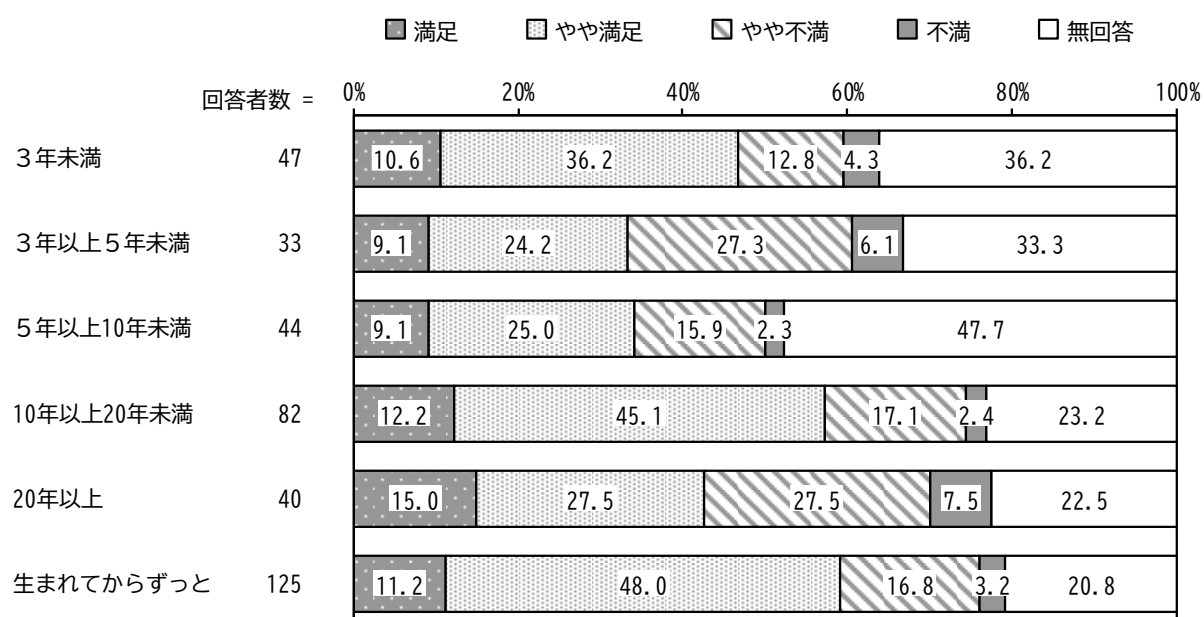
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



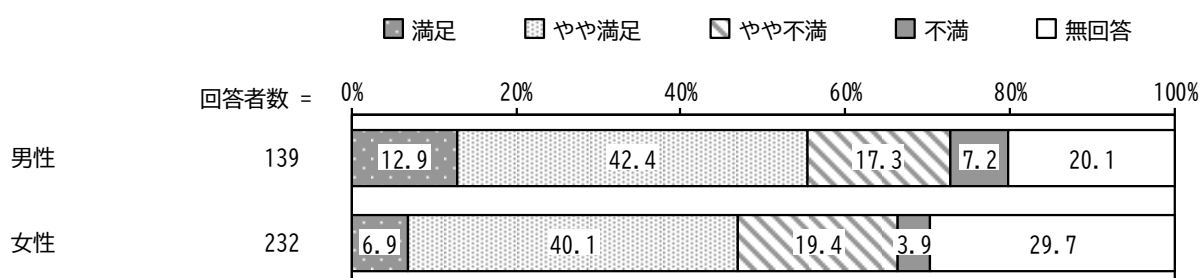
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『3年以上5年未満』、『5年以上10年未満』で低くなっています。



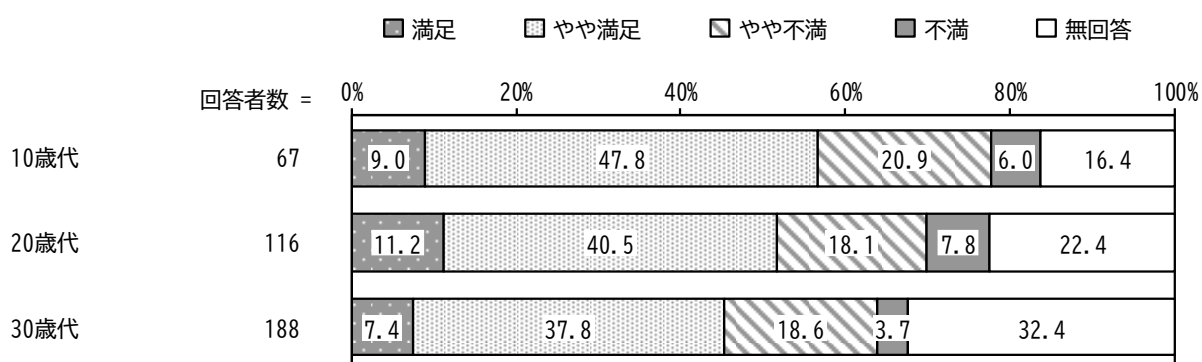
(11) 身近な暮らしの安全づくり

【性別】



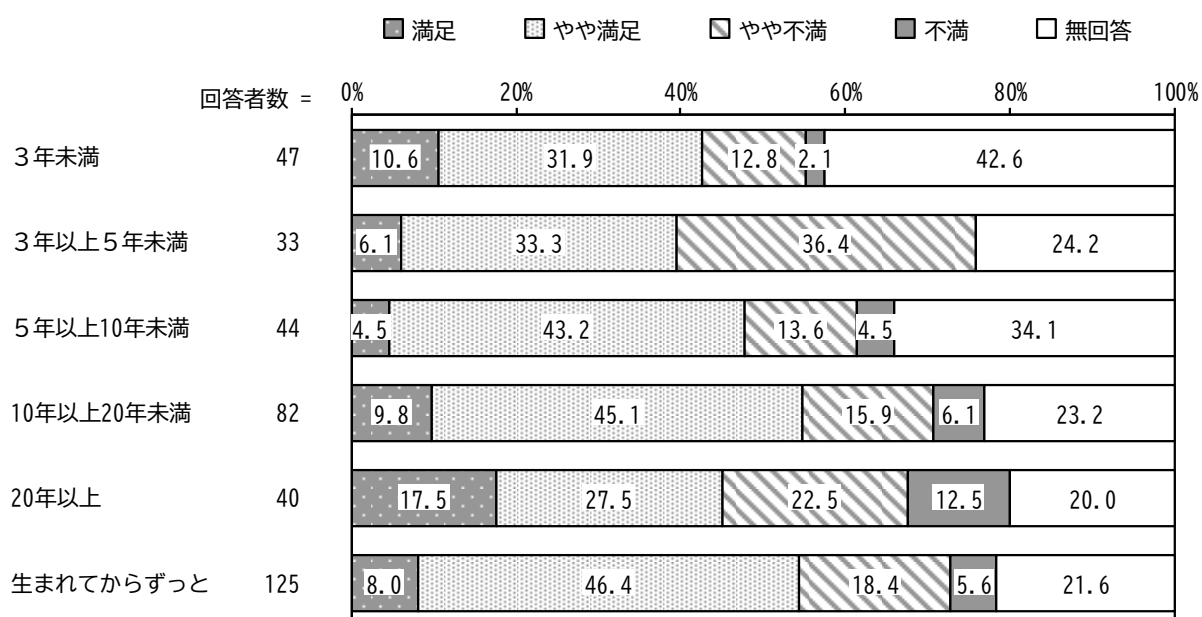
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



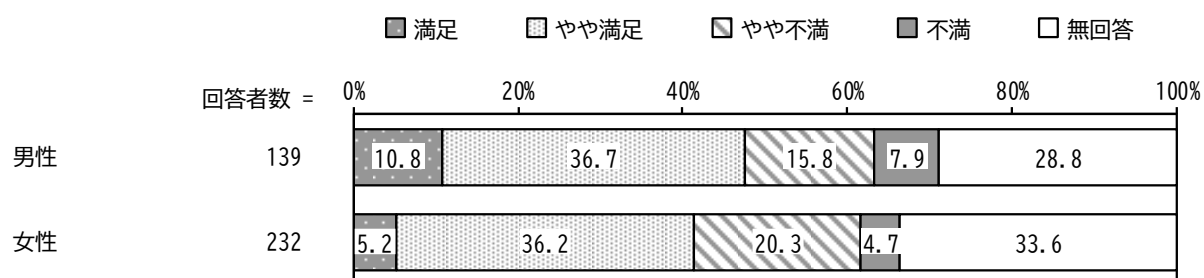
【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『10年以上20年未満』、『生まれてからずっと』で高くなっています。



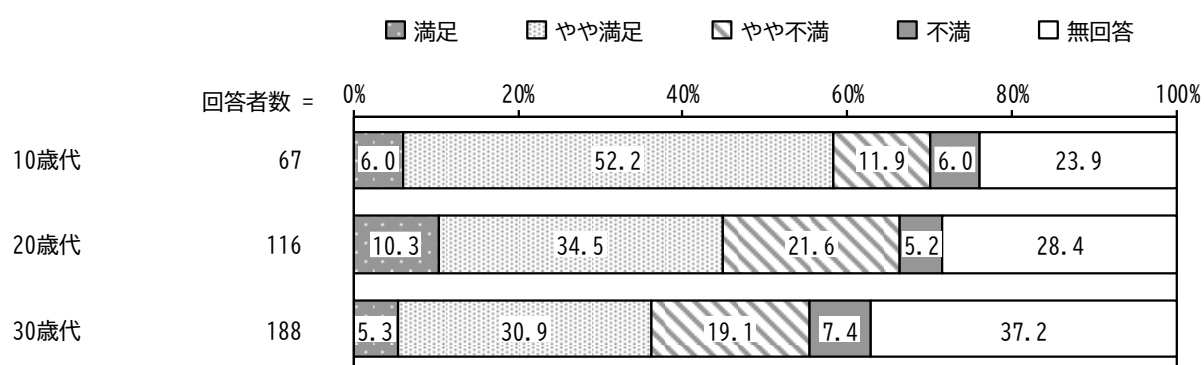
(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

【性別】



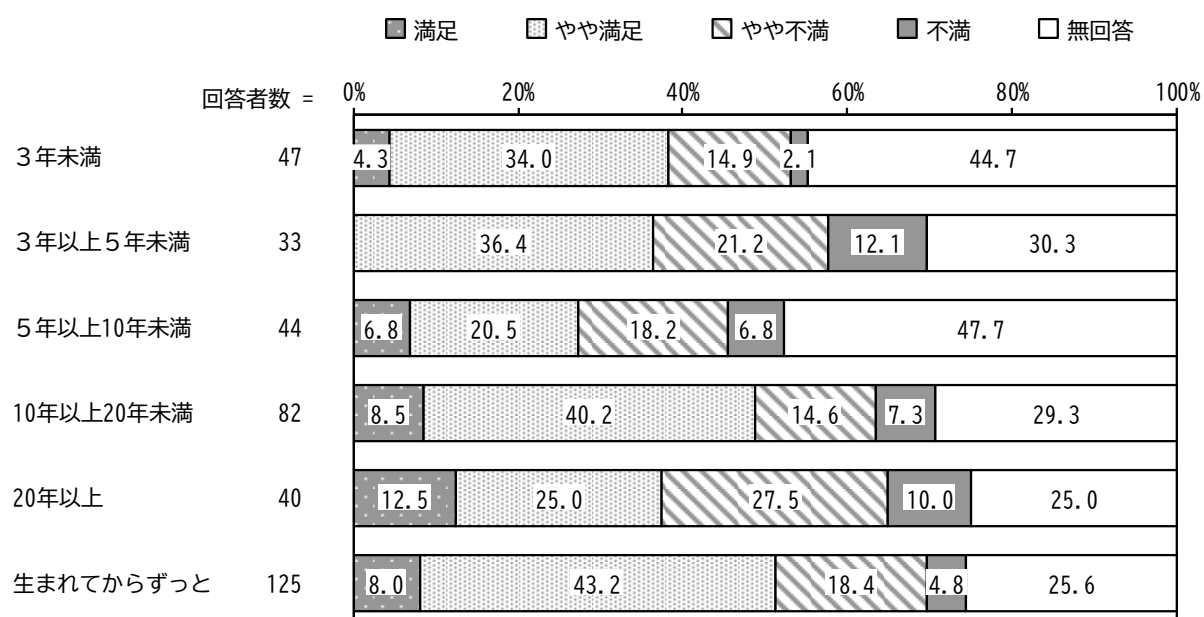
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が年齢が下がるほど高くなる傾向にあります。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が『10年以上20年未満』、『生まれてからずっと』で高くなっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・重要度の得点化

12項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を4つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
不満	→	-2点		重要ではない	→	-2点
やや不満	→	-1点		あまり重要ではない	→	-1点
やや満足	→	1点		やや重要	→	1点
満足	→	2点		重要	→	2点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「満足（重要）」の回答数
 +1点×「やや満足（やや重要）」の回答数
 -1点×「やや不満（あまり重要ではない）」の回答数
 -2点×「不満（重要ではない）」の回答数／無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

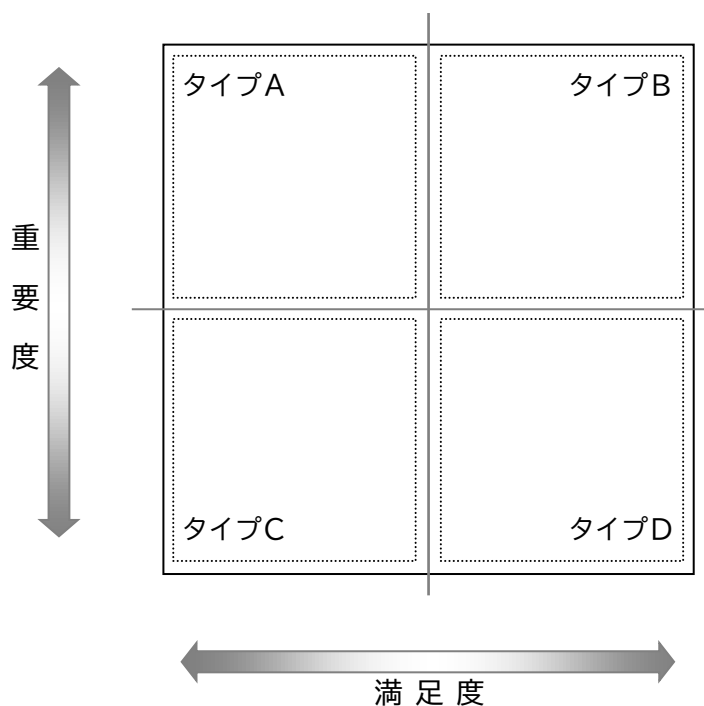
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名				施策名
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	0.75	第1位	1.70	(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消
(1)高齢者の暮らしを支援	0.68	第2位	1.69	(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援
(3)介護保険サービスの安定的な提供	0.64	第3位	1.63	(10)災害に強いまちづくりの推進
(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり	0.19	第10位	1.21	(3)介護保険サービスの安定的な提供
(8)地域の課題解決力の向上	0.10	第11位	0.95	(1)高齢者の暮らしを支援
(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進	0.03	最下位	0.79	(2)健康寿命を延ばすための健康づくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA 満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB 満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC 満足度は低く、重要度も低い

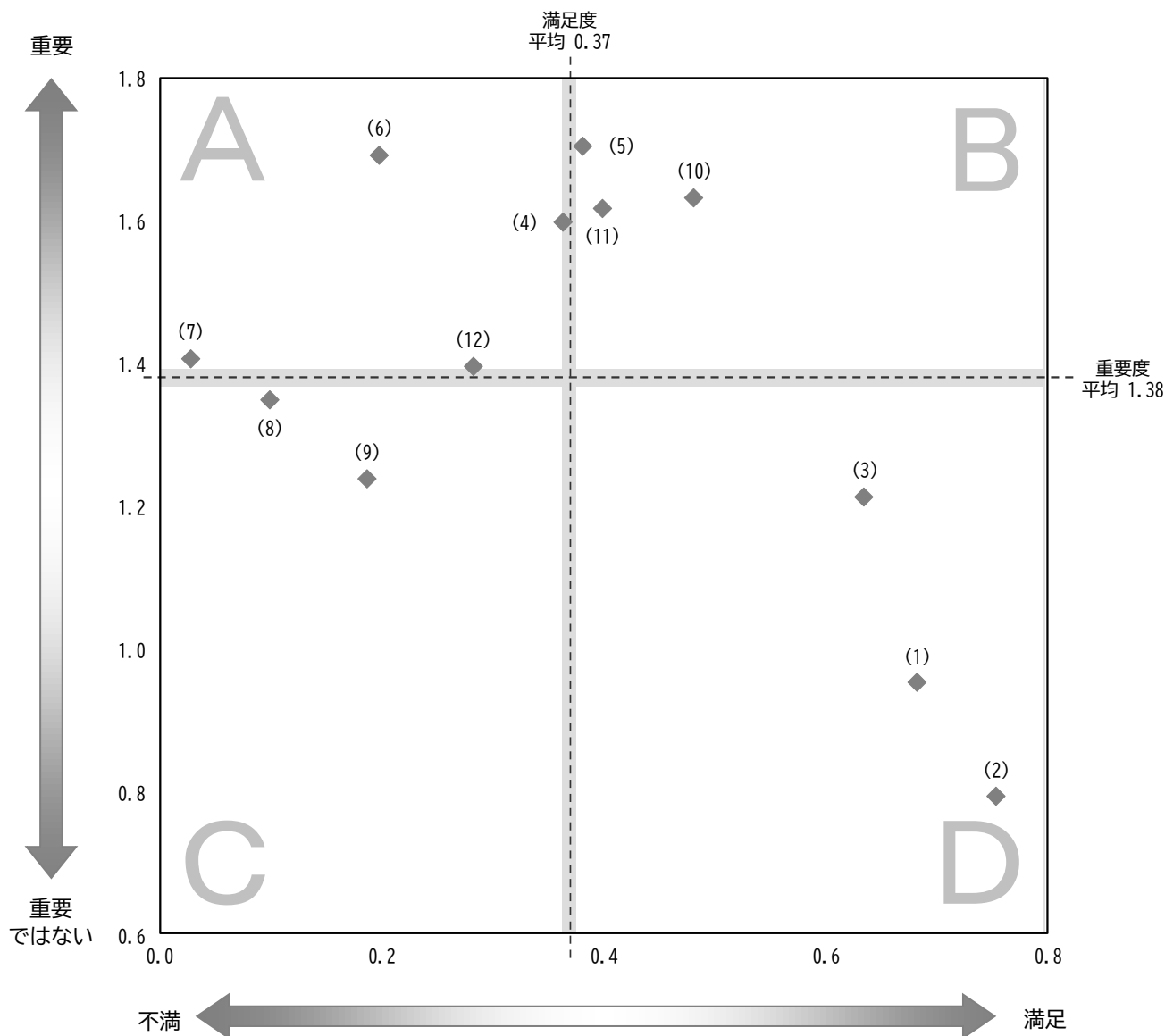
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD 満足度は高いが、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 374）

満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消』『(10)災害に強いまちづくりの推進』『(11)身近な暮らしの安全づくり』となっています。



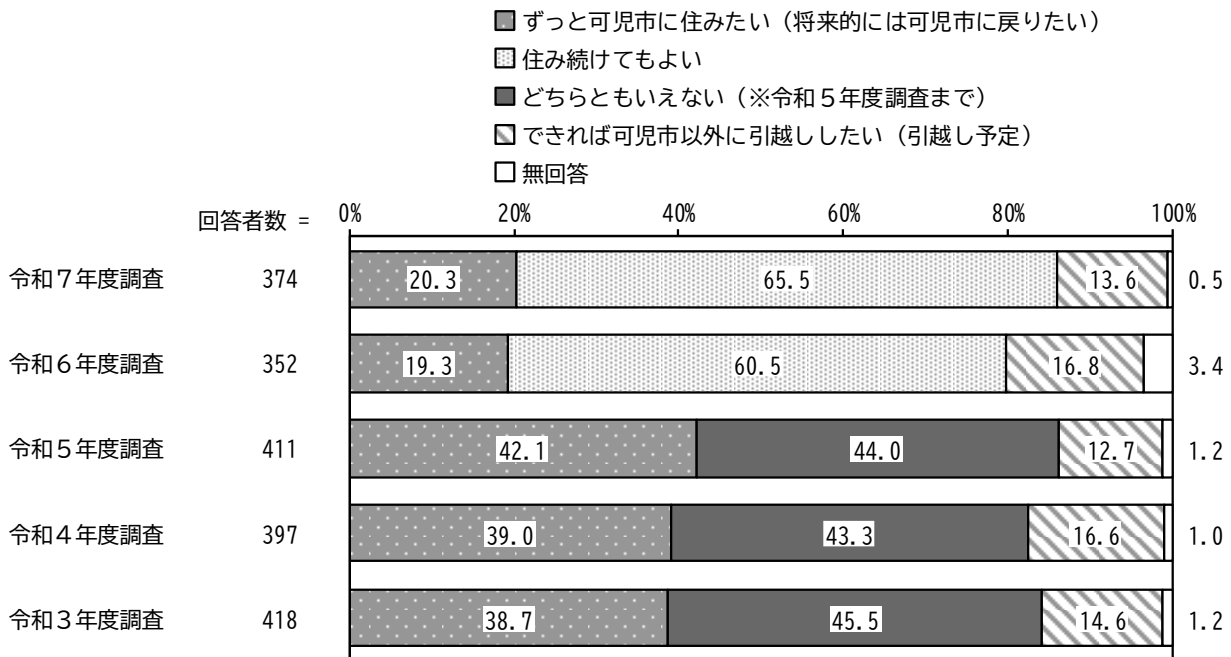
項目	
(1) 高齢者の暮らしを支援	(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり	(8) 地域の課題解決力の向上
(3) 介護保険サービスの安定的な提供	(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10) 災害に強いまちづくりの推進
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11) 身近な暮らしの安全づくり
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

(4) 可児市のイメージについて

問 17 可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

「住み続けてもよい」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「ずっと可児市に住みたい（将来的には可児市に戻りたい）」の割合が 20.3%、「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が 13.6%となっています。

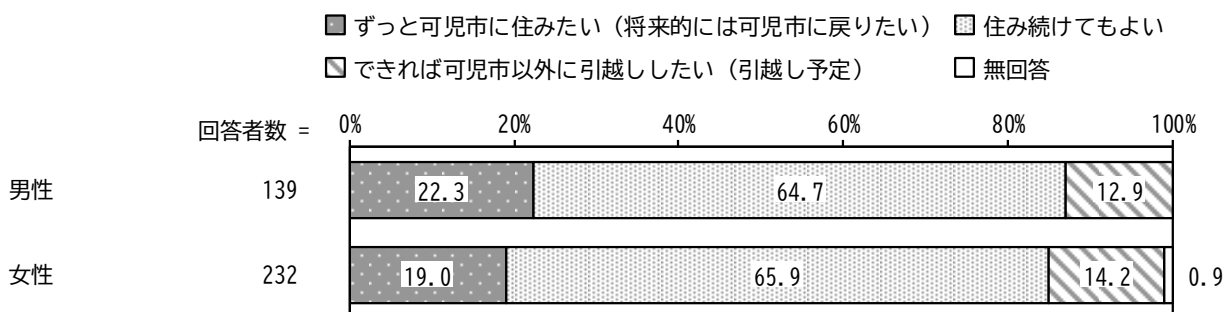
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和5年度調査以前では、「どちらともいえない」がありました。

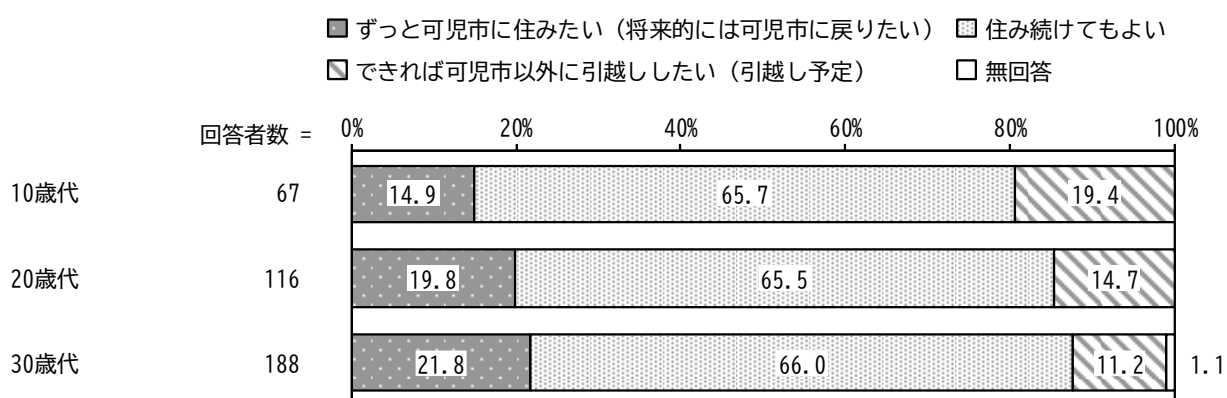
令和5年度調査以前では、「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」が「可児市外へ出て、将来的には可児市に戻りたい」となっており、「住み続けてもよい」がありませんでした。

【性別】



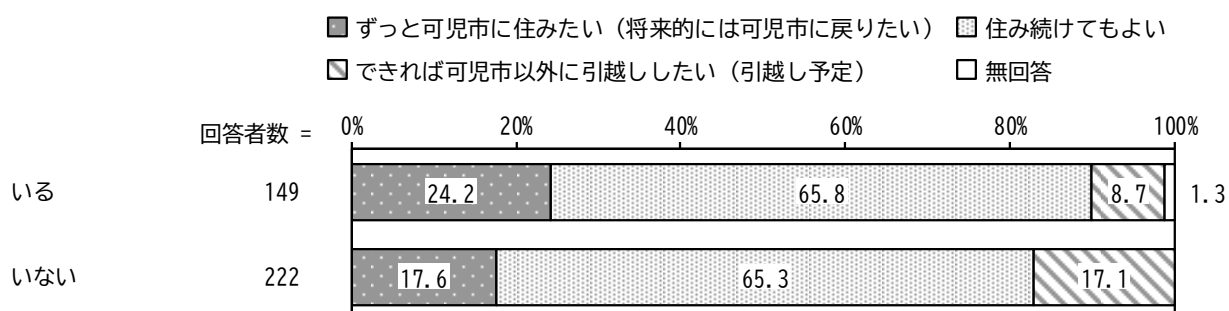
【年代別】

年代別にみると、「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」の割合が年齢が上がるほど高くなり、「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



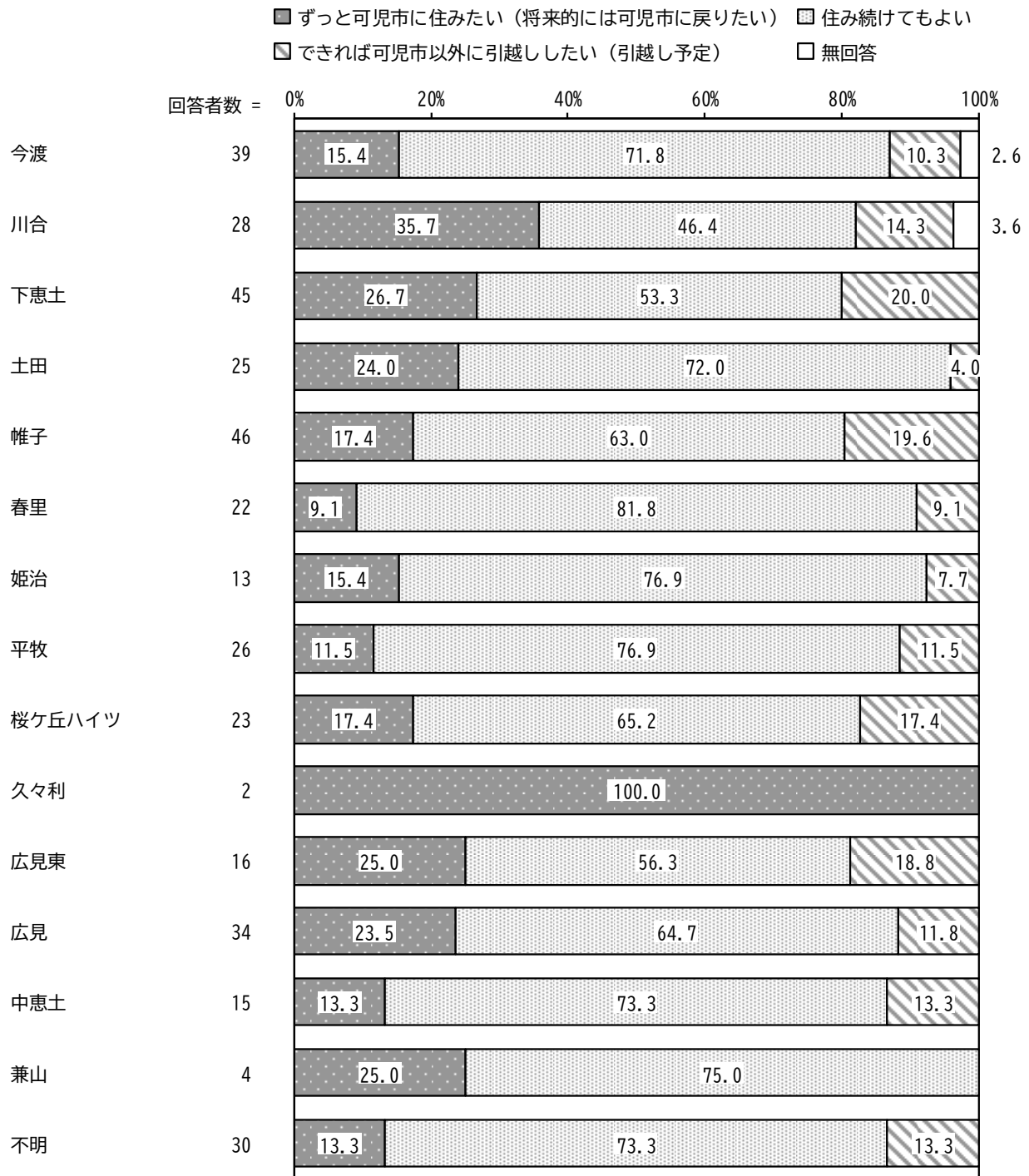
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」の割合が『いる』で高く、「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が『いない』で高くなっています。



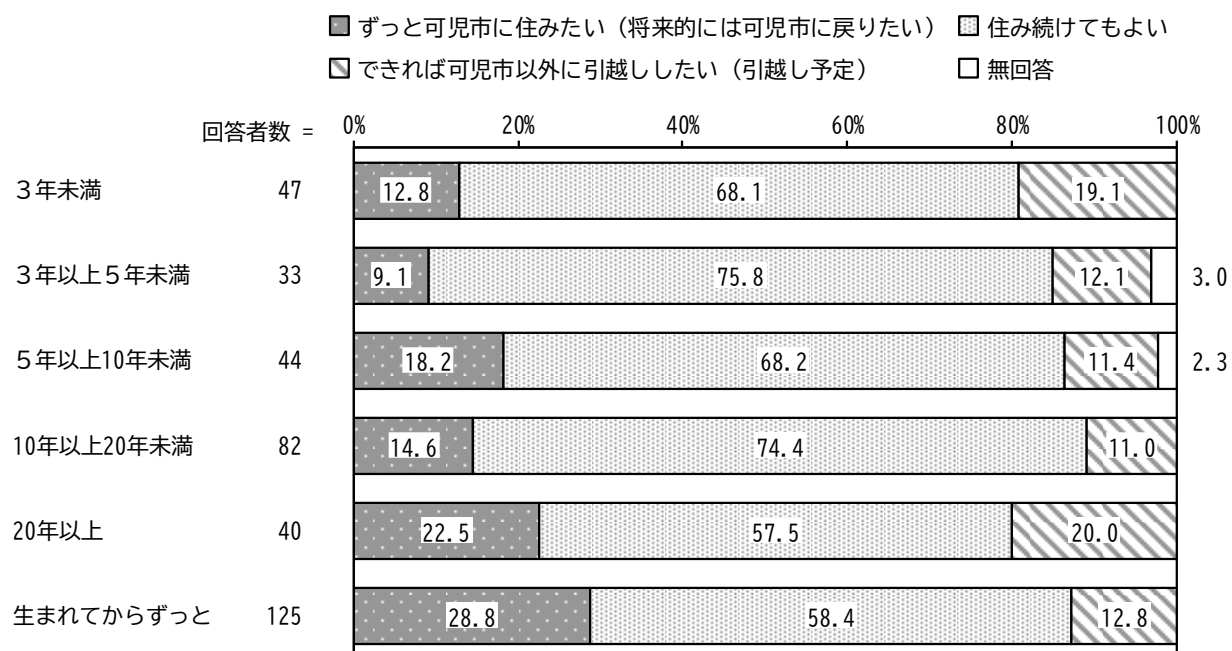
【居住地区別】

居住地区別にみると、「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」の割合が「川合」で高く、「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が「土田」で低くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、「ずっと可児市に住みたい(将来的には可児市に戻りたい)」の割合が居住年数が長いほど高くなる傾向にあります。

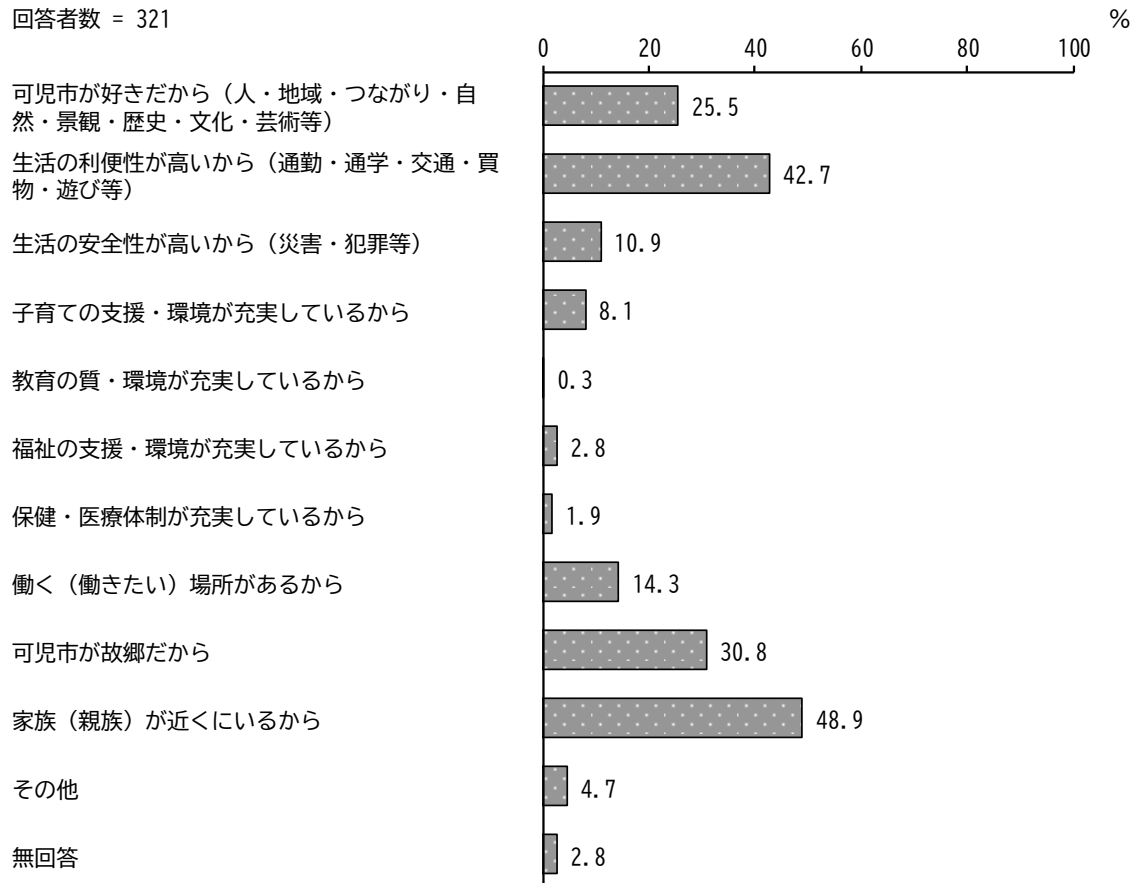


【問 17 で 1 (ずっと可児市に住みたい)または 2 (住み続けてもよい)を選択された方に伺います】

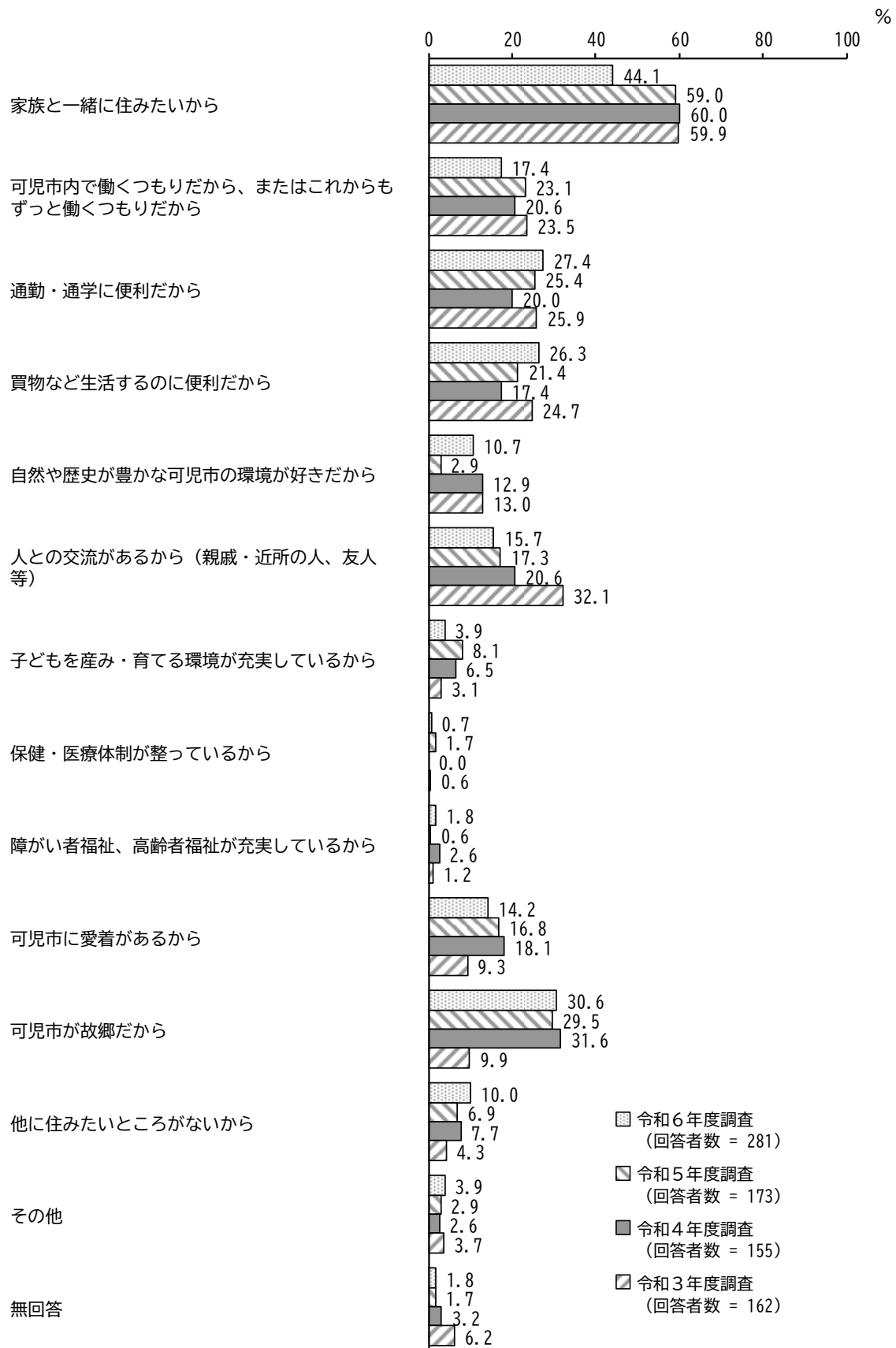
問 18 その理由は何ですか。(○は 3 つまで)

「家族（親族）が近くにいるから」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が 42.7%、「可児市が故郷だから」の割合が 30.8%となっています。

回答者数 = 321



【経年比較 参考】



【性別】

性別にみると、「生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）」、「可児市が故郷だから」の割合が男性で高く、「生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」、「働く（働きたい）場所があるから」、「家族（親族）が近くにいるから」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全 体	321	25.5	42.7	10.9	8.1	0.3	2.8	1.9	14.3	30.8	48.9	4.7	2.8
男性	121	22.3	37.2	15.7	6.6	0.8	3.3	2.5	9.9	35.5	43.8	5.8	2.5
女性	197	26.9	46.2	8.1	9.1	0.0	2.5	1.5	16.8	27.4	52.3	4.1	3.0

【年代別】

年代別にみると、「可児市が故郷だから」の割合が年齢が下がるほど高くなっています。また、「子育ての支援・環境が充実しているから」、「働く（働きたい）場所があるから」の割合が30歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全 体	321	25.5	42.7	10.9	8.1	0.3	2.8	1.9	14.3	30.8	48.9	4.7	2.8
10歳代	54	35.2	25.9	11.1	3.7	1.9	0.0	0.0	5.6	50.0	55.6	3.7	1.9
20歳代	99	24.2	37.4	9.1	5.1	0.0	5.1	3.0	8.1	33.3	63.6	4.0	3.0
30歳代	165	22.4	50.9	12.1	11.5	0.0	1.8	1.8	21.2	23.0	38.8	5.5	3.0

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」、「子育ての支援・環境が充実しているから」、「働く（働きたい）場所があるから」の割合が『いる』で高く、「可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」、「可児市が故郷だから」、「家族（親族）が近くにいるから」の割合が『いない』で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全 体	321	25.5	42.7	10.9	8.1	0.3	2.8	1.9	14.3	30.8	48.9	4.7	2.8
いる	134	22.4	49.3	9.7	16.4	0.0	1.5	1.5	17.9	20.1	44.0	6.0	3.7
いない	184	27.7	38.6	12.0	1.6	0.5	3.3	2.2	12.0	38.0	52.7	3.8	2.2

【居住地区別】

居住地区別にみると、「生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）」の割合が土田で高く、「家族（親族）が近くにいるから」の割合が姫治、中恵土で高くなっています。

単位：％

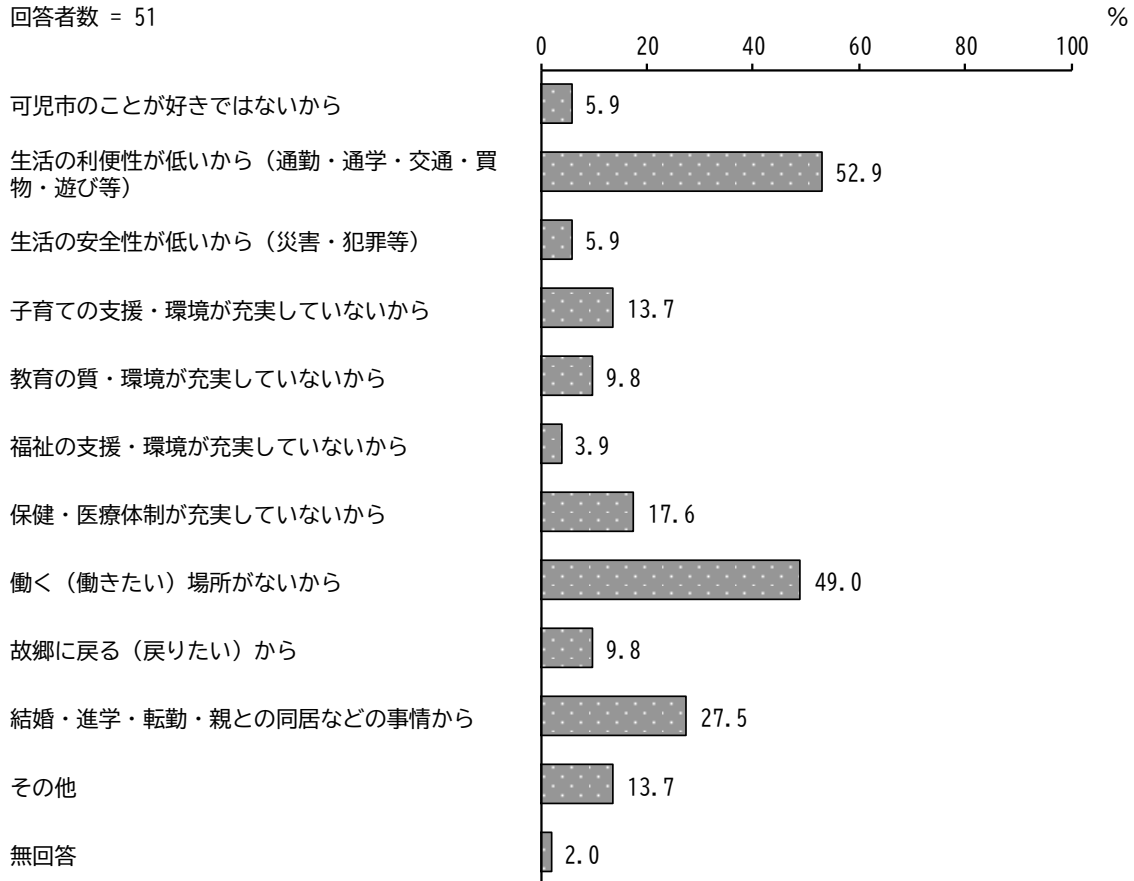
区分	回答者数（件）	可児市が好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全 体	321	25.5	42.7	10.9	8.1	0.3	2.8	1.9	14.3	30.8	48.9	4.7	2.8
今渡	34	38.2	50.0	17.6	14.7	0.0	2.9	2.9	5.9	32.4	44.1	2.9	5.9
川合	23	21.7	60.9	17.4	8.7	0.0	0.0	0.0	17.4	17.4	43.5	4.3	8.7
下恵土	36	22.2	52.8	5.6	11.1	2.8	0.0	0.0	25.0	44.4	44.4	2.8	5.6
土田	24	37.5	58.3	20.8	12.5	0.0	0.0	4.2	4.2	16.7	37.5	4.2	0.0
帷子	37	29.7	27.0	10.8	5.4	0.0	10.8	8.1	8.1	37.8	56.8	2.7	0.0
春里	20	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	15.0	35.0	65.0	15.0	0.0
姫治	12	25.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	75.0	0.0	0.0
平牧	23	21.7	30.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	34.8	47.8	8.7	4.3
桜ヶ丘ハイツ	19	26.3	26.3	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0	21.1	15.8	47.4	5.3	5.3
久々利	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
広見東	13	15.4	61.5	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	46.2	0.0	0.0
広見	30	26.7	46.7	6.7	13.3	0.0	3.3	3.3	13.3	20.0	60.0	3.3	0.0
中恵土	13	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8	38.5	69.2	7.7	0.0
兼山	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	75.0	25.0	25.0	0.0
不明	26	19.2	53.8	19.2	7.7	0.0	3.8	0.0	15.4	23.1	34.6	3.8	0.0

【問 17 で 3 (できれば可児市以外に引越したい(引越し予定))を選択された方に伺います】

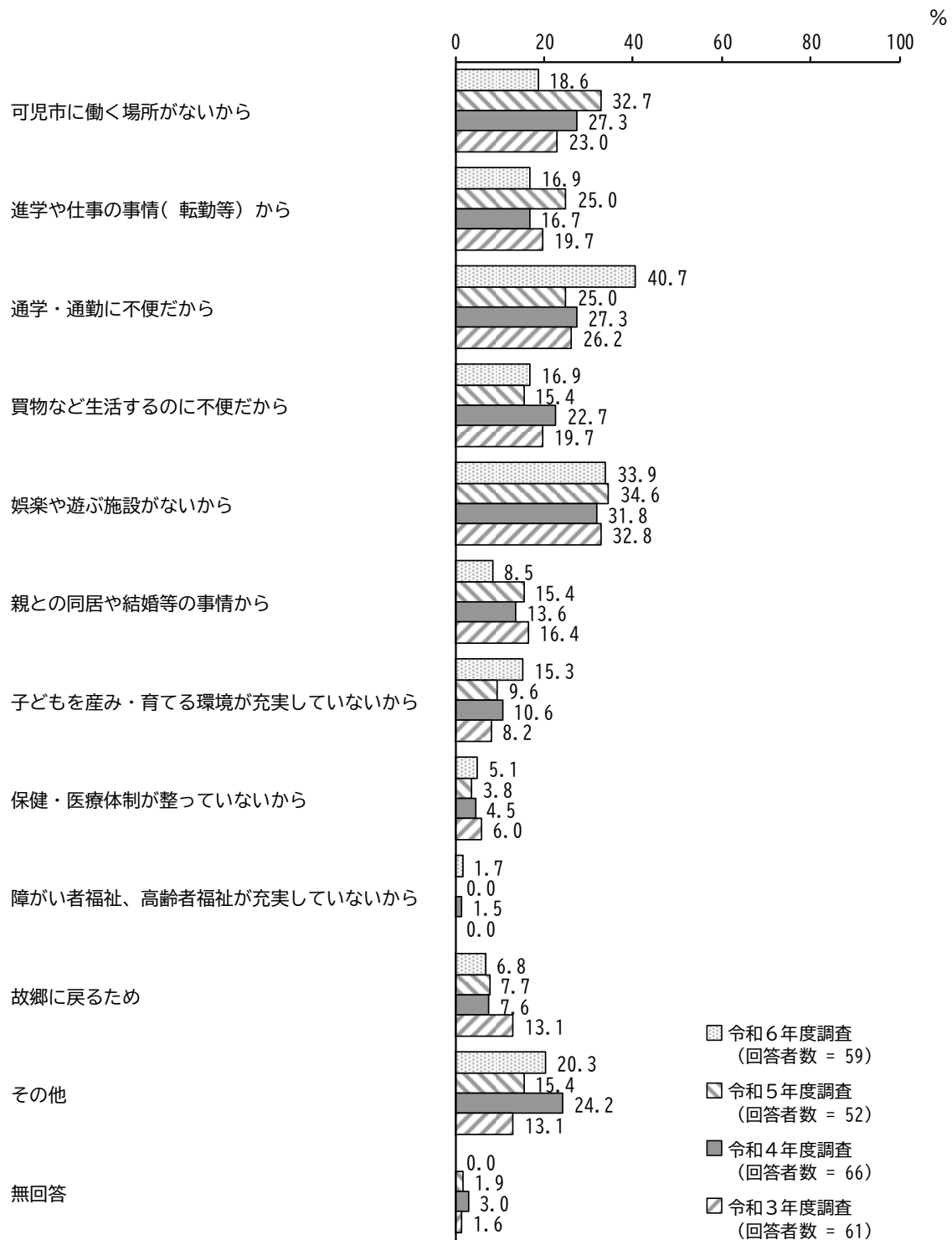
問 19 その理由は何ですか。(○は3つまで)

「生活の利便性が低いから(通勤・通学・交通・買物・遊び等)」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「働く(働きたい)場所がないから」の割合が 49.0%、「結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から」の割合が 27.5%となっています。

回答者数 = 51



【経年比較 参考】



【性別】

性別にみると、「生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」、「生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）」、「教育の質・環境が充実していないから」、「保健・医療体制が充実していないから」、「働く（働きたい）場所がないから」の割合が男性で高く、「可児市のことが好きではないから」、「子育ての支援・環境が充実していないから」、「福祉の支援・環境が充実していないから」、「結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全 体	51	5.9	52.9	5.9	13.7	9.8	3.9	17.6	49.0	9.8	27.5	13.7	2.0
男性	18	0.0	66.7	11.1	5.6	22.2	0.0	22.2	55.6	11.1	22.2	16.7	0.0
女性	33	9.1	45.5	3.0	18.2	3.0	6.1	15.2	45.5	9.1	30.3	12.1	3.0

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「子育ての支援・環境が充実していないから」、「教育の質・環境が充実していないから」、「福祉の支援・環境が充実していないから」、「保健・医療体制が充実していないから」の割合が『いる』で高く、「生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」、「生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）」、「働く（働きたい）場所がないから」、「結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から」の割合が『いない』で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全 体	51	5.9	52.9	5.9	13.7	9.8	3.9	17.6	49.0	9.8	27.5	13.7	2.0
いる	13	7.7	46.2	0.0	53.8	15.4	7.7	38.5	23.1	7.7	23.1	7.7	0.0
いない	38	5.3	55.3	7.9	0.0	7.9	2.6	10.5	57.9	10.5	28.9	15.8	2.6

【居住地区別】

居住地区別にみると、有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

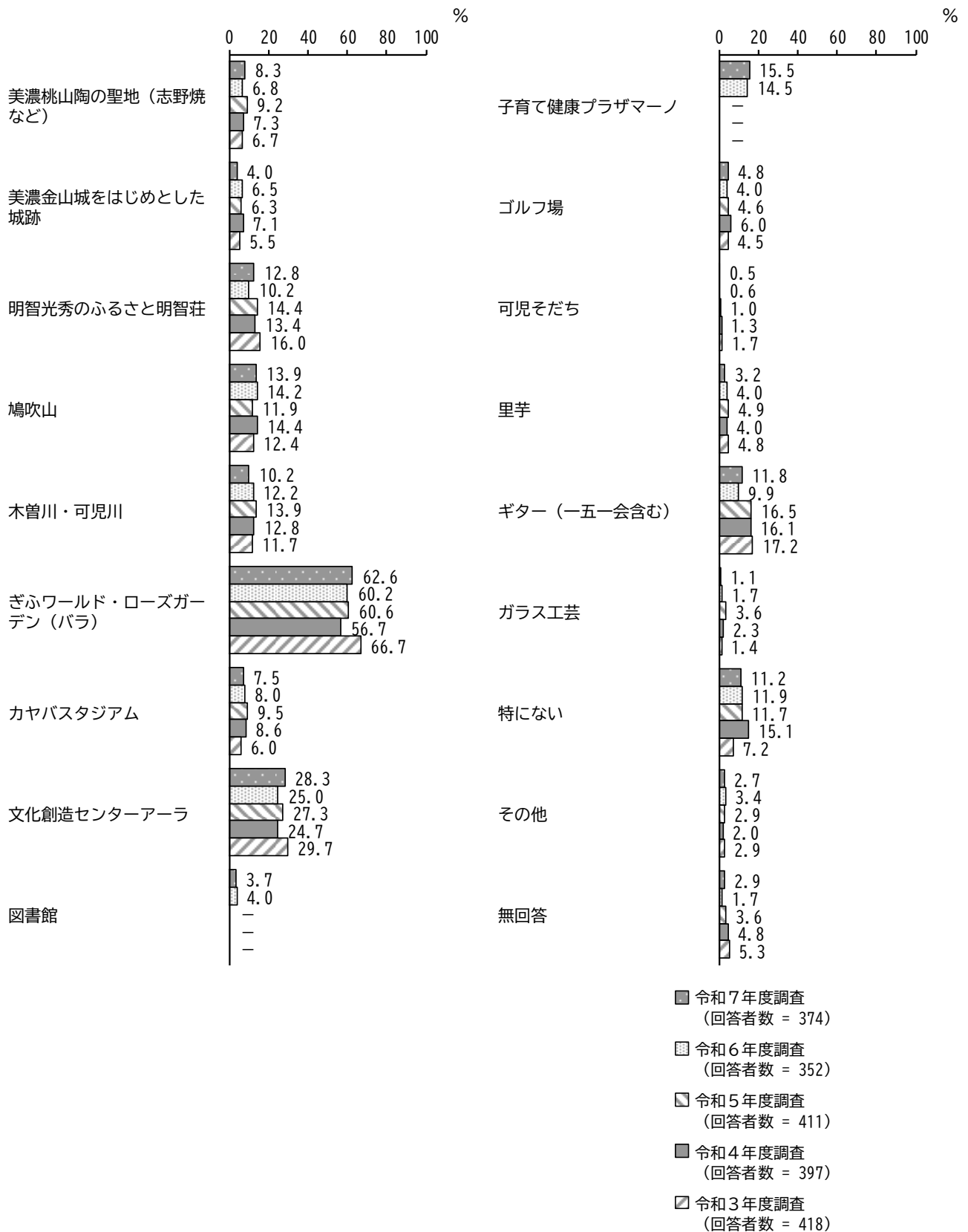
単位：％

区分	回答者数(件)	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから(通勤・通学・交通・買物・遊び等)	生活の安全性が低いから(災害・犯罪等)	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く(働きたい)場所がないから	故郷に戻る(戻りたい)から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全 体	51	5.9	52.9	5.9	13.7	9.8	3.9	17.6	49.0	9.8	27.5	13.7	2.0
今渡	4	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
川合	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
下恵土	9	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	66.7	11.1	22.2	0.0	11.1
土田	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
帷子	9	11.1	66.7	0.0	11.1	11.1	0.0	33.3	66.7	11.1	11.1	11.1	0.0
春里	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
姫治	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
平牧	3	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0
桜ヶ丘ハイツ	4	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
久々利	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
広見東	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0
広見	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0
中恵土	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兼山	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	50.0	0.0

問 20 可児市の自慢できるものはどれだと思いますか。(〇は3つまで)

「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「文化創造センターアーラ」の割合が 28.3%、「子育て健康プラザマーノ」の割合が 15.5%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和5年度調査以前では、「図書館」、「子育て健康プラザマーノ」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が男性で高く、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」、「文化創造センターアーラ」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ロー ズガーデン(バラ)	カヤバスタジアム	文化創造センターア ーラ	図書館
全 体	374	8.3	4.0	12.8	13.9	10.2	62.6	7.5	28.3	3.7
男性	139	8.6	7.2	14.4	13.7	8.6	58.3	7.9	24.5	3.6
女性	232	8.2	2.2	12.1	13.8	11.2	65.1	7.3	31.0	3.9

区分	子育て健康プラザマ ーノ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター（一五一会含 む）	ガラス工芸	特に ない	その他	無回 答
全 体	15.5	4.8	0.5	3.2	11.8	1.1	11.2	2.7	2.9
男性	10.1	7.9	0.7	4.3	13.7	1.4	15.1	4.3	2.2
女性	19.0	3.0	0.4	2.6	10.3	0.9	8.6	1.7	3.4

【年代別】

年代別にみると、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が年齢が上がるほど高くなる傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ロー ズガーデン(バラ)	カヤバスタジアム	文化創造センターア ーラ	図書館
全 体	374	8.3	4.0	12.8	13.9	10.2	62.6	7.5	28.3	3.7
10歳代	67	10.4	9.0	19.4	13.4	9.0	49.3	10.4	35.8	1.5
20歳代	116	8.6	3.4	7.8	17.2	16.4	62.9	9.5	31.9	3.4
30歳代	188	6.9	2.7	13.8	12.2	6.9	66.5	4.8	23.4	4.3

区分	子育て健康プラザマ ーノ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター（一五一会含 む）	ガラス工芸	特に ない	その他	無回 答
全 体	15.5	4.8	0.5	3.2	11.8	1.1	11.2	2.7	2.9
10歳代	10.4	3.0	1.5	9.0	22.4	0.0	11.9	0.0	3.0
20歳代	12.9	4.3	0.0	3.4	11.2	1.7	8.6	2.6	2.6
30歳代	18.6	5.9	0.5	1.1	8.5	1.1	12.8	3.7	3.2

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」、「子育て健康プラザマーノ」の割合が『いる』で高く、「鳩吹山」、「木曽川・可児川」、「カヤバスタジアム」、「文化創造センターアール」、「ギター（一五一会含む）」の割合が『いない』で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ローズ ガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センターア ール	図書館
全 体	374	8.3	4.0	12.8	13.9	10.2	62.6	7.5	28.3	3.7
いる	149	6.7	2.0	10.7	9.4	4.0	65.8	4.0	25.5	5.4
いない	222	9.5	5.4	14.4	17.1	14.0	60.4	9.9	30.6	2.7

区分	子育て健康プラザマ ーノ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター（一五一会含 む）	ガラス工芸	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	15.5	4.8	0.5	3.2	11.8	1.1	11.2	2.7	2.9
いる	26.2	4.7	0.7	1.3	6.7	1.3	12.1	2.7	3.4
いない	7.7	5.0	0.5	4.5	15.3	0.9	10.4	2.7	2.7

【居住地区別】

居住地区別にみると、「鳩吹山」の割合が帷子で、「カヤバスタジアム」の割合が春里で、「文化創造センターアール」の割合が土田で、「図書館」の割合が広見東で、「ギター（一五一会含む）」の割合が下恵土で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曾川・可児川	ぎふワールド・ロー ズガーデン(バラ)	カヤバスタジアム	文化創造センターア ール	図書館
全 体	374	8.3	4.0	12.8	13.9	10.2	62.6	7.5	28.3	3.7
今渡	39	12.8	7.7	17.9	15.4	12.8	71.8	5.1	35.9	0.0
川合	28	3.6	0.0	0.0	7.1	14.3	64.3	14.3	46.4	7.1
下恵土	45	2.2	4.4	13.3	17.8	4.4	66.7	0.0	26.7	6.7
土田	25	12.0	0.0	12.0	24.0	16.0	64.0	8.0	48.0	4.0
帷子	46	4.3	2.2	10.9	28.3	21.7	54.3	13.0	28.3	4.3
春里	22	4.5	9.1	4.5	9.1	9.1	54.5	22.7	45.5	4.5
姫治	13	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	61.5	7.7	7.7	0.0
平牧	26	23.1	3.8	23.1	7.7	7.7	57.7	3.8	26.9	0.0
桜ヶ丘ハイツ	23	26.1	4.3	13.0	8.7	0.0	60.9	8.7	13.0	4.3
久々利	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
広見東	16	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	68.8	0.0	25.0	12.5
広見	34	0.0	5.9	20.6	8.8	8.8	70.6	14.7	20.6	0.0
中恵土	15	6.7	0.0	13.3	13.3	6.7	53.3	0.0	13.3	0.0
兼山	4	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
不明	30	10.0	0.0	10.0	16.7	10.0	70.0	0.0	23.3	6.7

区分	子育て健康プラザマ ーノ	ゴルフ場	可児そだち	里 幸	ギター（一五一会含 む）	ガラス工芸	特 に な い	そ 他	無 回 答
全 体	15.5	4.8	0.5	3.2	11.8	1.1	11.2	2.7	2.9
今渡	17.9	2.6	0.0	0.0	5.1	0.0	7.7	5.1	2.6
川合	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	3.6	7.1	3.6	7.1
下恵土	15.6	4.4	0.0	6.7	24.4	0.0	6.7	6.7	4.4
土田	24.0	8.0	0.0	4.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0
帷子	17.4	8.7	0.0	6.5	13.0	2.2	10.9	4.3	0.0
春里	9.1	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	13.6	4.5	4.5
姫治	23.1	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	23.1	0.0	15.4
平牧	11.5	7.7	3.8	7.7	11.5	0.0	7.7	0.0	3.8
桜ヶ丘ハイツ	17.4	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	21.7	4.3	0.0
久々利	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
広見東	18.8	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	6.3
広見	5.9	8.8	2.9	2.9	17.6	2.9	8.8	0.0	0.0
中恵土	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	20.0	0.0	0.0
兼山	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
不明	23.3	3.3	0.0	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0

【居住年数別】

居住年数別にみると、「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が『20年以上』で、「図書館」の割合が『3年未満』で、「ゴルフ場」の割合が『3年以上5年未満』で高くなっています。

単位：％

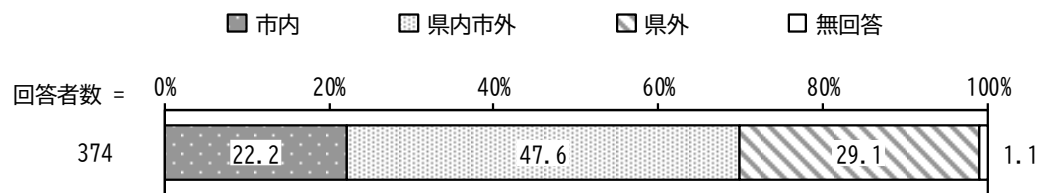
区分	回答者数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曾川・可児川	ぎふワールド・ロー ズガーデン(バラ)	カヤバスタジアム	文化創造センターア ーラ	図書館
全 体	374	8.3	4.0	12.8	13.9	10.2	62.6	7.5	28.3	3.7
3年未満	47	6.4	0.0	12.8	12.8	19.1	66.0	6.4	27.7	10.6
3年以上5年未満	33	3.0	0.0	6.1	12.1	3.0	72.7	3.0	33.3	3.0
5年以上10年未満	44	9.1	0.0	15.9	2.3	0.0	68.2	2.3	25.0	4.5
10年以上20年未満	82	9.8	6.1	11.0	19.5	12.2	56.1	9.8	29.3	4.9
20年以上	40	12.5	2.5	22.5	22.5	17.5	65.0	10.0	32.5	2.5
生まれてからずっと	125	8.0	7.2	12.0	12.8	8.8	60.0	8.8	27.2	0.8

区分	子育て健康プラザマ ーノ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター（二五一会含 む）	ガラス工芸	特にない	その他	無回答
全 体	15.5	4.8	0.5	3.2	11.8	1.1	11.2	2.7	2.9
3年未満	21.3	4.3	0.0	2.1	2.1	0.0	6.4	2.1	0.0
3年以上5年未満	21.2	15.2	0.0	0.0	0.0	3.0	15.2	3.0	3.0
5年以上10年未満	20.5	0.0	2.3	0.0	11.4	4.5	11.4	4.5	4.5
10年以上20年未満	15.9	3.7	0.0	4.9	11.0	1.2	14.6	0.0	2.4
20年以上	5.0	5.0	0.0	5.0	2.5	0.0	7.5	5.0	0.0
生まれてからずっと	12.8	4.8	0.8	4.0	22.4	0.0	10.4	3.2	4.8

(5) 余暇の過ごし方について

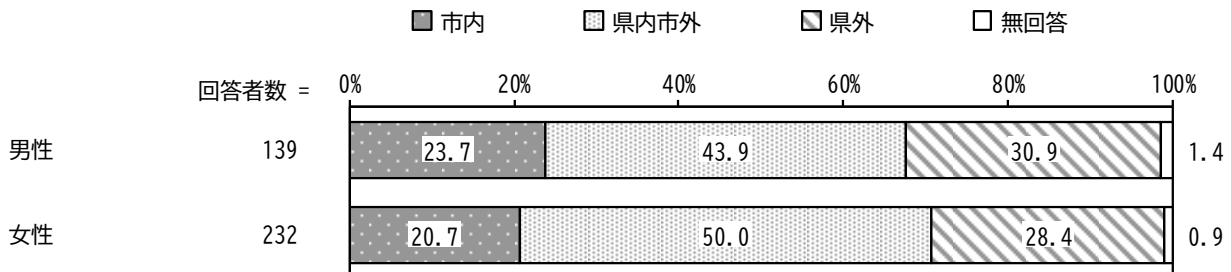
問 21 休日に外出する場合、どこに出かけることが多いですか。(○は1つだけ)

「市内」の割合が 22.2%、「県内市外」の割合が 47.6%、「県外」の割合が 29.1%となっています。



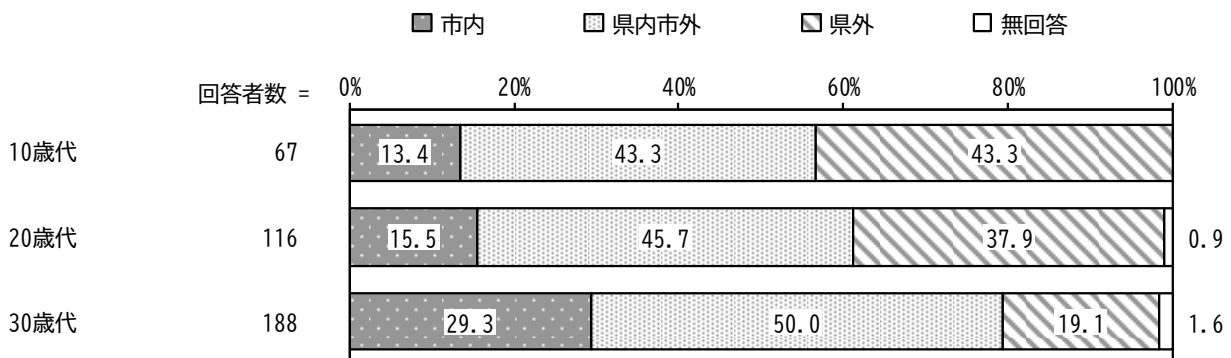
【性別】

性別にみると、「県内市外」の割合が女性で高くなっています。



【年代別】

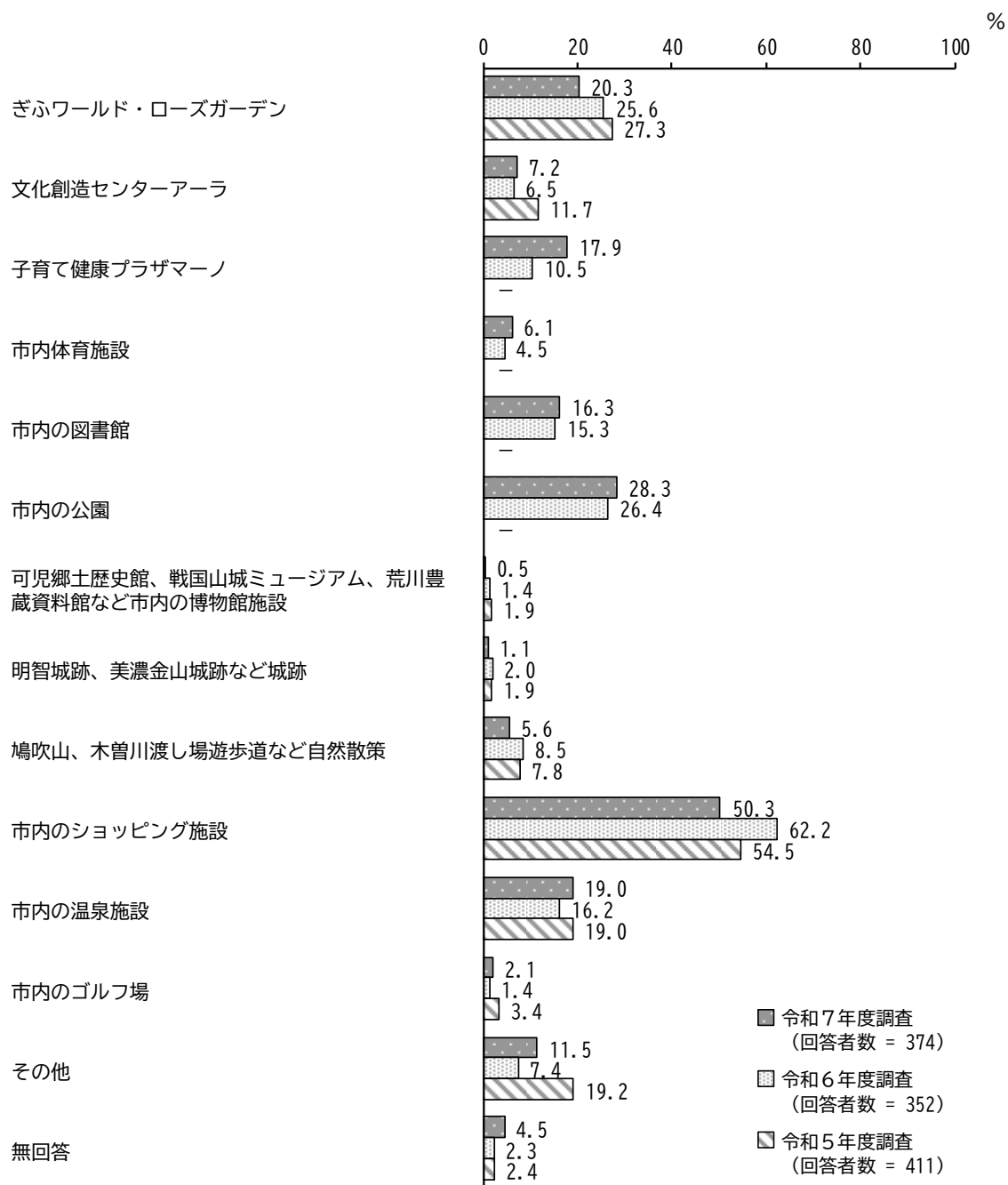
年代別にみると、「県外」の割合が年齢が下がるほど高くなる傾向にあります。



問 22 よく行くところはどこですか。(複数回答可)

「市内のショッピング施設」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「市内の公園」の割合が 28.3%、「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が 20.3%となっています。

経年でみると、令和5年度調査以降「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が減少しています。



※令和5年度調査では、「子育て健康プラザマーノ」、「市内体育施設」、「市内の図書館」、「市内の公園」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「ぎふワールド・ローズガーデン」、「子育て健康プラザマーノ」、「市内の図書館」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

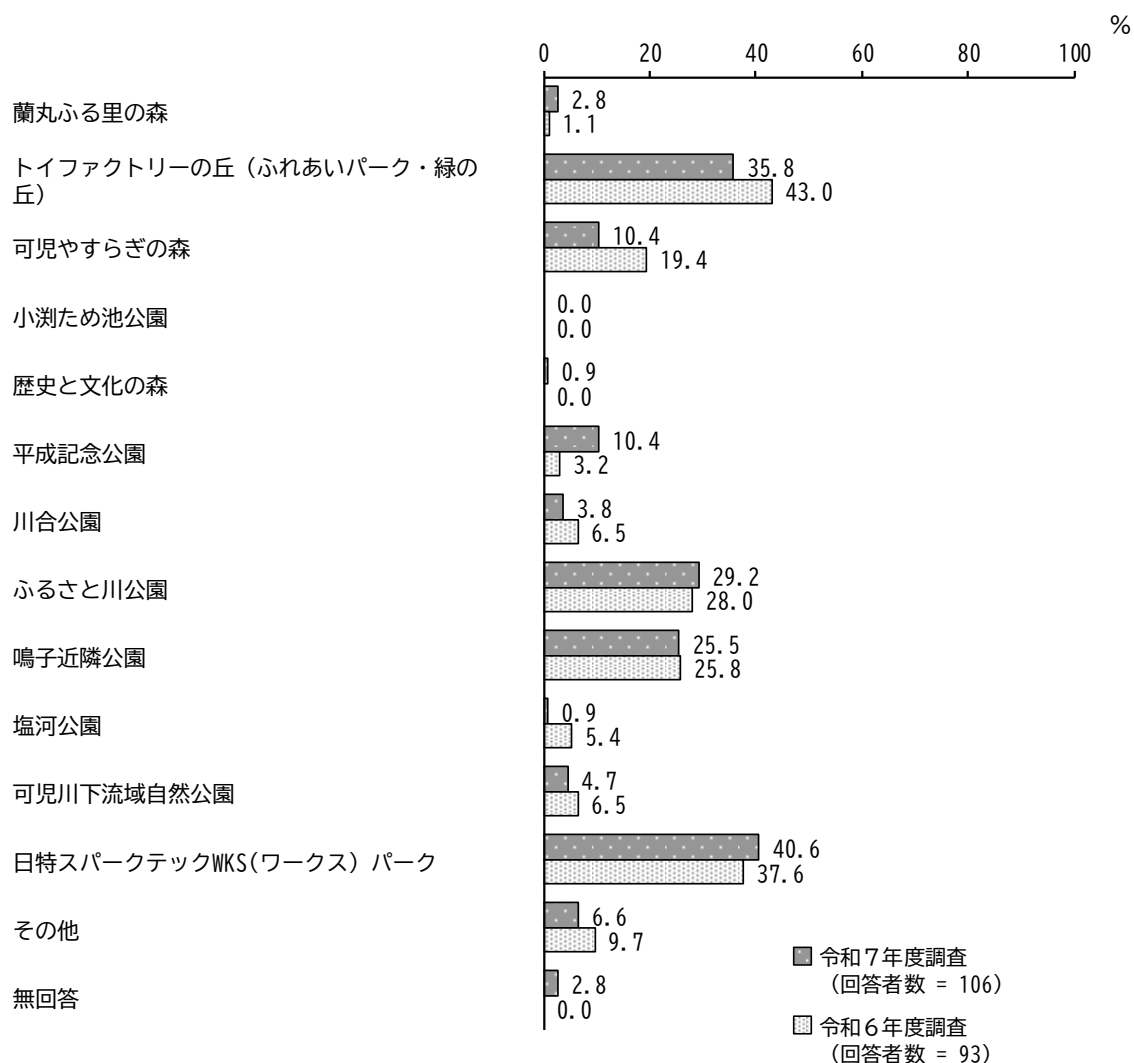
区分	回答者数 (件)	ぎふワールド・ローズガーデン	文化創造センターアーラ	子育て健康プラザマーノ	市内体育施設	市内の図書館	市内の公園	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、 荒川豊蔵資料館など市内の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	策 鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など自然散	市内のショッピング施設	市内の温泉施設	市内のゴルフ場	その他	無回答
全 体	374	20.3	7.2	17.9	6.1	16.3	28.3	0.5	1.1	5.6	50.3	19.0	2.1	11.5	4.5
男性	139	16.5	5.0	14.4	7.9	10.1	26.6	0.7	0.7	5.0	49.6	18.7	5.0	15.1	7.2
女性	232	22.4	8.2	20.3	5.2	20.3	29.7	0.4	1.3	5.6	50.9	19.0	0.4	9.5	3.0

【問 22 で 6（公園）を選択された方に伺います】

問 23 よく利用する公園はどこですか。（複数回答可）

「日特スパークテック WKS(ワークス) パーク」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」の割合が 35.8%、「ふるさと川公園」の割合が 29.2%となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、「平成記念公園」の割合が増加しています。一方、「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」「可児やすらぎの森」の割合が減少しています。



【年代別】

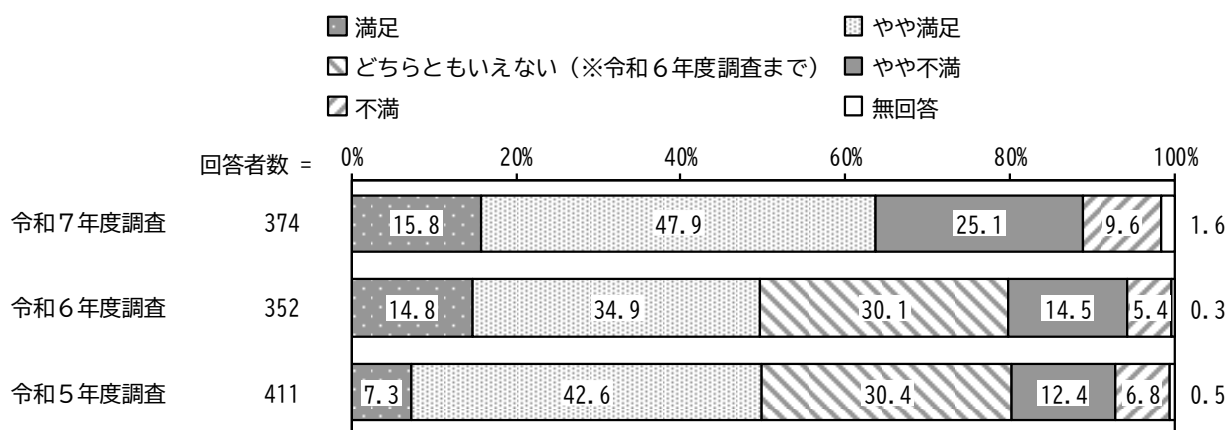
年代別にみると、「鳴子近隣公園」の割合が年齢が上がるほど高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	蘭丸ふるりの森	トイファクトリーの丘(ふれあいパーク・緑の丘)	可児やすらぎの森	小渕ため池公園	歴史と文化の森	平成記念公園	川合公園	ふるさと川公園	鳴子近隣公園	塩河公園	可児川下流域自然公園	日特スパークテック(ワークス)パーク	その他	無回答
全 体	106	2.8	35.8	10.4	0.0	0.9	10.4	3.8	29.2	25.5	0.9	4.7	40.6	6.6	2.8
10歳代	16	6.3	43.8	18.8	0.0	0.0	18.8	6.3	31.3	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	12.5
20歳代	27	0.0	33.3	7.4	0.0	0.0	7.4	3.7	22.2	11.1	0.0	11.1	29.6	14.8	3.7
30歳代	62	3.2	35.5	8.1	0.0	1.6	9.7	3.2	32.3	37.1	1.6	1.6	56.5	3.2	0.0

問 24 可児市内の公園の整備状況についてどう思いますか（○は1つだけ）

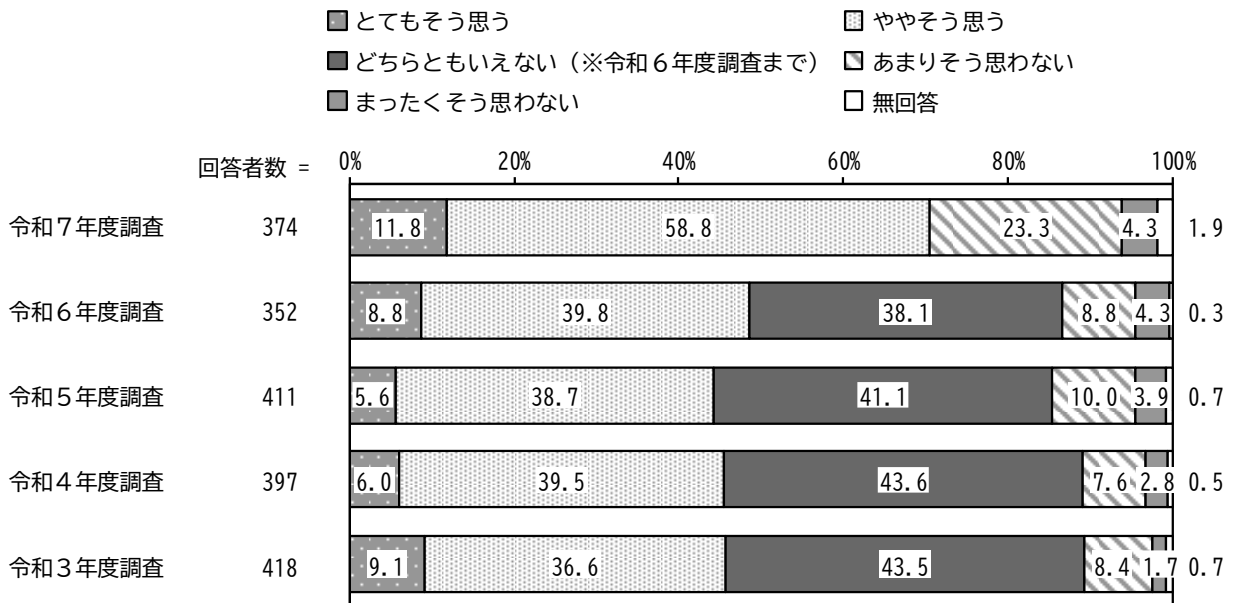
「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が63.7%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が34.7%となっています。



(6) 子育て環境について

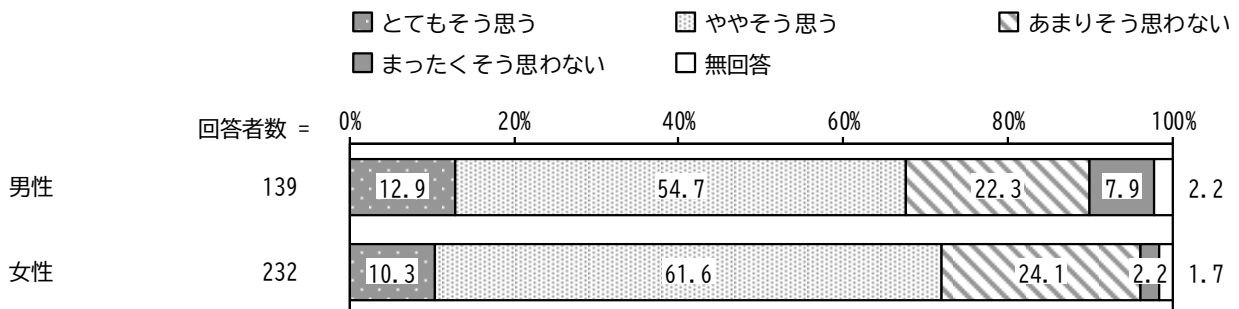
問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が70.6%、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が27.6%となっています。



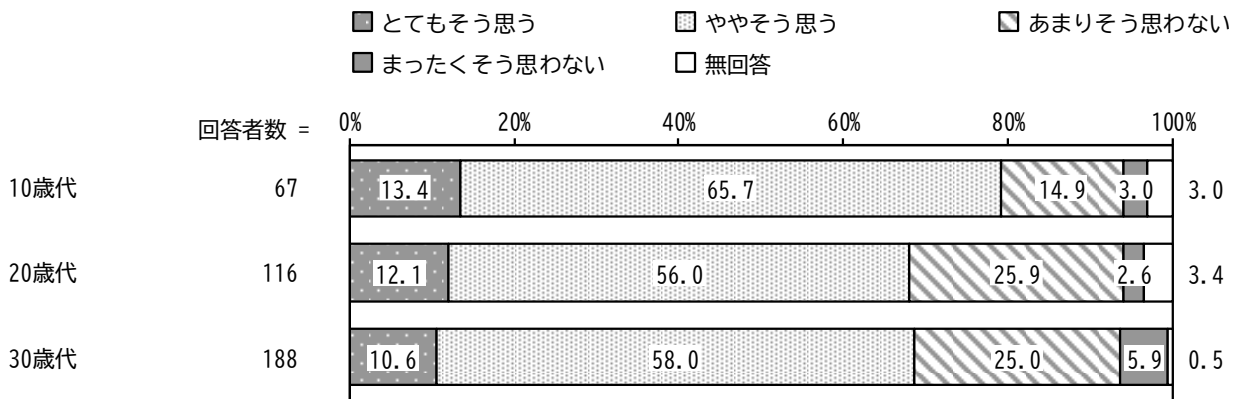
【性別】

性別にみると、「まったくそう思わない」の割合が男性で高くなっています。

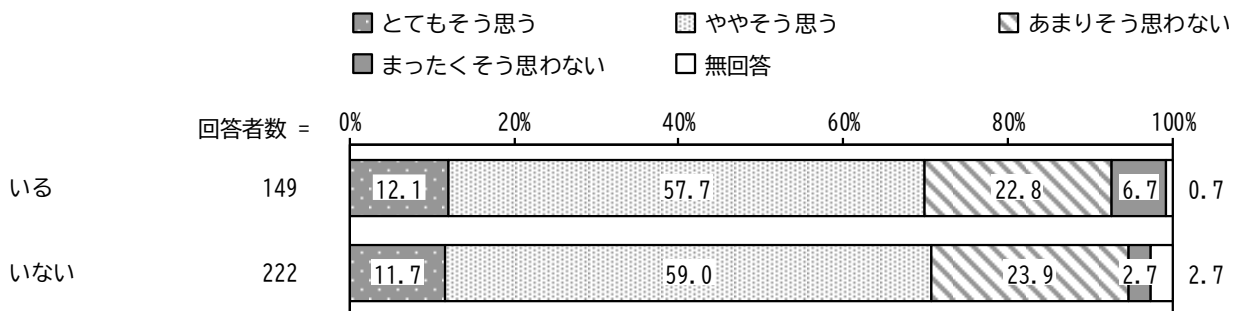


【年代別】

年代別にみると、“そう思わない”の割合が年齢が上がるほど高くなっています。



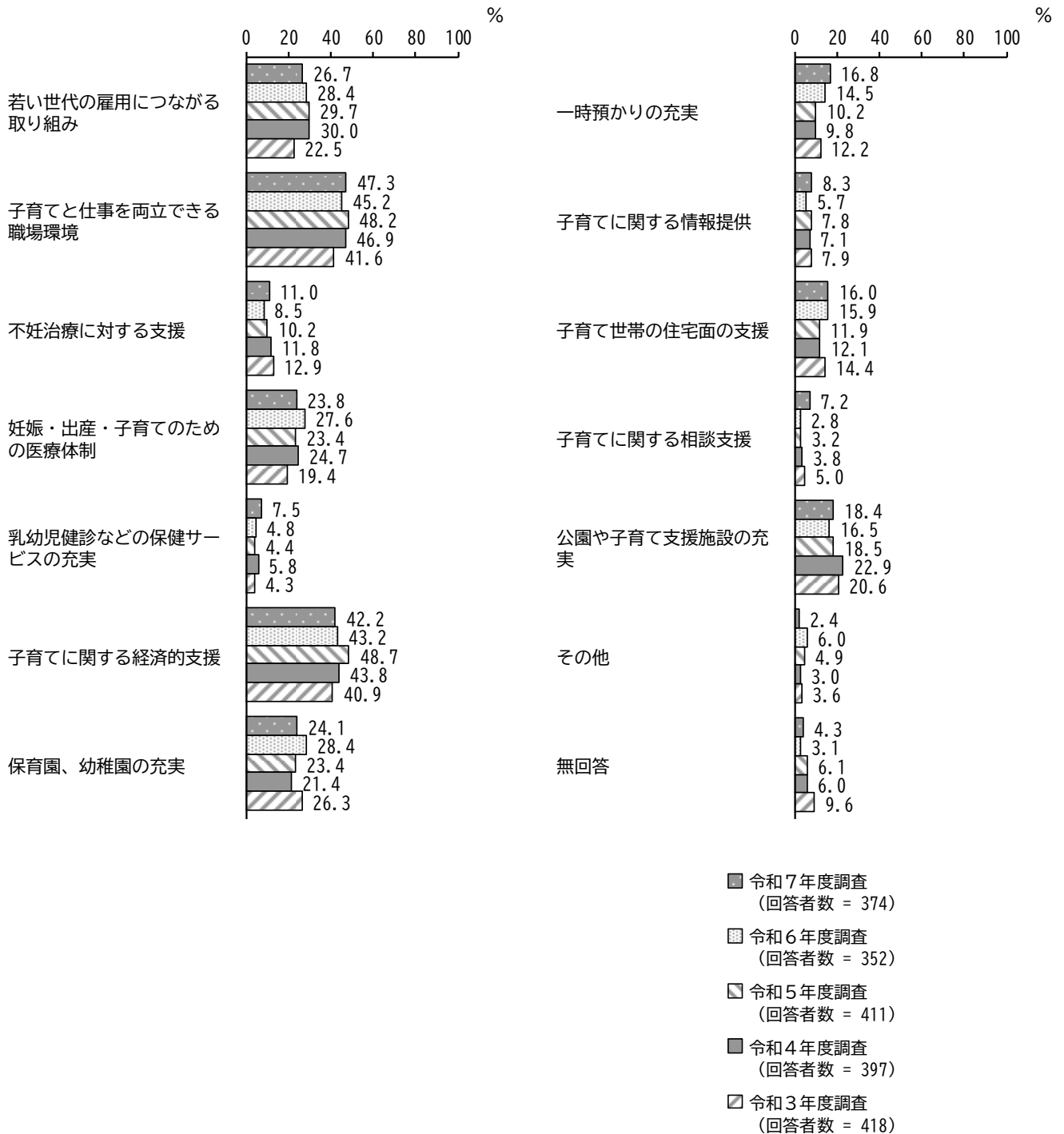
【子どもの有無別】



問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視して取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」の割合が 42.2%、「若い世代の雇用につながる取り組み」の割合が 26.7%となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和 6 年度調査以前では、「若い世代の雇用につながる取り組み」が「若い世代の雇用の安定」となっていました。

【性別】

性別にみると、「若い世代の雇用につながる取り組み」、「子育てに関する経済的支援」の割合が男性で高く、「子育てと仕事を両立できる職場環境」、「不妊治療に対する支援」、「妊娠・出産・子育てのための医療体制」、「乳幼児健診などの保健サービスの充実」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	若い世代の雇用につながる取り組み	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
全 体	374	26.7	47.3	11.0	23.8	7.5	42.2	24.1	16.8	8.3	16.0	7.2	18.4	2.4	4.3
男性	139	35.3	43.2	7.9	18.0	4.3	49.6	22.3	16.5	7.9	16.5	6.5	18.0	3.6	4.3
女性	232	22.0	50.0	12.9	27.6	9.5	37.9	25.4	17.2	8.2	15.5	7.3	19.0	1.3	4.3

【年代別】

年代別にみると、「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が年齢が上がるほど高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	若い世代の雇用につながる取り組み	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
全 体	374	26.7	47.3	11.0	23.8	7.5	42.2	24.1	16.8	8.3	16.0	7.2	18.4	2.4	4.3
10歳代	67	32.8	40.3	4.5	20.9	11.9	38.8	19.4	16.4	7.5	11.9	10.4	14.9	4.5	3.0
20歳代	116	29.3	46.6	12.9	29.3	7.8	45.7	26.7	18.1	12.9	19.8	4.3	7.8	1.7	2.6
30歳代	188	22.9	50.5	12.2	21.8	5.9	41.5	23.9	16.0	5.3	15.4	8.0	25.5	2.1	5.9

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「子育てと仕事を両立できる職場環境」、「子育てに関する経済的支援」、「子育て世帯の住宅面の支援」、「公園や子育て支援施設の充実」の割合が『いる』で高く、「若い世代の雇用につながる取り組み」、「不妊治療に対する支援」、「妊娠・出産・子育てのための医療体制」、「子育てに関する相談支援」の割合が『いない』で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	若い世代の雇用につながる取り組み	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
全 体	374	26.7	47.3	11.0	23.8	7.5	42.2	24.1	16.8	8.3	16.0	7.2	18.4	2.4	4.3
いる	149	16.1	52.3	8.1	19.5	5.4	46.3	26.8	14.1	8.1	20.1	4.0	31.5	2.0	5.4
いない	222	33.8	44.1	13.1	26.6	9.0	39.2	22.1	18.9	8.6	13.5	9.0	9.9	2.7	3.6

【職業別】

単位：％

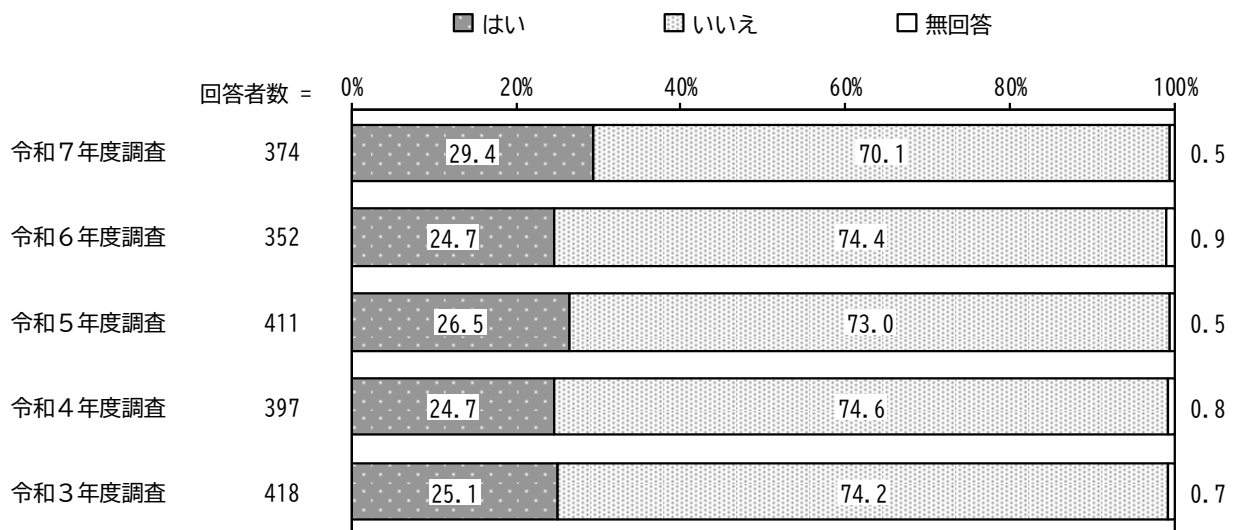
区分	回答者数 (件)	若い世代の雇用につ ながる取り組み	子育てと仕事を両立 できる職場環境	不妊治療に対する支 援	妊娠・出産・子育ての ための医療体制	乳幼児健診などの保 健サービスの充実	子育てに関する経済 的支援	保育園、幼稚園の充 実
全 体	374	26.7	47.3	11.0	23.8	7.5	42.2	24.1
正社員・正職員	185	27.0	47.0	11.4	29.7	8.1	45.9	25.9
アルバイト・パート	43	14.0	58.1	7.0	18.6	9.3	44.2	27.9
派遣社員	7	28.6	42.9	28.6	14.3	0.0	42.9	14.3
嘱託・契約社員	7	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0
自営業	11	27.3	54.5	9.1	27.3	0.0	18.2	45.5
内職	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家事専業	20	40.0	60.0	20.0	15.0	5.0	30.0	20.0
学生	79	35.4	43.0	7.6	20.3	8.9	40.5	20.3
無職	12	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	41.7	25.0
その他	6	16.7	83.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報 提供	子育て世帯の住宅面 の支援	子育てに関する相談 支援	公園や子育て支援施 設の充実	その他	無回 答
全 体	16.8	8.3	16.0	7.2	18.4	2.4	4.3
正社員・正職員	17.3	8.6	16.2	5.4	16.2	1.6	3.8
アルバイト・パート	14.0	7.0	18.6	11.6	23.3	4.7	0.0
派遣社員	42.9	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0
嘱託・契約社員	14.3	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0	14.3
自営業	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0
内職	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
家事専業	5.0	10.0	20.0	0.0	30.0	0.0	10.0
学生	17.7	7.6	13.9	8.9	13.9	3.8	2.5
無職	16.7	0.0	8.3	25.0	41.7	0.0	16.7
その他	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7

(7) 運動の推進・健康管理について

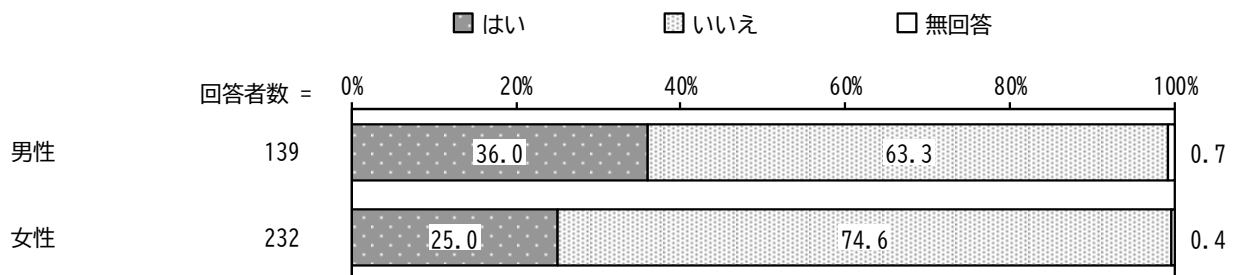
問 27 可児市では、1 回 30 分週 2 回のウォーキングを推奨する「歩こう可児 302」運動や 1 人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ一市民スポーツを推進しています。あなたは、1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上行い、それを 1 年以上続けていますか。
(○は 1 つだけ)

「はい」の割合が 29.4%、「いいえ」の割合が 70.1%となっています。
令和 6 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



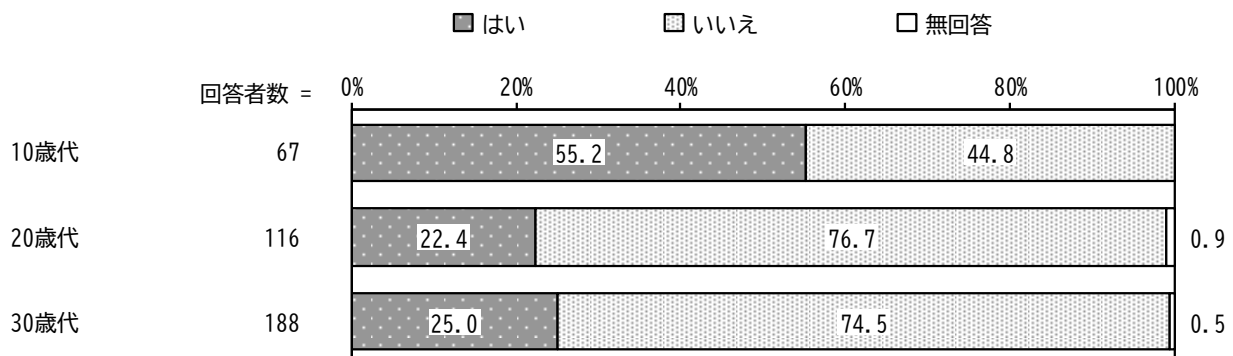
【性別】

性別にみると、「はい」の割合が男性で高く、「いいえ」の割合が女性で高くなっています。



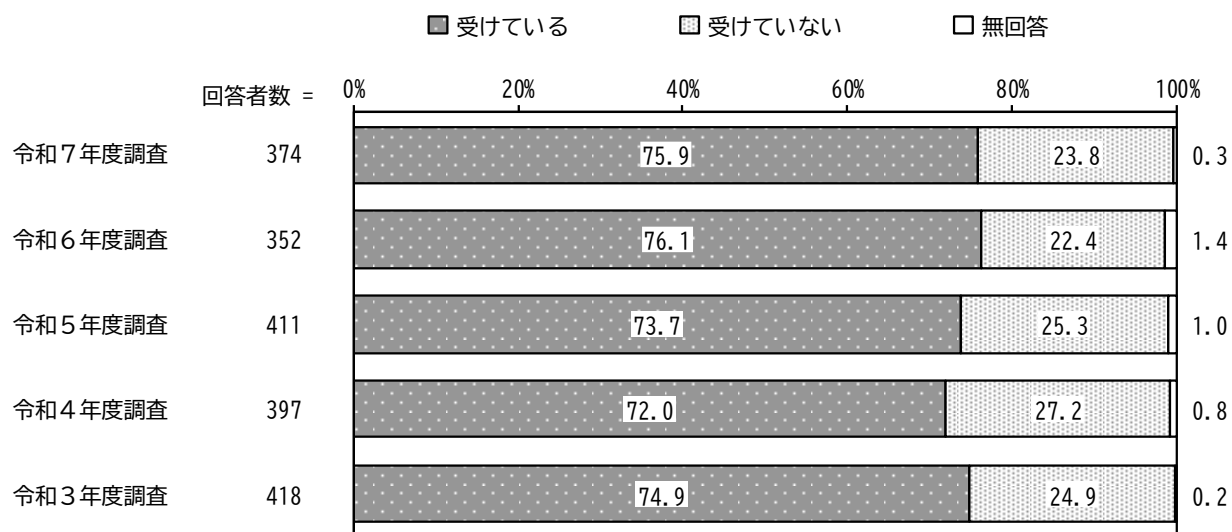
【年代別】

年代別にみると、「はい」の割合が 10 歳代で高くなっています。



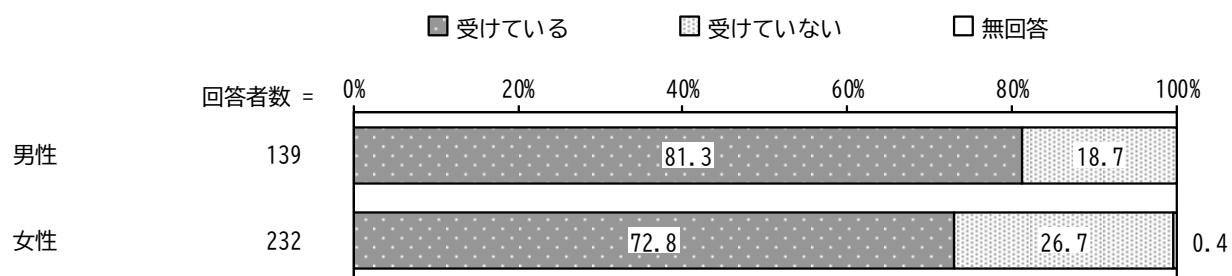
問 28 定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」の割合が75.9%、「受けていない」の割合が23.8%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



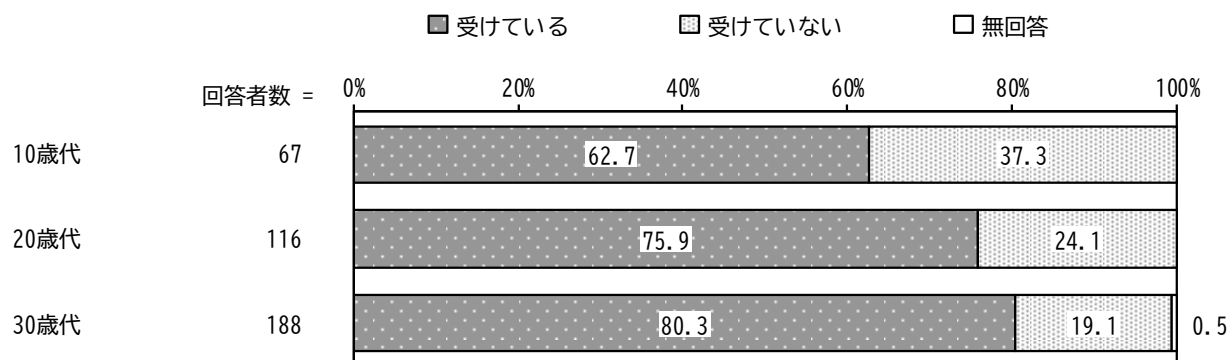
【性別】

性別にみると、「受けている」の割合が男性で高くなっています。



【年代別】

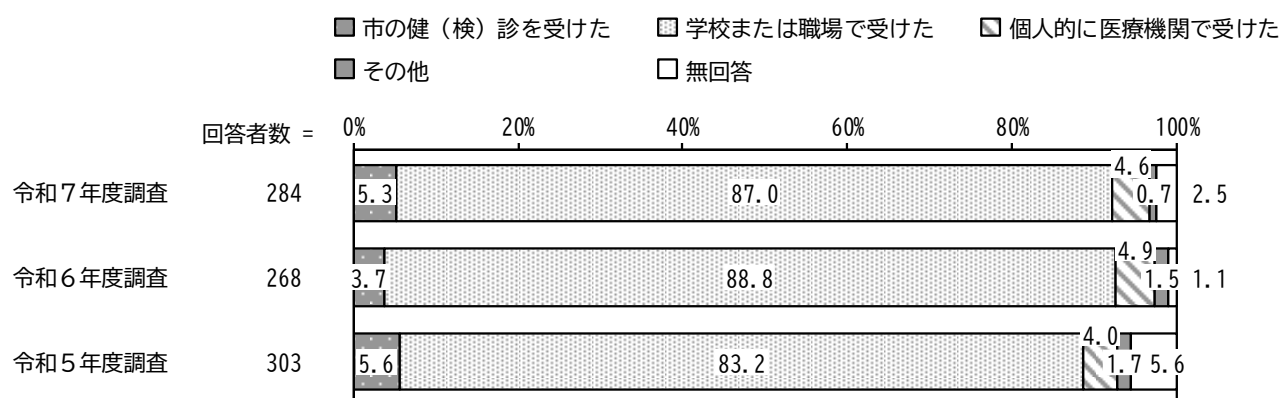
年代別にみると、「受けていない」の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



受診場所

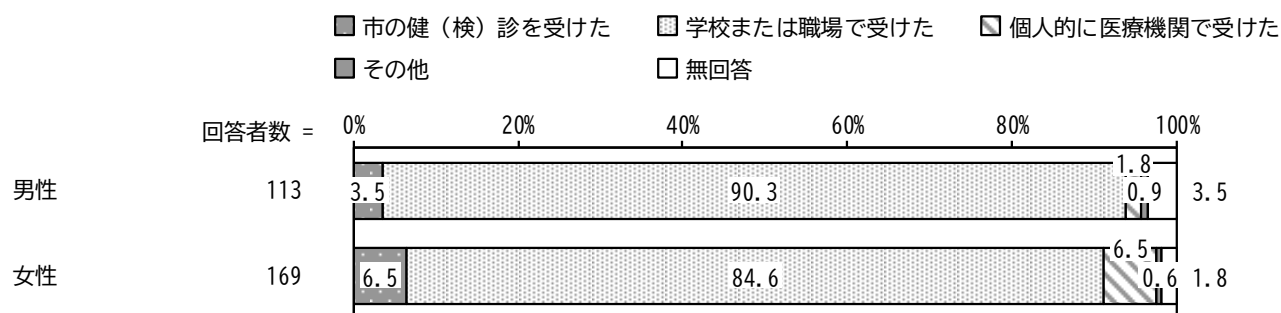
「市の健（検）診を受けた」の割合が5.3%、「学校または職場で受けた」の割合が87.0%、「個人的に医療機関で受けた」の割合が4.6%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



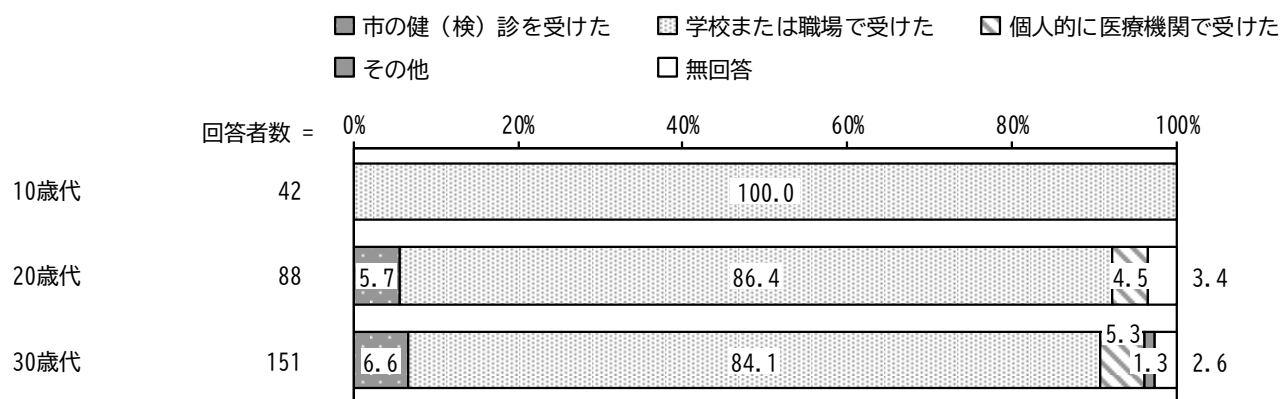
【性別】

性別にみると、「学校または職場で受けた」の割合が男性で高くなっています。



【年代別】

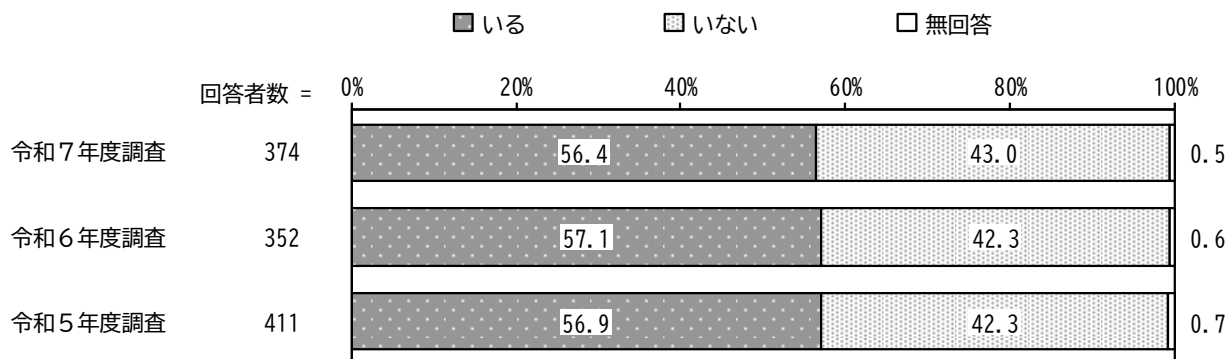
年代別にみると、「学校または職場で受けた」の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



問 29 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」はいますか。（それぞれ○は1つだけ）

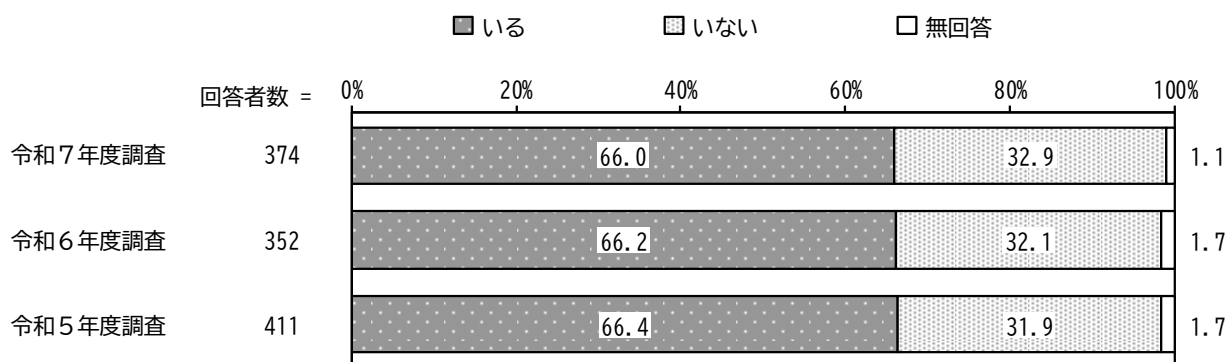
かかりつけ医

「いる」の割合が56.4%、「いない」の割合が43.0%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



かかりつけ歯科医

「いる」の割合が66.0%、「いない」の割合が32.9%となっています。
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

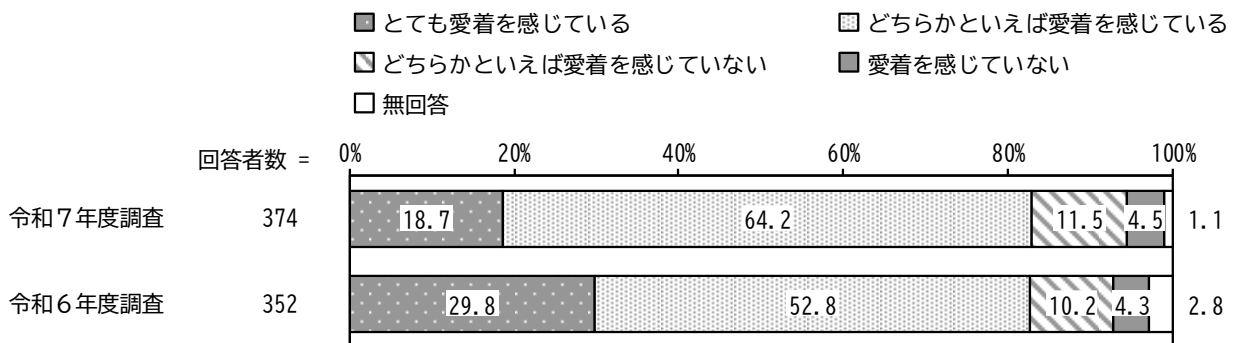


(8) 可児市への愛着について

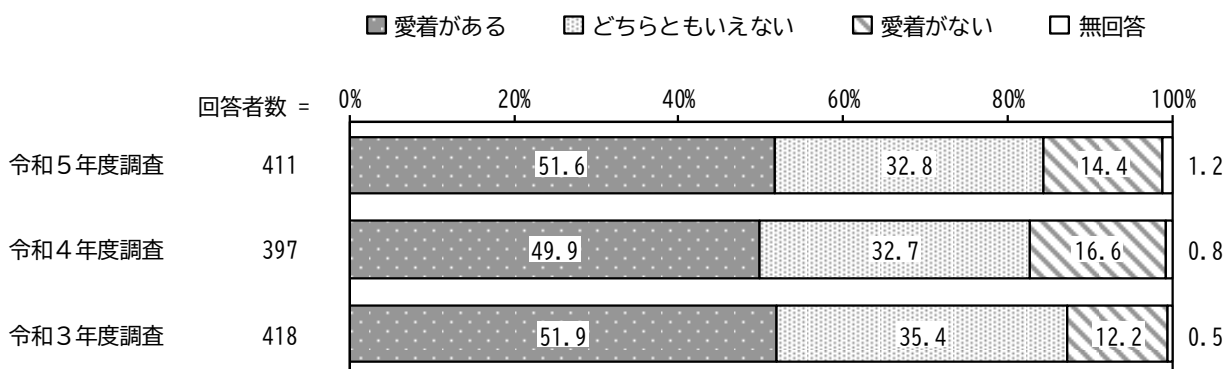
問 30 可児市に愛着を感じていますか?(○は1つだけ)

「とても愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせた“愛着を感じている”の割合が 82.9%、「どちらかといえば愛着を感じていない」「愛着を感じていない」を合わせた“愛着を感じていない”の割合が 16.0%となっています。

令和6年度調査と比較すると、“愛着を感じている”はほぼ同率です。「どちらかといえば愛着を感じている」の割合が増加し、「とても愛着を感じている」の割合が減少しています。

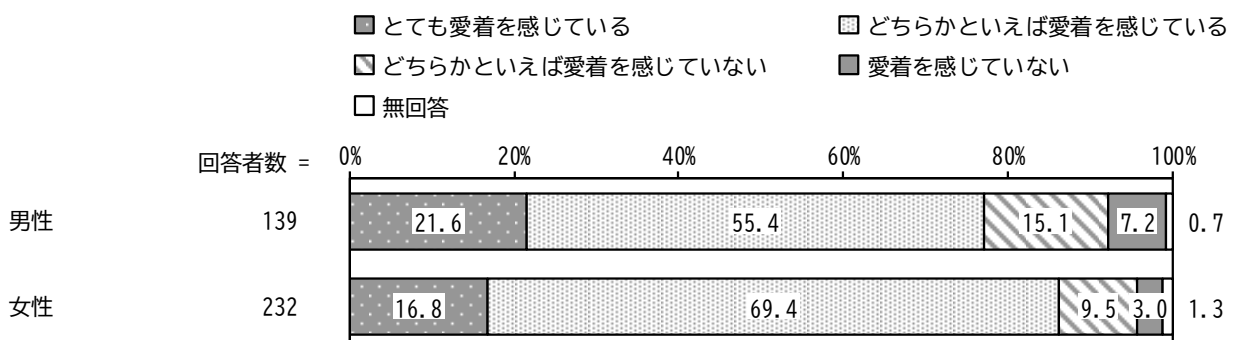


【経年比較 参考】



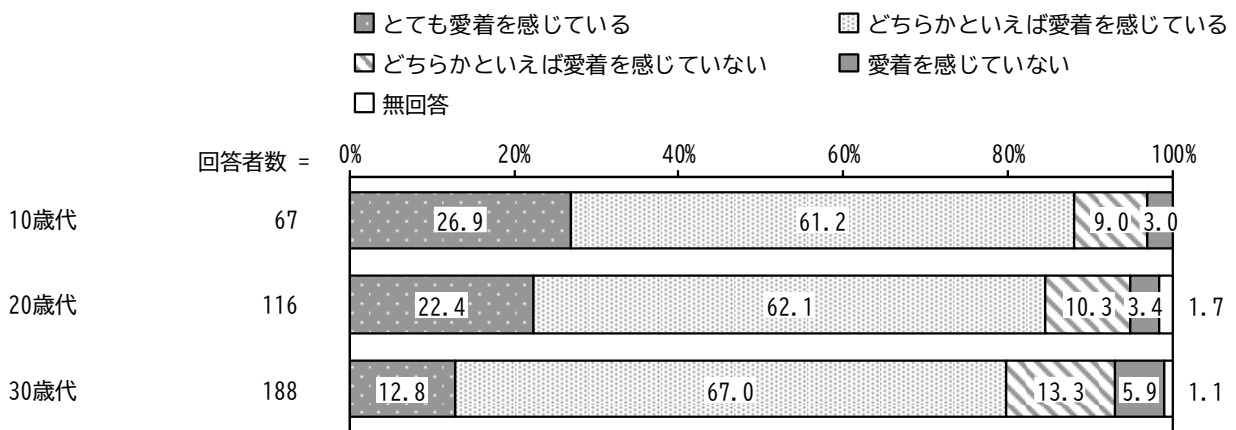
【性別】

性別にみると、“愛着を感じている”の割合が女性で高くなっています。



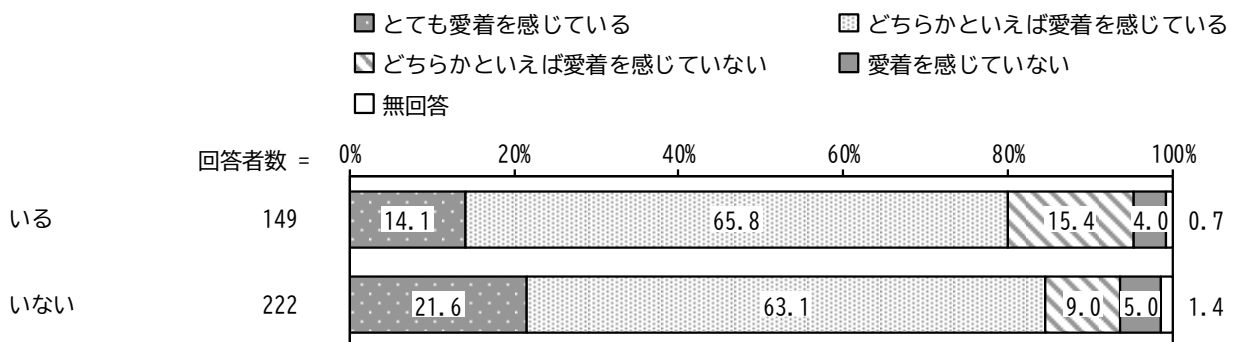
【年代別】

年代別にみると、“愛着を感じている”の割合が年齢が下がるほど高くなっています。



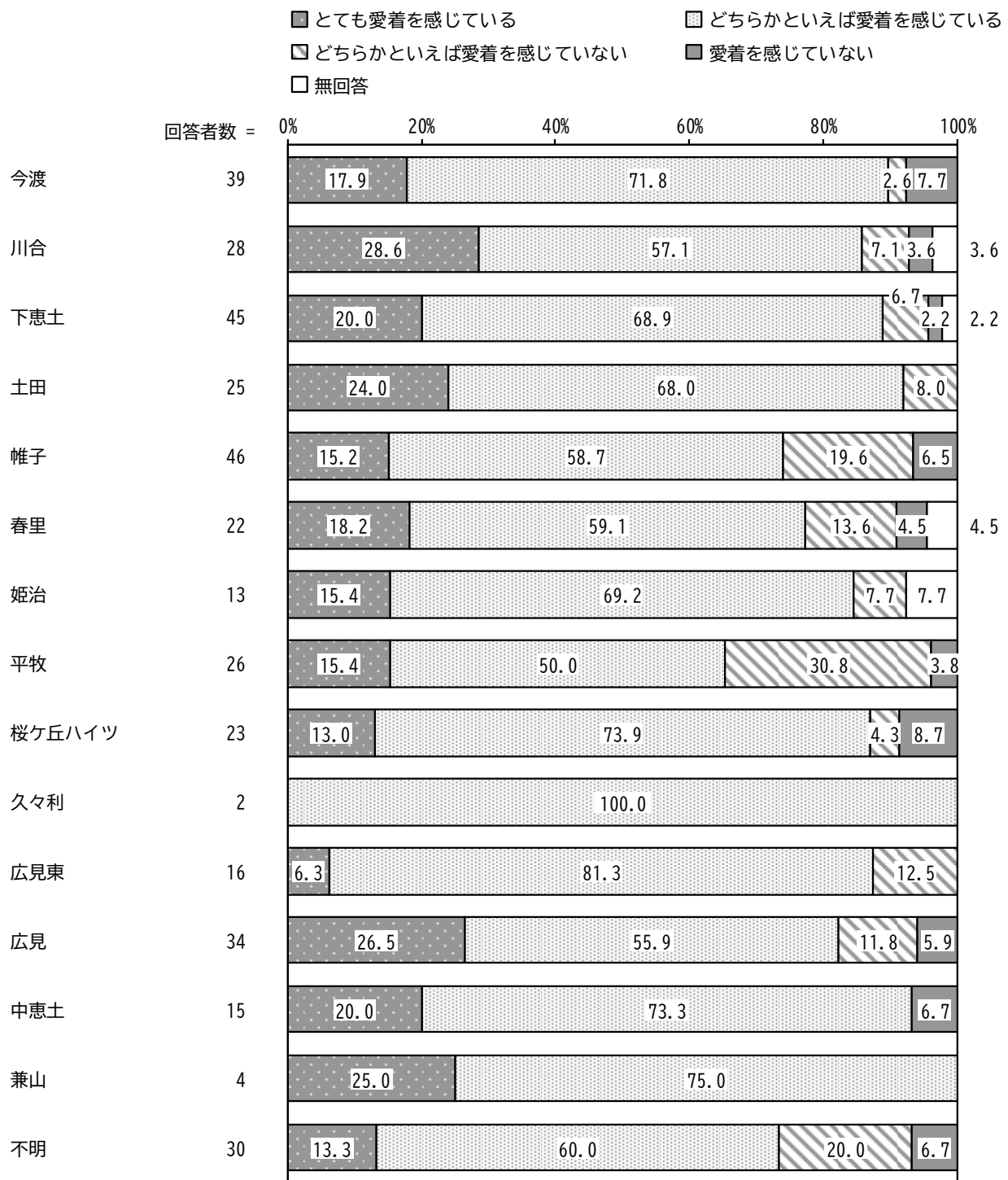
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、“愛着を感じている”の割合が『いない』で高くなっています。



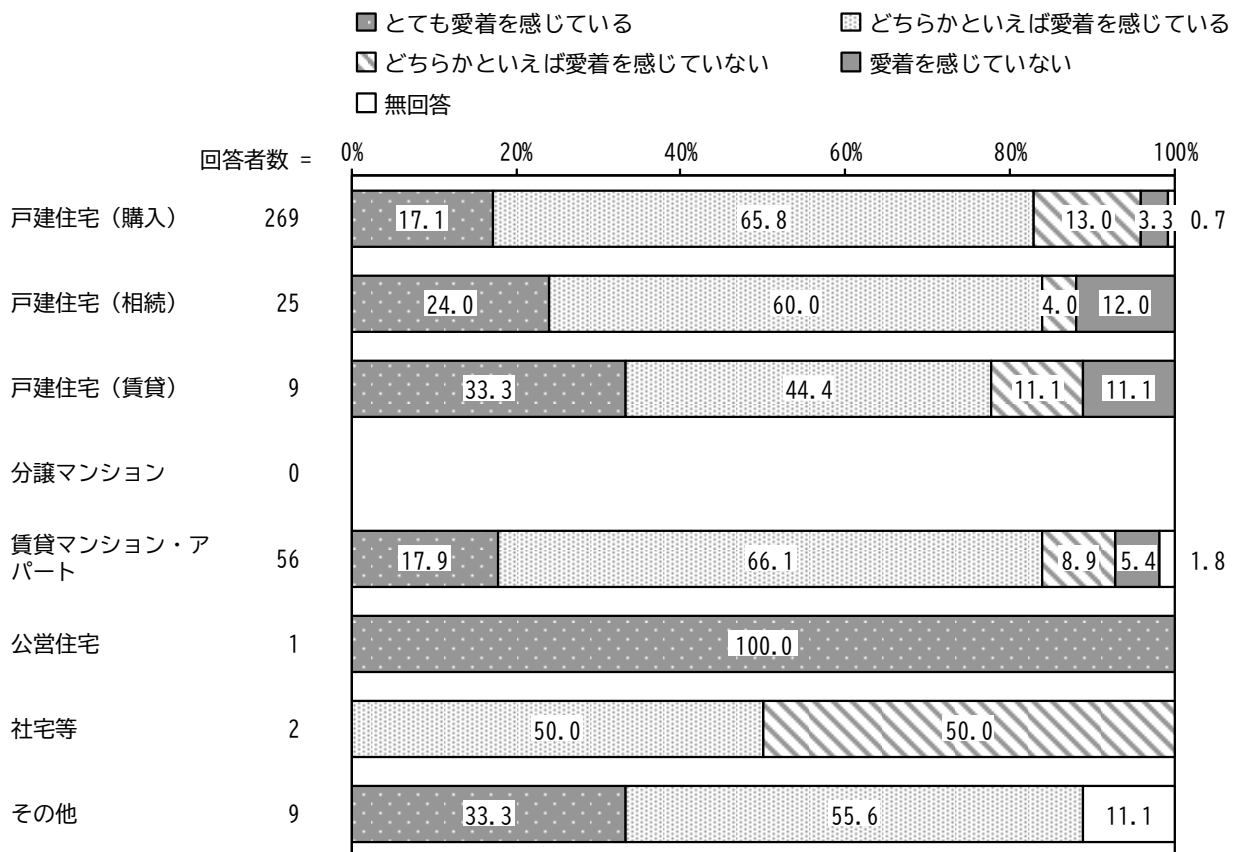
【居住地区別】

居住地区別にみると、“愛着を感じている”の割合が平牧で低くなっています。



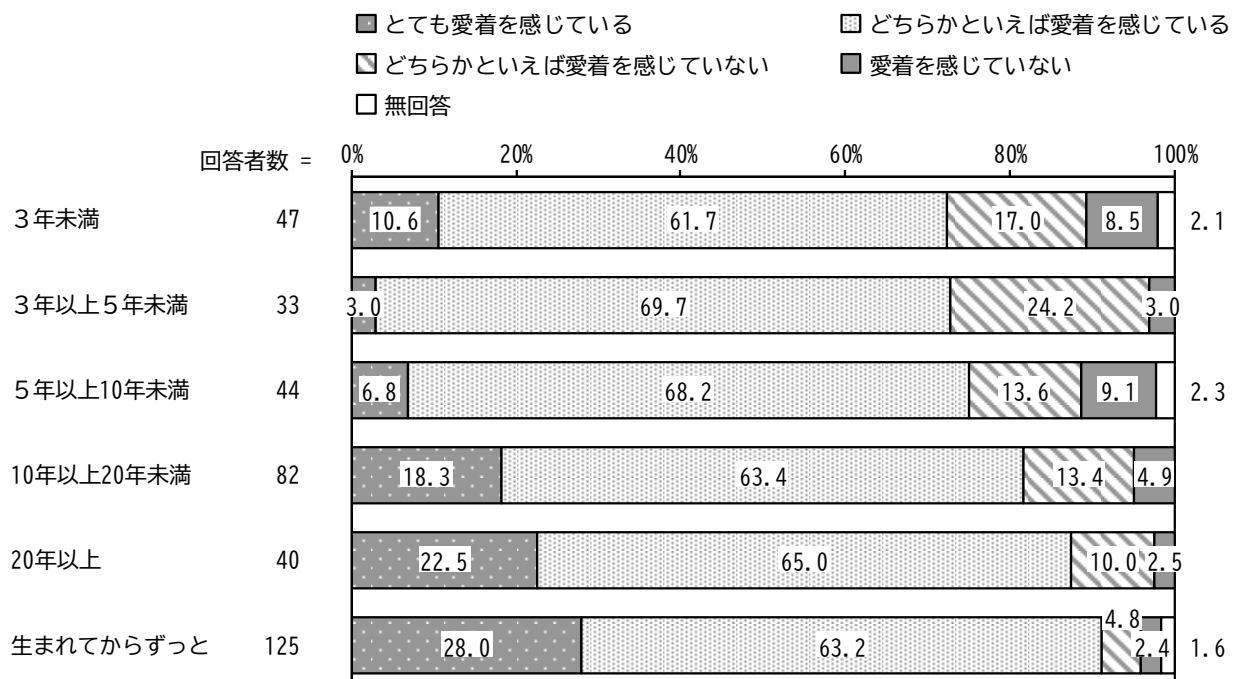
【住まいの形態別】

住まいの形態別にみると、「愛着を感じていない」の割合が戸建住宅（相続）で高くなっています。



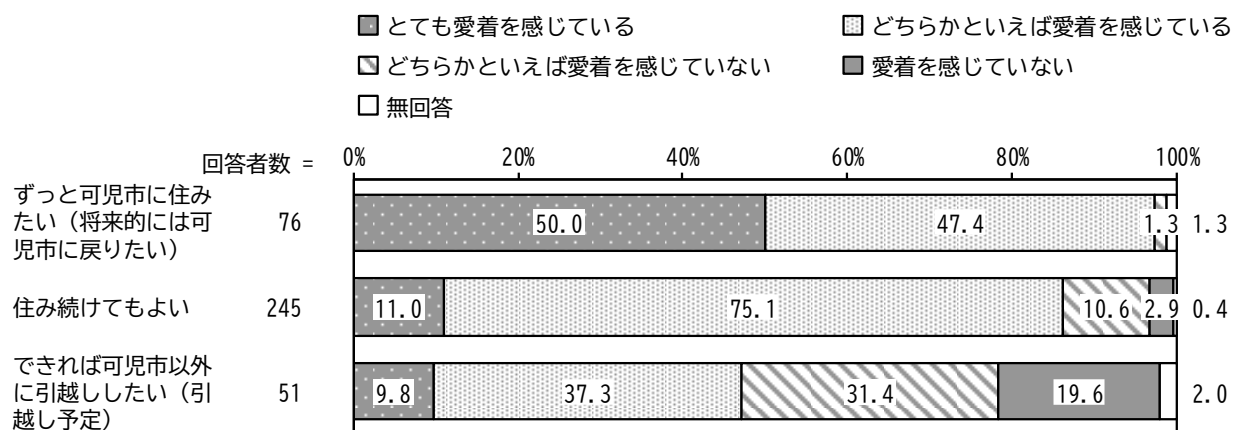
【居住年数別】

居住年数別にみると、「愛着を感じている」の割合が居住年数が長いほど高くなっています。



【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別にみると、“愛着を感じている”の割合が『できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)』で低くなっています。



Ⅲ 調査票

1 全年代

問1 性別はどちらですか。(○は1つだけ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問2 年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 10 歳代	2. 20 歳代	3. 30 歳代
4. 40 歳代	5. 50 歳代	6. 60 歳代
7. 70 歳代以上		

問3 子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

1. いる (複数選択可) → (1)未就学 (2)小・中学生 (3)高校生・大学生

2. いない

(4)社会人 (5)その他

問4 職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 正社員・正職員	2. アルバイト・パート	3. 派遣社員
4. 嘱託・契約社員	5. 自営業	6. 内職
7. 家事専業	8. 学生	9. 無職
10. その他 ()		

問5 どちらにお住まいですか。(自治連合会単位) (○は1つだけ)

1. 今渡	2. 川合	3. 下恵士	4. 土田
5. 帷子	6. 春里	7. 姫治	8. 平牧
9. 桜ヶ丘ハイッ	10. 久々利	11. 広見東	12. 広見
13. 中恵士	14. 兼山	15. 不明 (地区名)	()

問6 お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

1. 加入している	2. 加入していない (その理由)
-----------	-------------------

問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 戸建住宅 (購入)	2. 戸建住宅 (相続)	3. 戸建住宅 (賃貸)
4. 分譲マンション	5. 賃貸マンション・アパート	6. 公営住宅
7. 社宅等	8. その他 ()	

問8 可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

1. 3 年未満	2. 3 年以上 5 年未満	3. 5 年以上 10 年未満
4. 10 年以上 20 年未満	5. 20 年以上	
6. 生まれてからずっと! → 問 10 ハ		

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問9 可児市を居住地に選んだ理由は何か。(○は1つだけ)

1. 地縁 (出身地や親族がいるなど)	2. 友人や知人がいた
3. 通勤や通学に都合がよかった	
4. 暮らしやすさを感じた。(該当の項目に○を記入)	
→ (1)子育てや教育環境の充実 (2)買物等の便利さ (3)医療や福祉環境の充実	
(4)手頃な住宅価格や家賃 (5)自然に恵まれた住環境 (6)文化活動・施設の充実	
5. 家族の事情 (親の転勤など) 6. その他 ()	
7. 特になし	

問10 日頃、市の情報をどの方法により収集していますか。(複数回答可)

1. 広報紙	2. すぐメールかに	3. すぐーる	4. かにっ子ナビ
5. ホームページ	6. LINE	7. Instagram	8. X
9. YouTube	10. Facebook	11. ケーブルテレビ	12. FM らら
13. 新聞	14. タウン誌 (フリーペーパー)		
15. 自治会などの集まりや回覧	16. その他 ()		

※すぐメールかに…市民、災害情報や市からのお知らせをメールやアプリで配信するサービス
すぐーる…小・中学校の児童・生徒の保護者に、学校からのお知らせ等をメールで配信するサービス
かにっ子ナビ…妊娠中や子育て中の方に、子育て情報等を母子帳アプリで配信するサービス

問11 市の情報をどの方法により受け取りたいですか。(複数回答可)

1. 広報紙	2. すぐメールかに	3. すぐーる	4. かにっ子ナビ
5. ホームページ	6. LINE	7. Instagram	8. X
9. YouTube	10. Facebook	11. ケーブルテレビ	12. FM らら
13. 新聞	14. タウン誌 (フリーペーパー)		
15. 自治会などの集まりや回覧	16. その他 ()		

問12 市の情報のうち、どれに興味がありますか。(複数回答可)

1. 政策などの情報	2. イベント情報	3. ごみ・リサイクル資源の収集日程
4. 無料相談	5. 市長からの発信	6. 議会からの発信
7. 防災情報	8. 子育て・教育情報	9. その他 ()

問13 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、オンラインでの個人情報の登録について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(○は1つだけ)

1. 利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい
2. どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい
3. どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない
4. 利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない

問14 市の行政サービスのデジタル化の取り組みについて、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

その理由 ()

(参考) 市で取り組んでいる事例
・LINE による画像を使った見やすいメッセージ配信
・コンビニで住民票や印鑑証明等が取得できるサービス
・インターネットで申請ができるサービス (例：施設予約、図書館の本の予約等)

問 15 市政経営計画の重点施策である以下の (1) ～ (12) の各施策について、今後の可児市にとってどの程度重要だと思うか、あなたの考えに近いものを「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」から選び、○印をつけてください。

市政経営計画の重点施策（重要度）				
	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない
高齢者の安気づくり				
(1) 高齢者の暮らしを支援				
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり				
(3) 介護保険サービスの安定的な提供				
子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり				
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり				
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消				
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援				
地域・経済の元気づくり				
(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進				
(8) 地域の課題解決力の向上				
(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり				
まちの安全づくり				
(10) 災害に強いまちづくりの推進				
(11) 身近な暮らしの安全づくり				
(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進				

問 16 市政経営計画の重点施策である以下の (1) ～ (12) の各項目の満足度について、あなたの考えに近いものを「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」から選び、○印をつけてください。わからない場合は空欄にしてください。

市政経営計画の重点施策（満足度）				
	満足	やや満足	やや不満	不満
高齢者の安気づくり				
(1) 高齢者の暮らしを支援				
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり				
(3) 介護保険サービスの安定的な提供				
子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり				
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり				
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消				
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援				
地域・経済の元気づくり				
(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進				
(8) 地域の課題解決力の向上				
(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり				
まちの安全づくり				
(10) 災害に強いまちづくりの推進				
(11) 身近な暮らしの安全づくり				
(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進				

問 28 定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受けている	→ (1)市の健(校)診を受けた	(2)学校または職場で受けた
2. 受けていない	→ (3)個人的に医療機関で受けた	(4)その他

問 29 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」はいますか。(それぞれ○は1つだけ)

かかりつけ医	1. いる	2. いない
かかりつけ歯科医	1. いる	2. いない

問 30 可児市に愛着を感じていますか? (○は1つだけ)

1. とても愛着を感じている
2. どちらかといえば愛着を感じている
3. どちらかといえば愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない

【自由意見】

問 31 可児市のこれからのまちづくりに関して、意見がありましたらお書きください。

可児市の“オススメ”を当てよう！ 抽選プレゼントキャンペーン
応募される方は封筒のラベルに表示している「キャンペーン番号」を記入してください。





キャンペーン番号 _____

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
令和7年5月13日(火)までにご返送をお願いします。

問10 日頃、市の情報をどの方法により収集していますか。(複数回答可)

1. 広報紙

2. すぐメールに

3. すぐー

4. かにっ子ナビ

5. ホームページ

6. LINE

7. Instagram

8. X

9. YouTube

10. Facebook

11. ケーブルテレビ

12. FM なら

13. 新聞

14. タウン誌 (フリーペーパー)

15. 自治会などの集まりや回覧

16. その他 ()

※すぐメールに…市民、災害情報やからのお知らせをメールやアプリで配信するサービス
すぐー…小・中学校の児童・生徒の保護者に、学校からのお知らせ等をメールで配信するサービス
かにっ子ナビ…妊娠中や子育て中の方に、子育て情報等を母子手帳アプリで配信するサービス

問11 市の情報をどの方法により受け取りたいですか。(複数回答可)

1. 広報紙

2. すぐメールに

3. すぐー

4. かにっ子ナビ

5. ホームページ

6. LINE

7. Instagram

8. X

9. YouTube

10. Facebook

11. ケーブルテレビ

12. FM なら

13. 新聞

14. タウン誌 (フリーペーパー)

15. 自治会などの集まりや回覧

16. その他 ()

問12 市の情報のうち、どれに興味がありますか。(複数回答可)

1. 政策などの情報

2. イベント情報

3. ごみ・リサイクル資源の収集日程

4. 無料相談

5. 市長からの発信

6. 議会からの発信

7. 防災情報

8. 子育て・教育情報

9. その他 ()

問13 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、オンラインでの個人情報の登録について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(○は1つだけ)

1. 利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい

2. どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい

3. どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない

4. 利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない

問14 市の行政サービスのデジタル化の取り組みについて、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

1. 満足

2. やや満足

3. やや不満

4. 不満

その理由 ()

(参考) 市で取り組んでいる事例
・LINE による画像を使った見やすいメッセージ配信
・コンビニで住民票や印鑑証明等が取得できるサービス
・インターネットで申請ができるサービス (例：施設予約、図書館の本の予約等)

問1 性別はどちらですか。(○は1つだけ)

1. 男性

2. 女性

3. その他

問2 年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 10 歳代

2. 20 歳代

3. 30 歳代

問3 子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

1. いる (複数選択可) → (1) 未就学 (2) 小・中学生 (3) 高校生・大学生

(4) 社会人 (5) その他

2. いない

問4 職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 正社員・正職員

2. アルバイト・パート

3. 派遣社員

4. 嘱託・契約社員

5. 自営業

6. 内職

7. 家事専業

8. 学生

9. 無職

10. その他 ()

問5 どちらにお住まいですか。(自治連合会単位) (○は1つだけ)

1. 今渡

2. 川合

3. 下恵土

4. 土田

5. 椎子

6. 春里

7. 姫治

8. 平牧

9. 桜ヶ丘ハイッ

10. 久々利

11. 広見東

12. 広見

13. 中恵土

14. 兼山

15. 不明 (地区名)

16. その他 ()

問6 お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

1. 加入している

2. 加入していない (その理由)

問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 戸建住宅 (購入)

2. 戸建住宅 (相続)

3. 戸建住宅 (賃貸)

4. 分譲マンション

5. 賃貸マンション・アパート

6. 公営住宅

7. 社宅等

8. その他 ()

問8 可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

1. 3 年未満

2. 3 年以上 5 年未満

3. 5 年以上 10 年未満

4. 10 年以上 20 年未満

5. 20 年以上

6. 20 年以上 30 年未満

7. 30 年以上

8. 生まれてからずっと → 問10へ

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問9 可児市を居住地に選んだ理由は何か。(○は1つだけ)

1. 地縁 (出身地や親族がいるなど)

2. 友人や知人がいた

3. 通勤や通学に都合がよかった

4. 暮らしやすいと感じた (該当の項目に○を記入)

→ (1) 子育てや教育環境の充実 (2) 買物等の便利さ (3) 医療や福祉環境の充実

(4) 手頃な住宅価格や家賃 (5) 自然に恵まれた住環境 (6) 文化活動・施設の充実

5. 家族の事情 (親の転勤など)

6. その他 ()

7. 特になし

203

2

1

問 15 市政経営計画の重点施策である以下の (1) ～ (12) の各施策について、今後の可見市にとってどの程度重要だと思うか、あなたの考えに近いものを「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」から選び、○印をつけてください。

市政経営計画の重点施策（重要度）				
高齢者の安気づくり	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない
(1) 高齢者の暮らしを支援				
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり				
(3) 介護保険サービスの安定的な提供				
子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり				
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり				
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消				
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援				
地域・経済の元気づくり				
(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進				
(8) 地域の課題解決力の向上				
(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり				
まちの安全づくり				
(10) 災害に強いまちづくりの推進				
(11) 身近な暮らしの安全づくり				
(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進				

問 16 市政経営計画の重点施策である以下の (1) ～ (12) の各項目の満足度について、あなたの考えに近いものを「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」から選び、○印をつけてください。わからない場合は空欄にしてください。

市政経営計画の重点施策（満足度）				
高齢者の安気づくり	満足	やや満足	やや不満	不満
(1) 高齢者の暮らしを支援				
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり				
(3) 介護保険サービスの安定的な提供				
子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり				
(4) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり				
(5) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消				
(6) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援				
地域・経済の元気づくり				
(7) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進				
(8) 地域の課題解決力の向上				
(9) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり				
まちの安全づくり				
(10) 災害に強いまちづくりの推進				
(11) 身近な暮らしの安全づくり				
(12) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進				

問 28 定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受けている	→ (1)市の健(校)診を受けた	(2)学校または職場で受けた
2. 受けていない	→ (3)個人的に医療機関で受けた	(4)その他

問 29 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」はいますか。(それぞれ○は1つだけ)

かかりつけ医	1. いる	2. いない
かかりつけ歯科医	1. いる	2. いない

問 30 可児市に愛着を感じていますか？ (○は1つだけ)

1. とても愛着を感じている
2. どちらかといえば愛着を感じている
3. どちらかといえば愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない

【自由意見】

問 31 可児市のこれからのまちづくりに関して、意見がありましたらお書きください。



**KANITARO
COOKIES**
Made in Kani, Gifu / Taro Imo



NECOM COFFEE
PARALLEL WORLD ROASTER

可児市の“オススメ”を当てよう！ 抽選プレゼントキャンペーン
応募される方は封筒のラベルに表示している「キャンペーン番号」を記入してください。

キャンペーン番号 _____

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
 令和7年5月13日（火）までにご返送をお願いします。

可児市
市民アンケート調査
【調査結果報告書】

発行年月：令和7年9月

発行：可児市役所 秘書政策課
〒509-0292

岐阜県可児市広見一丁目1番地

電話：(0574)-62-1111